

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1



電子シャッターを活用する

電子シャッターを使用することで、サイレント撮影、ブラックアウトフリー撮影などが可能です。



連続撮影

連続撮影時の撮影速度や撮影可能枚数はこちらをご覧ください。



カスタムキー設定

よく使う機能をお好みのボタンやダイヤルに割り当てることができます。



動画の記録可能時間

メモリーカードに記録できる動画撮影時間はこちらをご覧ください。



ILCE-1 : サポート情報

カメラ本体の基本情報や対応レンズ/アクセサリーの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。（別ウィンドウで開きます。）

[ヘルプガイドの使いかた](#)

はじめに

[本体と付属品を確認する](#)

[使用できるメモリーカード](#)

必ずお読みください

[使用上のご注意](#)

[バッテリー/充電についてのご注意](#)

[メモリーカードについてのご注意](#)

[イメージセンサーをクリーニングする（センサークリーニング）](#)

[お手入れについて](#)

各部の名称/基本操作

各部の名称

- [本体前面](#)
- [本体背面](#)
- [本体上面](#)
- [本体側面](#)
- [本体底面](#)

本機の基本操作

- [タッチパネルの操作](#)
- [コントロールホイールを使う](#)
- [マルチセレクターを使う](#)
- [モードダイヤルを使う](#)
- [フォーカスモードダイヤルを使う](#)
- [ドライブモードダイヤルを使う](#)
- [MENUボタンを使う](#)
- [C（カスタム） ボタンを使う](#)
- [Fn（ファンクション） ボタンを使う](#)
- [DISP（画面表示切換） ボタンを使う](#)
- [削除ボタンを使う](#)
- [AELボタンを使う](#)
- [AF-ONボタンを使う](#)
- [前ダイヤル・後ダイヤルを使う](#)
- [キーボード画面を使う](#)
- [基本的なアイコン](#)
- [カメラ内ガイド](#)

準備/基本的な撮影

充電する

- [バッテリーを充電する（チャージャー）](#)
- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)
- [バッテリーをカメラに入れたまま充電する](#)

[海外でバッテリーチャージャーを使う](#)

[外部電源でカメラを使う](#)

[メモリーカードをカメラに入れる/取り出す](#)

[レンズを取り付ける/取りはずす](#)

[日付と時刻を設定する](#)

基本的な撮影

[撮影前に確認すること](#)

[静止画を撮影する（おまかせオート）](#)

[動画を撮影する](#)

[MENU一覧から機能を探す](#)

撮影機能を活用する

[この章の目次](#)

撮影モードを選ぶ

[おまかせオート](#)

[プログラムオート](#)

[絞り優先](#)

[シャッタースピード優先](#)

[マニュアル露出](#)

[バルブ撮影](#)

[露出制御方式](#)

[オート/マニュアル切替設定](#)

[動画：露出モード](#)

[スロー&クイックモーション：露出モード](#)

[オートスローシャッター](#)

フォーカス（ピント）を合わせる

[ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)

[ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)

[被写体を追尾する（トラッキング）](#)

顔/瞳AF

[人の瞳にピントを合わせる](#)

[AF時の顔/瞳優先（静止画/動画）](#)

[顔/瞳検出対象（静止画/動画）](#)

[検出対象切替設定（静止画/動画）](#)

[右目/左目選択（静止画/動画）](#)

[顔/瞳枠表示（静止画/動画）](#)

[個人顔登録](#)

[登録顔優先（静止画/動画）](#)

AF機能を使う

[フォーカススタンダード](#)

[縦横フォーカスエリア切替](#)

[フォーカスエリア登録機能](#)

[登録フォーカスエリア消去](#)

[フォーカスエリア限定（静止画/動画）](#)

[フォーカス位置の循環（静止画/動画）](#)

[AF枠の移動量（静止画/動画）](#)

[フォーカスエリア枠色（静止画/動画）](#)

[フォーカスエリア自動消灯](#)

[トラッキング中エリア枠表示](#)

[AF-Cエリア表示](#)

[位相差AFエリア表示](#)

[AF被写体追従感度](#)

[AFトランジション速度](#)

[AF乗り移り感度](#)

[AF/MF切替](#)

[シャッター半押しAF](#)

[AFオン](#)

[フォーカスホールド](#)

[ブリAF](#)

[AF-S時の優先設定](#)

[AF-C時の優先設定](#)

[ピント拡大中のAF](#)

[AF補助光](#)

[AF時の絞り駆動](#)

MF機能を使う

[マニュアルフォーカス](#)

[ダイレクトマニュアルフォーカス \(DMF\)](#)

[MF時自動ピント拡大](#)

[ピント拡大](#)

[ピント拡大時間 \(静止画/動画\)](#)

[ピント拡大初期倍率 \(静止画\)](#)

[ピント拡大初期倍率 \(動画\)](#)

[ピーキング表示](#)

露出/測光を調整する

[露出補正 \(静止画/動画\)](#)

[ヒストグラムについて](#)

[露出補正值のリセット \(静止画/動画\)](#)

[露出値ステップ幅 \(静止画/動画\)](#)

[露出基準調整 \(静止画/動画\)](#)

[ダイヤル露出補正](#)

[Dレンジオブティマイザー \(静止画/動画\)](#)

[測光モード \(静止画/動画\)](#)

[マルチ測光時顔優先 \(静止画/動画\)](#)

[スポット測光位置 \(静止画/動画\)](#)

[AEロック](#)

[シャッター半押しAEL](#)

[ゼブラ表示](#)

ISO感度を選ぶ

[ISO感度 \(静止画/動画\)](#)

[ISO感度範囲限定 \(静止画/動画\)](#)

[ISO AUTO低速限界](#)

ホワイトバランス

[ホワイトバランス（静止画/動画）](#)

[基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する（カスタムホワイトバランス）](#)

[AWB時の優先設定（静止画/動画）](#)

[シャッターAWBロック](#)

[ショックレスWB](#)

画像に効果を加える

[クリエイティブブルック（静止画/動画）](#)

[ピクチャープロフィール（静止画/動画）](#)

ドライブ機能を使う（連写/セルフタイマー）

[ドライブモード](#)

[連続撮影](#)

[連続撮影の速度](#)

[セルフタイマーの種類：セルフタイマー（1枚）](#)

[セルフタイマーの種類：セルフタイマー（連続）](#)

[ブラケット設定：連続ブラケット](#)

[ブラケット設定：1枚ブラケット](#)

[ブラケット撮影時のインジケーター](#)

[ブラケット設定：ホワイトバランスブラケット](#)

[ブラケット設定：DROブラケット](#)

[ブラケット設定：ブラケット時のセルフタイマー](#)

[ブラケット設定：ブラケット順序](#)

[インターバル撮影機能](#)

[より高解像の静止画を撮影する（ピクセルシフトマルチ撮影）](#)

画質や記録形式を設定する

[JPEG/HEIF切換](#)

[画質/画像サイズ設定：ファイル形式（静止画）](#)

[画質/画像サイズ設定：RAW記録方式](#)

[画質/画像サイズ設定：JPEG画質/HEIF画質](#)

[画質/画像サイズ設定：JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ](#)

[アスペクト比](#)

[HLG静止画](#)

[色空間](#)

[記録方式（動画）](#)

[動画設定（動画）](#)

[スロー&クイック設定](#)

[プロキシー設定](#)

[APS-C S35（Super35mm）撮影（静止画/動画）](#)

[撮影範囲（画角）について](#)

タッチ機能を使う

[タッチ操作](#)

[タッチ感度](#)

[タッチパネル/タッチパッド](#)

[タッチパッド設定](#)

[撮影時のタッチ機能](#)

[タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）](#)

[タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）](#)

シャッターの設定

[サイレントモード設定（静止画/動画）](#)

[シャッター方式](#)

[電子シャッターを活用する](#)

[撮影開始表示（静止画）](#)

[撮影タイミング表示（静止画）](#)

[レンズなしリリース（静止画/動画）](#)

[カードなしリリース](#)

[フリッカーレス設定](#)

[【フリッカーレス撮影】と【高分解シャッター】の違い](#)

ズームする

[本機で利用できるズームの種類](#)

[超解像ズーム/デジタルズーム（ズーム）](#)

[ズーム範囲（静止画/動画）](#)

[ズームスピード（静止画/動画）](#)

[ズームスピード（リモコン）（静止画/動画）](#)

[ズーム倍率について](#)

[ズームリング操作方向](#)

フラッシュを使う

[フラッシュ（別売）を使う](#)

[フラッシュモード](#)

[調光補正](#)

[露出補正の影響](#)

[ワイヤレスフラッシュ](#)

[フラッシュ同調速優先](#)

[赤目軽減発光](#)

[FELロック](#)

[外部フラッシュ設定](#)

[シンクロターミナルコード付きフラッシュを使う](#)

[ビデオライトモード](#)

手ブレを補正する

[手ブレ補正（静止画）](#)

[手ブレ補正（動画）](#)

[手ブレ補正調整（静止画/動画）](#)

[手ブレ補正焦点距離（静止画/動画）](#)

[レンズ補正（静止画/動画）](#)

ノイズリダクション

[長秒時ノイズ低減](#)

[高感度ノイズ低減](#)

撮影中の画面表示を設定する

[オートレビュー（静止画）](#)

[撮影残量表示（静止画）](#)

[グリッドライン表示（静止画/動画）](#)

[グリッドラインの種類（静止画/動画）](#)

[ライブビュー表示設定](#)

[絞りプレビュー](#)

[撮影結果プレビュー](#)

[ブライトモニタリング](#)

[記録中の強調表示](#)

[マーカー表示](#)

[ガンマ表示アシスト](#)

[ガンマ表示アシスト方式](#)

動画の音声を記録する

[音声記録](#)

[録音レベル](#)

[音声出カタイミング](#)

[風音低減](#)

[シューの音声設定](#)

[音声レベル表示](#)

TC/UB設定

[TC/UB](#)

[TC/UB表示設定](#)

カメラをカスタマイズする

[この章の目次](#)

[本機のカスタマイズ機能について](#)

[よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

[一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定）](#)

撮影設定の登録と呼び出し

[撮影設定登録](#)

[撮影設定呼び出し](#)

[登録/呼出メディア](#)

[カスタム撮影設定登録](#)

よく使う機能をファンクションメニューに登録する

[Fnメニュー設定](#)

よく使う機能をマイメニュータブに登録する

[項目の追加](#)

[項目の並べ替え](#)

[項目の削除](#)

[ページの削除](#)

[全て削除](#)

[マイメニューから表示](#)

静止画と動画の撮影設定を個別に行う

[静止画/動画独立設定](#)

リング/ダイヤルの機能をカスタマイズする

[Mモード時のAv/Tv](#)

[Av/Tvの回転方向](#)

[ファンクションリング\(レンズ\)](#)

[操作部のロック](#)

シャッターボタンで動画を撮影する

[シャッターボタンでREC（動画）](#)

モニター/ファインダーの表示を設定する

[ファインダー/モニター選択](#)

[DISP\(画面表示\)設定（背面モニター/ファインダー）](#)

再生する

[この章の目次](#)

画像を見る

[再生するメモリーカードを選ぶ（再生メディア選択）](#)

[静止画を再生する](#)

[再生画像を拡大する（拡大）](#)

[拡大の初期倍率](#)

[拡大の初期位置](#)

[記録画像を自動的に回転させる（記録画像の回転表示）](#)

[動画を再生する](#)

[音量設定](#)

[4ch音声のモニタリング（動画）](#)

[スライドショーで再生する（スライドショー）](#)

[インターバル連続再生](#)

[インターバル再生速度](#)

画像の表示方法を変える

[一覧表示で再生する（一覧表示）](#)

[静止画と動画を切り換える（ビューモード）](#)

[グループ表示](#)

[フォーカス枠表示（再生）](#)

画像間をジャンプ移動する方法を設定する

[画像送りダイヤル選択](#)

[画像送り方法](#)

撮影した静止画を保護する（プロテクト）

画像に情報を追加する

[レーティング](#)

[レーティング カスタムキー設定](#)

[画像に音声ファイルを添付する（音声メモ）](#)

[音声メモ再生音量](#)

[画像を回転する（回転）](#)

トリミング

動画から静止画を切り出す

[動画から静止画作成](#)

[JPEG/HEIF切換（動画から静止画作成）](#)

メモリーカード間で画像をコピーする（コピー）

画像を削除する

[不要な画像を選んで削除する（削除）](#)

[2度押しで削除](#)

[削除確認画面](#)

テレビと接続して画像を見る

[HDMIケーブルを使ってテレビで見る](#)

カメラの設定を変更する

メモリーカードの設定

[フォーマット](#)

[記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（静止画）](#)

[記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（動画）](#)

[記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア自動切換](#)

[記録フォルダー選択](#)

[フォルダー新規作成](#)

[管理ファイル修復（静止画/動画）](#)

[メディア残量表示（静止画/動画）](#)

ファイルの設定

[ファイル/フォルダー設定](#)

[ファイル設定](#)

[IPTC情報](#)

[著作権情報](#)

[シリアル番号書き込み](#)

ネットワークの設定

[スマートフォン接続](#)

[接続（スマートフォン接続情報）](#)

[常時接続（スマートフォン）](#)

[Bluetoothリモコン](#)

[アクセスポイント簡単登録](#)

[アクセスポイント手動登録](#)

[Wi-Fi周波数帯](#)

[Wi-Fi情報表示](#)

[SSID・PWリセット](#)

[Bluetooth設定](#)

[有線LAN](#)

[機内モード](#)

[機器名称変更](#)

[ルート証明書の読み込み](#)

[セキュリティ\(IPsec\)](#)

[ネットワーク設定リセット](#)

[FTP転送機能](#)

ファインダー/モニターの設定

[モニター明るさ](#)

[ファインダー明るさ](#)

[ファインダー色温度](#)

[ファインダー倍率](#)

[ファインダーフレームレート（静止画）](#)

[モニター自動OFF（静止画）](#)

電力設定

[パワーセーブ開始時間](#)

[自動電源OFF温度](#)

[表示画質](#)

USB設定

[USB接続](#)

[USB LUN設定](#)

[USB給電](#)

外部出力設定

[HDMI解像度](#)

[HDMI出力設定（動画）](#)

[HDMI情報表示](#)

[HDMI機器制御](#)

一般設定

[エリア/日時設定](#)

[電子音](#)

[赤外線リモコン](#)

[アンチダスト機能](#)

[オートピクセルマッピング](#)

[ピクセルマッピング](#)

[バージョン表示](#)

[認証マーク表示](#)

[設定の保存/読込](#)

[設定リセット](#)

スマートフォンでできること

[スマートフォンでできること \(Imaging Edge Mobile\)](#)

カメラとスマートフォンを接続する

[QRコードを使って接続する](#)

[SSIDとパスワードを使って接続する](#)

[NFCでワンタッチ接続する](#)

スマートフォンをリモコンとして使う

[スマートフォンをリモコンとして使う](#)

[リモート撮影設定 \(スマートフォン\)](#)

スマートフォンに画像を転送する

[カメラで選んで転送 \(スマートフォン転送\)](#)

カメラの電源OFF中に接続する

[電源OFF中の接続](#)

スマートフォンから位置情報を取得する

[位置情報](#)

パソコンでできること

[パソコンの推奨環境](#)

カメラとパソコンを接続/切断する

[カメラとパソコンを接続する](#)

[パソコンからカメラを取りはずす](#)

パソコンで画像を管理・編集する

[パソコン用ソフトウェアの紹介 \(Imaging Edge Desktop/Catalyst\)](#)

[パソコンに画像を取り込む](#)

[パソコンからカメラを操作する \(PCリモート機能\)](#)

[有線LANを使ってリモート撮影する \(Remote Camera Tool\)](#)

資料

[マルチインターフェースシュー対応のオーディオアクセサリについて](#)

[縦位置グリップについて](#)

マウントアダプターについて

[マウントアダプターについて](#)

[マウントアダプターLA-EA3/LA-EA5について](#)

[マウントアダプターLA-EA4について](#)

[マルチバッテリーアダプターキットについて](#)

[バッテリーの使用時間と撮影可能枚数](#)

[静止画の記録可能枚数](#)

[動画の記録可能時間](#)

[モニターに表示されるアイコン一覧](#)

[初期値一覧](#)

[主な仕様](#)

[商標について](#)

[ライセンスについて](#)

故障かな? と思ったら

[困ったときにすること](#)

[警告表示](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ヘルプガイドの使いかた

このヘルプガイドは、本機の機能や使いかたなどを説明している「Web 取扱説明書」です。ヘルプガイドで知りたい情報を探して、本機をご活用ください。

(このページのヘルプガイドの画面はイメージです。お使いの機種ヘルプガイドと異なる場合があります。)

ヒント

- 本機に付属の取扱説明書には、基本的な使いかた、および本機を使う際の注意点を記載しています。あわせてご覧ください。

知りたい情報を探す

方法 (A) : 検索する

検索キーワード (「ホワイトバランス」「フォーカスエリア」など) を入力して、検索結果から見たい説明ページを表示します。複数のキーワードをスペース (空白) で区切って入力すると、入力したすべてのキーワードを含むページを検索することができます。

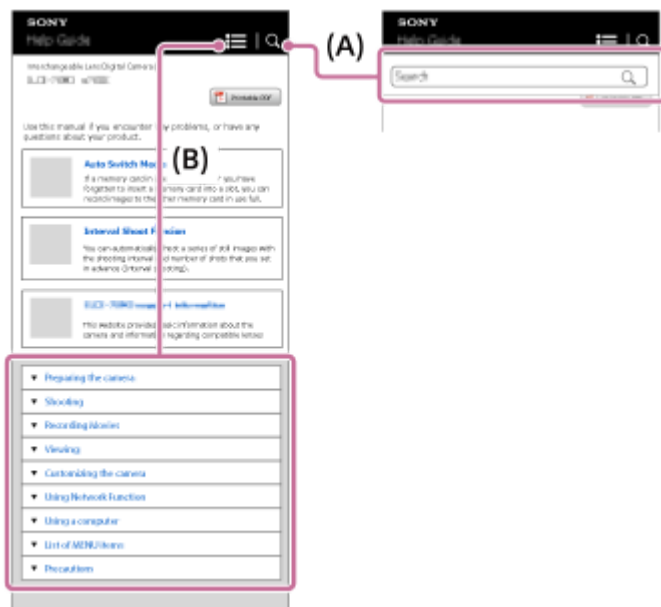
方法 (B) : 目次を見る

目次から見出しを選んで説明ページを表示します。

パソコンでの表示

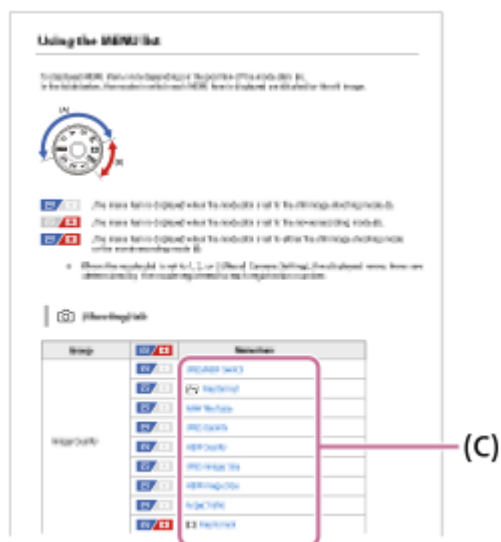


スマートフォンでの表示



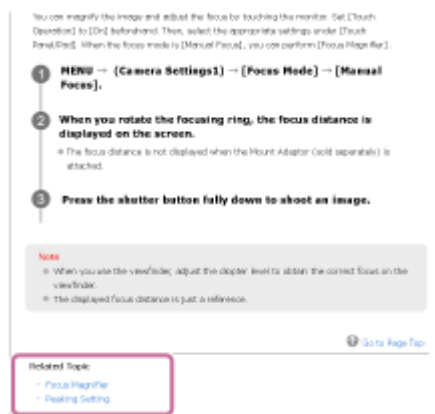
方法 (C) : メニューの一覧表から探す

カメラのメニュー画面と照らし合わせながら情報を探したいときは、「[MENU一覧から機能を探す](#)」ページを使うと便利です。一覧からメニュー項目名を選ぶと、その説明ページに直接移動することができます。



関連する機能の情報を見る

ページ下部の「関連項目」は、表示中の説明の関連情報が記載されているページです。あわせてご覧いただくと、より理解が深まります。



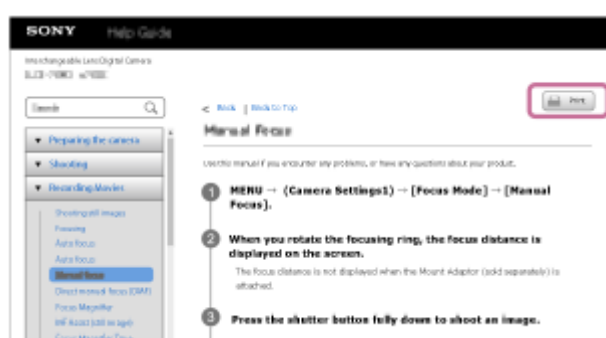
ヘルプガイド全ページを印刷する

トップページ右上の [ 印刷用PDF] ボタンから全ページを印刷できます。PDF 形式のファイルが表示されたら、ブラウザの印刷メニューで印刷してください。



表示中のページだけを印刷する（パソコンのみ）

ページ上部の [ 印刷] ボタンから表示中のページを印刷できます。印刷画面が表示されたら、プリンターを指定して印刷してください。



レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

本体と付属品を確認する

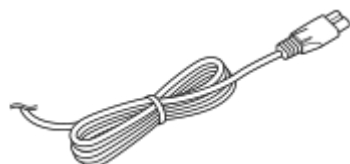
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

() 内の数字は個数です。

- カメラ (1)
- バッテリーチャージャー (1)



- 電源コード (1)



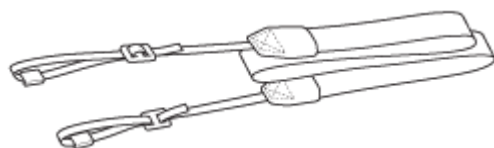
- リチャージャブルバッテリーパックNP-FZ100 (1)



- USB Type-Cケーブル (1)



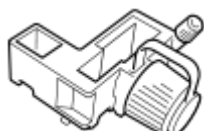
- ショルダーストラップ (1)



- ボディキャップ (1) (本機に装着)



- ケーブルプロテクター (1)



- シューキャップ (1) (本機に装着)



- アイピースカップ (1) (本機に装着)



- 取扱説明書 (1)
- 保証書 (1)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

使用できるメモリーカード

本機はCFexpress Type AメモリーカードとSDメモリーカード（UHS-I、UHS-II対応）に対応しています。microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。使用可能なメモリーカードについての最新情報は、以下のページをご確認ください。

SDカード対応表

<https://www.sony.jp/rec-media/sd/compatibility/>

CFexpressカード対応表

https://www.sony.net/dics/cfea_cmpt/

静止画撮影時

以下のメモリーカードを使用できます。

- CFexpress Type Aメモリーカード
- SD、SDHC、SDXCカード

動画撮影時

記録方式と対応メモリーカードは以下の通りです。

記録方式	最大記録ビットレート	対応メモリーカード
XAVC HS 8K	520Mbps ^{*1}	● CFexpress Type Aメモリーカード（VPG200以上） ● SDXCカード（V90以上）^{*2}
XAVC HS 4K	280Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード（VPG200以上） ● SDXCカード（V60以上）
XAVC S 4K	280Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード（VPG200以上） ● SDXCカード（V60以上）
XAVC S HD	100Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード ● SDHC、SDXCカード（U3以上）
XAVC S-I 4K	600Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード（VPG200以上） ● SDXCカード（V90以上）
XAVC S-I HD	222Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード（VPG200以上） ● SDXCカード（V90以上）

*1 本体ソフトウェアがVer.1.30未満の場合は400Mbps

*2 本体ソフトウェアがVer.1.30未満の場合はV60以上

スロー&クイックモーション撮影時

記録方式と対応メモリーカードは以下の通りです。

スローモーション撮影では、通常より記録ビットレートが高くなるため、高速で書き込めるメモリーカードが必要となる場合があります。

なお、[XAVC HS 8K] では、スロー&クイックモーション撮影はできません。

 記録方式	最大記録ビットレート	対応メモリーカード
XAVC HS 4K	500Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード (VPG200以上) ● SDXCカード (V60以上) *1
XAVC S 4K	560Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード (VPG200以上) ● SDXCカード (V60以上) *1
XAVC S HD	500Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード (VPG200以上) ● SDXCカード (V60以上) *2
XAVC S-I 4K	1200Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード (VPG200以上) ● SDXCカード (V90以上) *3
XAVC S-I HD	890Mbps	● CFexpress Type Aメモリーカード (VPG200以上) ● SDXCカード (V90以上) *4

*1 [S&Q フレームレート] が [120fps] のときはV90が必要になる場合があります。

*2 [S&Q フレームレート] が [240fps] のときはV90が必要になる場合があります。

*3 スローモーション撮影時はCFexpress Type Aメモリーカード (VPG200以上) が必要です。

*4 [S&Q フレームレート] が [240fps] のときはCFexpress Type Aメモリーカード (VPG200以上) が必要です。

ヒント

- 記録ビットレートが200Mbpsのときは、SDXCカード (U3/V30) でも記録可能です。

ご注意

- プロキシ記録時は、より高速なメモリーカードが必要になることがあります。
- CFexpress Type Bメモリーカードは使用できません。
- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。
- スロット1とスロット2の両方のメモリーカードに同時に動画を記録するときは、ファイルシステムが同じメモリーカードを両スロットに挿入してください。ファイルシステムexFATとFAT32の組み合わせで記録することはできません。

メモリーカード	ファイルシステム
CFexpress Type Aメモリーカード、SDXCメモリーカード	exFAT
SDHCメモリーカード	FAT32

- メモリーカード上の管理ファイルを修復する場合は、バッテリーを十分に充電してから実行してください。

関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)

- 静止画の記録可能枚数
- 動画の記録可能時間
- スロー&クイック設定

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

使用上のご注意

取扱説明書（付属）の「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

数値について

- 性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（25℃）下でのものです。
- バッテリーについては、充電ランプ消灯まで充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

動作温度についてのご注意

- 動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

長時間撮影および4K/8K動画撮影についてのご注意

特に4K/8K動画撮影では低温環境下において撮影時間が短くなる場合があります。バッテリーを温めるか新しいバッテリーをお使いください。

他機での動画再生に際してのご注意

XAVC HS、XAVC Sの動画は、対応機器以外では再生できません。

撮影・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機で撮影した画像や動画の他機での再生、他機で撮影/修正した画像や動画の本機での再生は保証いたしません。あらかじめご了承ください。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

メモリーカードのバックアップについて

以下の場合など、データが破壊されることがあります。データ保護のために必ずバックアップをお取りください。

- 読み込み中または書き込み中にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、本機の電源を切った場合
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

管理ファイルエラーについて

- 管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。

- 管理ファイルエラーが発生したときは、すべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- 湿度の高い場所
レンズにカビが発生することがあります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所
正しく撮影・再生ができないことがあります。

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露を起こりにくくするために本機を寒い所から急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

持ち運び時のご注意

- 次の機構を搭載している機種は、その部分を持ったり、ぶついたり、無理な力を加えないでください。
 - － レンズ部
 - － 可動式モニター部
 - － 可動式フラッシュ部
 - － 可動式ファインダー部
- 本機に三脚を取り付けたまま、持ち運ばないでください。三脚取り付け部が破損するおそれがあります。
- ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

本機の取り扱いについてのご注意

- 端子にケーブルを接続する際は、必ず端子の向きを確認してから、ケーブルをまっすぐに差ししてください。無理に抜き差しすると、端子部の破損の原因になります。
- 本機は磁石など磁気がある部品を使用しています。本機にクレジットカードやフロッピーディスクなど磁気の影響を受ける物を近づけないでください。
- 撮影する前に確認する画像は、実際の撮影結果と異なることがあります。

保管方法

- レンズ一体型カメラのとき
使用しないときは、必ずレンズキャップを付けてください。（付属品にレンズキャップのある機種のみ）
- レンズ交換式カメラのとき

使用しないときは、必ずレンズフロントキャップまたはボディキャップを付けてください。ボディキャップを付ける際には、本機内部にほこりが入るのを防ぐため、ボディキャップのほこりを落としてから付けてください。

- 使用後に汚れた場合は、本機を清掃してください。水、砂、ほこり、塩分などが本機に残っていると、故障の原因になります。

レンズについてのご注意

- 電動ズーム使用時に物や指を引き込まれないように注意してください。（電動ズーム機構搭載機種またはレンズ交換式カメラのみ）
- やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。（付属品にレンズキャップのある機種またはレンズ交換式カメラのみ）
- 太陽光や強い光源がレンズからカメラに入ると、カメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。本機の保管時はレンズキャップを取り付けて保管してください。また逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。光源を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがありますので、ご注意ください。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 被写体までの距離が短い場合、レンズに付着したごみや指紋が写り込むことがあります。柔らかい布などを使って、レンズを拭いてください。

フラッシュについてのご注意（フラッシュ搭載機種のみ）

- フラッシュ部の近くに指を置かないでください。発光部が高温になるため危険です。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。
- フラッシュ使用後は、フラッシュを元の位置に戻してください。このときフラッシュ部に浮きがないように注意してください。（可動式フラッシュ搭載機種のみ）

マルチインターフェースシューについてのご注意（マルチインターフェースシュー搭載機種のみ）

- フラッシュなどのアクセサリーを本機のマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。
- マルチインターフェースシューに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。

ファインダー、フラッシュについてのご注意（ファインダー／フラッシュ搭載機種のみ）

- ファインダー部やフラッシュ部を下げるときは、指や手を挟まないように注意してください。（可動式ファインダー/可動式フラッシュ搭載機種のみ）
- 上がったファインダー部やフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。（可動式ファインダー/可動式フラッシュ搭載機種のみ）

ファインダーについてのご注意（ファインダー搭載機種のみ）

- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。
必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。
- 接眼部を引き出した状態で無理にファインダーを押し込まないでください。故障の原因になります。（可動式ファインダー搭載機種で、さらに接眼部を引き出す構造の機種のみ）
- ファインダーをのぞきながらパンしたり、視線を上下左右に動かすと、ファインダーの画像が歪んだり、色合いが変わって見える場合があります。これはレンズや表示デバイスの特性によるもので、故障ではありません。なるべくファインダーの中央付近を見るようにして撮影してください。
- ファインダーの周辺部分の画像が少し歪んで見える場合がありますが、故障ではありません。構図の隅々まで確認して撮影したいときは、モニターも使用してください。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

モニターについてのご注意

- モニターを強く押さないでください。モニターにムラが出たり、モニターの故障の原因になります。
- モニターに水滴などがついてぬれてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置するとモニターの表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- カメラの端子にケーブルを接続していると、モニターの回転範囲が制限されることがあります。

イメージセンサーについてのご注意

低感度での撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。

画像の互換性について

本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”（DCF）に対応しています。

他社のサービス／ソフトウェアについて

本製品に搭載され、又は本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

インターネット接続時のご注意

本機のネットワークへの接続には、ルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。

FTP機能に関するご注意

FTPはコンテンツ、ユーザー名、パスワードが暗号化されないため、FTPSを使用できる場合はFTPSを使用してください。

別売りのアクセサリーについて

- ソニー純正アクセサリーの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

バッテリー/充電についてのご注意

バッテリー使用上のご注意

- 必ずソニー製純正のバッテリーをお使いください。
- 使用状況や環境によっては、残量表示は正しく表示されません。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの充電についてのご注意

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
 - 充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。
 - 本機指定外のバッテリーを充電しないでください。バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。
 - お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプ（CHARGEランプ）が速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度充電してください。
 - 周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、正常に充電できないことがあります。
 - すべての外部電源との動作を保証するものではありません。
 - 充電終了後は、チャージャーで充電している場合はチャージャーをコンセントからはずしてください。バッテリーを本体に入れて充電している場合は本体からUSBケーブルを抜いてください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
 - 充電終了直後またはそれに近い状態のバッテリーを未使用のまま、何度も充電を繰り返さないでください。バッテリーの性能に影響します。
 - 充電中に本機の充電ランプが点滅した場合はバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。再びランプが点滅した場合はバッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入されている可能性があります。指定のバッテリーかどうか確認してください。
- 指定のバッテリーを入れている場合は、バッテリーを取りはずし、新品のバッテリーなど別のバッテリーを挿入して充電が正常に行われるか確認してください。充電が正常に行われる場合は、バッテリーの異常が考えられます。

バッテリーの残量について

- モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。



A : 残量多い
B : 残量なし

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP（画面表示切換）を押して表示してください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。ポケットの中に鍵などの金属物が入っている場合は、ショートしないようにご注意ください。
- フラッシュ撮影や連続撮影、電源の入り切りなどを頻繁にしたり、モニターを明るく設定すると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

バッテリーを長持ちさせるためには、長時間使用しない場合でも、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

メモリーカードについてのご注意

- モニターに  (温度上昇警告アイコン) が表示されたときは、カメラからメモリーカードをすぐに取り出さず、しばらくカメラの電源を切るなどして時間を置いてからメモリーカードを取り出してください。熱くなっているメモリーカードを触ってしまうと、メモリーカードを落下させるなどしてメモリーカードが破損してしまうことがあります。メモリーカードを取り出すときは充分ご注意ください。
- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、本機で「フォーマット」を行ってください。
- アクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切らないでください。メモリーカードのデータが壊れることがあります。
- データ保護のため必ずバックアップをお取りください。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- SDXCメモリーカード、CFexpress Type Aメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。
対応していない機器に接続した場合、フォーマット（初期化）を促す表示が出る場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。
(exFATは、SDXCメモリーカード、CFexpress Type Aメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)
- 水にぬらさないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 以下のような場所での使用や保管は避けてください。
 - － 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
 - － 直射日光のあたる場所
 - － 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- 強い磁気のそばにメモリーカードを近づけたり、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、データが壊れることがあります。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 長時間使用した直後のメモリーカードは熱くなっています。ご注意ください。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。本機で必ずフォーマットしてください。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。メモリーカードが取り出せなくなることがあります。
- SDカードの書き込み禁止スイッチや誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると画像の記録や消去などができなくなります。この場合はロックを解除してください。
- microSDメモリーカードを本機でお使いの場合
 - － 必ず専用のアダプターに入れてお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されると、メモリーカードが取り出せなくなる可能性があります。
 - － メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分だと正常に動作しない場合があります。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

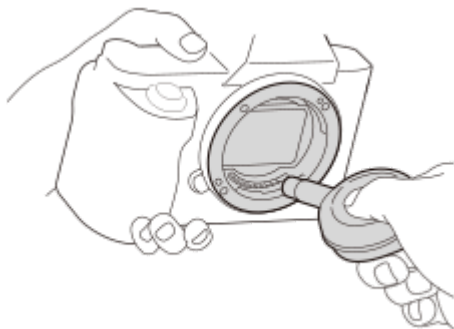
イメージセンサーをクリーニングする（センサークリーニング）

本機内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー（光を電気信号に変える部分）に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。付着した場合は、以下の手順でイメージセンサーの清掃をすみやかに行ってください。

- 1 バッテリー容量が充分にあることを確認する。
- 2 MENU → （セットアップ） → [セットアップオプション] → [アンチダスト機能] → [センサークリーニング] → [実行] を選ぶ。
イメージセンサーが短時間振動して、ゴミをふり落とします。

- 3 レンズをはずす。

- 4 市販のブロアーでイメージセンサー表面と、その周辺のほこりを吹き飛ばす。
 - ほこりが下に落ちやすいよう、本機をやや下向きにしてください。



- 5 本機の電源を切る。
- 6 レンズを取り付ける。

ヒント

- イメージセンサーの汚れ具合のチェック方法と、さらに詳しいクリーニング方法は、以下のURLをご覧ください。

<https://support.d-imaging.sony.co.jp/www/support/ilc/sensor/index.php>

ご注意

- クリーニングモードを実行する際は、カメラの電源を入れた状態でレンズの取り付け/取り外しを行ってください。
- 清掃中はカメラの電源を切らないでください。
- バッテリー残量が （残量が3個）以上であることを確認してセンサークリーニングを起動してください。
- スプレー式のブロアーは、水滴が本機内部に飛び散るので使用しないでください。

- ブロアーの先端がイメージセンサーに当たらないように、マウントより中に入れないでください。
- 適度な風量でクリーニングしてください。風量が強すぎると内部を傷めることがあります。
- この手順でクリーニングを行ってもほこりが取れない場合は、相談窓口にお問い合わせください。
- クリーニング中はイメージセンサーの振動音がしますが、故障ではありません。
- 電源を切ったときに、自動的にクリーニングが行われる場合があります。

関連項目

- [レンズを取り付ける/取りはずす](#)
- [アンチダスト機能](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

お手入れについて

レンズの清掃

- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用しないでください。
- レンズ面を清掃するときは、市販のブロアーでほこりなどを取り除いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽く拭いてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけないでください。

本体をきれいにする

レンズ信号接点などマウントの内側にある本機の内部の部品には触れないでください。マウント内側のほこりは市販のブロアー*で吹き飛ばしてください。

* スプレー式のブロアーは故障の原因となりますので使用しないでください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

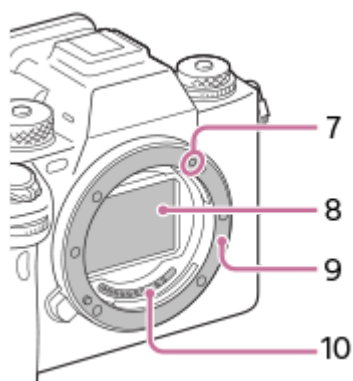
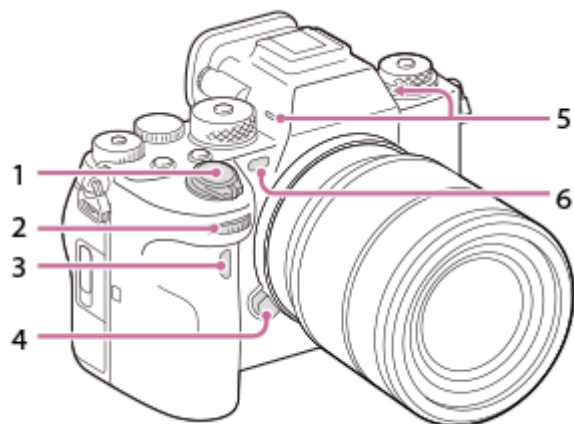
モニターをきれいにする

- ティッシュペーパーなどで強く拭くとモニターに傷がつくことがあります。
- モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

本体前面



1. ON/OFF (電源) スイッチ/シャッターボタン
2. 前ダイヤル
撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。
3. 赤外線リモコン受光部
4. レンズ取りはずしボタン
5. 内蔵マイク
動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。
6. AF補助光発光部/セルフタイマーランプ/可視光+IRセンサー
撮影時は手でふさがないようにしてください。
7. マウント標点
8. イメージセンサー*
9. マウント
10. レンズ信号接点*

* 直接手で触れないでください。

関連項目

- [本体背面](#)
- [本体上面](#)

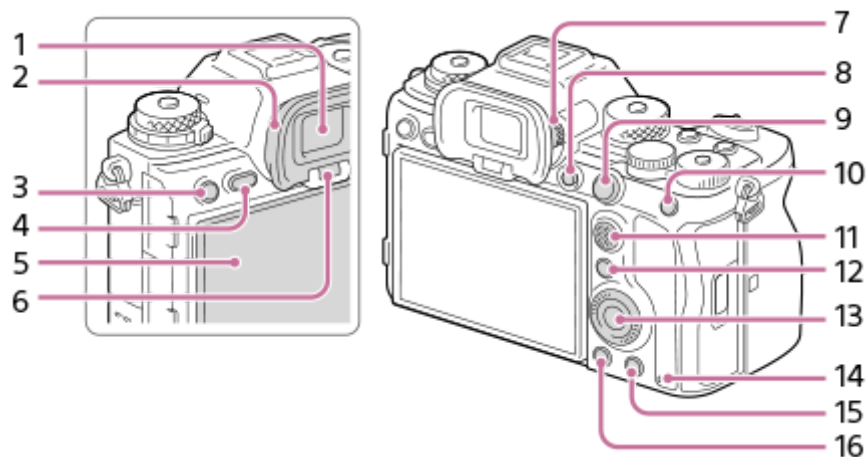
- 本体側面
- 本体底面

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

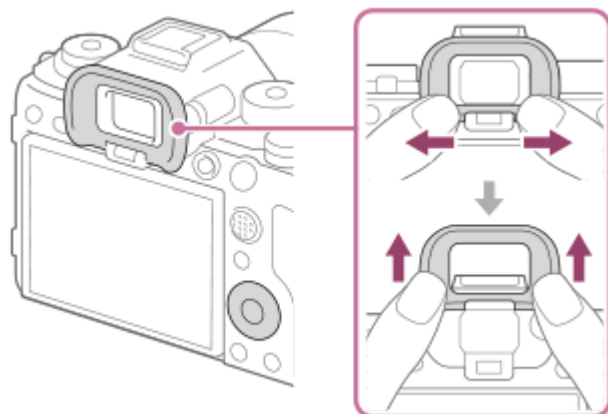
本体背面



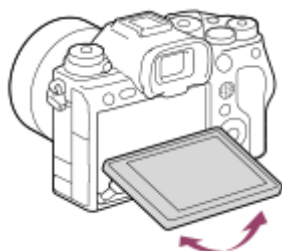
1. ファインダー
2. アイピースカップ

取りはずしかた

アイピースカップ下部のつめを左右に開いて、上に引き上げます。

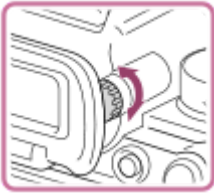


3. 撮影時：C3ボタン（カスタムボタン3）
再生時：（プロテクト）ボタン
4. MENU（メニュー）ボタン
5. モニター（タッチ操作時：タッチパネル/タッチパッド）
モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。



6. アイセンサー
7. 視度調整ダイヤル

ファインダー内の画面表示がはっきり見えるように、ご自身の視度に合わせて調整してください。視度調整ダイヤルが回しにくいときは、アイピースカップをはずしてから操作してください。



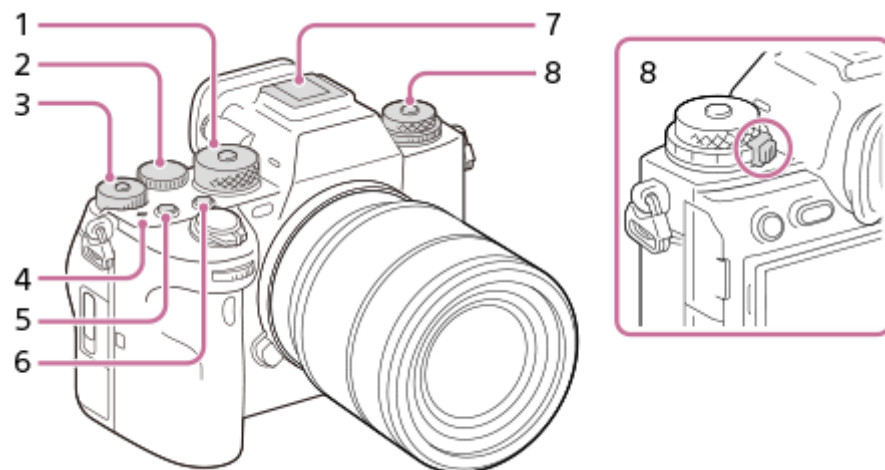
- 8. MOVIE（動画）ボタン
- 9. 撮影時：AF-ON（AFオン）ボタン
再生時：⊕（拡大）ボタン
- 10. 撮影時：AELボタン
お買い上げ時は「押す間AEL」が割り当てられています。
再生時：🏠（一覧表示）ボタン
- 11. マルチセレクター
- 12. 撮影時：Fn（ファンクション）ボタン
再生時：📱（スマートフォン転送）ボタン
このボタンを押すとスマートフォン転送画面になります。
- 13. コントロールホイール
- 14. アクセスランプ
- 15. 撮影時：C4ボタン（カスタムボタン4）
再生時：🗑️（削除）ボタン
- 16. ▶️（再生）ボタン

関連項目

- [本体前面](#)
- [本体上面](#)
- [本体側面](#)
- [本体底面](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

本体上面



1. モードダイヤル

中央のロック解除ボタンを押している間、モードダイヤルのロックが解除されます。

2. 後ダイヤル

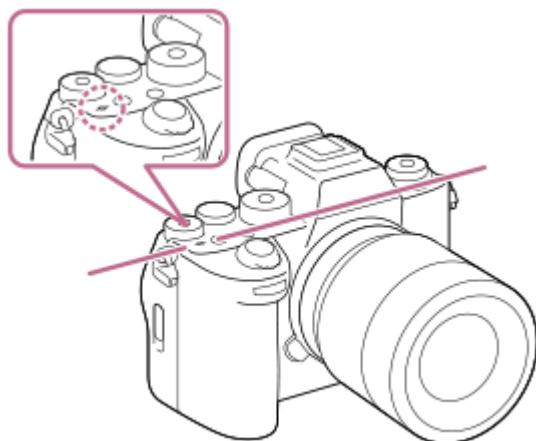
撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。

3. 露出補正ダイヤル

中央のロックボタンを押すたびに、露出補正ダイヤルのロック/ロック解除が切り替わります。ロックボタンが上がって白い線が見えているときにロック解除状態です。

4. イメージセンサー位置表示

- イメージセンサーとは、光を電気信号に変えるためのセンサーです。センサー面の位置は  (イメージセンサー位置表示) で示されています。被写体までの距離を正確に測るには、この線の位置を参考にしてください。



- レンズの最短撮影距離よりも近いものにはピントが合いません。撮りたいものに近づきすぎているか、確認してください。

5. C1ボタン (カスタムボタン1)

6. C2ボタン (カスタムボタン2)

7. マルチインターフェースシュー*

一部のアクセサリーでは接続時にマルチインターフェースシュー後方からはみ出る場合がありますが、先端まで入っていただければ取り付けてきています。

8. 上段：ドライブモードダイヤル

中央のロック解除ボタンを押している間、ドライブモードダイヤルのロックが解除されます。

下段：フォーカスモードダイヤル

ダイヤル後方のロック解除ボタンを押している間、フォーカスモードダイヤルのロックが解除されます。

* マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/r/ichigan/connect/>
アクセサリーシュー対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。



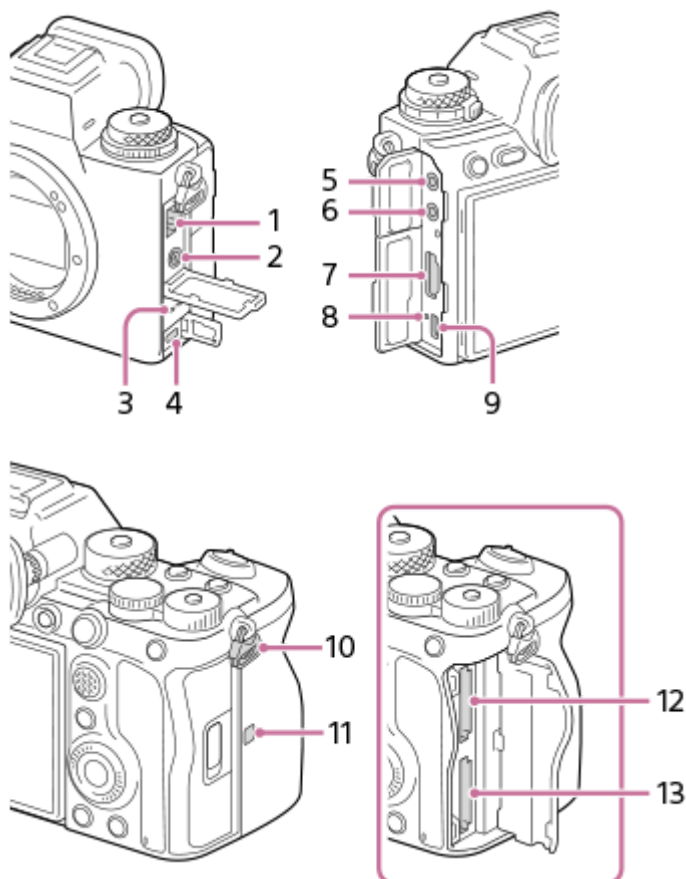
関連項目

- [本体前面](#)
- [本体背面](#)
- [本体側面](#)
- [本体底面](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

本体側面



1. LAN端子

2. ⚡ (シンクロ) ターミナル

3. スピーカー

4. マルチ/マイクロUSB端子*

この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

5. 🎤 (マイク) 端子

外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

6. 🎧 (ヘッドホン) 端子

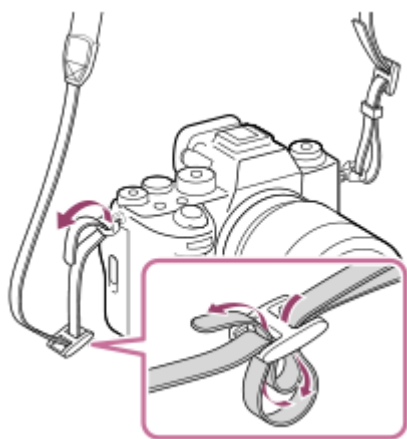
7. HDMIタイプA端子

8. 充電ランプ

9. USB Type-C端子

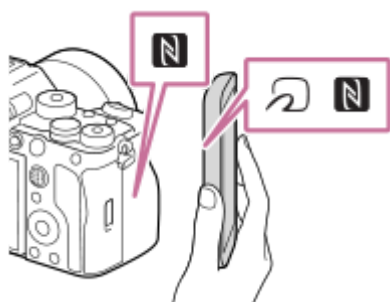
10. ショルダーストラップ取り付け部

ストラップの両方の先端をそれぞれ取り付けます。



11. **N** (Nマーク)

- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を接続するときにタッチします。
一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。



- NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

12. SLOT 1 (メモリーカードスロット1)

13. SLOT 2 (メモリーカードスロット2)

* マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリについては、専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/r/ichigan/connect/>

USB端子について

USB通信は、USB Type-C端子でもマルチ/マイクロUSB端子でも可能ですが、両方の端子で同時に通信することはできません。給電、バッテリーの充電にはUSB Type-C端子をお使いください。マルチ/マイクロUSB端子からは充電や給電はできません。

- USB Type-C端子での給電中またはPCリモート撮影中でも、リモートコマンダー（別売）などのマルチ/マイクロUSB端子アクセサリは使用できます。

端子カバーについて

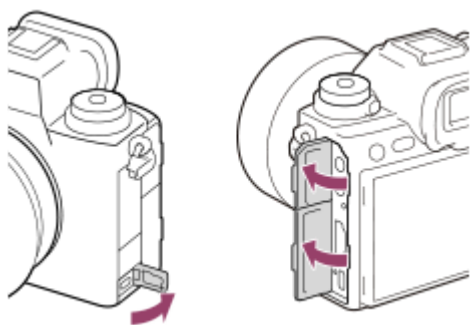
お使いになる際には、端子カバーが閉められていることをご確認ください。

ケーブルプロテクターについて

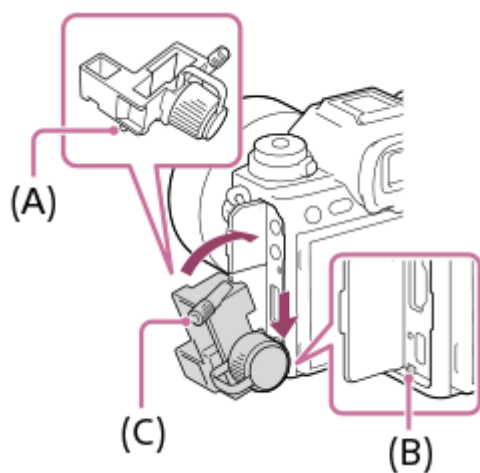
本機にケーブルを接続して撮影するときに、ケーブルの抜け防止のために使用します。

取り付けかた

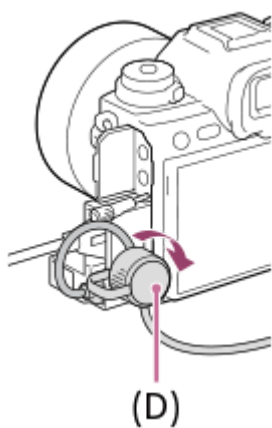
1. ヘッドホン端子のカバー、HDMI端子のカバー、マルチ/マイクロUSB端子のカバーを開ける。



2. ケーブルプロテクターのツメ (A) をUSB Type-C端子の下の溝 (B) に引っ掛け、はずれないように下方向に押し付けながら、本機の端子面にかぶせるように取り付ける。
3. 取り付けスクリュー (C) を押しながら回し、ケーブルプロテクターを固定する。



4. ケーブルを端子に差し込む。
5. ケーブル固定部にケーブルを挟み、ダイヤル (D) で固定する。



取りはずしかた

取り付けスクリューを緩めて、ケーブルプロテクターを取りはずします。

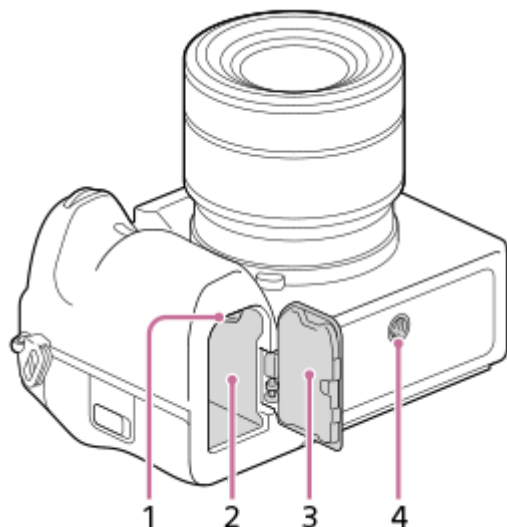
関連項目

- [本体前面](#)
- [本体背面](#)
- [本体上面](#)
- [本体底面](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

本体底面

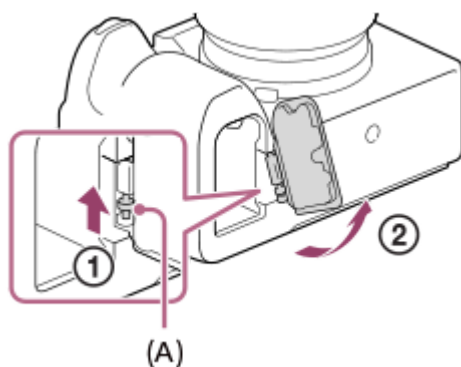


1. ロックレバー
2. バッテリー挿入口
3. バッテリーカバー

縦位置グリップ（別売）などのアクセサリーを取り付けるときは、バッテリーカバーを取りはずしてください。

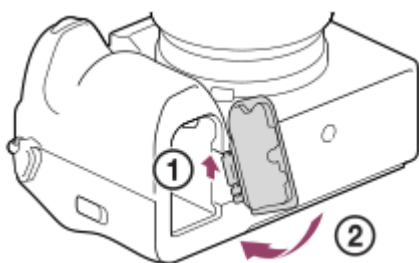
取りはずしかた

バッテリーカバー取りはずしレバー（A）を矢印の方向に動かして、バッテリーカバーを取りはずす。



取り付けかた

バッテリーカバーの軸を取り付け部の穴に差し込んでから、バッテリーカバーを押し込むようにしてもう一方の軸を取り付ける。



4. 三脚用ネジ穴

1/4-20 UNCのネジに対応

三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使います。ネジの長さが5.5mm以上の場合、本機を三脚にしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

関連項目

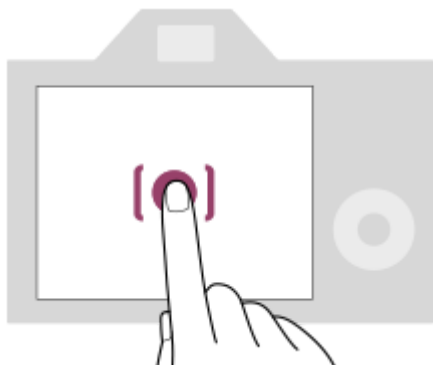
- [本体前面](#)
- [本体背面](#)
- [本体上面](#)
- [本体側面](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

タッチパネルの操作

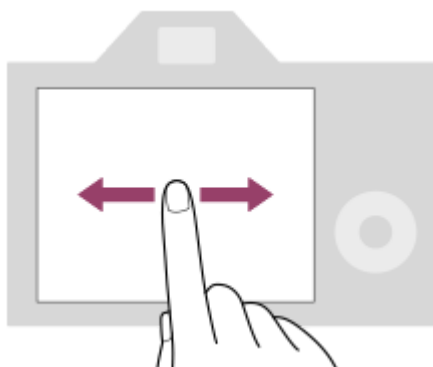
モニターはタッチパネルになっています。指でモニターに触れるタッチ操作で、撮影時のピント合わせや再生画面の操作などを直感的に行うことができます。

撮影画面でのタッチ操作

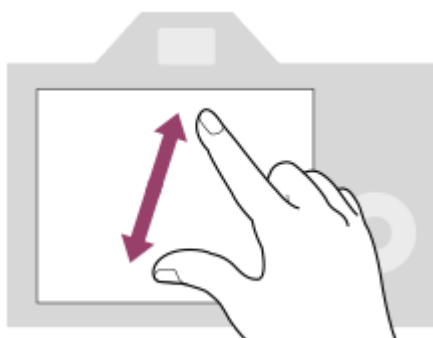


ピントを合わせる位置を画面でタッチして指定します（タッチフォーカス）。
被写体を追尾するトラッキング機能を使うときは、追尾する被写体をタッチします（タッチトラッキング）。

再生画面でのタッチ操作



画像の1枚再生中に画面を左右にスワイプして、前後の画像に移動します。



画面上で2本の指を開いたり閉じたりする操作（ピンチアウト/ピンチイン）で、1枚再生中の画像を拡大/縮小できます。

- 再生画像の拡大表示および解除はダブルタップでも行えます。
- 動画の再生時は、再生開始/一時停止などをタッチ操作で行うことができます。

関連項目

- [タッチ操作](#)
- [タッチ感度](#)
- [タッチパネル/タッチパッド](#)
- [タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）](#)
- [タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）](#)

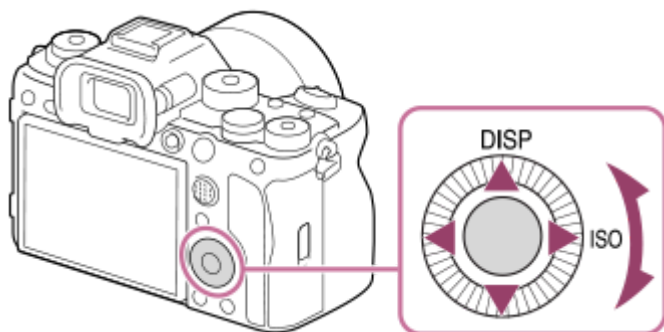
5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

コントロールホイールを使う

メニュー画面やFnボタンを押して表示される画面で、コントロールホイールを回したり上下左右を押したりして、選択枠を動かします。選んだ項目はコントロールホイールの中央を押して決定します。



- コントロールホイールの上/右ボタンにはDISP（画面表示切換）、ISO（ ISO感度）が割り当てられています。また、コントロールホイールの左/右/下ボタン、中央、回転操作にはお好みの機能を割り当てることができます。
- 再生時にコントロールホイールの左/右ボタンを押す、またはコントロールホイールを回すことで再生画面を送ることができます。

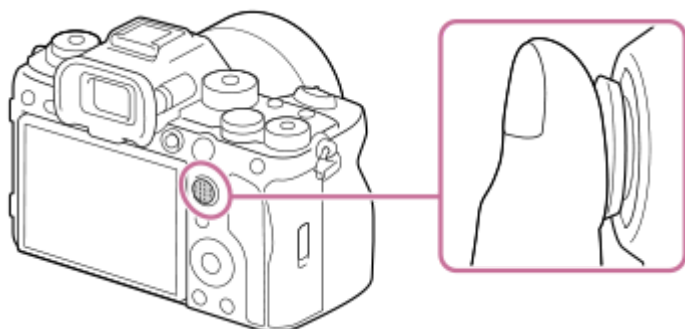
関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)
- [一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

マルチセレクトターを使う

マルチセレクトターを上下左右に押して、フォーカスエリアを移動します。また、マルチセレクトターを押し込む操作に機能を割り当てることができます。



- マルチセレクトターの上面に指を乗せて使用すると、より確実に操作できます。
- フォーカスエリアを移動できるのは、[ フォーカスエリア] の設定が以下のときです。
 - [ゾーン]
 - [スポット: S] / [スポット: M] / [スポット: L]
 - [拡張スポット]
 - [トラッキング:ゾーン]
 - [トラッキング:スポット S] / [トラッキング:スポット M] / [トラッキング:スポット L]
 - [トラッキング:拡張スポット]
- お買い上げ時の設定では、マルチセレクトターの中央には [フォーカススタンダード] 機能が割り当てられています。

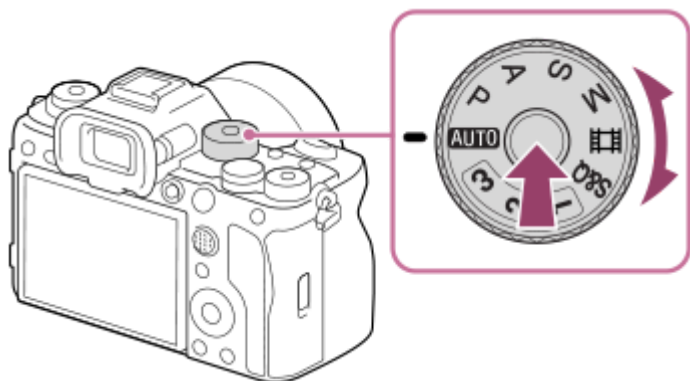
関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ \(フォーカスエリア\)](#)
- [フォーカススタンダード](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

モードダイヤルを使う

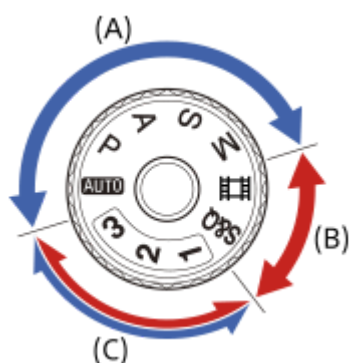
被写体や撮影の目的に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを選びます。



- モードダイヤル中央のモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを回してください。

撮影モードの詳細

モードダイヤル上の各モードは、静止画撮影モード、動画撮影モード、登録呼び出しモードに分けられます。



- (A) 静止画撮影モード
(B) 動画撮影モード
(C) 登録呼び出しモード

ヒント

- モードダイヤルの設定によって、表示されるメニュー項目が異なります。

(A) 静止画撮影モード

選んだ撮影モードによって、絞り（F値）とシャッタースピードをどのように調整するかが決まります。

モードダイヤル	撮影モード	説明
AUTO (オート)	おまかせオート	カメラまかせでシーンを認識して撮影する。

モードダイヤル	撮影モード	説明
P	プログラムオート	露出（シャッタースピードと絞り）はカメラが自動設定する。[ ISO感度] などの撮影設定は自分で調整できる。
A	絞り優先	絞り値を優先して設定し、シャッタースピードは自動で調整される。背景をぼかしたいときや画面全体にピントを合わせたいときに選ぶ。
S	シャッタースピード優先	シャッタースピードを優先して設定し、絞り値は自動で調整される。動きの速い被写体をブレずに撮影したいときや、水や光の軌跡を撮影したいときに選ぶ。
M	マニュアル露出	絞り値とシャッタースピードの両方を手動で調節する。自分の好みの露出で撮影できる。

(B) 動画撮影モード

モードダイヤル	撮影モード	説明
 (動画)	動画	動画撮影時の露出モードを設定できる。
S&Q	スロー&クイックモーション	スロー&クイックモーション撮影時の露出モードを設定できる。

動画撮影モードでの露出の設定方法は、MENU →  (撮影) → [撮影モード] → [露出制御方式] の設定により異なります。

【露出制御方式】が【P/A/S/Mモード】のとき：

MENU →  (撮影) → [撮影モード] → [露出モード] または [**S&Q** 露出モード] → P/A/S/M から希望の露出モードを選ぶ。

【露出制御方式】が【フレキシブル露出モード】のとき：

絞り値とシャッタースピード、ISO感度のそれぞれについて、以下の機能を割り当てたカスタムボタンを使って、自動設定/手動設定を切り換えることができる。

- 絞り値
[オート/マニュアル切換設定] → [Avオート/マニュアル切換]
- シャッタースピード
[オート/マニュアル切換設定] → [Tvオート/マニュアル切換]
- ISO感度
[オート/マニュアル切換設定] → [ISOオート/マニュアル切換]

手動設定を選んだ場合は、前/後ダイヤルやコントロールホイールを回して、希望の値を設定する。

(C) 登録呼び出しモード

モードダイヤル	撮影モード	説明
1 / 2 / 3	MR 撮影設定呼び出し	あらかじめ登録*しておいた、よく使うモードや数値の設定を呼び出して撮影できる。 * [MR 撮影設定登録] で、露出モード (P/A/S/M) や絞り (F値)、シャッタースピードのほか、さまざまな撮影設定を登録することができます。

関連項目

- [おまかせオート](#)
- [プログラムオート](#)

- 絞り優先
- シャッタースピード優先
- マニュアル露出
- 露出制御方式
- 動画：露出モード
- スロー&クイックモーション：露出モード
- 撮影設定呼び出し
- 撮影設定登録
- MENUボタンを使う

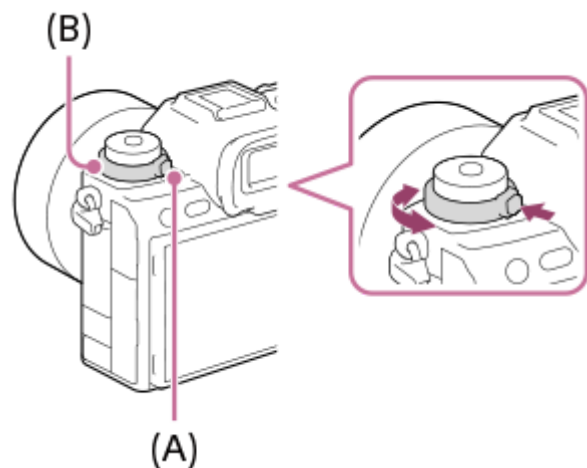
5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

フォーカスモードダイヤルを使う

フォーカスモードダイヤルを使って、被写体やシーンに合わせてフォーカスモードを変更できます。



フォーカスモードダイヤルロック解除ボタン **(A)** を押しながらフォーカスモードダイヤル **(B)** を回して、希望の設定を選んでください。

関連項目

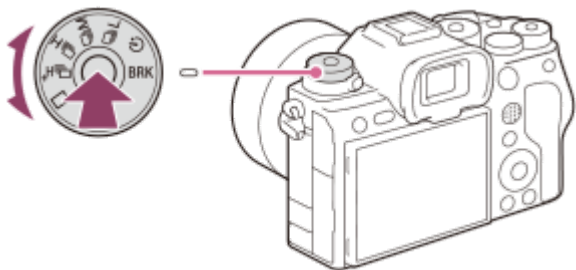
- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ドライブモードダイヤルを使う

ドライブモードダイヤルを使って、被写体やシーンに合わせてドライブモードを変更できます。



中央のドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながらドライブモードダイヤルを回して、希望の設定を選んでください。

ヒント

- 電子シャッター使用の場合は、MENU→（撮影）→ [ドライブモード] → [連続撮影の速度] で好みの連写速度を選ぶことができます。

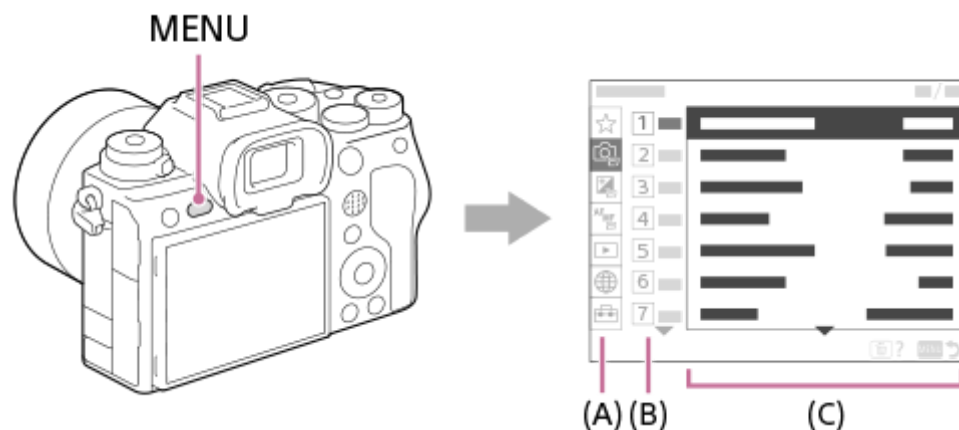
関連項目

- [ドライブモード](#)
- [連続撮影の速度](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

MENUボタンを使う

MENUボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。撮影や再生をはじめ、カメラ全体に関する設定を変更したり、機能を実行したりすることができます。



(A) メニュータブ

撮影、再生、ネットワークなど、カメラの使用シーンで分類しています。

(B) メニューグループ

各タブの中で、メニュー項目を機能によりグループ分けしています。

グループに振られている番号はタブ内における通し番号です。使用中のグループの位置を把握するために参照してください。

(C) メニュー項目

設定したり実行したりする機能を選びます。

ヒント

- 選択中のタブ名やグループ名が、画面上部に表示されます。
- [タッチ操作] を [入] にしていると、メニュー画面でのタッチ操作が可能です。

メニュー画面の基本操作

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を表示させる。
2. コントロールホイールの上/下/左/右を押してメニュー階層を移動しながら、希望のメニュー項目を探す。
 - 静止画撮影時と動画撮影時で、表示されるメニューの内容が異なります。



(A)

(B)

(C)

- (A) メニュータブ
- (B) メニューグループ
- (C) メニュー項目

3. コントロールホイールの中央を押してメニュー項目を選ぶ。
選んだメニュー項目の設定画面または実行画面が開く。

4. 設定値を選択する、または機能を実行する。

- 設定を変更せずに前の画面に戻るには、MENUボタンを押してください。

5. MENUボタンを押してメニュー画面を閉じる。
撮影画面や再生画面に戻る。

ヒント

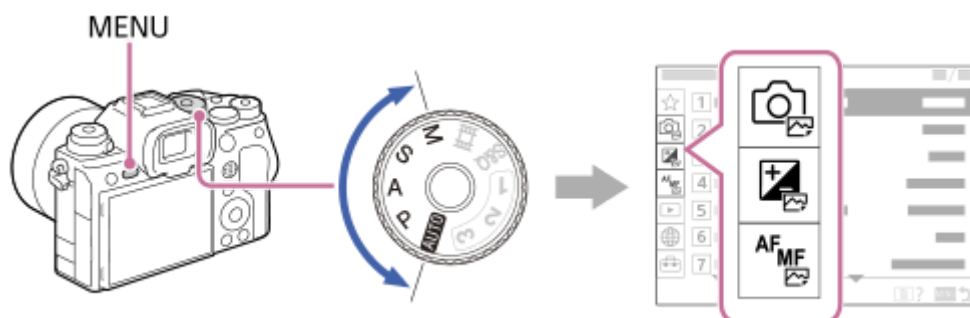
- [📷 カスタムキー設定] または [📺 カスタムキー設定] で好みのキーに [MENU] 機能を割り当てておくと、割り当てたキーを押すことでもメニュー画面を表示できます。

モードダイヤルとメニュー画面の関係

モードダイヤルの設定によって、[撮影] [露出/色] [フォーカス] タブは表示されるメニューグループ、メニュー項目が異なります。

静止画撮影モード (AUTO/P/A/S/M)

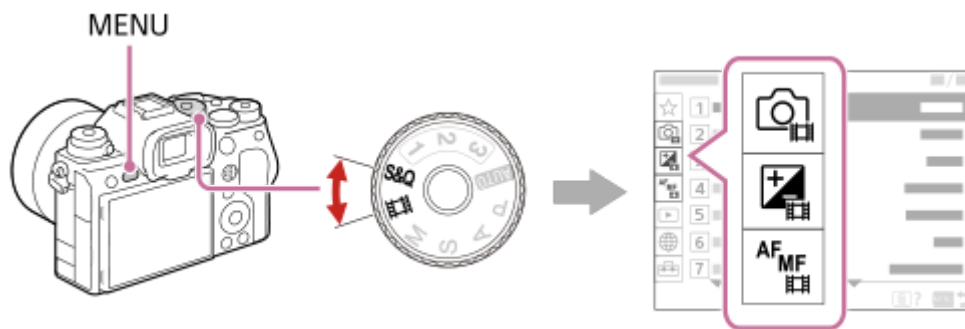
- 静止画撮影用のメニューが表示されます。*



* 静止画撮影モードでもMOVIE（動画）ボタンでの動画撮影が可能のため、一部の基本的な動画メニューも表示されます。

動画撮影モード (📺 /S&Q)

- 動画撮影用のメニューが表示されます。



ヘルプガイド内で使用するアイコンについて

-   : 静止画撮影モード（AUTO/P/A/S/M）のときに表示されるメニュー項目
-   : 動画撮影モード（動画/S&Q）のときに表示されるメニュー項目
-   : 静止画撮影モード/動画撮影モードどちらでも表示されるメニュー項目

関連項目

- [項目の追加](#)
- [マイメニューから表示](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)
- [モードダイヤルを使う](#)

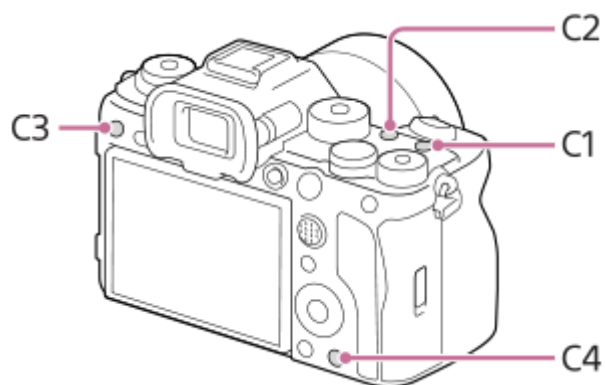
レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

C (カスタム) ボタンを使う

あらかじめカスタムボタン (C1～C4) によく使う機能を設定しておく、撮影時や再生時にボタンを押すだけですばやくその機能を呼び出すことができます。

お買い上げ時の設定では、カスタムボタンにはおすすめの機能が割り当てられています。



カスタムボタンの機能を確認/変更するには

MENU →  (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [ カスタムキー設定]、[ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] で現在割り当てられている機能名を確認できます。

カスタムボタンの機能を変更したい場合は、ボタンを選んだ状態でコントロールホイールの中央を押します。そのボタンに割り当て可能な機能が表示されるので、お好みの機能を選んでください。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)

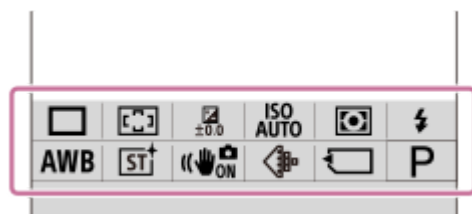
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Fn（ファンクション）ボタンを使う

撮影時にFn（ファンクション）ボタンを押すと、フォーカスエリアやホワイトバランスなどよく使う機能を集めたメニュー（ファンクションメニュー）が画面に表示され、すばやく機能を呼び出すことができます。

ファンクションメニューの例

カメラの状態により表示される内容は異なります。

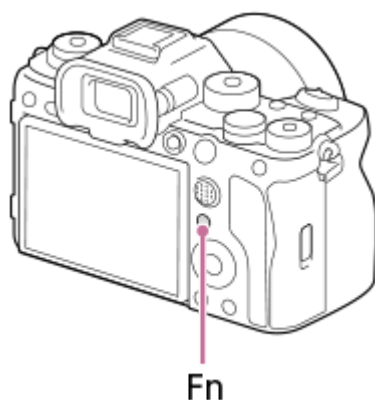


ヒント

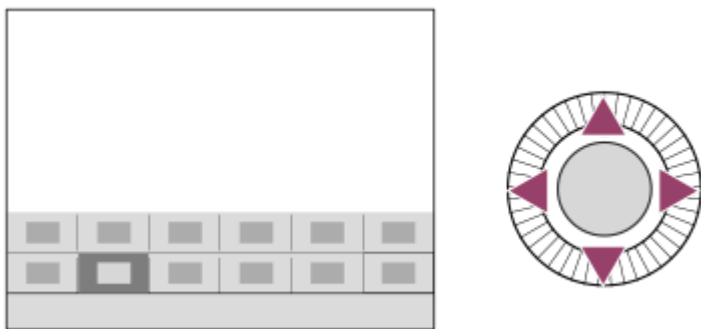
- MENU → （セットアップ）→ [操作カスタマイズ] → [Fnメニュー設定] で、お好みの機能をファンクションメニューに登録できます。静止画撮影時の機能と動画撮影時の機能をそれぞれ12個ずつ別々に登録することができます。
- [タッチ操作] を [入] にしていると、メニュー画面でのタッチ操作が可能です。
- [タッチ操作] が [入] のときは、ファンクションメニュー中のアイコンを長押しすることでも [Fnメニュー設定] を開くことができます。

① コントロールホイールのDISPボタンを押して [ファインダー撮影用] 画面以外にする。

② Fn（ファンクション）ボタンを押す。



③ コントロールホイールの上/下/左/右を押して、設定する機能を選ぶ。



4 前ダイヤルを回して希望の設定を選び、コントロールホイールの中央を押す。

- 一部の機能は、後ダイヤルを回して微調整値の設定もできます。

【ファインダー撮影用】表示でFnボタンを使う

モニター表示が【ファインダー撮影用】のときにFnボタンを押すと、変更したい項目をダイレクトに操作できるようになります。

オートモード時



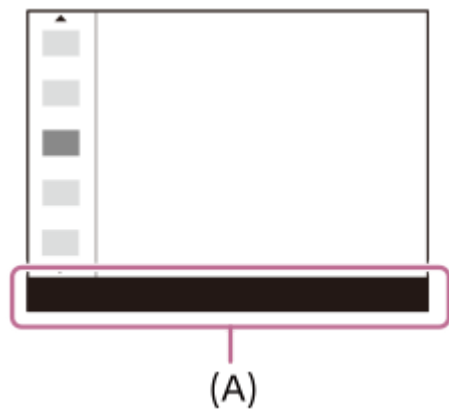
P/A/S/M時



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

専用画面で設定するには

設定する機能のアイコンを選んでコントロールホイールの中央を押すと、その項目設定の専用画面になります。操作ガイド **(A)** に従って設定してください。



ご注意

- [ファインダー撮影用] の画面でグレーになっている項目は、Fnボタンを押しても変更できません。
- [ファインダー撮影用] の画面では、[ クリエイティブルック] や [ ピクチャープロファイル] など、専用画面に入らないと操作できない設定もあります。

関連項目

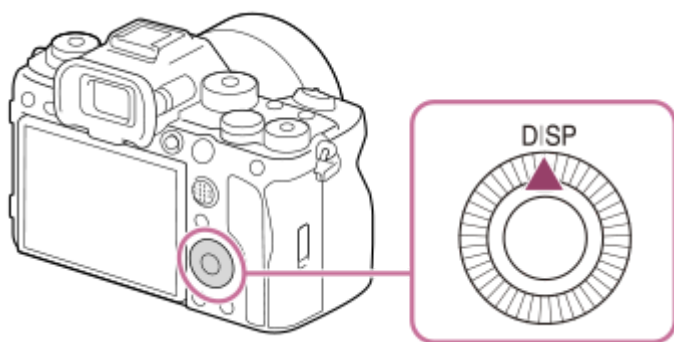
- [Fnメニュー設定](#)
- [DISP（画面表示切換）ボタンを使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

DISP（画面表示切換）ボタンを使う

DISP（画面表示切換）ボタンを押すと、撮影時や再生時の画面に表示される内容を切り換えることができます。DISP ボタンを押すたびに、表示が切り替わります。撮影時のファインダー表示とモニター表示はそれぞれ独立して設定できます。

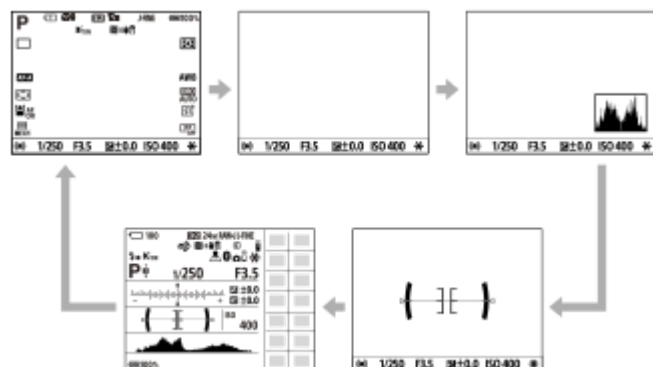


ヒント

- DISP ボタンでモニターを消灯することもできます。MENU → （セットアップ）→ [操作カスタマイズ] → [DISP(画面表示)設定] → [背面モニター] で、[モニター消灯] にチェックを入れてください。

撮影時（モニター）

全情報表示 → 情報表示 なし → ヒストグラム → 水準器 → ファインダー撮影用 → 全情報表示



撮影時（ファインダー）

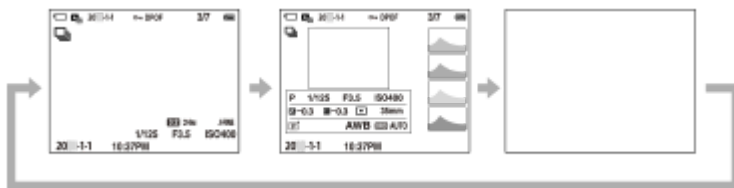
水準器 → 情報表示 なし → ヒストグラム → 水準器



- ファインダー表示を変更する場合には、ファインダーをのぞきながらDISP ボタンを押してください。

再生時（モニター/ファインダー）

情報表示あり→ヒストグラム→情報表示 なし→情報表示あり



- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します（白とび黒つぶれ警告）。
- 再生時の設定は、[ オートレビュー] でも反映されます。

ご注意

- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。
- お買い上げ時の設定では、以下は表示されていません。
 - モニター消灯
 - 全情報表示（ファインダー使用時）
- 動画撮影時は、[ファインダー撮影用]が表示できません。モニターの表示が[ファインダー撮影用]の場合、動画撮影を開始すると全情報表示に切り替わります。

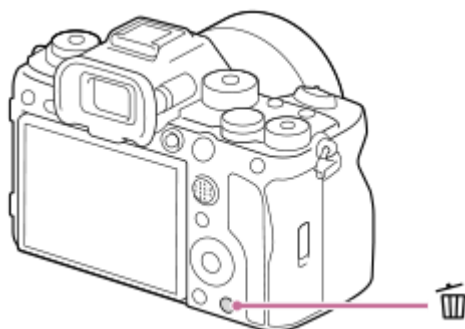
関連項目

- [DISP\(画面表示\)設定（背面モニター/ファインダー）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

削除ボタンを使う

削除したい画像を表示中に  (削除) ボタンを押すと、表示中の画像を削除することができます。



-  (削除) ボタンを押して確認のメッセージが出たら、コントロールホイールで [削除] を選び、中央を押します。
- 複数の画像を選んで一括で削除することもできます。MENU →  (再生) → [削除] → [削除] を選び、削除したい画像を選びます。

ヒント

- MENU →  (再生) → [削除] → [ 2度押しで削除] を [有効] に設定しておくと、 (削除) ボタンを続けて2度押すことで画像を削除できます。
-  (削除) ボタンは、1枚再生画面以外では以下の使いかたもできます。
 - カスタムキー
 - カメラ内ガイド表示

関連項目

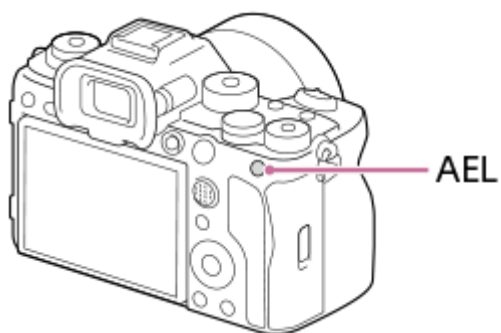
- [不要な画像を選んで削除する \(削除\)](#)
- [削除確認画面](#)
- [2度押しで削除](#)
- [C \(カスタム\) ボタンを使う](#)
- [カメラ内ガイド](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

AELボタンを使う

カメラを被写体に向けてシャッターボタンを半押ししても被写体が適正な明るさにならない場合は、お好みの明るさになる場所でAELボタンを押して測光し、露出を固定することができます（AEロック機能）。露出を固定した状態で被写体にピントを合わせなおして撮影します。



ヒント

- お買い上げ時、AELボタンには「押す間AEL」が割り当てられています。

関連項目

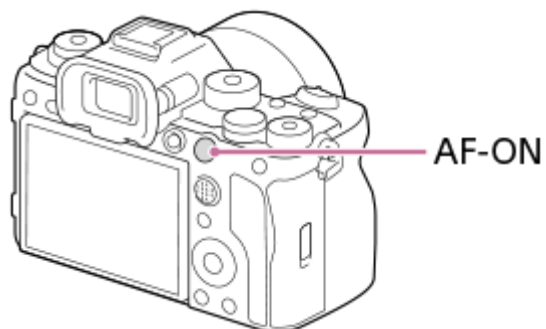
- [AEロック](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

AF-ONボタンを使う

あらかじめピント位置を決めておく場合（置きピン）や、ピント合わせとシャッターレリーズを別々に行いたいときなど、AF-ONボタンを使えばシャッターボタンを半押しせずにピント合わせを行うことができます（AFオン機能）。



関連項目

- [AFオン](#)

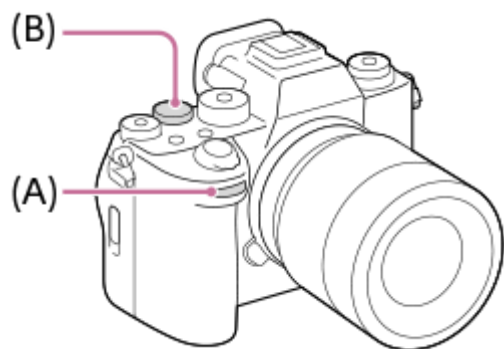
レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

前ダイヤル・後ダイヤルを使う

絞り値やシャッタースピードを調整したり、撮影しながらカメラの設定を変更したいときに、前ダイヤル **(A)** /後ダイヤル **(B)** を使って設定値をすばやく変更できます。

再生時にはダイヤルを回して画像送りを行うことができます。



「マイダイヤル設定」機能で、それぞれのダイヤルにお好みの機能を登録しておき、必要なときにその機能呼び出して使うこともできます。

関連項目

- [絞り優先](#)
- [シャッタースピード優先](#)
- [マニュアル露出](#)
- [露出制御方式](#)
- [一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)
- [Mモード時のAv/Tv](#)
- [Av/Tvの回転方向](#)
- [画像送りダイヤル選択](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

キーボード画面を使う

文字入力が必要な機能では、キーボード画面を使用します。キーボード画面を使用する機能の例は、このページの最後に記載している「関連項目」でご確認ください。



1. 入力ボックス
入力した文字が表示されます。
2. 文字種切り換え
押すたびに、アルファベット/数字/記号に切り換えられます。
3. キーボード
押すたびに、表示されている文字が順番に表示されます。アルファベットを大文字に変えたいときは **↑**（上矢印）を押します。
4. **←**（左矢印）
入力ボックス内のカーソルを左に移動します。
5. **→**（右矢印）
入力ボックス内のカーソルを右に移動します。また、編集集中の文字を確定させて次の文字に進みます。
6. **✕**（削除）
カーソルの直前の文字を削除します。
7. **↑**（上矢印）
アルファベットの大文字/小文字を切り換えます。
8. **␣**（スペース）
空白をあけます。
9. OK
入力が終わったら最後に押して、内容を確定させます。

ここではアルファベットを入力する手順を説明します。

- ① **コントロールホイールでカーソルを希望のキーに移動させる。**
 - コントロールホイールの中央を押すたびに文字が切り替わります。
 - 大文字に切り替えるには **↑**（上矢印）を押します。
- ② **入力したい文字が表示されたら **→**（右矢印）を押して確定する。**
 - 1文字ずつ確定してください。確定しないと次の文字は入力できません。
 - **→**（右矢印）を押さずにそのまま数秒待っても自動的に確定されます。
- ③ **すべての文字の入力が終わったら「OK」を押して入力内容を決定する。**
 - 途中で入力をやめる場合は、[キャンセル]を選択してください。

関連項目

- [著作権情報](#)
- [アクセスポイント手動登録](#)
- [有線LAN](#)
- [機器名称変更](#)
- [セキュリティ\(IPsec\)](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

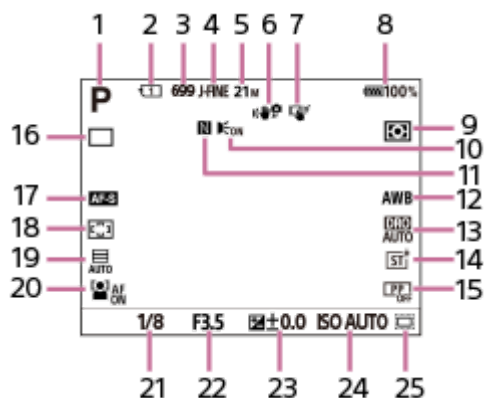
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

基本的なアイコン

撮影モードが **P**（プログラムオート）のときの画面表示について説明します。

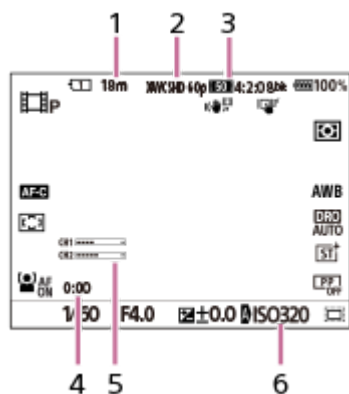
- 画面が全情報表示モードのときの表示例です。
- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。また、カメラの設定状態によっては、表示されないアイコンもあります。

静止画撮影時



1. モードダイヤルが **P**（プログラムオート）に設定されている。
2. 撮影データを記録するスロットの番号
3. 2.で表示されているスロット内のメモリーカードに記録できる、静止画の枚数
4. [JPEG/HEIF切替] が [JPEG] に設定されている。[画質/画像サイズ設定] → [JPEG画質] が [ファイン] に設定されている。
5. [画質/画像サイズ設定] → [JPEG画像サイズ] が [M: 21M] に設定されている。
6. [手ブレ補正] が [入] に設定されている。
7. [撮影時のタッチ機能] が [タッチトラッキング] に設定されている。
8. バッテリー残量
9. [測光モード] が [マルチ] に設定されている。
10. [AF補助光] が [オート] に設定されていて、カメラがAF補助光を必要と判断したときに表示される。
11. NFC機能を使用できる。[スマートフォン接続] が [入] に設定されている。
12. [ホワイトバランス] が [オート] に設定されている。
13. [Dレンジ最適化: オート] が選択されている。
14. [クリエイティブルック] が [ST] に設定されている。
15. [ピクチャプロフィール] が [切] に設定されている。
16. ドライブモードが [1枚撮影] に設定されている。
17. フォーカスモードがAF-S（シングルAF）に設定されている。
18. [フォーカスエリア] が [ワイド] に設定されている
19. [シャッター方式] が [オート] に設定されている。
20. [AF時の顔/瞳優先] が [入] に設定されている。
21. シャッタースピード
22. 絞り値
23. 露出補正值
24. [ISO感度] が [ISO AUTO] に設定されている。
25. [APS-C撮影] が [入] または [オート] に設定されていて、記録範囲がAPS-Cサイズ相当になる。

動画撮影時



1. 表示されたスロットの記録可能時間
2. [記録方式] が [XAVC S HD] に設定されている。
3. [動画設定] が [60p 50M 4:2:0 8bit] に設定されている。
4. 動画の撮影実時間
5. [音声レベル表示] が [入] に設定されている。
6. [ISO感度] が [ISO AUTO] に設定されている。（カメラが自動で設定したISO値が表示される。）

関連項目

- [モニターに表示されるアイコン一覧](#)

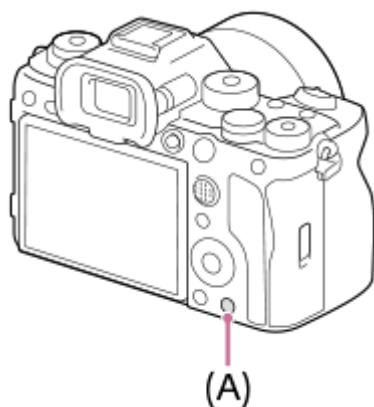
レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

カメラ内ガイド

選択中のメニュー、Fn（ファンクション）の機能、設定に関する説明をカメラの画面に表示します。

- 1 説明を見たいメニューやFnの項目を選択し、（削除）ボタン（A）を押す。



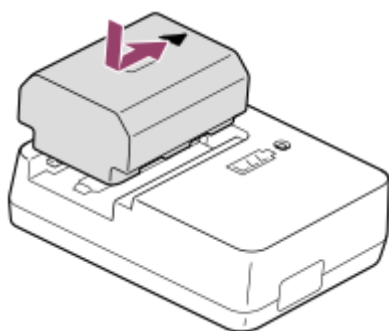
その項目の説明が表示される。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

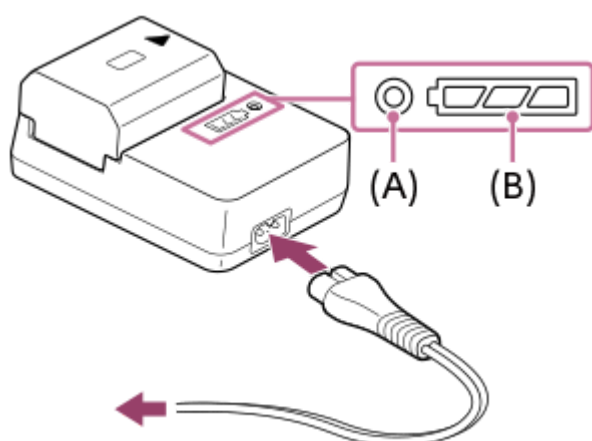
バッテリーを充電する（チャージャー）

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに入れる。

- ▲（三角）の方向を合わせて、バッテリーをバッテリーチャージャーの上に置きます。
- バッテリーを奥までスライドさせます。



2 バッテリーチャージャーに電源コード（付属）をつなぎ、コンセントに取り付ける。



- 充電が始まると、CHARGEランプ（A）がオレンジ色に点灯します。
- 充電状況お知らせランプ（B）で、以下の表の通り、おおよその充電の状況を確認することができます（オレンジ色が点灯を表しています）。
- CHARGEランプと充電状況お知らせランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

充電の状況	CHARGEランプ/充電状況お知らせランプ
装着直後～30%	● □□□
30%～60%	● □□■
60%～90%	● □■■■
90%～満充電	○ ■■■■
充電完了	○ □□□

充電状況お知らせランプによる充電量表示や、上記の数値は目安です。周囲の温度やバッテリーの状態によっては、実際の充電量が上記の数値と異なる場合があります。

- 充電時間の目安（満充電）：充電にかかる時間は約150分です。
- バッテリーを使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては長くなります。

ご注意

- ACアダプター/チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。
- 充電する前に、必ず「[バッテリー/充電についてのご注意](#)」もご確認ください。

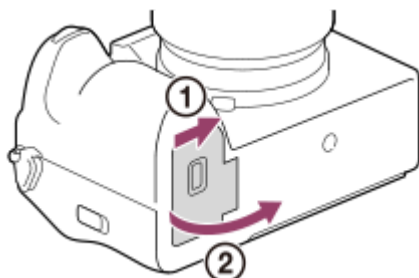
関連項目

- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)
- [バッテリー/充電についてのご注意](#)

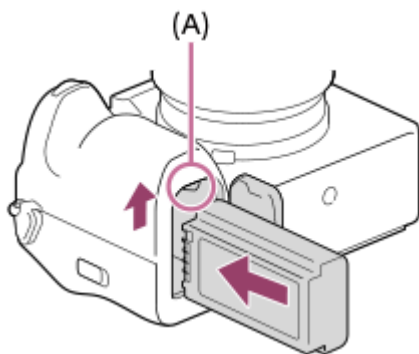
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

バッテリーをカメラに入れる/取り出す

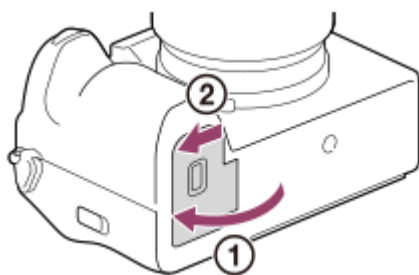
- ① バッテリーカバーのスイッチをスライドさせてカバーを開ける。



- ② バッテリーの端でロックレバー (A) を押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。

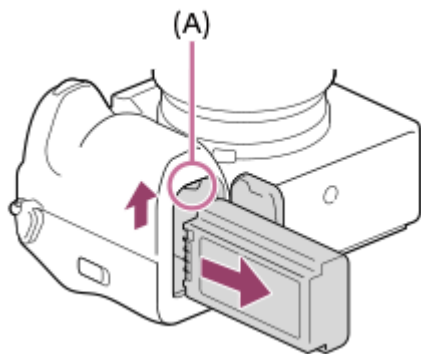


- ③ カバーを閉じて、スイッチをLOCK側にスライドさせる。



バッテリーを取り出すには

アクセラランプが点灯していないことを確認してから電源を切り、ロックレバー (A) をずらしてバッテリーを引き出します。このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。



関連項目

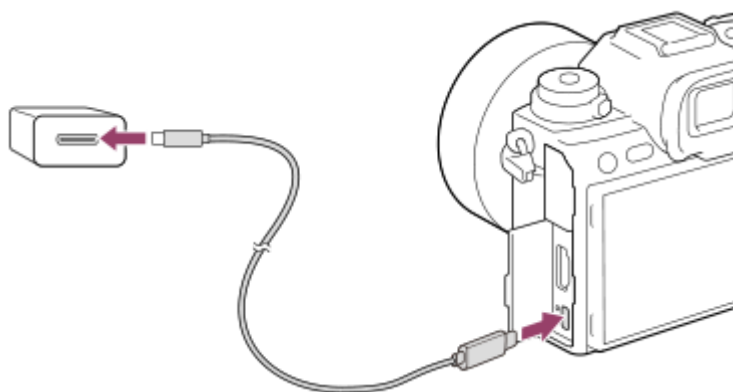
- [バッテリーを充電する（チャージャー）](#)
- [バッテリーをカメラに入れたまま充電する](#)
- [バッテリー/充電についてのご注意](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

バッテリーをカメラに入れたまま充電する

USBケーブルを使って、市販のUSB ACアダプターやモバイルバッテリーなどの外部電源から充電できます。
USB PD (USB Power Delivery) 対応機器を接続すると、急速充電が可能になります。

1 カメラの電源を切った状態で、外部電源とカメラのUSB Type-C端子をつなぐ。



カメラの充電ランプ (オレンジ色)

点灯：充電中

消灯：充電終了

点滅：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

- 充電が完了すると、充電ランプが消えます。

ご注意

- 本機は、マルチ/マイクロUSB端子からはUSB充電できません。USB Type-C端子をお使いください。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- 自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。
- 同時に使うUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- USB PD機器は、出力が9V/3Aまたは9V/2Aに対応したものをお使いになることをおすすめします。
- 充電する前に、必ず「[バッテリー/充電についてのご注意](#)」もご確認ください。

関連項目

- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)
- [バッテリー/充電についてのご注意](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

海外でバッテリーチャージャーを使う

バッテリーチャージャー（付属）は全世界（AC100V～240V・50Hz/60Hz）で使えます。

ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

- 主に北米のコンセント形状例：

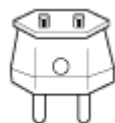


変換プラグアダプターは不要です。

- 主にヨーロッパのコンセント形状例：



変換プラグアダプターが必要です。



ご注意

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

外部電源でカメラを使う

ACアダプターなどを使うと、撮影/再生時もバッテリーの消費を抑えて外部から電力を供給しながら使用できます。出力9V/3Aに対応したUSB PD（USB Power Delivery）機器をお使いになることをおすすめします。

1 十分に充電されたバッテリーをカメラに入れる。

- バッテリーの残量がないと動作しません。十分に充電されたバッテリーをご準備ください。

2 USBケーブルをカメラのUSB Type-C端子につなぐ。

3 ACアダプターなどを使ってコンセントにつなぐ。

4 カメラの電源を入れる。

- USB給電中を表すアイコン（）がモニターに表示され、給電が開始される。

ご注意

- 本機は、マルチ/マイクロUSB端子からはUSB給電できません。USB Type-C端子をお使いください。
- 電源を入れて使用している間は、ACアダプターなどと接続していてもバッテリーへの充電はされません。
- ACアダプターなどと接続して使用していても、ご使用の条件によっては、補助的にバッテリーの電源を使用する場合があります。
- 給電しながらのご使用中は、カメラからバッテリーを取りはずさないでください。バッテリーを取りはずすとカメラの電源が切れます。
- USBケーブルの抜き差しは、カメラの電源を切った状態で行ってください。
- USB給電中は、本体内の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなることがあります。
- 外部電源としてモバイルチャージャーをご使用する際には、満充電であることを確認してからお使いください。また、ご使用中はモバイルチャージャーの残量にご注意ください。
- すべての外部電源との動作を保証するものではありません。

関連項目

- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)

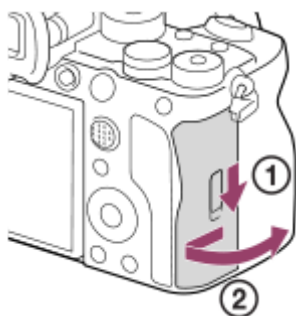
レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

メモリーカードをカメラに入れる/取り出す

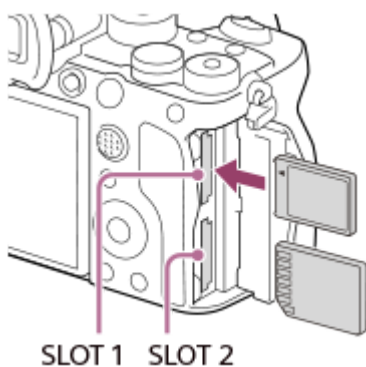
メモリーカード（別売）をカメラに入れる手順を説明します。本機では、CFexpress Type AメモリーカードとSDメモリーカードを使うことができます。

① メモリーカードカバーのスイッチをスライドさせてカバーを開ける。

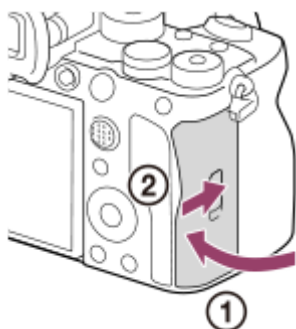


② スロット1にメモリーカードを入れる。

- 2枚のメモリーカードを使う場合は、スロット2にも入れてください。
- スロット1/スロット2ともに、CFexpress Type AメモリーカードとSDメモリーカードの両方に対応しています。
- CFexpress Type Aカードはラベル面をモニター側に向けて、SDメモリーカードは端子面をモニター側に向けて、「カチッ」と音がするまで奥に差し込んでください。



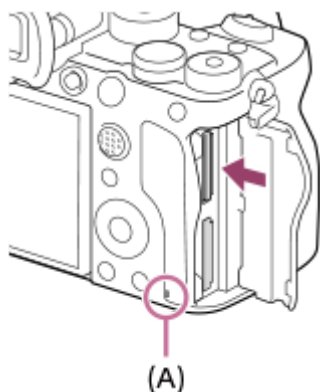
③ カバーを閉じる。



- メモリーカードの動作を安定させるために、本機ではじめてお使いになるメモリーカードは、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。
- 記録するスロットは、MENU→（撮影）→[メディア]→ 記録メディア設定→ 記録メディア または  記録メディア で変更できます。お買い上げ時は、スロット1を使う設定になっています。
- 同じ画像を同時に2つのメモリーカードに記録したり、静止画/動画の種類によって記録先を変えるには、MENU→（撮影）→[メディア]→ 記録メディア設定→ 記録メディア または  記録メディア の設定を変更してください。

メモリーカードを取り出すには

カバーを開けて、アクセスランプ **(A)** が点灯していないことを確認し、メモリーカードを一度押します。



関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)
- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [フォーマット](#)
- [記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（静止画）](#)
- [記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（動画）](#)
- [再生するメモリーカードを選ぶ（再生メディア選択）](#)

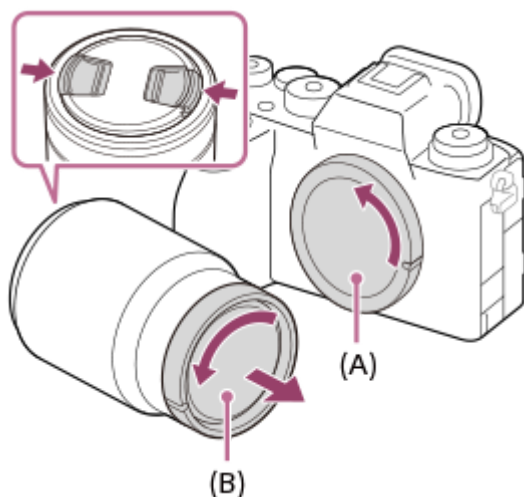
レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

レンズを取り付ける/取りはずす

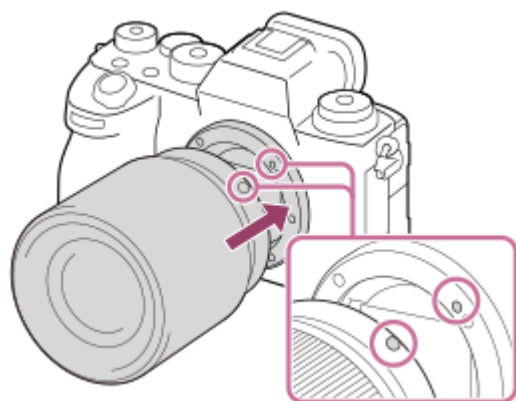
レンズの取り付け/取りはずしは、カメラの電源をOFFにしてから行ってください。

- ① カメラのボディキャップ (A) とレンズの後ろのレンズリヤキャップ (B) をはずす。



- 撮影後は、レンズフロントキャップを装着しておくことをおすすめします。

- ② レンズとカメラの2つの白色の点（マウント標点）を合わせてはめ込む。



- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付けてください。

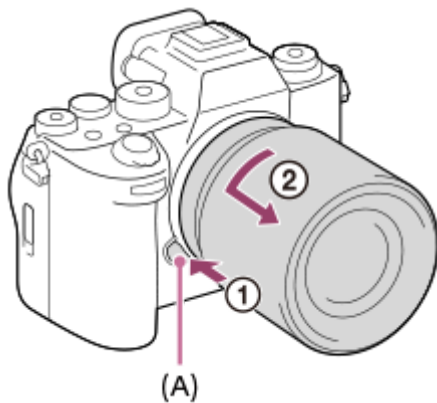
- ③ レンズを軽くカメラに押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。



- レンズを斜めに差し込まないでください。

レンズを取りはずすには

レンズ取りはずしボタン **(A)** を押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずします。取りはずした後は、ゴミやほこりが入らないよう、速やかにカメラにボディキャップを、レンズの前後にキャップを取り付けてください。



レンズフードについて

画面外にある光が描写に影響するのを防ぐために、レンズフードの使用をおすすめします。レンズとフードの標線が合うようにレンズフードを取り付けてください。
(レンズによっては標線がないものがあります。)

ご注意

- レンズの取り付け／取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所ですばやく行ってください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- Aマウントレンズ（別売）をご使用の場合は、別売のマウントアダプターが必要です。マウントアダプターを使用する場合は、マウントアダプターの取扱説明書もご覧ください。
- フルサイズでの撮影は、フルサイズ対応のレンズを使用してください。
- 三脚座を備えたレンズを使用するときは、重量のバランスをとるためにレンズ側の三脚座を三脚に取り付けて使用してください。
- レンズを取り付けてカメラを持ち運ぶときは、カメラとレンズの両方をしっかり持ってください。
- ズームやピント合わせなどで繰り出たレンズ部分を持って、カメラを保持しないでください。
- レンズフードは正確に取り付けてください。レンズフードの効果が出なかったり、画面の一部にレンズフードが写り込むことがあります。
- フラッシュ発光時はレンズフードでフラッシュ光がさえぎられ、画像に影が写ることがあるため、レンズフードを取りはずしてください。

関連項目

- [マウントアダプターについて](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときや初期化を行ったあと、または内蔵の充電式バックアップ電池が消耗しているときには、日時設定の画面が表示されます。

- ① **ON/OFF（電源）スイッチを「ON」にして、カメラの電源を入れる。**
- ② **エリア/日付/時刻の設定を確認する画面で「実行」が選ばれていることを確認し、コントロールホイールの中央を押す。**
- ③ **「東京/ソウル」が選ばれていることを確認し、中央を押す。**
 - サマータイムの「入」/「切」はコントロールホイールの上/下ボタンで選ぶことができます。お買い上げ時は「切」に設定されています。
- ④ **日付（年・月・日）の表示形式を設定し、中央を押す。**
- ⑤ **日付と時刻（時・分・秒）を設定し、中央を押す。**

日時設定を完了したあとに日時やエリアを合わせ直したい場合は、MENUボタンを押して、（セットアップ）→ 「エリア/日時」→ 「エリア/日時設定」で設定してください。

設定した日時の保持について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切やバッテリーの有無に関係なく保持するために、充電式バックアップ電池を内蔵しています。

内蔵バックアップ電池を充電するには、カメラに充電されたバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。

バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

ご注意

- 日時設定をキャンセルした場合は電源を入れると毎回日時設定画面が表示されます。
- 本機の内蔵時計は時刻に誤差が生じる場合があります。定期的に時刻を合わせるようにしてください。

関連項目

- [エリア/日時設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

撮影前に確認すること

ここでは、本機をご使用になるうえで知っておくと便利な設定や機能を紹介します。カメラをお使いになる前に確認しておくことをおすすめします。

以下に記載した各項目名から、それぞれの機能を説明するページに移動できます。

メモリーカードを本機で使えるように準備する

- [フォーマット](#)
- [管理ファイル修復 \(静止画/動画\)](#)

記録するメモリーカードを選ぶ

- [記録メディア設定 \(静止画/動画\) : 記録メディア \(静止画\)](#)
- [記録メディア設定 \(静止画/動画\) : 記録メディア \(動画\)](#)
- [記録メディア設定 \(静止画/動画\) : 記録メディア自動切換](#)

メモリーカードの入れ忘れを防ぐ

- [カードなしリリース](#)

再生するメモリーカードを選ぶ

- [再生するメモリーカードを選ぶ \(再生メディア選択\)](#)

カメラの操作音を鳴らすかどうかを設定する

- [電子音](#)

動画モード時に撮影スタンバイ中か記録中かを確認しやすくする

- [記録中の強調表示](#)

撮影設定をリセットする、またはカメラの全設定を初期化する

- [設定リセット](#)

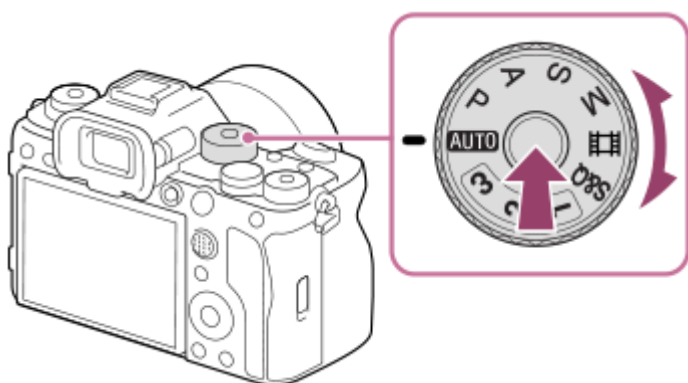
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

静止画を撮影する（おまかせオート）

「おまかせオート」モードで静止画を撮影する方法を説明します。「おまかせオート」モードでは、カメラがピント合わせを自動で行い、自動的に撮影状況を認識して露出などを決定します。

1 モードダイヤルを **AUTO**（オートモード）にする。

撮影モードが **i** (おまかせオート) になる。



- モードダイヤル中央のモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを回してください。

2 モニターを見やすい角度に調節して、本機を構える。または、ファインダーをのぞいて、本機を構える。

3 ズームレンズを取り付けている場合は、ズームリングを回して被写体の大きさを決める。

4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして、フォーカス表示（● など）が点灯する。



5 シャッターボタンを深く押し込む。

ピントの合わせかたを自分で選ぶには（フォーカスモード/フォーカスエリア）

風景や静止した被写体のときはAF-S（シングルAF）、動きのある被写体のときはAF-C（コンティニュアスAF）を選ぶなど、フォーカスモードダイヤルを変更することで、狙った被写体によりピントを合わせやすくなります。また、[ フォーカスエリア] でピント合わせを行う位置や範囲を指定することができます。

人物の瞳にピントを合わせて撮影する

お買い上げ時の設定では「顔/瞳AF」の「 AF時の顔/瞳優先」機能が有効になっているため、すぐに瞳AF機能をお使いいただけます。

フォーカスを固定して好みの構図で撮影するには（フォーカスロック）

被写体にピントを合わせると、シャッターボタンを半押ししている間はそのピントが固定されます。そのまま撮りたい構図に変えて、シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

- フォーカスロックは動きのない被写体のときに行うことができます。フォーカスモードダイヤルをAF-S（シングルAF）に設定してください。
- 「 フォーカスエリア」を「中央固定」にすると、画面の中央に位置する被写体にピントを合わせやすくなります。

ヒント

- 自動でピントを合わせられない場合は、フォーカス表示が点滅し、「ピピッ」と電子音が鳴りません。構図を変えたり、フォーカス設定を変えるなどしてください。なお、「コンティニュアスAF」に設定している場合は、（フォーカス表示）が点灯し、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

ご注意

- 撮影後、データ書き込み中を示すアイコンがモニターに表示されます。アイコンが表示されている間は、メモリーカードを抜かないでください。画像が正常に記録できなくなります。

関連項目

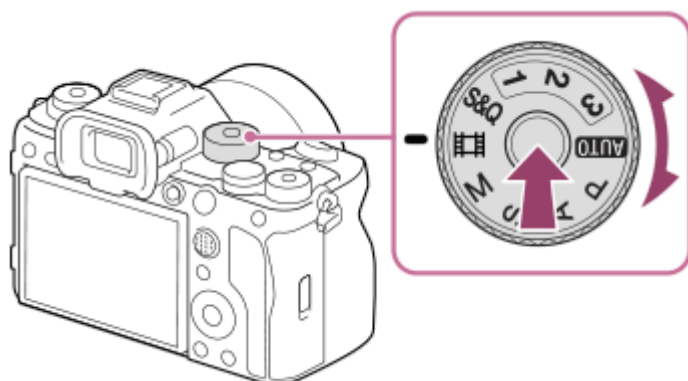
- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [静止画を再生する](#)
- [オートレビュー（静止画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

動画を撮影する

動画撮影用のメニューを使って、記録フォーマットや露出などを設定して動画を撮影することができます。

1 モードダイヤルを (動画) にする。



- モードダイヤル中央のモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを回してください。

2 MOVIE (動画) ボタンを押して撮影を開始する。



3 もう一度MOVIEボタンを押して終了する。

記録フォーマットを選ぶには (記録方式)

記録フォーマット (XAVC HS 8K/XAVC HS 4K/XAVC S 4K/XAVC S HD/XAVC S-I 4K/XAVC S-I HD) によって解像度や互換性が異なります。撮影する動画の用途に応じて選んでください。

フレームレートや画質を選ぶには (動画設定)

フレームレートによって動画のなめらかさが決まります。([ 動画設定] → [記録フレームレート])

画質はビットレートで変化します。([ 動画設定] → [記録設定])

ビットレートが高いと情報量が増え、高画質の動画を撮影できますが、データ容量も大きくなります。それぞれ好みや用途に応じて選んでください。

露出を調整するには (露出制御方式/露出モード)

〔露出制御方式〕が〔P/A/S/Mモード〕のときは、静止画と同様にシャッタースピードと絞り値の組み合わせで露出モードを選びます。

〔露出制御方式〕が〔フレキシブル露出モード〕のときは、シャッタースピードと絞り値、ISO感度をそれぞれオート/マニュアルで設定することができます。

ピントの合わせかたを自分で選ぶには（フォーカスモード/フォーカスエリア）

フォーカスモードダイヤルでAF-C（コンティニュアスAF）またはMF（マニュアルフォーカス）を選びます。ピント合わせを行う範囲は〔 フォーカスエリア〕で指定することができます。

マニュアルフォーカスでの撮影中にも、以下のような方法で一時的にオートフォーカスに切り換えてピント合わせを行うことができます。

- 〔AFオン〕を割り当てたカスタムキーを押す、またはシャッターボタンを半押しする。
- 〔瞳AF〕を割り当てたカスタムキーを押す。
- モニターで被写体をタッチする。

動画の音声を4チャンネルで記録するには

カメラのマルチインターフェースシューに、4チャンネルおよび24ビット音声の収録に対応したソニー純正アクセサリを装着してください。

ヒント

- 動画撮影開始/停止機能をカスタムキーやシャッターボタンに割り当てることもできます。
- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しすると、すばやくピントを合わせられます。（オートフォーカスの作動音が記録される場合があります。）
- ISO感度、露出補正、フォーカスエリアは動画撮影中に設定を変更できます。
- 動画撮影中は、カメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。〔音声記録〕を〔切〕にすることで音声を記録しないように設定できます。
- 電動ズームレンズをお使いの場合、ズームリングによる作動音が気になるときはズームレバーでの操作をおすすめします。ズームレバーを動かすときは、レバーをはじかないように操作してください。

ご注意

- 撮影後、データ書き込み中を示すアイコンがモニターに表示されます。アイコンが表示されている間に、メモリーカードを抜かないでください。
- データ書き込み中は撮影を開始できません。データの書き込みが終了し、「STBY」と表示されてから動画撮影を開始してください。
- （温度上昇警告）が表示された場合は、本機の温度が上がっています。本機の電源を切り、温度が下がるのを待ってから撮影してください。
- 連続して撮影している場合は、本機の温度が上昇しやすく、温かく感じる場合がありますが故障ではありません。また、〔しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください〕という表示が出る場合があります。その場合は、本機の電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってから撮影してください。
- 連続撮影可能時間は「[動画の記録可能時間](#)」をご覧ください。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影できます。本体やバッテリーの温度によっては、機器保護のため停止する場合があります。

関連項目

- [記録方式（動画）](#)
- [動画設定（動画）](#)
- [露出制御方式](#)
- [動画：露出モード](#)
- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)

- ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）
- シューの音声設定
- よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）
- シャッターボタンでREC（動画）
- 音声記録
- 動画の記録可能時間

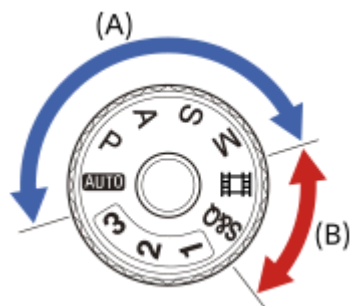
5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

MENU一覧から機能を探す

モードダイヤルの位置によって、表示されるメニュー項目が異なります。以下の表では、どのモードのときに表示されるメニュー項目かを静止画／動画のアイコンで示しています。



  : モードダイヤルが (A) 静止画撮影モードのときに表示される項目

  : モードダイヤルが (B) 動画撮影モードのときに表示される項目

  : モードダイヤルが (A) 静止画撮影モード、(B) 動画撮影モードのどちらでも表示される項目

- モードダイヤルが1/2/3 (**MR** 撮影設定呼び出し) のときは、登録されているモードに従います。

 (撮影) タブ

グループ	 	メニュー項目
画質	 	JPEG/HEIF切換
	 	画質/画像サイズ設定 :  ファイル形式
	 	画質/画像サイズ設定 : RAW記録方式
	 	画質/画像サイズ設定 : JPEG画質
	 	画質/画像サイズ設定 : HEIF画質
	 	画質/画像サイズ設定 : JPEG画像サイズ
	 	画質/画像サイズ設定 : HEIF画像サイズ
	 	アスペクト比
	 	 記録方式
	 	 動画設定
	 	S&Q スロー&クイック設定
	 	Px プロキシ設定
	 	 APS-C S35 撮影
	 	長秒時ノイズ低減
	 	高感度ノイズ低減
	 	HLG静止画

グループ		メニュー項目
		色空間
		 レンズ補正
メディア		フォーマット
		 記録メディア設定 :  記録メディア
		 記録メディア設定 :  記録メディア
		 記録メディア設定 : 記録メディア自動切換
		 管理ファイル修復
		 メディア残量表示
ファイル		ファイル/フォルダー設定
		記録フォルダー選択
		フォルダー新規作成
		IPTC情報
		著作権情報
		シリアル番号書き込み
		ファイル設定
撮影モード		露出モード
		S&Q 露出モード
		露出制御方式
		MR 撮影設定呼び出し
		MR 撮影設定登録
		MR 登録/呼出メディア
		カスタム撮影設定登録
ドライブモード		連続撮影の速度
		セルフタイマーの種類 : セルフタイマー (1枚)
		セルフタイマーの種類 : セルフタイマー (連続)
		ブラケット設定 : 連続ブラケット
		ブラケット設定 : 1枚ブラケット
		ブラケット設定 : ホワイトバランスブラケット
		ブラケット設定 : DROブラケット
		ブラケット設定 : ブラケット時のセルフタイマー
		ブラケット設定 : ブラケット順序
		インターバル撮影機能

グループ		メニュー項目
		ピクセルシフトマルチ撮影
シャッター/サイレント		 サイレントモード設定
		シャッター方式
		 レンズなしリリース
		カードなしリリース
		フリッカーレス設定
音声記録		音声記録
		録音レベル
		音声出力タイミング
		風音低減
		 シューの音声設定
		音声レベル表示
TC/UB		Time Code Preset
		User Bit Preset
		Time Code Format
		Time Code Run
		Time Code Make
		User Bit Time Rec
手ブレ補正		 手ブレ補正
		 手ブレ補正
		 手ブレ補正調整
		  焦点距離
ズーム		 ズーム
		 ズーム範囲
		 ズームスピード
		  ズームスピード
撮影画面表示		 グリッドライン表示
		 グリッドラインの種類
		ライブビュー表示設定
		記録中の強調表示
マーカー表示		マーカー表示
		センターマーカー

グループ	 	メニュー項目
	 	アスペクトマーカー
	 	セーフティゾーン
	 	ガイドフレーム

(露出/色) タブ

グループ	 	メニュー項目
露出	 	オートスローシャッター
	 	 ISO感度
	 	 ISO感度範囲限定
	 	ISO AUTO低速限界
	 	オート/マニュアル切替設定
露出補正	 	 露出補正
	 	 露出補正值のリセット
	 	 露出値ステップ幅
	 	 露出基準調整
測光	 	 測光モード
	 	 マルチ測光時顔優先
	 	 スポット測光位置
	 	シャッター半押しAEL
フラッシュ	 	フラッシュモード
	 	調光補正
	 	露出補正の影響
	 	ワイヤレスフラッシュ
	 	フラッシュ同調速優先
	 	赤目軽減発光
	 	外部フラッシュ設定
ホワイトバランス	 	 ホワイトバランス
	 	 AWB時の優先設定
	 	シャッターAWBロック
	 	ショックレスWB
カラー/トーン	 	 Dレンジオプティマイザー
	 	 クリエイティブルック

グループ		メニュー項目
		 ピクチャプロフィール
ゼブラ表示		 ゼブラ表示
		 ゼブラレベル

AF_{MF}（フォーカス）タブ

グループ		メニュー項目
AF/MF		AF-S時の優先設定
		AF-C時の優先設定
		AF被写体追従感度
		AF補助光
		AF時の絞り駆動
		シャッター半押しAF
		プリAF
		AFトランジション速度
		AF乗り移り感度
フォーカスエリア		 フォーカスエリア
		 フォーカスエリア限定
		縦横フォーカスエリア切換
		 フォーカスエリア枠色
		フォーカスエリア登録機能
		登録フォーカスエリア消去
		フォーカスエリア自動消灯
		トラッキング中エリア枠表示
		AF-Cエリア表示
		位相差AFエリア表示
		 フォーカス位置の循環
		 AF枠の移動量
顔/瞳AF		 AF時の顔/瞳優先
		 顔/瞳検出対象
		 検出対象切換設定
		 右目/左目選択
		 顔/瞳枠表示

グループ		メニュー項目
		個人顔登録
		 登録顔優先
ピント補助		MF時自動ピント拡大
		ピント拡大
		 ピント拡大時間
		 ピント拡大初期倍率
		ピント拡大中のAF
		 ピント拡大初期倍率
ピーキング表示		 ピーキング表示
		 ピーキングレベル
		 ピーキング色

(再生) タブ

グループ		メニュー項目
再生対象		再生メディア選択
		ビューモード
拡大		 拡大
		 拡大の初期倍率
		 拡大の初期位置
セクション/メモ		プロテクト
		レーティング
		レーティング カスタムキー設定
		音声メモ
		音声メモ再生音量
削除		削除
		 2度押しで削除
		削除確認画面
編集		トリミング
		回転
		コピー
		動画から静止画作成
		 JPEG/HEIF切換

グループ		メニュー項目
鑑賞		 インターバル連続再生
		 インターバル再生速度
		スライドショー
再生オプション		一覧表示
		グループ表示
		記録画像の回転表示
		 フォーカス枠表示
		画像送りダイヤル選択
		画像送り方法

(ネットワーク) タブ

グループ		メニュー項目
スマートフォン接続機能		スマートフォン接続
		 接続
		 カメラで選んで転送
		 電源OFF中の接続
		 リモート撮影設定
		 常時接続
転送/リモート		FTP転送機能
		PCリモート機能
		Bluetoothリモコン
位置情報		位置情報連動
		自動時刻補正
		自動エリア補正
Wi-Fi		アクセスポイント簡単登録
		アクセスポイント手動登録
		Wi-Fi周波数帯
		Wi-Fi情報表示
		SSID・PWリセット
Bluetooth		Bluetooth機能
		ペアリング
		機器アドレス表示

グループ		メニュー項目
有線LAN		LAN IPアドレス設定
		有線LAN情報表示
ネットワークオプション		機内モード
		機器名称変更
		ルート証明書の読み込み
		セキュリティ(IPsec)
		ネットワーク設定リセット



(セットアップ) タブ

グループ		メニュー項目
エリア/日時		エリア/日時設定
設定初期化/保存		設定リセット
		設定の保存/読込
操作カスタマイズ		 カスタムキー設定
		 カスタムキー設定
		 カスタムキー設定
		Fnメニュー設定
		静止画/動画独立設定
		DISP(画面表示)設定
		 シャッターボタンでREC
		ズームリング操作方向
ダイヤルカスタマイズ		マイダイヤル設定
		Mモード時のAv/Tv
		Av/Tvの回転方向
		ダイヤル露出補正
		ファンクションリング(レンズ)
		操作部のロック
タッチ操作		タッチ操作
		タッチ感度
		タッチパネル/タッチパッド
		タッチパッド設定
		撮影時のタッチ機能

グループ		メニュー項目
ファインダー/モニター		ファインダー/モニター選択
		モニター明るさ
		ファインダー明るさ
		ファインダー色温度
		ファインダー倍率
		表示画質
		 ファインダーフレームレート
表示オプション		TC/UB表示設定
		ガンマ表示アシスト
		ガンマ表示アシスト方式
		 撮影開始表示
		 撮影タイミング表示
		 撮影残量表示
		 オートレビュー
電源オプション		 モニター自動OFF
		パワーセーブ開始時間
		自動電源OFF温度
サウンドオプション		音量設定
		 4ch音声のモニタリング
		電子音
USB		USB接続
		USB LUN設定
		USB給電
外部出力		 HDMI解像度
		 HDMI出力設定
		HDMI情報表示
		HDMI機器制御
セットアップオプション		ビデオライトモード
		赤外線リモコン
		アンチダスト機能
		オートピクセルマッピング
		ピクセルマッピング

グループ		メニュー項目
		バージョン表示
		認証マーク表示

☆ (マイメニュー) タブ

グループ		メニュー項目
マイメニュー設定		項目の追加
		項目の並べ替え
		項目の削除
		ページの削除
		全て削除
		マイメニューから表示

ご注意

- ここに記載しているメニュータブの順番は、実際とは異なります。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

この章の目次

この章（「撮影機能を活用する」）で説明している機能の一覧です。各項目名から、それぞれの機能を説明するページに移動できます。

撮影モードを選ぶ

- [おまかせオート](#)
- [プログラムオート](#)
- [絞り優先](#)
- [シャッタースピード優先](#)
- [マニュアル露出](#)
- [バルブ撮影](#)
- [露出制御方式](#)
- [オート/マニュアル切替設定](#)
- [動画：露出モード](#)
- [スロー&クイックモーション：露出モード](#)
- [オートスローシャッター](#)

フォーカス（ピント）を合わせる

- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [被写体を追尾する（トラッキング）](#)

顔/瞳AF

- [人の瞳にピントを合わせる](#)
- [AF時の顔/瞳優先（静止画/動画）](#)
- [顔/瞳検出対象（静止画/動画）](#)
- [検出対象切替設定（静止画/動画）](#)
- [右目/左目選択（静止画/動画）](#)
- [顔/瞳枠表示（静止画/動画）](#)
- [個人顔登録](#)
- [登録顔優先（静止画/動画）](#)

AF機能を使う

- [フォーカススタンダード](#)
- [縦横フォーカスエリア切替](#)
- [フォーカスエリア登録機能](#)
- [登録フォーカスエリア消去](#)
- [フォーカスエリア限定（静止画/動画）](#)
- [フォーカス位置の循環（静止画/動画）](#)
- [AF枠の移動量（静止画/動画）](#)
- [フォーカスエリア枠色（静止画/動画）](#)
- [フォーカスエリア自動消灯](#)
- [トラッキング中エリア枠表示](#)
- [AF-Cエリア表示](#)
- [位相差AFエリア表示](#)
- [AF被写体追従感度](#)
- [AFトランジション速度](#)
- [AF乗り移り感度](#)
- [AF/MF切替](#)

- シャッター半押しAF
- AFオン
- フォーカスホールド
- プリAF
- AF-S時の優先設定
- AF-C時の優先設定
- ピント拡大中のAF
- AF補助光
- AF時の絞り駆動

MF機能を使う

- マニュアルフォーカス
- ダイレクトマニュアルフォーカス（DMF）
- MF時自動ピント拡大
- ピント拡大
- ピント拡大時間（静止画/動画）
- ピント拡大初期倍率（静止画）
- ピント拡大初期倍率（動画）
- ピーキング表示

露出/測光を調整する

- 露出補正（静止画/動画）
- ヒストグラムについて
- 露出補正值のリセット（静止画/動画）
- 露出値ステップ幅（静止画/動画）
- 露出基準調整（静止画/動画）
- ダイヤル露出補正
- Dレンジオブティマイザー（静止画/動画）
- 測光モード（静止画/動画）
- マルチ測光時顔優先（静止画/動画）
- スポット測光位置（静止画/動画）
- AEロック
- シャッター半押しAEL
- ゼブラ表示

ISO感度を選ぶ

- ISO感度（静止画/動画）
- ISO感度範囲限定（静止画/動画）
- ISO AUTO低速限界

ホワイトバランス

- ホワイトバランス（静止画/動画）
- 基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する（カスタムホワイトバランス）
- AWB時の優先設定（静止画/動画）
- シャッターAWBロック
- ショックレスWB

画像に効果を加える

- クリエイティブルック（静止画/動画）
- ピクチャープロファイル（静止画/動画）

ドライブ機能を使う（連写/セルフタイマー）

- ドライブモード
- 連続撮影
- 連続撮影の速度
- セルフタイマーの種類：セルフタイマー（1枚）

- セルフタイマーの種類：セルフタイマー（連続）
- ブラケット設定：連続ブラケット
- ブラケット設定：1枚ブラケット
- ブラケット撮影時のインジケーター
- ブラケット設定：ホワイトバランスブラケット
- ブラケット設定：DROブラケット
- ブラケット設定：ブラケット時のセルフタイマー
- ブラケット設定：ブラケット順序

インターバル撮影機能

より高解像の静止画を撮影する（ピクセルシフトマルチ撮影）

画質や記録形式を設定する

- JPEG/HEIF切換
- 画質/画像サイズ設定：ファイル形式（静止画）
- 画質/画像サイズ設定：RAW記録方式
- 画質/画像サイズ設定：JPEG画質/HEIF画質
- 画質/画像サイズ設定：JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ
- アスペクト比
- HLG静止画
- 色空間
- 記録方式（動画）
- 動画設定（動画）
- スロー&クイック設定
- プロキシ設定
- APS-C S35（Super35mm）撮影（静止画/動画）
- 撮影範囲（画角）について

タッチ機能を使う

- タッチ操作
- タッチ感度
- タッチパネル/タッチパッド
- タッチパッド設定
- 撮影時のタッチ機能
- タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）
- タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）

シャッターの設定

- サイレントモード設定（静止画/動画）
- シャッター方式
- 電子シャッターを活用する
- 撮影開始表示（静止画）
- 撮影タイミング表示（静止画）
- レンズなしリリース（静止画/動画）
- カードなしリリース
- フリッカーレス設定
- [フリッカーレス撮影] と [高分解シャッター] の違い

ズームする

- 本機で利用できるズームの種類
- 超解像ズーム/デジタルズーム（ズーム）
- ズーム範囲（静止画/動画）
- ズームスピード（静止画/動画）
- ズームスピード（リモコン）（静止画/動画）
- ズーム倍率について

- [ズームリング操作方向](#)

フラッシュを使う

- [フラッシュ（別売）を使う](#)
- [フラッシュモード](#)
- [調光補正](#)
- [露出補正の影響](#)
- [ワイヤレスフラッシュ](#)
- [フラッシュ同調速優先](#)
- [赤目軽減発光](#)
- [FELロック](#)
- [外部フラッシュ設定](#)
- [シンクロターミナルコード付きフラッシュを使う](#)
- [ビデオライトモード](#)

手ブレを補正する

- [手ブレ補正（静止画）](#)
- [手ブレ補正（動画）](#)
- [手ブレ補正調整（静止画/動画）](#)
- [手ブレ補正焦点距離（静止画/動画）](#)

レンズ補正（静止画/動画）

ノイズリダクション

- [長秒時ノイズ低減](#)
- [高感度ノイズ低減](#)

撮影中の画面表示を設定する

- [オートレビュー（静止画）](#)
- [撮影残量表示（静止画）](#)
- [グリッドライン表示（静止画/動画）](#)
- [グリッドラインの種類（静止画/動画）](#)
- [ライブビュー表示設定](#)
- [絞りプレビュー](#)
- [撮影結果プレビュー](#)
- [ブライトモニタリング](#)
- [記録中の強調表示](#)
- [マーカー表示](#)
- [ガンマ表示アシスト](#)
- [ガンマ表示アシスト方式](#)

動画の音声を記録する

- [音声記録](#)
- [録音レベル](#)
- [音声出力タイミング](#)
- [風音低減](#)
- [シユアの音声設定](#)
- [音声レベル表示](#)

TC/UB設定

- [TC/UB](#)
- [TC/UB表示設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

おまかせオート

カメラまかせでシーン認識をして撮影します。

1 モードダイヤルを **AUTO** (オートモード) にする。

撮影モードが **i** (おまかせオート) になる。

2 被写体にカメラを向ける。

シーンを認識すると、シーン認識マークが表示される。



3 ピントを合わせて撮影する。

シーン認識について

シーン認識は、カメラが自動的に撮影状況を認識する機能です。シーンを認識すると画面上部に下記のマークとガイドが表示されます。

人物 (人物)、赤ちゃん (赤ちゃん)、夜景&人物 (夜景&人物)、夜景 (夜景)、逆光&人物 (逆光&人物)、逆光 (逆光)、風景 (風景)、マクロ (マクロ)、スポットライト (スポットライト)、低照度 (低照度)、三脚夜景 (三脚夜景)

ご注意

- 光学ズーム以外でのズーム撮影時は、シーン認識は働きません。
- 状況により、シーンはうまく認識されない場合があります。
- [おまかせオート] の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

プログラムオート

露出（シャッタースピードと絞り）はカメラが自動設定します。

[ ISO感度] などの撮影機能を好みの設定に変更できます。

- 1 モードダイヤルをP（プログラムオート）にする。
- 2 撮影機能を希望の設定にする。
- 3 ピントを合わせて撮影する。

プログラムシフト

フラッシュを使用していないときに、カメラが設定した適正露出のままシャッタースピードと絞り（F値）の組み合わせを変更できます。

前/後ダイヤルを回し、絞り値とシャッタースピードの組み合わせを選んでください。

- 前/後ダイヤルを回すと、モニターの表示が「P」から「P*」に変わります。
- 解除するには、撮影モードを〔プログラムオート〕以外にするか、カメラの電源を切ってください。

ご注意

- 撮影する環境の明るさによって、プログラムシフトができない場合があります。
- 撮影モードを「P」以外にするか、電源を切ると設定は解除されます。
- 明るさが変わるとシャッタースピードと絞り（F値）はプログラムシフトの組み合わせを保持したまま変化します。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

絞り優先

ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

1 モードダイヤルをA（絞り優先）にする。

2 前/後ダイヤルで希望の数値を選ぶ。

- 絞り値を小さくする：被写体の前後がぼける。
絞り値を大きくする：被写体の前後までくっきりとピントが合う。
- 設定した絞り値で適正露出にならないとカメラが判断した場合は、シャッタースピードが点滅します。この場合は、絞り値を変更してください。

3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、シャッタースピードが自動的に設定される。

ご注意

- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

関連項目

- [絞りレビュー](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

シャッタースピード優先

シャッタースピードを調整し、動きを止めて写したり、軌跡を写したりするなど動くものの表現を変えた撮影ができます。

1 モードダイヤルをS（シャッタースピード優先）にする。

2 前/後ダイヤルで希望の数値を選ぶ。

- 設定したシャッタースピードで適正露出にならないとカメラが判断した場合は、絞り値が点滅します。この場合は、シャッタースピードを変更してください。

3 ピントを合わせて撮影する。

適正露出になるように、絞り値が自動的に設定される。

ヒント

- シャッタースピードを遅くするときは手ブレを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- 室内スポーツを撮影するときは、ISO感度を高くしてください。

ご注意

- シャッタースピード優先モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- [シャッター方式] が [電子シャッター] 以外で、[長秒時ノイズ低減] を [入] にしているときは、シャッタースピードを1秒または1秒より遅くして撮影（長時間露光）すると、シャッターを開けていた時間と同時間のノイズ軽減処理をします。処理中は撮影できません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

関連項目

- [長秒時ノイズ低減](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

マニュアル露出

絞り値とシャッタースピードの両方を調節して、自分の好みの露出で撮影できます。

1 モードダイヤルをM（マニュアル露出）にする。

2 前ダイヤルを回して、絞り値を選ぶ。

後ダイヤルを回して、シャッタースピードを選ぶ。

- MENU → （セットアップ） → [ダイヤルカスタマイズ] → [Mモード時のAv/Tv] で前/後ダイヤルの設定を変更できます。
- マニュアル露出モードでも [ ISO感度] を [ISO AUTO] に設定できます。調整した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO感度が変化します。
- [ ISO感度] を [ISO AUTO] に設定したとき、設定した値で適正露出にならないとカメラが判断した場合は、ISO感度の表示が点滅します。この場合はシャッタースピードまたは絞り値を変更してください。
- [ ISO感度] が [ISO AUTO] 以外の場合、「M.M.」（メータードマニュアル）*で露出値を確認できます。

+側：明るく写る。

-側：暗めに写る。

0：カメラが判断した適正露出。

* 適正露出に対するアンダー/オーバーを示します。モニターでは数値で、ファインダーでは測光インジケータで表示されます。

3 ピントを合わせて撮影する。

ヒント

- AELボタンを押しながら前/後ダイヤルを回すと、設定した露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更できます。（マニュアルシフト）

ご注意

- [ ISO感度] を [ISO AUTO] にしたときは、メータードマニュアルは表示されません。
- メータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- マニュアル露出モードでは、手ブレ警告アイコンは表示されません。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

関連項目

- [ISO感度（静止画/動画）](#)
- [バルブ撮影](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

バルブ撮影

長時間露光で、動きの軌跡を撮影できます。
星の軌跡や、花火の光が尾を引くような写真を撮る場合に適しています。

- 1 モードダイヤルをM（マニュアル露出）にする。
- 2 [BULB] が出るまで後ダイヤルを左に回す。
- 3 前ダイヤルで絞り値（F値）を選ぶ。
- 4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。
- 5 必要な時間、シャッターボタンを押し続けて撮影する。
シャッターボタンを押し続けている間、シャッターが開いたままになる。

ヒント

- 打ち上げ花火などのときは、マニュアルフォーカスにしてピントを無限遠にしてください。無限遠の位置がわからないレンズの場合は、同じような場所に上がる花火であらかじめピントを決めて撮影します。
- 画質を低下させずにバルブ撮影を行うためには、本機の温度が下がった状態で撮影を開始することをおすすめします。
- 画像がブレやすくなるため、三脚やBluetoothリモコン（別売）またはロック機能を持つリモートコマンダー（別売）のご使用をおすすめします。Bluetoothリモコンを使用する場合は、リモコンのシャッターボタンを押すとバルブ撮影が開始され、もう一度押すとバルブ撮影が終了します。その他のリモートコマンダーを使用する場合は、マルチ/マイクロUSB端子での接続に対応したものをお使いください。

ご注意

- 露光時間が長いほど、画面内のノイズは目立ちやすくなります。
 - [長秒時ノイズ低減] を [入] にしているときは、撮影後はシャッターが開いていた時間分だけノイズ軽減処理が行われます。処理中は撮影できません。
 - 以下の場合はシャッタースピードを [BULB] に設定できません。
 - － ドライブモードが以下のとき
 - － [連続撮影]
 - － [セルフタイマー（連続）]
 - － [連続ブラケット]
 - － [シャッター方式] が [電子シャッター]
- シャッタースピードを [BULB] に設定しているときに上記機能を使用すると、シャッタースピードは一時的に30秒になります。
- シャッタースピードを [BULB] に設定しているときに、[ドライブモード] を [連続撮影]、[シャッター方式] を [オート] または [電子シャッター] に設定すると、シャッタースピードは一時的に1/2秒になります。

関連項目

- [マニュアル露出](#)
- [長秒時ノイズ低減](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

露出制御方式



動画撮影時の露出（シャッタースピードと絞り、ISO感度）を設定する方法を選択できます。静止画の露出モードと同じようにP/A/S/M モードから選ぶ [P/A/S/Mモード] と、業務用カメラの露出制御方式のように絞り値とシャッタースピード、ISO感度のオート/マニュアルを個別に設定できる [フレキシブル露出モード] があります。

① MENU → （撮影） → [撮影モード] → [露出制御方式] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

P/A/S/Mモード：

[プログラムオート]、[絞り優先]、[シャッタースピード優先]、[マニュアル露出] から希望の露出モードを選択する。

フレキシブル露出モード：

絞り値とシャッタースピード、ISO感度を自動で設定する（[オート]）か、手動で設定する（[マニュアル]）かを個別に設定する。

割り当てられたカスタムキーでオート/マニュアルを切り替え、前後ダイヤルやコントロールホイールを回して絞りやシャッタースピード、ISO感度の値を変更することができる。

ご注意

- [露出制御方式] が [フレキシブル露出モード] に設定されていても、静止画撮影時にMOVIE（動画）ボタンを押して動画を撮影する場合は、静止画撮影時の露出モードで動画が撮影されます。

関連項目

- [動画：露出モード](#)
- [オート/マニュアル切替設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

オート/マニュアル切替設定



動画撮影時に、業務用カメラの露出制御方式のように絞り値とシャッタースピード、ISO感度のオート/マニュアルを個別に切り換えることができます。 [露出制御方式] が [フレキシブル露出モード] のときに使います。

- ① MENU →  (露出/色) → [露出] → [オート/マニュアル切替設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Avオート/マニュアル切替：

絞り値の [オート] / [マニュアル] を切り換える。

Tvオート/マニュアル切替：

シャッタースピードの [オート] / [マニュアル] を切り換える。

ISOオート/マニュアル切替：

ISO感度の [オート] / [マニュアル] を切り換える。

カスタムキーで [オート] / [マニュアル] を切り換えるには

[露出制御方式] を [フレキシブル露出モード] に設定すると、動画撮影時に以下の機能がカスタムキーに割り当てられます。

- [Avオート/マニュアル切替]：C1 (カスタム1) ボタン
- [Tvオート/マニュアル切替]：C4 (カスタム4) ボタン
- [ISOオート/マニュアル切替]：C2 (カスタム2) ボタン

それぞれのカスタムキーを押すたびに、絞り値やシャッタースピード、ISO感度の [オート] / [マニュアル] が切り換わります。

[オート] に設定すると自動で適正露出に設定されます。

[マニュアル] に設定すると絞り値とシャッタースピード、ISO感度をそれぞれ以下のダイヤルで設定できます。

- 絞り値：前ダイヤル
- シャッタースピード：コントロールホイール
- ISO感度：後ダイヤル

ご注意

- レンズの絞りリングで絞り値を設定しているときは、絞りリングの値が優先されます。

関連項目

- [露出制御方式](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

動画：露出モード



動画撮影時の露出モードを設定できます。[露出制御方式] が [P/A/S/Mモード] のときに適用されます。

- 1 モードダイヤルを (動画) にする。
- 2 MENU → (撮影) → [撮影モード] → [露出モード] → 希望の設定を選ぶ。
- 3 MOVIE (動画) ボタンを押して撮影を開始する。
 - 撮影を終了するには、もう一度MOVIEボタンを押します。

メニュー項目の詳細

プログラムオート：

露出（シャッタースピードと絞り）はカメラが自動設定する。

絞り優先：

絞りを手動設定する。

シャッタースピード優先：

シャッタースピードを手動設定する。

マニュアル露出：

露出（シャッタースピードと絞り）を手動設定する。

関連項目

- [露出制御方式](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

スロー&クイックモーション：露出モード



スロー&クイックモーション撮影時の露出モードを設定できます。[露出制御方式] が [P/A/S/Mモード] のときに適用されます。

撮影時の設定や再生速度は [**S&Q** スロー&クイック設定] で変更できます。

- 1 モードダイヤルを **S&Q** (スロー&クイックモーション) にする。
- 2 MENU →  (撮影) → [撮影モード] → [**S&Q** 露出モード] → 希望の設定を選ぶ。
- 3 MOVIE (動画) ボタンを押して撮影を開始する。
 - 撮影を終了するには、もう一度MOVIEボタンを押します。

メニュー項目の詳細

S&Q **P** プログラムオート:

露出 (シャッタースピードと絞り) はカメラが自動設定する。

S&Q **A** 絞り優先:

絞りを手動設定する。

S&Q **S** シャッタースピード優先:

シャッタースピードを手動設定する。

S&Q **M** マニュアル露出:

露出 (シャッタースピードと絞り) を手動設定する。

関連項目

- [スロー&クイック設定](#)
- [露出制御方式](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

オートスローシャッター



動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定します。

1 MENU →  (露出/色) → [露出] → [オートスローシャッター] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
オートスローシャッターを使う。暗い場所での撮影時、自動的にシャッタースピードが遅くなる。シャッタースピードを遅くすることで、暗い場所を撮影する際に発生する映像のノイズ感を改善することができる。

切：
オートスローシャッターを使わない。[入] のときよりも画像が暗くなるが、被写体のブレが少なく、動きがよりなめらかに撮影できる。

ご注意

- 以下のときは、[オートスローシャッター] は働きません。
 - － スロー&クイックモーション撮影時
 - － s (シャッタースピード優先)
 - － M (マニュアル露出)
 - － [ISO感度] が [ISO AUTO] 以外するとき
 - － [露出制御方式] が [フレキシブル露出モード]、シャッタースピードが [マニュアル] に設定されているとき

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）

被写体の動きに応じてピント合わせの方法を選べます。

- 1 フォーカスモードダイヤルロック解除ボタンを押しながらフォーカスモードダイヤルを回して、希望の設定を選ぶ。

設定項目の詳細

AF-S（シングルAF）：

ピントが合った時点でピントを固定する。動きのない被写体で使う。

AF-C（コンティニュアスAF）：

シャッターボタンを半押ししている間中、ピントを合わせ続ける。動いている被写体にピントを合わせるときに使う。
[コンティニュアスAF] では、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

DMF（ダイレクトマニュアルフォーカス）：

オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動で微調整できる。最初から[マニュアルフォーカス]でピントを合わせるよりもすばやくピント合わせができ、マクロ撮影などに便利です。

MF（マニュアルフォーカス）：

ピント合わせを手動で行う。オートフォーカスで意図した被写体にピントが合わないときには、[マニュアルフォーカス]で操作してください。

フォーカス表示

● 点灯：

ピントが合って固定されている。

● 点滅：

ピントが合っていない。

⦿ 点灯：

ピントが合っている。被写体の動きに合わせてピント位置が変わる。

⦿ 点灯：

ピント合わせの途中。

ピントが合いにくい被写体

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体
- ビルの外観など、繰り返しパターンの連続するもの
- フォーカスエリアの中に距離の異なるものが混じっているとき

ヒント

- [コンティニユアスAF] に設定しているとき、[フォーカスホールド] 機能を割り当てたキーを押すと、押している間ピントを固定することができます。
- [マニュアルフォーカス] や [DMF] で無限遠にピントを合わせるときは、充分遠くにある被写体にピントが合っていることをモニターやファインダー上で確認してください。

ご注意

- [コンティニユアスAF] に設定しているときは、画角が小刻みに変化することがありますが、撮影画像に影響ありません。
- フォーカスモードダイヤルがAF-SまたはDMFの場合でも、動画撮影時またはモードダイヤルが **S&Q** (スロー&クイックモード) のときはコンティニユアスAFになります。

関連項目

- [フォーカスモードダイヤルを使う](#)
- [ダイレクトマニュアルフォーカス \(DMF\)](#)
- [マニュアルフォーカス](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ \(フォーカスエリア\)](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)

ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）



オートフォーカスで撮影するときのフォーカス枠の種類を設定します。被写体に合わせて設定してください。

- ① MENU→AF_{MF} (フォーカス) → [フォーカスエリア] → [フォーカスエリア] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

 ワイド:

モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。静止画撮影でシャッターボタンを半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。

ゾーン:

モニター上でピントを合わせたいゾーン的位置を選ぶと、その中で自動でピントを合わせる。

[] 中央固定：

モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。フォーカスロックと併用して好きな構図で撮影が可能。

 スポット: S/スポット: M/スポット: L:

モニター上の好きなところにフォーカス枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。

拡張スポット：

【スポット】の周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周辺のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。

 トラッキング:

フォーカスモードが「コンティニュアスAF」のときのみ選択可能。シャッターボタンを半押しすると、選択されたAFエリアから被写体を追尾する。[ フォーカスエリア] 設定画面で「トラッキング」にカーソルを合わせて、コントロールホイールの左/右でトラッキングの開始エリアを変更できる。追尾開始エリアを「トラッキング:ゾーン」、[トラッキング:スポット S]、[トラッキング:スポット M]、[トラッキング:スポット L] または「トラッキング:拡張スポット」にすると、好きなところに追尾開始エリアを移動することもできる。

ヒント

- お買い上げ時の設定では、C2ボタンに  フォーカスエリア が割り当てられています。

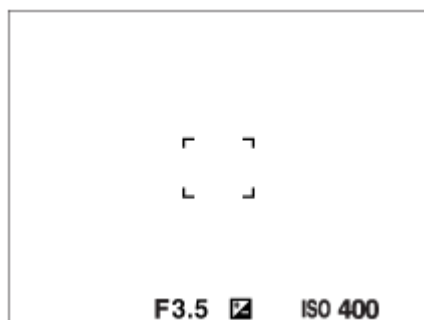
ご注意

- 以下の場合、[ フォーカスエリア] は [ワイド] に固定されます。
 - － [おまかせオート]
- 連続撮影時やシャッターボタンを一気に押し込んだときなどには、フォーカスエリアが点灯しないことがあります。
- モードダイヤルが  (動画) または **S&Q** (スロー&クイックモーション) になっているときや動画撮影中は、[ フォーカスエリア] の [トラッキング] は選択できません。

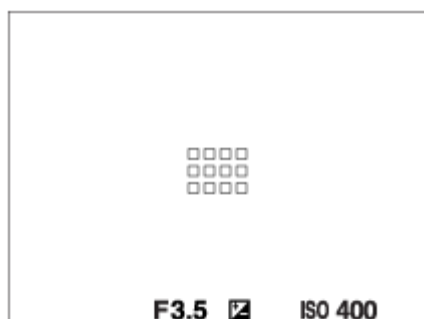
フォーカス枠表示例

フォーカス枠表示は下記の種類があります。

広いエリアでピントが合ったとき

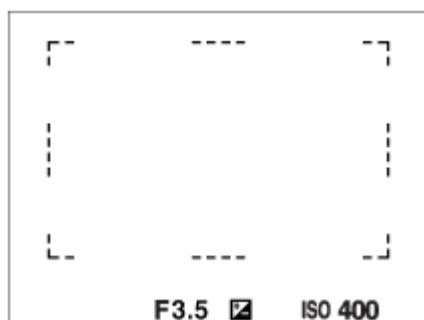


狭いエリアでピントが合ったとき



- [フォーカスエリア] が [ワイド] または [ゾーン] のときは、被写体やシーンによって「広いエリアでピントが合ったとき」または「狭いエリアでピントが合ったとき」の表示になります。
- Aマウント用のレンズとマウントアダプター（LA-EA3またはLA-EA5）（別売）を装着したときは「狭いエリアでピントが合ったとき」の表示になります。

モニター全体を基準に自動でピントが合ったとき



- 光学ズーム以外のズーム使用時は、[フォーカスエリア] の設定は無効になり、フォーカス枠は点線で表示されます。中央付近を優先したAF動作になります。

フォーカスエリアの移動方法

- [フォーカスエリア] の設定が以下のときは、マルチセレクターでフォーカスエリアを移動できます。
 - － [ゾーン]
 - － [スポット: S] / [スポット: M] / [スポット: L]
 - － [拡張スポット]
 - － [トラッキング:ゾーン]
 - － [トラッキング:スポット S] / [トラッキング:スポット M] / [トラッキング:スポット L]

- － [トラッキング:拡張スポット]

マルチセクターの中央にあらかじめ[フォーカススタンダード]を割り当てておくと、中央を押してフォーカス枠をトラッキング中の被写体や画面の中央にすばやく移動させることができます。

ヒント

- [フォーカスエリア] が [スポット] または [拡張スポット] のときは、[AF枠の移動量] を [大] に設定すると、マルチセクターによるフォーカス枠の移動量をより大きくすることができます。
- タッチ操作で、モニターのフォーカス枠をドラッグしすばやく移動させることができます。あらかじめ、[タッチ操作] を [入] に、[撮影時のタッチ機能] を [タッチフォーカス] に設定してください。

一時的に被写体を追尾する（押す間トラッキング）

あらかじめ、カスタムキーに[押す間トラッキング]を割り当てておくと、カスタムキーを押している間、一時的に[フォーカスエリア]の設定が[トラッキング]に切り替わります。このときの[トラッキング]の種類は、[押す間トラッキング]を実行する前に設定していた[フォーカスエリア]の設定がそのまま引き継がれます。

例：

【押す間トラッキング】実行前に設定していた【フォーカスエリア】	【押す間トラッキング】実行中の【フォーカスエリア】
[ワイド]	[トラッキング:ワイド]
[スポット: S]	[トラッキング:スポット S]
[拡張スポット]	[トラッキング:拡張スポット]

位相差AFについて

使用するオートフォーカスエリア内に位相差AF測距点があると、位相差AFとコントラストAFをかけ合わせたオートフォーカスになります。

ご注意

- 位相差AFは、対応レンズでのみ使用できます。位相差AFに対応していないレンズを使用すると、以下の機能が使用できません。
 - － [AF被写体追従感度]
 - － [AF乗り移り感度]
 - － [AFトランジション速度]

また、過去にご購入されたレンズなどでは、対応レンズであっても、レンズをアップデートしないと位相差AFが動作しない場合があります。対応レンズは、専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

関連項目

- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [タッチ操作](#)
- [タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）](#)
- [縦横フォーカスエリア切替](#)
- [フォーカスエリア登録機能](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

被写体を追尾する（トラッキング）

本機には、被写体を追尾してフォーカス枠を合わせ続ける「トラッキング」機能があります。
トラッキングを開始する位置は、フォーカスエリアで指定する方法とタッチ操作で指定する方法があります。方法によって、使用する機能が異なります。

- このページの最後に記載している「関連項目」から関連機能に移動できます。

トラッキングの開始位置をフォーカスエリアで指定する（ フォーカスエリア）の【トラッキング】）

シャッターボタンを半押しすることで、設定しているフォーカス枠を開始位置としてトラッキングを開始します。

- 静止画撮影時に使用できます。
- フォーカスモードダイヤルがAF-C（コンティニュアスAF）のときのみ選択できます。

トラッキングの開始位置をタッチ操作で指定する（ 撮影時のタッチ機能）の【タッチトラッキング】）

モニター上でトラッキングしたい被写体をタッチします。

- 静止画撮影時/動画撮影時に使用できます。
- フォーカスモードダイヤルがAF-S（シングルAF）、AF-C（コンティニュアスAF）、DMF（ダイレクトマニュアルフォーカス）のいずれかのとき使用できます。

一時的に フォーカスエリア を【トラッキング】に切り換える（ カスタムキー設定）の【押す間トラッキング】）

 フォーカスエリア を【トラッキング】に設定していなくても、【押す間トラッキング】機能を割り当てたカスタムキーを押している間、一時的に  フォーカスエリア の設定を【トラッキング】に切り換えることができます。

- あらかじめ、 カスタムキー設定 で希望のキーに【押す間トラッキング】を割り当ててください。
- 静止画撮影時に使用できます。
- フォーカスモードダイヤルがAF-C（コンティニュアスAF）のときのみ使用できます。

トラッキング機能を一時的に停止する

 カスタムキー設定 で【押す間トラッキングOFF】または【再押しトラッキングOFF】を割り当てたキーを押すと、一時的にトラッキング機能を停止することができます。

トラッキングし続けるのが難しい撮影状態になったり、トラッキング枠が別の被写体へ移ってしまう場合にお使いください。

 カスタムキー設定 で【押す間トラッキング/顔OFF】または【再押しトラッキング/顔OFF】を割り当てたキーを押すと、一時的に  AF時の顔/瞳優先 が【切】となり、顔/瞳を優先したトラッキング機能を停止することができます。

トラッキング枠が別の被写体の顔/瞳に移ってしまう場合にお使いください。

関連項目

- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

人の瞳にピントを合わせる

カメラが自動で顔や瞳を検出し、瞳にピントを合わせることができます（瞳AF）。

ここでは、検出対象を人物にした場合を説明します。最大8人の顔を検出できます。

「瞳AF」には、2種類の実行方法があります。仕様が一部異なるため、用途に合わせて使い分けることをおすすめします。

項目	〔  AF時の顔/瞳優先〕機能	カスタムキーの〔瞳AF〕
特徴	顔や瞳を最優先して検出する	顔や瞳のみ検出する
事前準備	〔 AF時の顔/瞳優先〕を〔入〕にする 〔 顔/瞳検出対象〕を〔人物〕にする。	〔  カスタムキー設定〕または〔  カスタムキー設定〕で〔瞳AF〕をお好みのボタンに割り当てる
〔瞳AF〕の実行方法	シャッターボタンを半押しする	〔瞳AF〕を割り当てたボタンを押す*
機能の詳細	- 設定した〔 フォーカスエリア〕やその周辺に顔や瞳があるときは、顔や瞳に優先的にピントを合わせる。 - 設定した〔 フォーカスエリア〕やその周辺で顔や瞳が検出されないときは、検出可能な他の被写体にピントを合わせる。	〔 フォーカスエリア〕の設定によらず、画面全域を使って、顔や瞳にのみピントを合わせる。 - 画面全域で顔や瞳が検出されないときは、ピント合わせを行わない。
フォーカスモード	フォーカスモードの設定に従う	フォーカスモードの設定に従う
フォーカスエリア	〔  フォーカスエリア〕の設定に従う	設定によらず、一時的に画面全域となる

* 〔 AF時の顔/瞳優先〕が〔入〕/〔切〕どちらに設定されていても、〔瞳AF〕を割り当てたボタンを押している間は、カスタムキーの〔瞳AF〕を使用できます。

カスタムキーの〔瞳AF〕を使うには

カスタムキーに〔瞳AF〕を割り当てると、キーを押している間だけ瞳にピントを合わせることができます。〔 フォーカスエリア〕の設定にかかわらず、一時的に画面全体で瞳AFを使用したいときに便利です。

顔や瞳が検出できない場合は、AF動作は行いません。

- MENU→（セットアップ）→〔操作カスタマイズ〕→〔 カスタムキー設定〕または〔 カスタムキー設定〕→希望のキーに〔瞳AF〕の機能を設定する。
- MENU→AF MF（フォーカス）→〔顔/瞳AF〕→〔 顔/瞳検出対象〕→〔人物〕を選ぶ。
- 人の顔にカメラを向け、〔瞳AF〕の機能を割り当てたキーを押す。
静止画を撮影する場合は、キーを押したままシャッターボタンを押してください。

動物や鳥の瞳にピントを合わせるには

〔 顔/瞳検出対象〕を〔動物〕または〔鳥〕に設定して撮影します。

検出対象が動物や鳥の場合は、静止画撮影時のみ瞳を検出することができます。また、動物や鳥の顔は検出されません。

ご注意

- 以下の場合など、状況によっては〔瞳AF〕がうまく働かないことがあります。
 - メガネ（サングラス）をかけた状態
 - 前髪がかかった状態
 - 低照度、逆光時
 - 目を閉じた状態
 - 影がかかった状態
 - ピントが大きくずれた状態
 - 被写体の動きが大きいとき

ほかにも、状況によって瞳にピントを合わせられない場合があります。

- 人の瞳にピントを合わせられないときは、顔を検出して顔にピントを合わせます。人の顔を検出できない場合、瞳AFは使用できません。
- 状況によっては、顔が検出できなかったり、顔以外を誤検出することがあります。

関連項目

- [AF時の顔/瞳優先（静止画/動画）](#)
- [顔/瞳検出対象（静止画/動画）](#)
- [検出対象切替設定（静止画/動画）](#)
- [右目/左目選択（静止画/動画）](#)
- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AF時の顔/瞳優先（静止画/動画）



オートフォーカスのときに、フォーカスエリア内にある顔や瞳を検出して瞳にピントを合わせる（瞳AF）かどうかを設定します。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [顔/瞳AF] → [AF時の顔/瞳優先] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

設定したフォーカスエリアやその周辺に顔や瞳があるときは、顔や瞳に優先的にピントを合わせる。

切：

オートフォーカスのときに顔や瞳を優先しない。

ヒント

- [フォーカスエリア] → [トラッキング] を [AF時の顔/瞳優先] と併用することで、動きのある瞳や顔にピントを合わせ続けるようになります。
- [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で希望のキーに [AF時の顔/瞳優先切替] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびに [AF時の顔/瞳優先] の入/切を切り替えることができます。
- [カスタムキー設定] で希望のキーに [押す間顔/瞳優先OFF] または [再押し顔/瞳優先OFF] を割り当てると、キーを押すことで一時的に [AF時の顔/瞳優先] が [切] になります。

ご注意

- 設定したフォーカスエリアやその周辺で顔や瞳が検出されないときは、検出可能な他の被写体にピントを合わせます。
- 撮影モードが [おまかせオート] の場合、[AF時の顔/瞳優先] は [入] になります。

関連項目

- [人の瞳にピントを合わせる](#)
- [顔/瞳検出対象（静止画/動画）](#)
- [検出対象切替設定（静止画/動画）](#)
- [右目/左目選択（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

顔/瞳検出対象（静止画/動画）



顔/瞳AFで検出する対象を選択します。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [顔/瞳AF] → [顔/瞳検出対象] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

人物：

人の顔や瞳を検出する。

動物：

動物の瞳を検出する。

鳥：

鳥の瞳を検出する。

ヒント

- 動物や鳥の瞳を検出させるときは、頭部全体が画角に入るようにしてください。一度、動物や鳥の頭にピントを合わせておくと、瞳を検出しやすくなります。

ご注意

- [顔/瞳検出対象] が [動物] または [鳥] のときは、以下の機能は使用できません。
 - マルチ測光時顔優先
 - 登録顔優先
 - 動画撮影時の瞳検出機能
- [顔/瞳検出対象] を [動物] に設定していても、すべての動物の瞳を検出できるわけではありません。
- [顔/瞳検出対象] を [鳥] に設定していても、すべての鳥の瞳を検出できるわけではありません。

関連項目

- [人の瞳にピントを合わせる](#)
- [AF時の顔/瞳優先（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

検出対象切換設定（静止画/動画）



カスタムキーに「顔/瞳検出対象切換」を割り当てたときに、カスタムキーで切り換えられる検出対象を設定します。

- 1 MENU→AF_{MF}（フォーカス）→「顔/瞳AF」→「 検出対象切換設定」→選択する検出対象にチェックマークを入れ、「OK」を選ぶ。

✓（チェックマーク）がついている項目が選択できる検出対象になる。

ヒント

- あらかじめ、「 カスタムキー設定」でお好みのキーに「顔/瞳検出対象切換」を割り当ててください。
- チェックマークがついていない検出対象も、MENU→AF_{MF}（フォーカス）→「顔/瞳AF」→「 顔/瞳検出対象」からは選択できます。

関連項目

- [顔/瞳検出対象（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

右目/左目選択（静止画/動画）



〔 顔/瞳検出対象〕を〔人物〕または〔動物〕に設定しているときに、左右どちらの瞳にピント合わせを行うかを設定します。

1 MENU → AF_{MF}（フォーカス）→ 〔 顔/瞳AF〕→ 〔 右目/左目選択〕→ 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

カメラが自動で左右どちらかの瞳を検出する。

右目：

被写体の右目（撮影者側から見て左側の目）を検出する。

左目：

被写体の左目（撮影者側から見て右側の目）を検出する。

カスタムキーの〔右目/左目切換〕を使うには

カスタムキーで検出する瞳の左右を切り換えることもできます。

〔 右目/左目選択〕を〔右目〕または〔左目〕に設定しているときは、〔右目/左目切換〕を割り当てたカスタムキーを押すたびに検出する瞳の左右を切り換えることができます。

〔 右目/左目選択〕を〔オート〕に設定しているときは、〔右目/左目切換〕を割り当てたカスタムキーで一時的に検出する瞳の左右を切り換えることができます。

以下の操作などを行うと、一時的な左右の選択は解除され、カメラが自動的に瞳を検出する状態に戻ります。

- コントロールホイールの中央を押す
- マルチセレクターの中央を押す
- シャッターボタンの半押しをやめる（静止画撮影時のみ）
- 〔AFオン〕、〔瞳AF〕を割り当てたカスタムキーを押すのをやめる（静止画撮影時のみ）
- MENUボタンを押す

ヒント

- 〔 顔/瞳枠表示〕を〔入〕に設定しておくと、〔 右目/左目選択〕やカスタムキーの〔右目/左目切換〕で選んだほうの瞳に検出枠が表示されます。

関連項目

- [人の瞳にピントを合わせる](#)
- [AF時の顔/瞳優先（静止画/動画）](#)
- [顔/瞳検出対象（静止画/動画）](#)
- [顔/瞳枠表示（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

顔/瞳枠表示（静止画/動画）



顔や瞳を検出したときに顔検出枠/瞳検出枠を表示するかどうかを設定します。

- ① MENU → AF_{MF}（フォーカス）→ [顔/瞳AF] → [顔/瞳枠表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

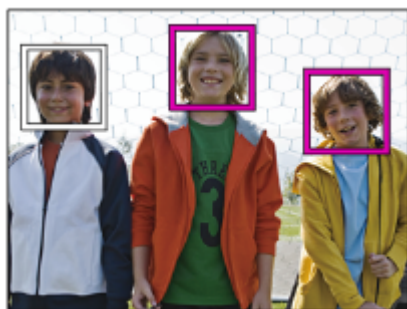
顔や瞳を検出すると検出枠を表示する。

切：

顔や瞳を検出しても検出枠を表示しない。

顔検出枠について

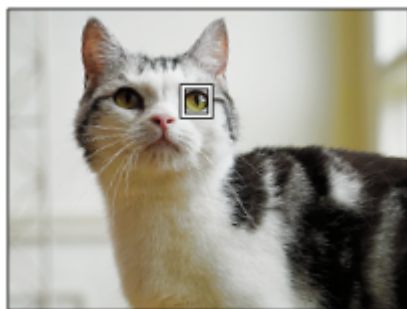
顔を検出すると灰色の顔検出枠が表示されます。[個人顔登録]で登録されている顔の場合、枠の色は赤紫です。検出した顔がフォーカスエリアやその周辺にあり、オートフォーカス可能と判断されると、検出枠は白色になります。



瞳検出枠について

瞳を検出し、オートフォーカス可能と判断されると、白色の瞳検出枠が表示されます。

[顔/瞳検出対象]が[動物]または[鳥]の場合は、以下のように瞳検出枠が表示されます。



ヒント

- 顔や瞳にピントが合ったあと、一定時間で顔検出枠や瞳検出枠を非表示にしたいときは、[フォーカスエリア自動消灯]を[入]に設定します。

ご注意

- 被写体の動きが大きいときは、瞳検出枠の表示がずれることがあります。
- 瞳AFが使用できないときは、瞳検出枠は表示されません。
- [ 顔/瞳枠表示] を [切] に設定していても、シャッターボタンを半押しするなどしてピントが合った顔や瞳には緑色のフォーカス枠が表示されます。

関連項目

- [人の瞳にピントを合わせる](#)
- [AF時の顔/瞳優先（静止画/動画）](#)
- [顔/瞳検出対象（静止画/動画）](#)
- [右目/左目選択（静止画/動画）](#)
- [個人顔登録](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

個人顔登録



個人顔データの設定を行います。あらかじめ顔情報を登録しておく、登録された顔を優先してピント合わせを行います。

最大8人の顔を登録できます。

- 1 MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [顔/瞳AF] → [個人顔登録] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

新規登録：

登録したい人物の顔を撮影して登録する。

優先順序変更：

複数の顔を登録している場合に、登録した顔データの優先順序を変更する。

削除：

登録した顔をひとつずつ削除する。

全て削除：

登録したすべての顔をまとめて削除する。

ご注意

- [新規登録] を行うときは、明るい場所で、正面を向いて撮影してください。帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れると、正しく登録できない場合があります。
- [削除] を行ってもカメラ内には登録した顔のデータが残っています。カメラ内からも削除したい場合は、[全て削除]を行ってください。

関連項目

- [登録顔優先 \(静止画/動画\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

登録顔優先（静止画/動画）



〔個人顔登録〕で登録した顔を優先してピント合わせを行うかどうかを設定します。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → 〔顔/瞳AF〕 → 〔 登録顔優先〕 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

〔個人顔登録〕で登録した顔を優先してピントを合わせる。

切：

登録した顔を優先せずにピントを合わせる。

ヒント

- 〔 登録顔優先〕機能を使用する場合は、以下のように設定してください。
 - － 〔顔/瞳AF〕の〔 AF時の顔/瞳優先〕：〔入〕
 - － 〔顔/瞳AF〕の〔 顔/瞳検出対象〕：〔人物〕

関連項目

- [AF時の顔/瞳優先（静止画/動画）](#)
- [個人顔登録](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フォーカスタンダード



【フォーカスタンダード】を割り当てたキーを押すと、画面中央でオートフォーカスするなど、フォーカスエリア設定に応じて便利な機能呼び出せます。

- 1 MENU → (セットアップ) → 【操作カスタマイズ】 → カスタムキー設定 または カスタムキー設定 → 希望のキーに【フォーカスタンダード】の機能を設定する。
- 2 【フォーカスタンダード】を割り当てたキーを押す。
 - フォーカスエリア の設定によってキーを押したときにできることが変わります。

【フォーカスタンダード】の機能例

- フォーカスエリア が以下のときは、キーを押すとフォーカス枠が画面の中央またはトラッキング中の被写体に移動します。
 - 【ゾーン】
 - 【スポット: S】 / 【スポット: M】 / 【スポット: L】
 - 【拡張スポット】
 - 【トラッキング:ゾーン】
 - 【トラッキング:スポット S】 / 【トラッキング:スポット M】 / 【トラッキング:スポット L】
 - 【トラッキング:拡張スポット】
- フォーカスエリア が【ワイド】、【中央固定】、【トラッキング:ワイド】、【トラッキング:中央固定】のときは、オートフォーカス中にキーを押すと中央でピント合わせを行います。マニュアルフォーカスで動画を撮影しているときは、キーを押すと一時的にオートフォーカスになり中央でピント合わせを行います。

ご注意

- コントロールホイールの【左ボタン】、【右ボタン】、【下ボタン】には【フォーカスタンダード】を設定できません。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ \(フォーカスエリア\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

縦横フォーカスエリア切換



カメラのポジション（横位置/縦位置）ごとに、[ フォーカスエリア] とフォーカス枠の位置を使い分けるかどうかを設定することができます。人物のポートレートやスポーツシーンの撮影時など、カメラのポジションを頻繁に変えながら撮影したい場合に便利です。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス）→ [フォーカスエリア] → [縦横フォーカスエリア切換] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

しない：

横位置撮影時と縦位置撮影時で、[ フォーカスエリア] の設定とフォーカス枠の位置を使い分けない。

フォーカス位置のみ：

横位置撮影時と縦位置撮影時で、フォーカス枠の位置を使い分ける。[ フォーカスエリア] の設定は使い分けない。

フォーカスエリア+位置：

横位置撮影時と縦位置撮影時で、[ フォーカスエリア] の設定とフォーカス枠の位置を使い分ける。

[フォーカスエリア+位置] の例



(A) 縦位置：[スポット]（左上）

(B) 横位置：[スポット]（右上）

(C) 縦位置：[ゾーン]（左下）

- カメラのポジションは、横位置、縦位置（シャッターボタン側が上）、縦位置（シャッターボタン側が下）の3通りで区別されます。

ご注意

- [縦横フォーカスエリア切換] の設定を変えると、ポジションごとの設定は引き継がれません。
- [縦横フォーカスエリア切換] を [フォーカスエリア+位置] または [フォーカス位置のみ] に設定していても、下記の場合は、[ フォーカスエリア] とフォーカス枠の位置はポジションごとに変更されません。
 - 撮影モードが [おまかせオート]
 - シャッターボタン半押し中
 - 動画撮影中
 - デジタルズーム使用中
 - オートフォーカス動作中
 - 連続撮影中
 - セルフタイマーのカウントダウン中
 - ピント拡大中

- カメラを縦位置に構えたまま電源を入れ、直後に撮影すると、最初の1枚のみ横位置のフォーカス設定、または前回のフォーカス設定で撮影されます。
- レンズが上や下を向いている状態では、カメラは縦横を判別しません。

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

フォーカスエリア登録機能



カスタムキーを使って、フォーカス枠をあらかじめ登録した位置に一時的に移動させることができます。動きの予想が可能なスポーツシーンなどの撮影時に、状況に応じてフォーカスエリアをすばやく移動させることができ便利です。

フォーカスエリアを登録するには

1. MENU → AF_{MF}（フォーカス）→ [フォーカスエリア] → [フォーカスエリア登録機能] を [入] にする。
2. フォーカスエリアを希望の位置に設定して、Fn（ファンクション）ボタンを長押しする。

登録したフォーカスエリアを呼び出すには

1. MENU → （セットアップ）→ [操作カスタマイズ] → [ カスタムキー設定] → 希望のキーを選び、[押す間登録フォーカスエリア] を選ぶ。
2. 撮影画面で [押す間登録フォーカスエリア] 機能を割り当てたキーを押しながら、シャッターボタンを押して撮影する。

ヒント

- [フォーカスエリア登録機能] でフォーカス枠を登録すると、登録したフォーカス枠が画面上で点滅します。
- [再押し登録フォーカスエリア] を割り当てると、ボタンを押し続けなくても登録したフォーカス枠が維持されます。
- [登録フォーカスエリア+AFオン] を割り当てると、ボタンを押したときに登録されたフォーカス枠でオートフォーカスが行われます。

ご注意

- 以下のときは、フォーカスエリアの登録はできません。
 - － [タッチフォーカス] 実行中
 - － デジタルズーム使用中
 - － [タッチトラッキング] 実行中
 - － ピント合わせ中
 - － フォーカスロック中
- [左ボタン]、[右ボタン]、[下ボタン] には [押す間登録フォーカスエリア] を設定できません。
- 以下のときは、登録したフォーカスエリアの呼び出しはできません。
 - － モードダイヤルが **AUTO**（オートモード）、（動画）または **S&Q**（スロー&クイックモーション）
- [フォーカスエリア登録機能] を [入] に設定すると、[操作部のロック] は [切] に固定されます。

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [登録フォーカスエリア消去](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

登録フォーカスエリア消去



〔フォーカスエリア登録機能〕で登録したフォーカス枠の位置情報を消去します。

- 1 MENU → AF_{MF} (フォーカス) → 〔フォーカスエリア〕 → 〔登録フォーカスエリア消去〕を選ぶ。

関連項目

- [フォーカスエリア登録機能](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フォーカスエリア限定（静止画/動画）



使用するフォーカスエリアの種類をあらかじめ限定することで、 フォーカスエリア] 選択時に目的の設定をすばやく選択できます。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [フォーカスエリア] →  フォーカスエリア限定] → 使用するフォーカスエリアにチェックマークを入れ、[OK] を選ぶ。

✓（チェックマーク）がついている項目が選択できるフォーカスエリアになる。

ヒント

-  カスタムキー設定] または  カスタムキー設定] で好みのキーに [フォーカスエリア切替] を割り当てておくと、割り当てたキーを押すたびにフォーカスエリアが順番に切り換わります。あらかじめ  フォーカスエリア限定] でフォーカスエリアの種類を限定しておくことで、限定した種類の中からよりすばやく選択できます。

ご注意

- チェックマークを外したフォーカスエリアは、MENUやFn（ファンクション）メニューから選択できなくなります。選択するには、再度  フォーカスエリア限定] でチェックマークをつけてください。
- [縦横フォーカスエリア切替] や [フォーカスエリア登録機能] で登録されているフォーカスエリアのチェックマークを外した場合は、登録内容が変更されます。

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

フォーカス位置の循環（静止画/動画）



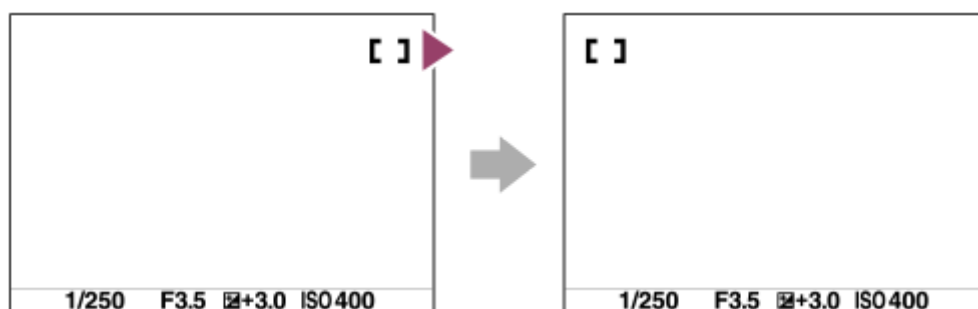
フォーカス位置を選択するときに、一番端のフォーカス位置から反対側のフォーカス位置に循環して移動できるようにするかどうかを設定します。フォーカス位置を端から端にすばやく移動させたい場合に便利です。

この機能は、[ フォーカスエリア] が以下の場合に使用できます。

- [ゾーン]
- [スポット: S] / [スポット: M] / [スポット: L]
- [拡張スポット]
- [トラッキング:ゾーン]
- [トラッキング:スポット S] / [トラッキング:スポット M] / [トラッキング:スポット L]
- [トラッキング:拡張スポット]

1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [フォーカスエリア] → [ フォーカス位置の循環] → 希望の設定を選ぶ。

[循環する] の場合：



メニュー項目の詳細

循環しない：

フォーカス位置選択時に、一番端のフォーカス位置でさらにカーソルを動かしてもカーソルは移動しない。

循環する：

フォーカス位置選択時に、一番端のフォーカス位置でさらにカーソルを動かすと反対側の端に移動する。

ご注意

- [ フォーカス位置の循環] を [循環する] に設定していても、斜め方向には循環しません。

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

AF枠の移動量（静止画/動画）



〔 フォーカスエリア〕が〔スポット〕などのときのフォーカス枠の移動量を設定します。被写体の動きが大きいときなどに、フォーカス枠の移動量を増やしてすばやく動かすことができます。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → 〔フォーカスエリア〕 → 〔 AF枠の移動量〕 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準：

フォーカス枠が標準の移動量で移動する。

大：

フォーカス枠が標準より大きい移動量で移動する。

ヒント

- 〔 カスタムキー設定〕または〔 カスタムキー設定〕で好みのキーに〔押す間AF枠移動切換〕を割り当てると、キーを押している間だけフォーカス枠の移動量が切り換わります。
- 〔 カスタムキー設定〕または〔 カスタムキー設定〕でコントロールホイールに以下の機能を割り当てると、〔 AF枠の移動量〕の設定にかかわらずにそれぞれの移動量でフォーカス枠を動かせます。
 - － 〔AF枠移動↔：大〕
 - － 〔AF枠移動↑：大〕
 - － 〔AF枠移動↔：標準〕
 - － 〔AF枠移動↑：標準〕
- 〔マイダイヤル設定〕で前/後ダイヤルやコントロールホイールに以下の機能を割り当てると、〔 AF枠の移動量〕の設定にかかわらずにそれぞれの移動量でフォーカス枠を動かせます。
 - － 〔AF枠移動↔：大〕
 - － 〔AF枠移動↑：大〕
 - － 〔AF枠移動↔：標準〕
 - － 〔AF枠移動↑：標準〕

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フォーカスエリア枠色（静止画/動画）



フォーカスエリアの枠の色を設定します。被写体によってフォーカスエリアの枠が見えにくいときに、フォーカスエリアの枠の色を変えることで見えやすくすることができます。

1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [フォーカスエリア] → [ フォーカスエリア枠色] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ホワイト：

フォーカスエリアの枠を白で表示する。

レッド：

フォーカスエリアの枠を赤で表示する。

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

フォーカスエリア自動消灯



フォーカスエリア表示を常に表示するか、ピントが合ったあと一定時間経過後に非表示にするかを設定します。

① MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [フォーカスエリア] → [フォーカスエリア自動消灯] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

フォーカスエリア表示を合焦後一定時間経過後に非表示にする。

切：

フォーカスエリア表示を常に表示する。

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ \(フォーカスエリア\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

トラッキング中エリア枠表示



〔 フォーカスエリア〕が〔トラッキング〕のときに、フォーカスエリアの枠を表示するかどうかを設定します。

1 MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [フォーカスエリア] → [トラッキング中エリア枠表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
トラッキング中もフォーカスエリアの枠を表示する。被写体をトラッキングしている間もトラッキング開始エリアが表示されるため、次の撮影を始めるときに便利。

切：
トラッキング中はフォーカスエリアの枠を表示しない。

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ \(フォーカスエリア\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AF-Cエリア表示



コンティニュアスAF時に、フォーカスエリアで「ワイド」または「ゾーン」を選んでいるとき、ピントが合ったフォーカスエリアを表示するかしないかを設定します。

- 1 MENU → AF_{MF} (フォーカス) → 「フォーカスエリア」 → 「AF-Cエリア表示」 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

ピントが合ったフォーカスエリアを表示する。

切：

ピントが合ったフォーカスエリアを表示しない。

ご注意

- 「 フォーカスエリア」が以下の場合は、ピントを合わせたあと、エリアのフォーカス枠が緑色に点灯します。
 - － 「中央固定」
 - － 「スポット」
 - － 「拡張スポット」

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ \(フォーカスエリア\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

位相差AFエリア表示



位相差AFのエリアを表示するかしないかを設定します。

- 1 MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [フォーカスエリア] → [位相差AFエリア表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

位相差AFのエリアを表示する。

切：

位相差AFのエリアを表示しない。

ご注意

- 位相差AFは、対応レンズでのみ使用できます。また、過去にご購入されたレンズなどでは、対応レンズであっても、レンズをアップデートしないと位相差AFが動作しない場合があります。対応レンズは、専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/ichigan>
- フルサイズ対応レンズ装着時は、[位相差AFエリア表示] を [入] にしても位相差AFエリアは表示されません。
- 動画撮影時は、位相差AFエリアは表示されません。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

AF被写体追従感度



静止画撮影時、被写体がフォーカスエリアからはずれたときのオートフォーカスの追従感度を選べます。

- 1 MENU → $\overset{\text{AF}}{\text{MF}}$ (フォーカス) → [AF/MF] → [AF被写体追従感度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

5(敏感)/4/3(標準)/2/1(粘る) :

距離の異なる被写体に次々にピントを合わせるには [5(敏感)] を選ぶ。

撮影したい被写体の前を別の被写体が横切るような条件下で、希望の被写体にピントを合わせ続けるには [1(粘る)] を選ぶ。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

AFトランジション速度



動画撮影時、オートフォーカスの対象が切り換わったときにフォーカス位置を移動させる速さを設定します。

- 1 MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [AF/MF] → [AFトランジション速度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

7(高速)/6/5/4/3/2/1(低速) :

高速の設定は、被写体にすばやくピントを合わせたいときに効果的です。

低速の設定は、被写体になめらかにピントを合わせたいときに効果的です。

ヒント

- タッチフォーカスを使うことで、意図的にAFトランジションを行うことができます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AF乗り移り感度



動画撮影時、被写体がフォーカスエリアからはずれたときに、フォーカスが別の被写体に移る感度を設定します。

- 1 MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [AF/MF] → [AF乗り移り感度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

5(敏感)/4/3/2/1(粘る) :

乗り移り感度を高くすると、速い被写体を撮影する場合や、被写体をテンポよく切り替えて撮影する場合に便利です。
乗り移り感度を低くすると、ピントを安定させて撮影する場合や、不要な被写体に影響を受けずに狙った被写体にピントを合わせ続ける場合に便利です。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AF/MF切換



撮影中にカメラのホールディングを崩すことなく、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- 1 MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] → 希望のボタン → [押す間AF/MF切換] または [再押しAF/MF切換] を選ぶ。

メニュー項目の詳細

押す間AF/MF切換：

ボタンを押し続けている間、フォーカスが切り替わる。

再押しAF/MF切換：

ボタンを再度押すまで、フォーカスが切り替わる。

ご注意

- コントロールホイールの [左ボタン]、[右ボタン]、[下ボタン] には、[押す間AF/MF切換] を設定できません。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

シャッター半押しAF



シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスによるピント合わせを行うかどうかを設定します。ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに便利です。

- 1 MENU→AF_{MF}（フォーカス）→ [AF/MF] → [シャッター半押しAF] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスが機能する。

切：

シャッターボタンを半押ししても、オートフォーカスが機能しない。

ピントを微調整するための便利な使いかた

Aマウントレンズ装着時にはシャッターボタン以外でオートフォーカスを行うことにより、マニュアルフォーカスと組み合わせてより精度の高いピント合わせを行うことができます。

1. [シャッター半押しAF] を [切] にする。
2. MENU→（セットアップ）→ [操作カスタマイズ] → [ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] で、[ピント拡大] を任意のキーに割り当てる。
3. AF-ON（AFオン）ボタンを押してピントを合わせる。
4. [ピント拡大] を割り当てたキーを押し、フォーカスリングを回してピントを微調整する。
5. シャッターボタンを押し込み、撮影する。

関連項目

- [AFオン](#)
- [ピント拡大](#)
- [プリAF](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

AFオン

シャッターボタンを半押ししなくてもピント合わせができます。オートフォーカスの設定はフォーカスモードダイヤルで設定しているモードになります。

1 撮影中にAF-ON（AFオン）ボタンを押す。

- 動画撮影時はマニュアルフォーカスモードでも、AF-ONボタンを押している間オートフォーカスでのピント合わせを行うことができます。

ヒント

- シャッターボタンでピント合わせをしたくない場合は、[シャッター半押しAF] を [切] に設定してください。
- 被写体の位置をあらかじめ想定して特定の撮影距離にピントを合わせておく場合（置きピン）は、[シャッター半押しAF] と [ブリAF] を [切] に設定してください。

関連項目

- [シャッター半押しAF](#)
- [ブリAF](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

フォーカスホールド



フォーカスホールドを割り当てたキーを押している間、フォーカスを固定します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] → 希望のキーに [フォーカスホールド] の機能を設定する。
- 2 ピントを合わせて、[フォーカスホールド] の機能を割り当てたキーを押す。
- 3 キーを押したままシャッターボタンを押す。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

プリAF



シャッター半押し前に、カメラが自動でピントを合わせます。

- ① MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [AF/MF] → [プリAF] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

シャッター半押し前に、カメラが自動でピントを合わせる。

切：

カメラが自動でピント合わせをしない。

ご注意

- Eマウントレンズ使用時のみ有効です。
- ピント合わせの動作中は、画面が揺れることがあります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AF-S時の優先設定



フォーカスモードダイヤルがAF-S（シングルAF）またはDMF（ダイレクトマニュアルフォーカス）で被写体が静止しているときに、ピントが合っていないくてもシャッターを切れるようにするかを設定します。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [AF/MF] → [AF-S時の優先設定] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

フォーカス優先：

ピントを合わせることを優先する。ピントが合わないと、シャッターは切れない。

レリーズ優先：

シャッターを切ることが優先する。ピントが合わなくても、シャッターは切れる。

バランス重視：

ピントを合わせることと、シャッターを切ることのバランスをとった撮影をする。

関連項目

- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [AF-C時の優先設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AF-C時の優先設定



コンティニュアスAFが働いていて被写体が動いているときに、ピントが合っていないでもシャッターを切れるようにするかを設定します。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [AF/MF] → [AF-C時の優先設定] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

フォーカス優先：

ピントを合わせることを優先する。

レリーズ優先：

シャッターを切ることが優先する。ピントが合わなくても、シャッターは切れる。

バランス重視：

ピントを合わせることと、シャッターを切ることのバランスをとった撮影をする。

関連項目

- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [AF-S時の優先設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ピント拡大中のAF



ピントを合わせたいエリアを拡大表示することで、より正確にオートフォーカスでピントを合わせることができます。拡大表示中は、[ フォーカスエリア] の [スポット] より狭いエリアでピントを合わせることができます。

- 1 MENU→AF_{MF} (フォーカス) → [ピント補助] → [ピント拡大中のAF] → [入] を選ぶ。
- 2 MENU→AF_{MF} (フォーカス) → [ピント補助] → [ピント拡大] を選ぶ。
- 3 マルチセレクトの中央を押して画像を拡大し、マルチセレクトの上/下/左/右で拡大位置を調整する。
 - 中央を押すたびに、拡大倍率は切り替わります。
- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
 - 画面中央の+ (プラスマーク) にピントが合います。
- 5 シャッターボタンを押し込んで撮影する。
 - 撮影後、拡大表示は解除されます。

ヒント

- 拡大表示位置を正確に捉えるために、三脚の使用をおすすめします。
- オートフォーカスでピントが合った状態で拡大表示すると、ピントの状態を確認することができます。ピントを合わせ直したい場合は、拡大表示画面でフォーカスエリアの位置を調整して、シャッターボタンを半押ししてください。

ご注意

- 画面の端を拡大表示すると、ピントが合わない場合があります。
- 拡大表示中は、露出やホワイトバランスの調整はできません。
- 以下の場合、[ピント拡大中のAF] は使用できません。
 - － 動画撮影中
 - － フォーカスモードが [コンティニュアスAF] のとき
 - － マウントアダプター (別売) を使用時
- 拡大表示中は、以下の機能は使用できません。
 - － [瞳AF]
 - － [プリAF]
 - － [ AF時の顔/瞳優先]

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AF補助光



AF補助光とは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に補助光が発光して、フォーカスを合わせやすくします。

マルチインターフェースシューにAF補助光機能を搭載したフラッシュを装着している場合、フラッシュの電源が入っていると、フラッシュのAF補助光が発光します。

- ① MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [AF/MF] → [AF補助光] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

暗所でAF補助光が自動発光する。

切：

AF補助光を使用しない。

ご注意

- 以下のときは、[AF補助光] は発光されません。
 - 撮影モードが [動画] または [スロー&クイックモーション]
 - フォーカスモードが [コンティニュアスAF] のとき
 - ピント拡大中
 - マウントアダプター装着時
- AF補助光は明るい光です。安全上問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AF時の絞り駆動



レンズの絞り駆動方式を変更して、オートフォーカスの追従性能を優先した設定や、静音を優先した設定にすることができます。

- 1 MENU → AF_{MF} (フォーカス) → [AF/MF] → [AF時の絞り駆動] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

フォーカス優先：

レンズの絞り駆動方式を変更して、オートフォーカス性能を優先する。

標準：

標準的な絞り駆動方式を使用する。

サイレント優先：

レンズの絞り駆動方式をサイレント優先にし、絞り駆動音を「標準」より抑えることができる。

ご注意

- 「フォーカス優先」に設定すると、絞りの駆動音が鳴ったり、絞りの効果が画面の見えかたに反映されない場合があります。また、連続撮影時に撮影速度が低下したり、画面がちらつくことがあります。気になる場合は、「標準」に設定してください。
- 「サイレント優先」に設定すると、ピント合わせの速度が低下したり、ピントが合いにくくなる場合があります。
- 「AF時の絞り駆動」が「標準」または「サイレント優先」で、絞り値がF22より大きいときは、連続撮影時のフォーカスは1枚目の撮影時の位置に固定されます。
- 使用するレンズや撮影条件によって効果は異なります。

関連項目

- [サイレントモード設定 \(静止画/動画\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

マニュアルフォーカス



オートフォーカスが効きにくいときは、手動でピントを合わせると便利です。

- 1 フォーカスモードダイヤルロック解除ボタンを押しながらフォーカスモードダイヤルを回して、MFを選ぶ。
- 2 フォーカスリングを左右に回して、被写体が最もはっきり見えるようにする。
 - 静止画撮影時は、フォーカスリングを回すと画面にフォーカス距離が表示されます。マウントアダプター（別売）使用時は、表示されません。

ご注意

- ファインダー使用時は、視度調整が正しくないと、ファインダー上の正確なピントが得られません。
- 画面に表示されるフォーカス距離は目安です。

関連項目

- [フォーカスモードダイヤルを使う](#)
- [ダイレクトマニュアルフォーカス（DMF）](#)
- [MF時自動ピント拡大](#)
- [ピント拡大](#)
- [ピーキング表示](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ダイレクトマニュアルフォーカス (DMF)



オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動で微調整できます。最初からマニュアルフォーカスでピントを合わせるよりもすばやくピント合わせができ、マクロ撮影などに便利です。

- 1 フォーカスモードダイヤルロック解除ボタンを押しながらフォーカスモードダイヤルを回して、DMFを選ぶ。
- 2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。
- 3 シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを回してピントを調整する。
 - フォーカスリングを回すと、画面にフォーカス距離が表示されます。
マウントアダプター（別売）使用時は、表示されません。
- 4 シャッターボタンを押し込んで撮影する。

関連項目

- [フォーカスモードダイヤルを使う](#)
- [マニュアルフォーカス](#)
- [ピーキング表示](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

MF時自動ピント拡大



マニュアルフォーカス撮影やダイレクトマニュアルフォーカス撮影でピント合わせをするときに、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [ピント補助] → [MF時自動ピント拡大] → [入] を選ぶ。
- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせる。
 - 画像が拡大される。コントロールホイールの中央を押して、さらに拡大することもできる。

ヒント

- 拡大表示する時間は、MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [ピント補助] → [ ピント拡大時間] で設定できます。

ご注意

- 動画撮影のとき、[MF時自動ピント拡大] 機能は使用できません。[ピント拡大] 機能を使用してください。
- マウントアダプター使用時は、[MF時自動ピント拡大] 機能は使用できません。[ピント拡大] 機能を使用してください。

関連項目

- マニュアルフォーカス
- ダイレクトマニュアルフォーカス (DMF)
- ピント拡大時間 (静止画/動画)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ピント拡大



撮影前の画像を拡大してピントの確認ができます。

〔MF時自動ピント拡大〕とは違い、フォーカスリングを回さずに画像を拡大できます。

- 1 MENU→AF_{MF}（フォーカス）→〔ピント補助〕→〔ピント拡大〕を選ぶ。
- 2 マルチセレクターの中央を押して画像を拡大し、マルチセレクターの上/下/左/右で拡大位置を調整する。
 - 中央を押すたびに、拡大倍率は切り替わります。
 - 拡大表示する初期倍率は、MENU→AF_{MF}（フォーカス）→〔ピント補助〕→〔ピント拡大初期倍率〕または〔ピント拡大初期倍率〕で設定できます。
- 3 ピントの確認をする。
 - （削除）ボタンを押すと拡大位置が中央に戻ります。
 - フォーカスモードが〔マニュアルフォーカス〕の場合は、拡大表示中にピントの調整を行えます。〔ピント拡大中のAF〕が〔切〕の場合、シャッターボタンを半押しすると拡大表示は解除されます。
 - オートフォーカス時は、〔ピント拡大中のAF〕の設定により、拡大表示中にシャッターボタンを半押ししたときの動作が異なります。
 - － 〔ピント拡大中のAF〕が〔入〕の場合：再度オートフォーカスが行われます。
 - － 〔ピント拡大中のAF〕が〔切〕の場合：拡大表示が解除されます。
 - 拡大表示する時間は、MENU→AF_{MF}（フォーカス）→〔ピント補助〕→〔ピント拡大時間〕で設定できます。
- 4 シャッターボタンを押し込み撮影する。

タッチ操作でピント拡大を行うには

モニターをタッチして被写体を拡大表示し、ピントの調整を行うことができます。あらかじめ、〔タッチ操作〕を〔入〕に設定し〔タッチパネル/タッチパッド〕を適切に設定してください。モニター撮影時は、フォーカスモードが〔マニュアルフォーカス〕のときに、ピントを合わせたい場所をダブルタップして〔ピント拡大〕ができます。ファインダー撮影時は、モニターをダブルタップすると画面中央に枠が表示され、ドラッグで枠の位置を移動できます。マルチセレクターの中央を押すと、画像を拡大表示します。

ヒント

- ピント拡大時、タッチパネルをドラッグして拡大位置を動かすことができます。
- ピント拡大を終了したい場合は、もう一度モニターをダブルタップしてください。〔ピント拡大中のAF〕が〔切〕のときは、シャッターボタンを半押ししても終了できます。

関連項目

- MF時自動ピント拡大

- ピント拡大時間（静止画/動画）
- ピント拡大初期倍率（静止画）
- ピント拡大初期倍率（動画）
- ピント拡大中のAF
- タッチ操作

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ピント拡大時間（静止画/動画）



〔MF時自動ピント拡大〕または〔ピント拡大〕機能で拡大表示する時間を設定します。

1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → 〔ピント補助〕 → [ ピント拡大時間] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

2秒：

拡大表示を2秒間行う。

5秒：

拡大表示を5秒間行う。

無制限：

拡大時間を無制限にする。シャッターボタンの操作で解除される。

関連項目

- [MF時自動ピント拡大](#)
- [ピント拡大](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ピント拡大初期倍率（静止画）



「ピント拡大」を使って画像を拡大するときに、最初に表示する倍率を設定します。フレーミングをしやすい設定を選んでください。

1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → 「ピント補助」 → [ ピント拡大初期倍率] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

フルサイズでの撮影時

x1.0 :

撮影画面と同じ倍率で表示する。

x4.2 :

4.2倍に拡大する。

APS-C/Super 35mmでの撮影時

x1.0 :

撮影画面と同じ倍率で表示する。

x2.7 :

2.7倍に拡大する。

関連項目

- [ピント拡大](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ピント拡大初期倍率（動画）



動画撮影時に「ピント拡大」を使って画像を拡大するときに、最初に表示する倍率を設定します。

① MENU → AF_{MF}（フォーカス） → 「ピント補助」 → 「 ピント拡大初期倍率」 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

x1.0 :

撮影画面と同じ倍率で表示する。

x4.0 :

4.0倍に拡大する。

関連項目

- [ピント拡大](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ピーキング表示



マニュアルフォーカス撮影や、ダイレクトマニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を強調するピーキングの設定をします。

- 1 MENU → AF_{MF}（フォーカス） → [ピーキング表示] → メニュー項目を選び、希望の設定にする。

メニュー項目の詳細

ピーキング表示：

ピーキング表示をするかどうかを設定する。（[入] / [切]）

ピーキングレベル：

ピントが合った部分の輪郭を強調するレベルを設定する。（[高] / [中] / [低]）

ピーキング色：

ピントが合った部分の輪郭を強調する色を選ぶ。（[レッド] / [イエロー] / [ブルー] / [ホワイト]）

ご注意

- 画像のシャープな部分をピントが合ったと判断するため、被写体やレンズによって強調表示効果が異なります。
- HDMI接続時は、接続先の機器にはピーキングが表示されません。

関連項目

- [マニュアルフォーカス](#)
- [ダイレクトマニュアルフォーカス（DMF）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

露出補正（静止画/動画）



通常は、露出が自動的に設定されます（自動露出）。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると画像全体を明るく、-側に補正すると画像全体を暗くできます（露出補正）。

1 露出補正ダイヤルのロックを解除して、露出補正ダイヤルを回す。

+（オーバー）側：

画像が明るくなる。

-（アンダー）側：

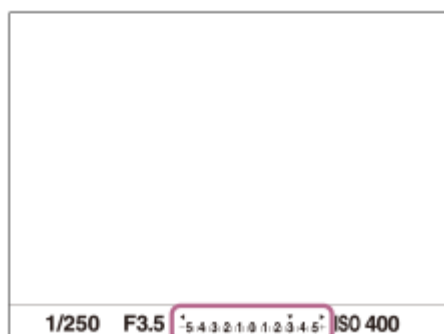
画像が暗くなる。

- 露出補正ダイヤルロックボタンを押すたびに、露出補正ダイヤルのロック/ロック解除が切り替わります。ロックボタンが上がって白い線が見えているときにロック解除状態です。
- -3.0EV～+3.0EVの範囲で値を設定できます。
- 設定した露出補正值は撮影画面で確認できます。

モニター表示



ファインダー表示



MENUで設定するには

露出補正ダイヤルが0のときに、-5.0 EV～+5.0 EVの範囲で値を設定できます。

MENU→（露出/色）→〔露出補正〕→〔 露出補正〕→希望の設定を選ぶ。

ヒント

- 露出補正ダイヤルのロックを解除しておく、いつでも露出補正ダイヤルを操作できます。露出補正ダイヤルをロックしておく、露出補正値が意図せず変わってしまうことを防げます。
- 露出補正ダイヤルとメニューの [ 露出補正]、[ダイヤル露出補正] では、露出補正ダイヤルの設定が優先されます。
- 撮影時に画面で確認できる数値は -3.0EV から +3.0EV までです。その範囲外に設定した場合は、撮影時の画面では明るさは変わりませんが、記録した画像には反映されます。
- 動画撮影時は -2.0EV から +2.0EV の範囲で調整できます。

ご注意

- 撮影モードが以下のときは、露出補正できません。
 - [おまかせオート]
- [マニュアル露出] 時は、[ ISO感度] が [ISO AUTO] のときのみ露出補正できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、十分な効果が得られないことがあります。
- 露出補正ダイヤルを0以外から0に合わせた場合、[ 露出補正] の設定にかかわらず、露出補正値は0になります。

関連項目

- [露出値ステップ幅（静止画/動画）](#)
- [ダイヤル露出補正](#)
- [露出補正の影響](#)
- [ブラケット設定：連続ブラケット](#)
- [ブラケット設定：1枚ブラケット](#)
- [ゼブラ表示](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ヒストグラムについて

ヒストグラムとは輝度分布のことで、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。

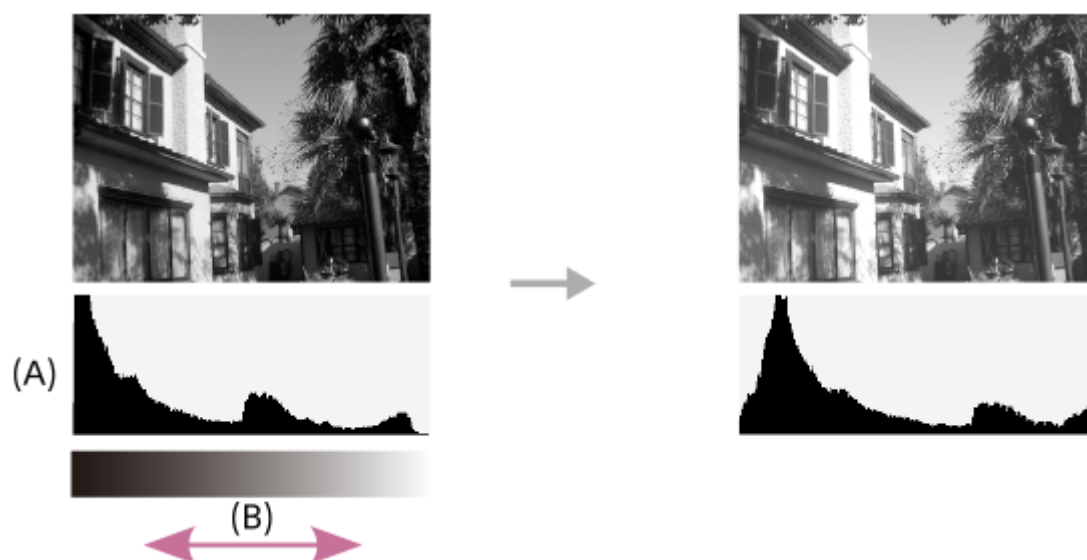
撮影画面や再生画面にヒストグラムを表示させるには、DISP（画面表示切換）ボタンを繰り返し押してください。

ヒストグラムの見かた

ヒストグラムは、左に行くほど暗く、右は明るいことを表しています。

露出補正をかけると、ヒストグラムもそれに応じて変化します。

ヒストグラムの左右両端のデータは、白とび/黒つぶれした部分があることを表しています。このような部分は、撮影後、画像をパソコンで補正しても再現することはできません。必要に応じて露出補正をしてから撮影してください。



(A) 画素数

(B) 明暗

ご注意

- ヒストグラムは、撮影結果ではなく、画面で見ている画像のヒストグラムになります。絞り値などにより結果が異なります。
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとおり大きく異なります。
 - － フラッシュ発光したとき
 - － 夜景などの低輝度な被写体のとき

関連項目

- [DISP（画面表示切換）ボタンを使う](#)
- [露出補正（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

露出補正值のリセット（静止画/動画）



露出補正ダイヤルが「0」の状態です。電源を切ったとき、[ 露出補正] で設定した値を保持するかどうかを設定します。

- 1 MENU →  （露出/色）→ [露出補正] → [ 露出補正值のリセット] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

保持：

設定値を保持する。

リセット：

設定値をリセットする。

関連項目

- [露出補正（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

露出値ステップ幅（静止画/動画）



シャッタースピード、絞り値、露出補正值の設定幅を設定できます。

- 1 MENU → （露出/色）→ [露出補正] → [ 露出値ステップ幅] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

0.5段 / 0.3段

ご注意

- [0.5段] に設定しても露出補正ダイヤルでの補正值の設定は0.3段単位になります。

関連項目

- [露出補正（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

露出基準調整（静止画/動画）



カメラの適正露出値の基準を、測光モードごとに調整することができます。

① MENU → （露出/色） → [露出補正] → [露出基準調整] → 設定したい測光モードを選ぶ。

② 希望の基準値を選ぶ。

- -1段～+1段の範囲で、1/6段の設定幅で選べます。

測光モード

各モードについて設定した基準値は、MENU → （露出/色） → [測光] → [測光モード] で同じモードを選択したときの自動露出に反映される。

マルチ / 中央重点 / スポット / 画面全体平均 / ハイライト重点

ご注意

- [露出基準調整] を変更しても、露出補正の設定値は変更されません。
- スポットAEL実行時は、[スポット] の露出基準を使用して露出値が固定されます。
- M.M（メータードマニュアル）の明るさ基準レベルも、[露出基準調整] の設定に合わせて変わります。
- 画像のExif情報には、[露出基準調整] の値が露出補正值とは別に記録されます。露出基準の変更分は、露出補正值に加算されません。
- ブラケット撮影の途中で [露出基準調整] を行くと、ブラケット撮影の枚数カウントはリセットされます。

関連項目

- [測光モード（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ダイヤル露出補正



露出補正ダイヤルが「0」のときに、前ダイヤルまたは後ダイヤルでも露出を補正できます。 -5.0EVから+5.0EVの間で設定できます。

- 1 露出補正ダイヤルを「0」に合わせる。
- 2 MENU →  (セットアップ) → [ダイヤルカスタマイズ] → [ダイヤル露出補正] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切：

前後ダイヤルに露出補正を設定しない。

 前ダイヤル /  後ダイヤル：

前ダイヤルまたは後ダイヤルで露出補正ができるように設定する。

ご注意

- 前ダイヤルまたは後ダイヤルに露出補正を割り当てると、元々割り当てられていた機能は、露出補正を割り当てていないほうのダイヤルで操作できます。
- 露出補正ダイヤルとメニューの [ 露出補正]、前/後ダイヤルによる露出補正では、露出補正ダイヤルの設定が優先されます。

関連項目

- [露出補正（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Dレンジオブティマイザー（静止画/動画）



被写体や背景の明暗の差を細かな領域に分けて分析し、最適な明るさと階調の画像にします。

- 1 MENU → （露出/色） → [カラー/トーン] → [Dレンジオブティマイザー] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切：

明るさと階調の調整を行わない。

Dレンジオブティマイザー：

[Dレンジオブティマイザー：オート] を選ぶと、カメラが自動で調整する。撮影画像の階調を画像の領域ごとに最適化したいときは、[Dレンジオブティマイザー：Lv1]（弱）～[Dレンジオブティマイザー：Lv5]（強）で最適化レベルを選ぶ。

ご注意

- 以下の場合、 [Dレンジオブティマイザー] は [切] に固定されます。
 - － [ピクチャープロファイル] が [切] 以外するとき
- [Dレンジオブティマイザー] 動作時は、ノイズが目立つ場合があります。特に補正効果を強めるときは、撮影後の画像を確認しながらレベルを選んでください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

測光モード（静止画/動画）



本機が自動で露出を決めるとき、モニターのどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

① MENU → （露出/色） → [測光] → [測光モード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

マルチ：

複数に分割したモニターを各エリアごとに測光し、画面全体の最適な露出を決定する（マルチパターン測光）。

中央重点：

モニターの中央部に重点をおきながら、全体の明るさを測光する（中央重点測光）。

スポット：

スポット測光サークル内のみで測光する。画面内の特定の場所を部分的に測光したいときに適している。測光サークルの大きさを[スポット：標準]と[スポット：大]から選択できる。測光サークルの位置は[スポット測光位置]の設定によって異なる。

画面全体平均：

画面全体を平均的に測光する。構図や被写体の位置によって露出が変化しにくい。

ハイライト重点：

画面内のハイライト部分を重点的に測光する。被写体の白とびを抑えて撮影したいときに適している。

ヒント

- [フォーカス位置連動] 機能で、スポット測光位置をフォーカスエリアに連動させることができます。
- [マルチ] を選んでいる場合、[マルチ測光時顔優先] を [入] にすると、カメラが検出した人物の顔の情報を基準に測光を行います。
- [測光モード] を [ハイライト重点] に設定して [Dレンジオブティマイザー] を使用すると、明暗の差を細かな領域に分けて分析し、明るさやコントラストが自動補正されます。撮影状況に合わせてご使用ください。

ご注意

- 以下のときは、[測光モード] は [マルチ] に固定されます。
 - － [おまかせオート]
 - － 光学ズーム以外のズーム使用時
- [ハイライト重点] を選択しているとき、撮りたい被写体よりも明るい物が画面内にあると、被写体が暗く写ることがあります。

関連項目

- [AEロック](#)
- [スポット測光位置（静止画/動画）](#)
- [マルチ測光時顔優先（静止画/動画）](#)
- [Dレンジオブティマイザー（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

マルチ測光時顔優先（静止画/動画）



〔 測光モード〕を〔マルチ〕に設定しているときに、カメラが検出した人物の顔を基準に測光するかどうかを設定します。

① MENU →  （露出/色） → 〔測光〕 →  マルチ測光時顔優先 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

カメラが検出した顔情報を基準に測光を行う。

切：

顔検出は行わずに〔マルチ〕で測光を行う。

ご注意

- 撮影モードが〔おまかせオート〕の場合、〔 マルチ測光時顔優先〕は〔入〕になります。
- 〔顔/瞳AF〕の〔 AF時の顔/瞳優先〕が〔入〕で〔 顔/瞳検出対象〕が〔動物〕または〔鳥〕のときは、〔 マルチ測光時顔優先〕は働きません。

関連項目

- [測光モード（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

スポット測光位置（静止画/動画）



〔 フォーカスエリア〕が以下に設定されているときに、スポット測光位置をフォーカスエリアに連動させるかどうかを設定します。

- [スポット: S] / [スポット: M] / [スポット: L]
- [拡張スポット]
- [トラッキング: スポット S] / [トラッキング: スポット M] / [トラッキング: スポット L]
- [トラッキング: 拡張スポット]

1 MENU → （露出/色）→ [測光] →  スポット測光位置 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

中央：

スポット測光位置がフォーカスエリアに連動せず、常に中央で測光する。

フォーカス位置連動：

スポット測光位置がフォーカスエリアに連動する。

ご注意

- スポット測光位置を [トラッキング] の開始エリアに連動させる場合でも、被写体の追尾には連動しません。
- 〔 フォーカスエリア〕が以下の設定の場合は、スポット測光位置は中央に固定されます。
 - － [ワイド]
 - － [ゾーン]
 - － [中央固定]
 - － [トラッキング: ワイド] / [トラッキング: ゾーン] / [トラッキング: 中央固定]

関連項目

- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)
- [測光モード（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AEロック

逆光や窓際などでの撮影で、背景と被写体に大きな明暗の差がある場合は、被写体が適正な明るさになる箇所で測光し、露出を固定して撮影します。被写体の明るさを抑えたいときは被写体よりも明るい箇所で測光し、被写体をより明るく写したいときは被写体よりも暗い箇所で測光し、画面全体の露出を固定します。

1 露出を合わせる箇所に、ピントを合わせる。

2 AELボタンを押す。

露出が固定され、***** (AEロックマーク) が表示される。

3 AELボタンを押したまま、撮影したい被写体にピントを合わせ直し、撮影する。

- 露出値を一定に保ったまま連続で撮影するときは、撮影後もAELボタンを押したままにする。指を離すと露出固定は解除される。

ヒント

- [ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] でAELボタンに [再押しAEL] を割り当てておくと、ボタンを押し続けなくても露出を固定できます。

ご注意

- 光学ズーム以外のズームを使用しているときは、[押す間スポットAEL] または [再押しスポットAEL] は使えません。

関連項目

- [AELボタンを使う](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

シャッター半押しAEL



シャッターボタンを半押ししたときに露出固定を行うかどうかを設定します。
ピント合わせと露出固定を別々に行いたいときに便利です。

1 MENU →  (露出/色) → [測光] → [シャッター半押しAEL] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

フォーカスモードダイヤルをAF-S（シングルAF）にしているとき、シャッターボタンを半押ししてオートフォーカス後、露出固定を行う。

入：

シャッターボタンを半押ししたときに、露出固定を行う。

切：

シャッターボタンを半押ししたときに、露出固定を行わない。ピント合わせと露出固定を別々に行いたいときに使う。
[連続撮影] 中も露出を合わせ続けます。

ご注意

- [シャッター半押しAEL] の設定にかかわらず、AELボタンの操作が優先されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ゼブラ表示



画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル（IRE）部分に表示するしま模様（ゼブラ）の設定を行います。ゼブラは、明るさを調節するときの目安にすると便利です。

- 1 MENU → （露出/色） → [ゼブラ表示] → メニュー項目を選び、希望の設定にする。

メニュー項目の詳細

ゼブラ表示：

ゼブラを表示するかどうかを設定する。（[切] / [入]）

ゼブラレベル：

ゼブラの輝度レベルを設定する。（[70] / [75] / [80] / [85] / [90] / [95] / [100] / [100+]）

ヒント

- [ ゼブラレベル] の設定値には、輝度レベルを表す数値以外に、露出確認用と白とび確認用の設定を登録することができます。お買い上げ時には [カスタム 1] には露出確認用、[カスタム 2] には白とび確認用の設定が登録されています。
- 露出確認用として使用する場合は、ゼブラ表示する輝度レベルの基準値と、その範囲数値を指定します。指定された範囲の輝度部分がゼブラ表示されます。
- 白とび確認用として使用する場合は、ゼブラ表示する輝度レベルの下限値を指定します。指定した数値以上の輝度部分がゼブラ表示されます。

ご注意

- HDMI接続時は、接続先の機器にはゼブラが表示されません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ISO感度（静止画/動画）



光に対する感度は、ISO感度（推奨露光指数）で表します。数値が大きいほど高感度になります。

1 コントロールホイールのISO（ISO感度）→希望の設定を選ぶ。

- MENU→（露出/色）→ [露出] → [ISO感度] でも設定できます。
- 前ダイヤルを回すとコントロールホイールで選ぶのと同様に1/3段ずつ数値を変更できます。後ダイヤルを回すと1段ずつ数値を変更できます。

メニュー項目の詳細

ISO AUTO :

カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。

ISO 50～ISO 102400 :

好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大きいほど高感度になる。

ヒント

- [ISO AUTO] 時に自動設定されるISO感度の範囲を変更できます。[ISO AUTO] を選択したときに、コントロールホイールの右を押して、[ISO AUTO 上限] / [ISO AUTO 下限] を選んで希望の数値を設定してください。
- ISO感度が高くなるほど、ノイズが増えます。
- 静止画撮影時、動画撮影時、またはスロー&クイックモーション撮影時で、選べる設定が異なります。
- 動画撮影時はISO100～ISO32000の範囲で選べます。ISO32000よりも大きい値の状態では動画撮影を始めると、ISO32000に切り替わります。動画撮影を終えると元のISO値に戻ります。
- 動画撮影時はISO100～ISO32000の範囲で選べます。ISO100よりも小さい値の状態では動画撮影を始めると、ISO100に切り替わります。動画撮影を終えると元のISO値に戻ります。
- [ピクチャープロファイル] の [ガンマ] の設定によって、設定できるISO感度の範囲が変わります。
- HDMI接続した他機にRAW動画を出力している場合は、設定できるISO感度の範囲が変わります。

ご注意

- 以下のときは、[ISO AUTO] に設定されます。
 - － [おまかせオート]
- ISO100未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲（ダイナミックレンジ）が少し狭くなります。
- 撮影モードが「P」、「A」、「S」、「M」のとき、ISO感度を [ISO AUTO] にすると、設定された範囲内で自動設定されます。
- 低感度での撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ISO感度範囲限定（静止画/動画）



ISO感度をマニュアルで設定するときのISO感度の範囲を限定します。

- 1 MENU → （露出/色）→ [露出] → [ ISO感度範囲限定] → [下限] または [上限] で希望の数値を選ぶ。

【ISO AUTO】時の範囲を設定するには

【ISO AUTO】時に自動設定されるISO感度の範囲を設定したいときは、MENU → （露出/色）→ [露出] → [ ISO感度] → [ISO AUTO] を選択して、コントロールホイールの右を押して [ISO AUTO 上限] / [ISO AUTO 下限] を選んでください。

ご注意

- 設定範囲外のISO感度は選択できなくなります。選択するには、再度 [ ISO感度範囲限定] を設定してください。
- [ ピクチャープロフィール] の [ガンマ] の設定によって、設定できるISO感度の範囲が変わります。

関連項目

- [ISO感度（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ISO AUTO低速限界



撮影モードがP（プログラムオート）またはA（絞り優先）で「ISO AUTO」を選択したときに、ISO感度が変わり始めるシャッタースピードを設定できます。

この機能は、動いている被写体を撮影するときに効果的です。手ブレを抑えながら、被写体ブレも軽減することができます。

① MENU→（露出/色）→「露出」→「ISO AUTO低速限界」→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

SLOWER（より低速）/SLOW（低速）：

「標準」よりも遅いシャッタースピードでISO感度が変わり始めるため、ノイズの少ない写真を撮影できる。

STD（標準）：

レンズの焦点距離に応じてカメラが自動で設定する。

FAST（高速）/FASTER（より高速）：

「標準」よりも速いシャッタースピードでISO感度が変わり始めるため、手ブレや被写体ブレを抑えることができる。

1/16000 ～ 30"：

設定したシャッタースピードでISO感度が変わり始める。

ヒント

- 「より低速」、「低速」、「標準」、「高速」、「より高速」でISO感度が変わり始めるシャッタースピードの差は、それぞれ1段分です。

ご注意

- ISO感度を、「ISO AUTO」時に設定した「ISO AUTO 上限」まで上げても露出不足になる場合は、適正露出で撮影するために「ISO AUTO低速限界」で設定したシャッタースピードよりも低速になります。
- 以下の場合、設定されたシャッタースピードのとおりには動作しないことがあります。
 - － 「シャッター方式」によってシャッタースピードの最高速が変わったとき
 - － 明るいシーンをフラッシュ撮影するとき（高速側のシャッタースピードがフラッシュ同調速度*で制限されるため）
* フラッシュ同調速度は「フラッシュ同調優先」の設定により変わります。
 - － 「フラッシュモード」が「強制発光」で、暗いシーンをフラッシュ撮影するとき（低速側のシャッタースピードが、カメラが自動で判断したシャッタースピードで制限されるため）

関連項目

- プログラムオート
- 絞り優先
- ISO感度（静止画/動画）

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ホワイトバランス（静止画/動画）



撮影環境での光の色の影響を補正して、白いものを白く写すための機能です。画像の色合いが思った通りにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに使います。

① MENU → （露出/色） → [ホワイトバランス] → [ホワイトバランス] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

AWB オート / AWB オート: 雰囲気優先 / AWB オート: ホワイト優先 / 太陽光 / 日陰 / 曇天 / 電球 / -1 蛍光灯: 温白色 / 0 蛍光灯: 白色 / +1 蛍光灯: 昼白色 / +2 蛍光灯: 昼光色 / フラッシュ / 水中オート :

被写体を照らしている光源を選ぶと、選んだ光源に適した色合いになる（プリセットホワイトバランス）。[オート]を選ぶと本機が光源を自動判別し、適した色合いに調整する。

色温度/カラーフィルター :

光源の色に合わせて設定する（色温度）。写真用のCC（色補正）フィルターと同等の効果が得られる（カラーフィルター）。

カスタム 1/カスタム 2/カスタム 3 :

撮影する光源下で基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する。

ヒント

- コントロールホイールの右で、微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。[色温度/カラーフィルター]を選択しているときは、コントロールホイールの右を押さなくても、後ダイヤルを回して色温度を変更できます。
- 選んだ設定で思い通りの色にならないときは、ホワイトバランスブラケット撮影を行います。
- AWB （オート: 雰囲気優先）、AWB （オート: ホワイト優先）は [AWB時の優先設定] を [雰囲気優先] または [ホワイト優先] に設定したときのみ表示されます。
- 動画撮影中に撮影環境が切り替わる時など、急激なホワイトバランスの切り替えを緩和したいときは、[ショックレスWB] 機能でホワイトバランスの切り替わる速さを変えることができます。

ご注意

- 以下のときは、[ホワイトバランス] は [オート] に固定されます。
 - － [おまかせオート]
- 水銀灯やナトリウムランプのみが光源の場合、光の特性上、正確なホワイトバランスが得られません。フラッシュを発光して撮影するか、[カスタム 1] ～ [カスタム 3] のご使用をおすすめします。
- [ホワイトバランス] が [オート] のときは、可視光+IRセンサーを手でふさがないようにしてください。光源を誤判別する原因になり、適した色合いに調節できないことがあります。

関連項目

- [基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する（カスタムホワイトバランス）](#)
- [AWB時の優先設定（静止画/動画）](#)
- [ブラケット設定：ホワイトバランスブラケット](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

基準になる白色を取得してホワイトバランスを設定する（カスタムホワイトバランス）



複数の種類の光源で被写体が照らされている場合などに、より正確な色合いを表現したいときは、カスタムホワイトバランスの使用をおすすめします。3つの設定を登録できます。

- 1 MENU → （露出/色） → [ホワイトバランス] → [ホワイトバランス] → [カスタム 1] ～ [カスタム 3] を選び、コントロールホイールの右を押す。
- 2 SET（カスタムホワイトバランスセット）を選んでコントロールホイールの中央を押す。
- 3 白く写したいものがホワイトバランス取り込み枠を覆うようにカメラを構えて、コントロールホイールの中央を押す。
シャッター音がして、取り込んだ値（色温度とカラーフィルター）が表示される。
 - コントロールホイールの上/下/左/右でホワイトバランス取り込み枠の位置を移動できます。
 - 取り込み後にコントロールホイールの右を押すと微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
 - 以下のときはシャッター音は鳴りません。
 - 動画撮影モードのとき
 - [サイレントモード] が [入] のとき
 - [シャッター方式] が [電子シャッター] のとき
- 4 コントロールホイールの中央を押す。
取り込んだ値が登録される。
登録したカスタムホワイトバランス値が設定された状態でMENU画面に戻る。
 - この操作で登録したカスタムホワイトバランス値は、次に別の値が登録されるまで保持されます。

ご注意

- [カスタムWBの取り込みに失敗しました] というメッセージが表示されたときは、値が想定外であることを表しています（鮮やかな色の被写体に向けた場合など）。そのまま登録することは可能ですが、設定し直すことをおすすめします。カスタムWB設定エラーとなっている場合、撮影情報画面の （カスタムホワイトバランス）表示がオレンジ色になります（正しく登録された場合は白色になります）。
- 基準の白を取り込むときにフラッシュを発光させると、フラッシュ光でカスタムホワイトバランスが登録されます。呼び出したあとの撮影でもフラッシュを発光させて撮影してください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

AWB時の優先設定（静止画/動画）



〔 ホワイトバランス〕が〔オート〕のとき、白熱電球などの光源下で優先する色味を設定します。

① MENU → （露出/色） → 〔ホワイトバランス〕 → 〔 AWB時の優先設定〕 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

AWB
STD 標準：

通常のオートホワイトバランスで撮影する。自然な色合いになるように自動調整する。

AWB
Ambi 雰囲気優先：

光源の色味を優先する。暖かみのある雰囲気を出したいときに適している。

AWB
White ホワイト優先：

光源の色温度が低いとき、白色の再現を優先する。

関連項目

- [ホワイトバランス（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

シャッターAWBロック



〔 ホワイトバランス〕が〔オート〕または〔水中オート〕のときに、シャッターボタンを押している間ホワイトバランスを固定するかどうかを設定します。

シャッターボタン半押し時や連続撮影時に、意図せずホワイトバランスが変わることを防ぐことができます。

1 MENU→ (露出/色) → [ホワイトバランス] → [シャッターAWBロック] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

シャッター半押し：

オートホワイトバランス時でも、シャッターボタンを半押し中はホワイトバランスを固定する。連続撮影中も固定される。

連写中：

オートホワイトバランス時でも、連続撮影中はホワイトバランスを1枚目で固定する。

切：

通常のオートホワイトバランス。

〔押す間AWBロック〕と〔再押しAWBロック〕について

カスタムキーに〔押す間AWBロック〕または〔再押しAWBロック〕を割り当てることでも、オートホワイトバランス時にホワイトバランスを固定できます。撮影画面で割り当てたキーを押すと、ホワイトバランスが固定されます。

〔押す間AWBロック〕は、ボタンを押している間だけオートホワイトバランスの追従を停止しホワイトバランスを固定します。

〔再押しAWBロック〕は、一度キーを押すとオートホワイトバランスの追従を停止しホワイトバランスを固定します。もう一度キーを押すとAWBロックを解除します。

- オートホワイトバランスでの動画撮影時にホワイトバランスを固定したい場合も、カスタムキーに〔押す間AWBロック〕または〔再押しAWBロック〕を割り当ててください。

ヒント

- オートホワイトバランスを固定してフラッシュ撮影をすると、発光する前にホワイトバランスが固定されるため、撮影画像の色合いが不自然になることがあります。その場合は、〔シャッターAWBロック〕を〔切〕または〔連写中〕に設定し、カスタムキーの〔押す間AWBロック〕または〔再押しAWBロック〕を使用しないで撮影してください。または、〔 ホワイトバランス〕を〔フラッシュ〕に設定してください。

関連項目

- [ホワイトバランス（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ショックレスWB



動画の記録中に [ホワイトバランス] や [AWB時の優先設定] の設定を変更した場合の、ホワイトバランスが切り替わる速さを設定します。

① MENU → (露出/色) → [ホワイトバランス] → [ショックレスWB] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切：

動画の記録中にホワイトバランスを変更すると、ホワイトバランスがすぐに切り替わる。

1(高速)/2/3(低速)：

動画の記録中にホワイトバランスを変更したときの切り替わる速を選ぶ。動画のホワイトバランスがなめらかに変化する。

[1(高速)]、[2]、[3(低速)] の順に変化の速度が速い。

ご注意

- この機能は、[ホワイトバランス] が [オート] のときにホワイトバランスが変化する速さには影響しません。
- [切] 以外に設定しても、色合いの微調整や [色温度/カラーフィルター] の色温度の変更は速度の設定に関係なく、すぐに反映されます。

関連項目

- [ホワイトバランス \(静止画/動画\)](#)

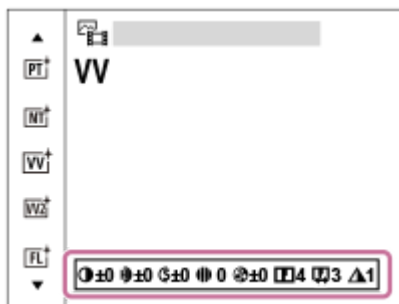
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

クリエイティブルック（静止画/動画）

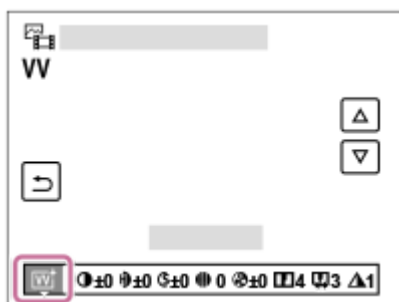


「ルック」とはカメラにあらかじめセットされた画作りのプリセットです。
本機能では、ルックを選択することで画像の仕上がりを選べます。さらに、各ルックごとに、コントラスト、ハイライト、シャドウ、フェード、彩度、シャープネス、シャープネスレンジ、明瞭度を微調整できます。

- 1 MENU → （露出/色） → [カラー/トーン] → [クリエイティブルック] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下で希望のルックまたはカスタムルックを選ぶ。
- 3 （コントラスト）、（ハイライト）、（シャドウ）、（フェード）、（彩度）、（シャープネス）、（シャープネスレンジ）、（明瞭度）を調整したいときは、コントロールホイールの右で右側に移動する。左/右で希望の項目を選び、上/下で値を選ぶ。



- 4 カスタムルックを選んだときは、コントロールホイールの右で右側に移動し、希望のルックを選ぶ。
 - カスタムルックを使えば、同じルックでも微妙に設定を変えて呼び出すことができます。



メニュー項目の詳細

ST :
被写体・シーンに幅広く対応する標準の仕上がり。

PT :
肌をより柔らかくに再現する。人物の撮影に適している。

NT :
彩度・シャープネスが低くなり、落ち着いた雰囲気表現する。パソコンでの画像加工を目的とした撮影にも適している。

VV :

彩度とコントラストが高めになり、花、新緑、青空、海など色彩豊かなシーンをより印象的に表現する。

VV2 :

明るく色鮮やかな発色で、明瞭度の高い画像に仕上がる。

FL :

落ち着いた発色と印象的な空や緑の色味に、メリハリのあるコントラストを加えることで雰囲気のある画像に仕上がる。

IN :

コントラストと彩度を抑えたマットな質感に仕上がる。

SH :

透明感・柔らかさ・鮮やかさを持つ明るい雰囲気仕上がる。

BW :

白黒のモノトーンで表現する。

SE :

セピア色のモノトーンで表現する。

お好みの設定を登録する（カスタムルック） :

任意の内容を登録できる6つのカスタムルック（左側に数字が入っているもの）を選んで、右ボタンで、希望の設定を選んで登録できる。

カスタムルックを使えば、同じルックでも微妙に設定を変えて呼び出せる。

より詳細に設定するには

各ルックをベースに、コントラストなどの項目をお好みに合わせて調整することができます。プリセットのルックだけでなく、お好みの設定を登録できる「カスタムルック」ごとに調整できます。

コントロールホイールの左/右を押して項目を選び、上/下で値を設定します。

初期値から設定値を変更すると、撮影画面に表示されるルックのアイコンの横に （アスタリスク）が付きます。

コントラスト :

+側に設定するほど明暗差が強調され、インパクトのある仕上がりになる。（-9 ～ +9）

ハイライト :

明るい部分の明るさの度合いを調整する。+側の設定にするほど明るくなる。（-9 ～ +9）

シャドウ :

暗い部分の暗さの度合いを調整する。+側の設定にするほど明るくなる。（-9 ～ +9）

フェード :

フェードの度合いを調整する。大きい値に設定するほど効果が強くなる。（0 ～ 9）

彩度 :

+側に設定するほど色が鮮やかになる。-側に設定すれば控えめで落ち着いた色に再現される。（-9 ～ +9）

シャープネス :

解像感を調整する。大きい値に設定すれば輪郭がよりくっきりし、小さい値に設定すれば柔らかな表現になる。（0 ～ 9）

シャープネスレンジ :

シャープネスの効果がかかる領域を調整する。大きい値に設定するほど細かな輪郭線にシャープネスがかかる。（1 ～ 5）

明瞭度 :

明瞭度の度合いを調整する。大きい値に設定するほど効果が強くなる。（0 ～ 9）

ルックごとに調整値をリセットするには

お好みに合わせて変更したコントラストなどの調整値は、ルックごとにまとめて初期値にリセットすることができます。

リセットしたいルックの調整画面で （削除）ボタンを押してください。変更を加えた調整値がすべて初期値に戻ります。

ヒント

- [シャープネス]、[シャープネスレンジ]、[明瞭度]については、試し撮りを行い、カメラのモニターで拡大再生するか、再生機器に出力して効果を確認し、調整してください。

ご注意

- 以下のときは、[ クリエイティブルック] は [ST] に固定されます。
 - － [おまかせオート]
 - － [ ピクチャープロファイル] が [切] 以外
- [BW]、[SE] を選択しているときは、[彩度] の調整はできません。
- 動画モードでは、[シャープネスレンジ] の調整はできません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ピクチャープロフィール（静止画/動画）



撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できます。[ ピクチャープロフィール] の各項目についてさらに詳しい使いかたは、以下のURLをご覧ください。

<https://helpguide.sony.net/di/pp/v1/ja/index.html>

ピクチャープロフィールは静止画と動画の両方に使うことができますが、動画用に準備された機能です。

ピクチャープロフィールの内容を変更する

[ガンマ] や [ディテール] など調節して好みの画質設定を作れます。設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

- 1 MENU → （露出/色） → [カラー/トーン] → [ ピクチャープロフィール] → 変更したいプロフィールを選ぶ。
- 2 コントロールホイールの右を押して、項目一覧に移動する。
- 3 コントロールホイールの上/下で、変更したい項目を選ぶ。
- 4 コントロールホイールの上/下で希望の設定値を選び、中央を押す。

ピクチャープロフィールのプリセットを使う

本機は [PP1] ～ [PP11] に撮影条件に合わせた動画用設定値をあらかじめ登録しています。

MENU → （露出/色） → [カラー/トーン] → [ ピクチャープロフィール] → 希望の設定を選ぶ。

PP1 :

[Movie] ガンマを用いた設定例

PP2 :

[Still] ガンマを用いた設定例

PP3 :

[ITU709] ガンマを用いた自然な色合いの設定例

PP4 :

ITU709規格に忠実な色合いの設定例

PP5 :

[Cine1] ガンマを用いた設定例

PP6 :

[Cine2] ガンマを用いた設定例

PP7 :

[S-Log2] ガンマを用いた設定例

PP8 :

[S-Log3] ガンマとS-Gamut3.Cineのカラーモードを用いた設定例

PP9 :

[S-Log3] ガンマとS-Gamut3のカラーモードを用いた設定例

PP10 :

〔HLG2〕ガンマを用いたHDR撮影を行う場合の設定例

PP11 :

〔S-Cinetone〕ガンマを用いた設定例

HDR撮影について

本機はピクチャープロファイルで〔HLG〕、〔HLG1〕～〔HLG3〕のガンマを選択することにより、HDR撮影を行うことができます。ピクチャープロファイルの〔PP10〕にHDR撮影の設定例がプリセットされています。〔PP10〕を使って撮影した画像をHLG（Hybrid Log-Gamma）対応のテレビで再生することで、従来よりも広いレンジの明るさが再現可能になります。これにより、いままで白とびや黒つぶれでうまく再現できなかったシーンも撮影可能になります。HLGは、国際規格Recommendation ITU-R BT.2100で定義されるハイダイナミックレンジテレビ方式のひとつです。

ピクチャープロファイルの項目について

ブラックレベル

黒レベルを設定する。（-15 ～ +15）

ガンマ

ガンマカーブを選ぶ。

Movie: 動画用の標準ガンマカーブ

Still: 静止画用の標準ガンマカーブ

S-Cinetone : シネマティックな階調や色再現を追究したガンマカーブ。人物描写を重視したよりソフトで柔らかい色再現での撮影が可能。

Cine1: 暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の階調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする（HG4609G33相当）。

Cine2: 〔Cine1〕とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する（HG4600G30相当）。

Cine3: 〔Cine1〕より明部と暗部のコントラストを強め、かつ黒側の階調変化をはっきりさせる。

Cine4: 〔Cine3〕よりさらに暗部のコントラストを強める。

ITU709: ITU709相当のガンマカーブ。

ITU709(800%): 〔S-Log2〕または〔S-Log3〕撮影前提のシーン確認用ガンマカーブ。

S-Log2: 〔S-Log2〕のガンマカーブ。撮影後の映像処理を前提とした設定。

S-Log3: 〔S-Log3〕のガンマカーブ。撮影後の映像処理を前提とした、よりフィルムに似た特性のガンマカーブ。

HLG: HDR撮影用のガンマカーブ。HDRの規格であるITU-R BT.2100のHybrid Log-Gamma相当の特性。

HLG1 : HDR撮影用のガンマカーブ。ノイズ低減を優先したモード。ただし、撮影できるダイナミックレンジは〔HLG2〕、〔HLG3〕より狭くなる。

HLG2 : HDR撮影用のガンマカーブ。ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。

HLG3 : HDR撮影用のガンマカーブ。〔HLG2〕よりも広いダイナミックレンジで撮影したい場合の設定。ただし、ノイズレベルが上がる。

- 〔HLG1〕、〔HLG2〕、〔HLG3〕は同じ特性のガンマカーブで、ダイナミックレンジとノイズのバランスを変更したものです。それぞれ出力ビデオレベルの最大値が異なり、〔HLG1〕: 87%、〔HLG2〕: 95%、〔HLG3〕: 100%程度になります。

ブラックガンマ

低輝度ガンマ補正をする。

〔ガンマ〕で〔HLG〕、〔HLG1〕、〔HLG2〕、〔HLG3〕を選択しているとき、〔ブラックガンマ〕は“0”固定となり設定できません。

範囲: 補正範囲を選ぶ。（広 / 中 / 狭）

レベル: 補正の強さを設定する。（-7（ブラックコンプレス最大）～ +7（ブラックストレッチ最大））

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白飛びを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

〔ガンマ〕で〔Still〕、〔Cine1〕、〔Cine2〕、〔Cine3〕、〔Cine4〕、〔ITU709(800%)〕、〔S-Log2〕、〔S-Log3〕、〔HLG〕、〔HLG1〕、〔HLG2〕、〔HLG3〕を選択しているときは、〔モード〕を〔オート〕にしていると〔ニー〕は無効になる。〔モード〕を〔マニュアル〕にすると〔ニー〕の機能を使用できる。

モード：自動/手動設定を選ぶ。

- オート：ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。
- マニュアル：ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。

オート設定：〔モード〕で〔オート〕を選択した場合の設定。

- マックスポイント：ニーポイントの最大値を設定する。（90% ～ 100%）
- 感度：感度を設定する。（高 / 中 / 低）

マニュアル設定：〔モード〕で〔マニュアル〕を選択した場合の設定。

- ポイント：ニーポイントを設定する。（75% ～ 105%）
- スロープ：ニースロープの傾きを設定する。（-5（傾きが小さい）～ +5（傾きが大きい））

カラーモード

色の特性を変更する。

〔ガンマ〕で〔HLG〕、〔HLG1〕、〔HLG2〕、〔HLG3〕を選択しているとき、〔カラーモード〕は〔BT.2020〕、〔709〕のみが選択可能です。

Movie：〔ガンマ〕が〔Movie〕のときに適した色合い。

Still：〔ガンマ〕が〔Still〕のときに適した色合い。

S-Cinetone：〔ガンマ〕が〔S-Cinetone〕のときに適した色合い。

Cinema：〔ガンマ〕が〔Cine1〕、〔Cine2〕のときに適した色合い。

Pro：ソニーの業務用カメラの標準画質に近い色合い（ITU709ガンマと組み合わせた場合）。

ITU709マトリックス：ITU709規格に忠実な色合い（ITU709ガンマと組み合わせた場合）。

白黒：彩度を0にし、白黒で撮影する。

S-Gamut：〔ガンマ〕が〔S-Log2〕のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。

S-Gamut3.Cine：〔ガンマ〕が〔S-Log3〕のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。デジタルシネマの色域に調整しやすい色域での撮影が可能。

S-Gamut3：〔ガンマ〕が〔S-Log3〕のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。広い色域での撮影が可能。

BT.2020：〔ガンマ〕が〔HLG〕、〔HLG1〕、〔HLG2〕、〔HLG3〕のときの標準的な色合い。

709：〔ガンマ〕で〔HLG〕、〔HLG1〕、〔HLG2〕、〔HLG3〕を選択して、HDTV方式（BT.709）の色で記録するときの色合い。

彩度

色の鮮やかさを設定する。（-32 ～ +32）

色相

色相を設定する。（-7 ～ +7）

色の深さ

色相別に輝度を変更する。濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。〔カラーモード〕を〔白黒〕にしたときにも有効です。

R（赤）：-7 ～ +7

G（緑）：-7 ～ +7

B（青）：-7 ～ +7

C（シアン）：-7 ～ +7

M（マゼンタ）：-7 ～ +7

Y（黄）：-7 ～ +7

ディテール

〔ディテール〕を設定する。

レベル: 〔ディテール〕の強さを設定する。(-7 ~ +7)

調整: 以下の設定値を手動で選ぶ。

- モード: 自動/手動設定を選ぶ。(オート(自動最適化を行う) / マニュアル(手動詳細設定を行う))
- V/Hバランス: 垂直(V) DETAIL/水平(H) DETAILのバランスを設定する。(-2(垂直(V)が強い) ~ +2(水平(H)が強い))
- B/Wバランス: 下側(B) DETAIL/上側(W) DETAILのバランスを選ぶ。(タイプ1(下側(B)が強い) ~ タイプ5(上側(W)が強い))
- リミット: 〔ディテール〕のリミットレベルを設定する。(0(リミットレベルが低い(リミットされやすい)) ~ 7(リミットレベルが高い(リミットされにくい))
- クリスポニング: クリスポニングレベルを設定する。(0(クリスポニングレベルが浅い) ~ 7(クリスポニングレベルが深い))
- 高輝度ディテール: 高輝度部分の〔ディテール〕レベルを設定する。(0 ~ 4)

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーできます。

MENU → (露出/色) → [カラー/トーン] → [ピクチャープロファイル] → [コピー] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

MENU → (露出/色) → [カラー/トーン] → [ピクチャープロファイル] → [リセット] を選ぶ。

ご注意

- 動画と静止画で異なる設定値を選びたい場合は、〔静止画/動画独立設定〕で〔ピクチャープロファイル〕にチェックマークを付けてください。
- RAW画像を「撮影時の設定」で現像した場合、下記の設定は反映されません。
 - ブラックレベル
 - ブラックガンマ
 - ニー
 - 色の深さ
- [ガンマ] を変えると、設定できるISOの範囲が変わります。
- ガンマ設定により暗い部分の色ノイズが目立つことがあります。レンズ補正を〔切〕に設定することで改善する場合があります。
- S-Log2またはS-Log3ガンマ使用時は他のガンマに比べてノイズが目立ちやすくなります。撮影後映像処理の後でも気になる場合は、明るめに撮影することでノイズを軽減できる場合があります。ただし、明るく撮影した場合にはその分だけダイナミックレンジは狭くなります。S-Log2またはS-Log3を使用する場合は事前のテストで画質を確認することを強くおすすめします。
- [ITU709(800%)]、[S-Log2] または[S-Log3]に設定すると、ホワイトバランスのカスタムセットがエラーになることがあります。このようなときは、一度 [ITU709(800%)]、[S-Log2]、または[S-Log3] 以外のガンマでカスタムセットしてください。そのあと、[ITU709(800%)]、[S-Log2]、または[S-Log3] ガンマに戻してください。
- [ニー] の[マニュアル設定] で[スロープ] を+5に設定すると、[ニー] は無効になります。
- S-Gamut、S-Gamut3.Cine、S-Gamut3はソニー独自のカラースペースですが、本機のS-Gamut設定はS-Gamutの全色域に対応しているわけではなく、S-Gamut相当の色再現を実現するための設定です。

関連項目

- [ガンマ表示アシスト](#)
- [静止画/動画独立設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ドライブモード

1枚撮影、連写、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

① ドライブモードダイヤルを回して希望の設定を選ぶ。

- ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。

設定項目の詳細

1枚撮影 :

通常の撮影方法。

連続撮影 :

シャッターボタンを押している間、連続撮影する。

セルフタイマー :

シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影する。

BRK ブラケット :

ブラケット撮影をする。ブラケット撮影の種類は、MENU →  (撮影) → [ドライブモード] → [ブラケット設定] → [ブラケットの種類] で設定できる。

関連項目

- [連続撮影](#)
- [セルフタイマーの種類 : セルフタイマー \(1枚\)](#)
- [セルフタイマーの種類 : セルフタイマー \(連続\)](#)
- [ブラケット設定 : 連続ブラケット](#)
- [ブラケット設定 : 1枚ブラケット](#)
- [ブラケット設定 : ホワイトバランスブラケット](#)
- [ブラケット設定 : DROブラケット](#)
- [連続撮影の速度](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

連続撮影

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 ドライブモードダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。

- ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。

設定項目の詳細

連続撮影: Hi+ / 連続撮影: Hi / 連続撮影: Mid / 連続撮影: Lo

記載の速度は、出荷時設定で連続撮影を行った場合の数値です。

連続撮影の設定	シャッター方式：メカシャッター	シャッター方式：オート/電子シャッター *1
連続撮影: Hi+	最高10枚/秒*2 *4	最高30枚/秒*3 *4 *5
連続撮影: Hi	最高8枚/秒*2 *4	最高20枚/秒*4 *5
連続撮影: Mid	最高6枚/秒*4	最高15枚/秒*4
連続撮影: Lo	最高3枚/秒	最高5枚/秒*4

*1 [AF時の絞り駆動] が [標準] のときの速度です。[AF時の絞り駆動] が [フォーカス優先] のときは連続撮影の速度が遅くなることがあります。

*2 [フラッシュ同調速優先] が [入] または [オート] のときは、最高速度が低下することがあります。

*3 非圧縮RAW、ロスレス圧縮RAWでの撮影時は、最高20枚/秒になります。

*4 [AF時の絞り駆動] が [標準] または [サイレント優先] で、絞り値がF22より大きいときは、フォーカスは1枚目の撮影時の位置に固定されます。

*5 フォーカスモードがAF-C (コンティニュアスAF) のときは、装着するレンズによって連続撮影の速度が異なります。詳しくは、レンズ互換情報サポートページをご確認ください。

連続撮影可能枚数

ドライブモードダイヤルを (連続撮影: Hi+) および (連続撮影: Hi) にしたときの撮影可能枚数の目安です。枚数は、撮影条件や使用するメモリーカードによって異なります。

ドライブモード：[連続撮影: Hi+]

画像サイズ：[L : 50M]

[シャッター方式]：[オート] または [電子シャッター]

ファイル形式	JPEG選択時の枚数	HEIF選択時の枚数
JPEG/HEIF ファイン	約165枚	約153枚
RAW (圧縮RAW)	約155枚	約155枚
RAW+JPEG/RAW+HEIF (圧縮RAW) *1	約152枚	約120枚
RAW (非圧縮RAW) *2	約82枚	約82枚

 ファイル形式	JPEG選択時の枚数	HEIF選択時の枚数
RAW+JPEG/RAW+HEIF（非圧縮RAW） ^{*1 *2}	約78枚	約64枚
RAW（ロスレス圧縮RAW: L） ^{*2}	約96枚	約96枚
RAW+JPEG/RAW+HEIF（ロスレス圧縮RAW: L） ^{*1 *2}	約83枚	約64枚

*1 [JPEG画質] / [HEIF画質] が [ファイン] の場合

*2 非圧縮RAW、ロスレス圧縮RAWでの撮影時は連写速度および連続撮影可能枚数が [連続撮影: Hi] を選択時と同程度に低下します。

ドライブモード：[連続撮影: Hi]

画像サイズ：[L: 50M]

[シャッター方式]：[オート] または [電子シャッター]

記載の枚数は、出荷時設定（[連続撮影: Hi] の連続撮影速度が最高20枚/秒）で連続撮影を行った場合の数値です。

 ファイル形式	JPEG選択時の枚数	HEIF選択時の枚数
JPEG/HEIF ファイン	約400枚	約299枚
RAW（圧縮RAW）	約238枚	約238枚
RAW+JPEG/RAW+HEIF（圧縮RAW） [*]	約192枚	約164枚
RAW（非圧縮RAW）	約82枚	約82枚
RAW+JPEG/RAW+HEIF（非圧縮RAW） [*]	約78枚	約64枚
RAW（ロスレス圧縮RAW: L）	約96枚	約96枚
RAW+JPEG/RAW+HEIF（ロスレス圧縮RAW: L） [*]	約83枚	約64枚

* [JPEG画質] / [HEIF画質] が [ファイン] の場合

- 撮影可能枚数は、以下の条件にて撮影した場合です。
 - 温度 25℃
 - 当社製のCFexpress Type Aメモリーカード（別売）
 - カード枚数 1枚

ヒント

- 連続撮影中にピントと露出を合わせ続けるには、以下の設定に変更してください。
 - フォーカスモードを [コンティニュアスAF] にする。
 - [シャッター半押しAEL] を [切] または [オート] にする。
- 電子シャッター使用の場合は、MENU→（撮影）→ [ドライブモード] → [連続撮影の速度] で好みの連写速度を選ぶことができます。
- より多くの枚数を撮影したい場合は、ドライブモードを [連続撮影: Mid]（最高15枚/秒）以下に設定してください。JPEG で約1000枚以上の連続撮影が可能となります。

ご注意

- 絞り値がF22より大きいときは、連続撮影時のフォーカスは1枚目の撮影時の位置に固定されます。（ただし [シャッター方式] が [メカシャッター] で [連続撮影: Lo] の場合は連続撮影中もピントを合わせ続けます。）
- [シャッター方式] が [メカシャッター] のとき、[連続撮影: Hi+] で連続撮影中は、モニター、ファインダーに映る被写体はリアルタイムのものではありません。

- フラッシュ発光時は連続撮影の速度が低下します。

関連項目

- [連続撮影の速度](#)
- [撮影残量表示（静止画）](#)
- [ピント合わせの方法を選ぶ（フォーカスモード）](#)
- [シャッター半押しAEL](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

連続撮影の速度



電子シャッターを使った連続撮影時の撮影速度を設定します。

- 1 MENU → (撮影) → [ドライブモード] → [連続撮影の速度] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Hi(電子シャッター) :

ドライブモードダイヤルが H (連続撮影: Hi) のときの連続撮影速度を設定する。([20枚/秒] / [15枚/秒] / [10枚/秒] / [5枚/秒])

Mid(電子シャッター) :

ドライブモードダイヤルが M (連続撮影: Mid) のときの連続撮影速度を設定する。([20枚/秒] / [15枚/秒] / [10枚/秒] / [5枚/秒])

Lo(電子シャッター) :

ドライブモードダイヤルが L (連続撮影: Lo) のときの連続撮影速度を設定する。([20枚/秒] / [15枚/秒] / [10枚/秒] / [5枚/秒])

ヒント

- 電子シャッター使用時、ドライブモードダイヤルが H⁺ (連続撮影: Hi+) のときの連続撮影速度は最高30枚/秒です。

ご注意

- 各設定値の数値は、その設定で連続撮影を行った場合の最高速度を表しています。

関連項目

- [連続撮影](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

セルフタイマーの種類：セルフタイマー（1枚）



シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影します。5秒/10秒セルフタイマーは撮影者と一緒に写真に写るときに、2秒セルフタイマーはシャッターボタンを押したときのブレを軽減するときに使います。

- 1 **ドライブモードダイヤルを回して （セルフタイマー）を選ぶ。**
 - ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。
- 2 **MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [セルフタイマーの種類] → [セルフタイマー（1枚）] → 希望のモードを選ぶ。**
 - Fnボタンを押して [セルフタイマーの種類] の設定画面を表示することもできます。
- 3 **ピントを合わせてシャッターボタンを押す。**

セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。

メニュー項目の詳細

シャッターボタンを押してから撮影されるまでの秒数を設定する。

 **セルフタイマー(1枚): 10秒**

 **セルフタイマー(1枚): 5秒**

 **セルフタイマー(1枚): 2秒**

ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度シャッターボタンを押します。
- セルフタイマーを解除するには、ドライブモードダイヤルを回して （セルフタイマー）以外を選びます。
- セルフタイマー作動中の電子音を消すには、[電子音] を [切] にしてください。
- ブラケットモードでセルフタイマー撮影するには、ドライブモードダイヤルを回して **BRK**（ブラケット）を選択したうえで、MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー] を選んでください。

関連項目

- [電子音](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

セルフタイマーの種類：セルフタイマー（連続）



シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで指定枚数を連続撮影します。設定した枚数の中からお気に入りの1枚を選べます。

- 1 **ドライブモードダイヤルを回して （セルフタイマー）を選ぶ。**
 - ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。
- 2 **MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [セルフタイマーの種類] → [セルフタイマー（連続）] → 希望のモードを選ぶ。**
 - Fnボタンを押して [セルフタイマーの種類] の設定画面を表示することもできます。
- 3 **ピントを合わせてシャッターボタンを押す。**

セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、指定の秒数後に撮影が開始される。指定した枚数が連続撮影される。

メニュー項目の詳細

例えば、[セルフタイマー(連続): 10秒後 3枚] を選択すると、シャッターボタンを押して10秒後に、3枚連写する。

-  **セルフタイマー(連続): 10秒後 3枚**
-  **セルフタイマー(連続): 10秒後 5枚**
-  **セルフタイマー(連続): 5秒後 3枚**
-  **セルフタイマー(連続): 5秒後 5枚**
-  **セルフタイマー(連続): 2秒後 3枚**
-  **セルフタイマー(連続): 2秒後 5枚**

ヒント

- セルフタイマーのカウントを中止するには、もう一度シャッターボタンを押します。
- セルフタイマーを解除するには、ドライブモードダイヤルを回して （セルフタイマー）以外を選びます。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ブラケット設定：連続ブラケット



露出を自動的に標準/暗い/明るいの順でずらして撮影します（ブラケット撮影）。撮影した後に、イメージに合った明るさの画像を選ぶことができます。

- 1 **ドライブモードダイヤルを回して BRK（ブラケット）を選ぶ。**
 - ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。
- 2 **MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [ブラケット設定] → [ブラケットの種類] → [連続ブラケット] → 希望のモードを選ぶ。**
 - Fnボタンを押して [ブラケットの種類] の設定画面を表示することもできます。
- 3 **ピントを合わせて撮影する。**
 - 基準の露出は1枚目で設定されます。
 - 撮影が終わるまでシャッターボタンを押し続けます。

メニュー項目の詳細

例えば、[連続ブラケット: 0.3EV 3枚] を選択すると、0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして3枚ブラケット撮影する。

ヒント

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。

ご注意

- [マニュアル露出] で [ISO AUTO] のときはISO感度を変えて露出値をずらします。[ISO AUTO] 以外の設定ではシャッタースピードを変えて露出値をずらします。
- 露出値を補正しているときは、補正された露出値を基準に露出をずらします。
- 撮影モードが以下の場合は、ブラケット撮影できません。
 - － [おまかせオート]
- フラッシュ発光時は [連続ブラケット] を選んでいても、調光量をずらして撮影するフラッシュブラケットになります。1枚ずつシャッターボタンを押して撮影してください。

関連項目

- [ブラケット撮影時のインジケーター](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ブラケット設定：1枚ブラケット



露出を自動的に標準/暗い/明るいの順でずらして撮影します（ブラケット撮影）。撮影した後に、イメージに合った明るさの画像を選ぶことができます。

1枚ずつシャッターボタンを押して撮影するので、撮影ごとにピントや構図を合わせたいときなどに便利です。

- 1 **ドライブモードダイヤルを回して **BRK**（ブラケット）を選ぶ。**
 - ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。
- 2 **MENU→（撮影）→［ドライブモード］→［ブラケット設定］→［ブラケットの種類］→［1枚ブラケット］→希望のモードを選ぶ。**
 - Fnボタンを押して［ブラケットの種類］の設定画面を表示することもできます。
- 3 **ピントを合わせて撮影する。**
 - 1枚ずつシャッターボタンを押して撮影します。

メニュー項目の詳細

例えば、［1枚ブラケット: 0.3EV 3枚］を選択すると、0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ3枚ブラケット撮影する。

ご注意

- [マニュアル露出] で [ISO AUTO] のときはISO感度を変えて露出値をずらします。[ISO AUTO] 以外の設定ではシャッタースピードを変えて露出値をずらします。
- 露出値を補正しているときは、補正された露出値を基準に露出をずらします。
- 撮影モードが以下の場合は、ブラケット撮影できません。
 - － [おまかせオート]

関連項目

- [ブラケット撮影時のインジケータ](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ブラケット撮影時のインジケーター

ファインダー

定常光*ブラケット

段数0.3段 3枚

露出補正±0.0段



モニター（全情報表示またはヒストグラムするとき）

定常光*ブラケット

段数0.3段 3枚

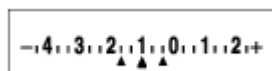
露出補正±0.0段



フラッシュブラケット

段数0.7段 3枚

調光補正-1.0段

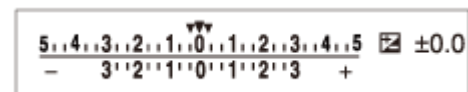


モニター（ファインダー撮影用のとき）

定常光*ブラケット（上段）

段数0.3段 3枚

露出補正±0.0段



フラッシュブラケット（下段）

段数0.7段 3枚

調光補正-1.0段



* 定常光：自然光や電球・蛍光灯など、フラッシュ光以外の総称。フラッシュ光が一瞬だけ光るのに対し、常に一定して存在する光なのでこう呼ばれます。

ヒント

- ブラケット撮影時には、ブラケット撮影枚数分の指標がブラケットインジケーターに表示されます。
- 1枚ブラケットの場合、撮影を開始すると、撮影済みの指標が順に消えていきます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ブラケット設定 : ホワイトバランスブラケット



選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録します。

- 1 **ドライブモードダイヤルを回して BRK（ブラケット）を選ぶ。**
 - ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。
- 2 **MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [ブラケット設定] → [ブラケットの種類] → [ホワイトバランスブラケット] → 希望のモードを選ぶ。**
 - Fnボタンを押して [ブラケットの種類] の設定画面を表示することもできます。
- 3 **ピントを合わせて撮影する。**

メニュー項目の詳細

 **ホワイトバランスブラケット: Lo :**

ホワイトバランスの変化が小さい（10MK⁻¹*の幅で）3枚の画像を記録する。

 **ホワイトバランスブラケット: Hi :**

ホワイトバランスの変化が大きい（20MK⁻¹*の幅で）3枚の画像を記録する。

* MK⁻¹ : 色温度変換フィルターの色温度変換能力を示すために用いられる単位（ミレッドと同じ値）。

ヒント

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ブラケット設定 : DROブラケット



Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録します。

- 1 **ドライブモードダイヤルを回して BRK（ブラケット）を選ぶ。**
 - ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。
- 2 **MENU→（撮影）→ [ドライブモード] → [ブラケット設定] → [ブラケットの種類] → [DROブラケット] → 希望のモードを選ぶ。**
 - Fnボタンを押して [ブラケットの種類] の設定画面を表示することもできます。
- 3 **ピントを合わせて撮影する。**

メニュー項目の詳細

DROブラケット: Lo :

Dレンジオプティマイザーの値の変化が小さい3枚（Lv1、Lv2、Lv3）の画像を記録する。

DROブラケット: Hi :

Dレンジオプティマイザーの値の変化が大きい3枚（Lv1、Lv3、Lv5）の画像を記録する。

ヒント

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ブラケット設定 : ブラケット時のセルフタイマー



ブラケット撮影時にセルフタイマー撮影を行うかどうかを設定する。

- 1 **ドライブモードダイヤルを回して **BRK**（ブラケット）を選ぶ。**
 - ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。
- 2 **MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー] → 希望の設定を選ぶ。**

メニュー項目の詳細

切 :

ブラケット撮影時にセルフタイマーを使用しない。

2秒/5秒/10秒 :

ブラケット撮影時にセルフタイマーを使用する。指定の秒数後にブラケット撮影が開始される。

関連項目

- [ブラケット設定 : 連続ブラケット](#)
- [ブラケット設定 : 1枚ブラケット](#)
- [ブラケット設定 : ホワイトバランスブラケット](#)
- [ブラケット設定 : DROブラケット](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ブラケット設定 : ブラケット順序



露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定します。

- 1 **ドライブモードダイヤルを回して **BRK**（ブラケット）を選ぶ。**
 - ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回してください。
- 2 **MENU → （撮影） → [ドライブモード] → [ブラケット設定] → [ブラケット順序] → 希望の設定を選ぶ。**

メニュー項目の詳細

0 → - → + :

露出ブラケット時は、標準、暗い、明るい順で露出をずらして撮影する。

ホワイトバランスブラケット時は、標準、低い、高い順で色温度をずらして撮影する。

- → 0 → + :

露出ブラケット時は、暗い、標準、明るい順で露出をずらして撮影する。

ホワイトバランスブラケット時は、低い、標準、高い順で色温度をずらして撮影する。

関連項目

- [ブラケット設定 : 連続ブラケット](#)
- [ブラケット設定 : 1枚ブラケット](#)
- [ブラケット設定 : ホワイトバランスブラケット](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

インターバル撮影機能



あらかじめ設定した撮影間隔と撮影回数で、静止画撮影を自動で繰り返し行います（インターバル撮影）。本機ではインターバル撮影で撮影した静止画から動画を作成することはできません。

- 1 MENU → (撮影) → [ドライブモード] → [インターバル撮影機能] → [インターバル撮影] → [入] を選ぶ。
- 2 MENU → (撮影) → [ドライブモード] → [インターバル撮影機能] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。
- 3 シャッターボタンを押す。
[撮影開始時間] で設定した時間が経過すると、撮影が始まる。
 - [撮影回数] で設定した回数の撮影が終わると、インターバル撮影の撮影待機画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

インターバル撮影：

インターバル撮影を行うかどうかを設定する。（[切] / [入]）

撮影開始時間：

シャッターボタンを押してからインターバル撮影を開始するまでの時間を設定する。（1秒～99分59秒）

撮影間隔：

インターバル撮影の撮影間隔（露光開始から次の撮影の露光開始までの時間）を設定する。（1秒～60秒）

撮影回数：

インターバル撮影の撮影回数を設定する。（1回～9999回）

AE追従感度：

インターバル撮影中の明るさの変化に対する自動露出の追従感度を設定する。[低] に設定すると、インターバル撮影中の露出の変化がなめらかになります。（[高] / [中] / [低]）

インターバル時シャッター方式：

インターバル撮影中のシャッター方式を設定する。（[メカシャッター] / [電子シャッター]）

撮影間隔優先：

露出モードが[プログラムオート] または [絞り優先] のときに、シャッタースピードが [撮影間隔] で設定した時間より長くなる場合に撮影間隔を優先するかどうかを設定する。（[切] / [入]）

ヒント

- インターバル撮影中にシャッターボタンを押すと、インターバル撮影が終了しインターバル撮影の撮影待機画面に戻ります。
- 通常撮影に戻るには、[インターバル撮影] を [切] に設定してください。
- 撮影開始時点で以下の機能が割り当てられたボタンが押されている場合、インターバル撮影中はボタンを押し続けなくても機能が維持されます。
 - [押す間AEL]
 - [押す間スボットAEL]
 - [押す間AF/MF切換]
 - [押す間登録フォーカスエリア]

- [押す間AWBロック]
 - [押す間マイダイヤル1] ～ [押す間マイダイヤル3]
- [グループ表示] を [入] にしておくと、インターバル撮影で撮影した静止画がグループ化されて表示されます。
 - インターバル撮影で撮影した静止画を、本機で連続再生できます。動画を作成する場合の完成イメージを確認することができます。

ご注意

- バッテリーとメディアの残量によっては、設定した枚数を撮影できない場合があります。USB給電をしながら撮影したり、十分な空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
- 撮影間隔が短い場合、本機の温度が上昇しやすくなります。そのため、撮影環境温度によっては機器保護のため撮影を停止し、設定された枚数が撮影されない場合があります。
- インターバル撮影中（シャッターボタンを押してから撮影開始時間が経過するまでの間も含む）は、撮影設定の専用画面やメニュー画面の操作は行えません。シャッタースピードなど一部の設定は、機能が割り当てられたダイヤルやコントロールホイールを操作して設定することができます。
- インターバル撮影中は、オートレビューは表示されません。
- [シャッター方式] の設定にかかわらず、[インターバル時シャッター方式] は初期状態では [電子シャッター] に設定されています。
- 以下の場合はインターバル撮影ができません。
 - 撮影モードが [おまかせオート] のとき
 - [ピクセルシフトマルチ撮影] が [切] 以外のとき

関連項目

- [インターバル連続再生](#)
- [外部電源でカメラを使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

より高解像の静止画を撮影する（ピクセルシフトマルチ撮影）

4枚または16枚のRAW画像を撮影してパソコンで合成することで、通常の撮影では実現できない高解像の画像を生成できます。美術品や建築物などの静止物を撮影する場合に効果的です。RAW画像を合成するには、専用ソフトウェアが必要です。

あらかじめ、MENU → （ネットワーク）→ [スマートフォン接続機能] → [スマートフォン接続] を [切] に設定してください。

- MENU → （ネットワーク）→ [転送/リモート] → [PCリモート機能] → [PCリモート接続方式] → 希望の設定を選ぶ。**
 - 必要に応じて、[PCリモート機能] のその他の設定を行ってください。
 - Wi-Fiを使ったPCリモート撮影では、画像の転送に時間がかかる場合があります。その場合は、[PCリモート機能] の [静止画の保存先] を [カメラ本体のみ] に設定するか、有線接続でのPCリモート撮影をおすすめします。
- MENU → （ネットワーク）→ [転送/リモート] → [PCリモート機能] → [PCリモート] → [入] を選ぶ。**
- [PCリモート接続方式] の設定に合わせてカメラとパソコンを接続し、パソコンでImaging Edge Desktop (Remote) を起動する。**
- 三脚を使用してカメラをしっかりと固定し、Imaging Edge Desktop (Remote) を使って [ピクセルシフトマルチ撮影] を行う。**

指定した枚数と撮影間隔でRAW画像が撮影され、合成された画像とともにパソコンに保存される。

 - カメラや被写体のブレに注意してください。
 - 4枚または16枚のRAW画像は同じ設定で撮影されます。撮影間隔中に撮影設定を変更することはできません。
 - 撮影間隔中にコントロールホイールの中央を押すと、撮影を中断できます。
 - フラッシュ（別売）を使用しない場合はImaging Edge Desktop (Remote) で撮影間隔を最短に設定してください。フラッシュ使用時は、お使いのフラッシュの充電時間を考慮して撮影間隔を設定してください。
 - [PCリモート機能] の [静止画の保存先] を [カメラ本体のみ] に設定している場合は、撮影した4枚または16枚のRAW画像をパソコンに取り込んでからImaging Edge Desktop (Remote) で画像を合成してください。
 - [ピクセルシフトマルチ撮影] のテクニックは、以下のサポートページをご覧ください。
<https://www.sony.net/psms/>

ヒント

- Imaging Edge Desktop (Remote) を使わずにカメラ単体で [ピクセルシフトマルチ撮影] を行うこともできます。MENU → （撮影）→ [ドライブモード] → [ピクセルシフトマルチ撮影] で枚数と撮影間隔を設定して撮影してください。撮影されたRAW画像をパソコンに取り込んで、Imaging Edge Desktop (Viewer) を使って合成できます。撮影時にImaging Edge Desktop (Remote) を使わない場合は、カメラや被写体のブレを防ぐために、ワイヤレスリモートコマンダー（別売）やセルフタイマーを使って撮影してください。

ご注意

- カメラや被写体のブレが発生すると、[ピクセルシフトマルチ撮影] で撮影したRAW画像が正しく合成されないことがあります。また、被写体が静止していても、周辺の人物や物が動くと、被写体に当たる光が変化するため、RAW画像が正しく合成さ

れないことがあります。

- [ピクセルシフトマルチ撮影] で撮影したRAW画像は本機では合成できません。Imaging Edge Desktop (Viewer) を使って合成してください。
- [ピクセルシフトマルチ撮影] 時は、下記の設定に固定されます。
 - － [画質/画像サイズ設定] の [ ファイル形式] : [RAW]
 - － [画質/画像サイズ設定] の [RAW記録方式] : [非圧縮]
- [ピクセルシフトマルチ撮影] 時は、バルブ撮影は行えません。
- [ピクセルシフトマルチ撮影] 時は、光通信式ワイヤレスフラッシュはご使用できません。
- 撮影モードがP/A/S/M以外のときは、ピクセルシフトマルチ撮影は行えません。
- マウントアダプターをご使用の場合は、撮影間隔が長くなることがあります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

JPEG/HEIF切換



記録する静止画のファイル形式（JPEG/HEIF）を切り換えます。

JPEG形式は互換性に優れ、さまざまな環境で閲覧や編集を行えます。HEIF形式は圧縮効率に優れ、高画質のまま小さいファイル容量で記録できます。お使いのパソコンやソフトウェアによっては、HEIFファイルの表示や編集ができない場合があります。また、HEIF形式の静止画を再生するには、HEIFに対応した環境が必要です。カメラとテレビをHDMI接続することで、高画質な静止画をお楽しみいただけます。

1 MENU → （撮影）→ [画質] → [JPEG/HEIF切換] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

JPEG：

静止画をJPEG形式で現像し記録する。互換性を優先した設定。

HEIF(4:2:0)：

静止画をHEIF（4:2:0）形式で現像し記録する。画質と圧縮効率を優先した設定。

HEIF(4:2:2)：

静止画をHEIF（4:2:2）形式で現像し記録する。画質を優先した設定。

ヒント

- [JPEG/HEIF切換] の設定値によって、[ ファイル形式] などに表示される項目がJPEGかHEIFに切り替わります。

ご注意

- 本機で撮影したHEIF画像のファイルは、HEIF形式に対応していない他のカメラでは表示されません。誤ってメモリーカードのフォーマットやファイルの削除を行わないようにご注意ください。
- HEIF形式で撮影する場合、[HLG静止画] が [切] のときは、sRGBの色空間で撮影されます。[HLG静止画] が [入] のときは、BT.2100の色空間（BT.2020色域）で撮影されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

画質/画像サイズ設定：ファイル形式（静止画）



静止画を記録するときのファイル形式を設定します。

- ① MENU → （撮影） → [画質] → [画質/画像サイズ設定] → [ファイル形式] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

RAW：

現像処理前のデータが記録される。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。

RAW+JPEG/RAW+HEIF：

RAW画像とJPEGまたはHEIF画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEGまたはHEIF画像、編集用にはRAW画像を使うなど、両方の画像を記録したい場合に便利。

JPEG/HEIF：

画像がJPEGまたはHEIF形式で記録される。

- [記録メディア] を [振り分け] に設定しているときは、各スロットごとにRAWかJPEG、またはRAWかHEIFのどの形式で記録するかを選ぶことができます。

RAWについて

- 本機で撮影したRAW画像を開くにはImaging Edge Desktopが必要です。このソフトウェアを使えば、RAW画像を開いたあと、JPEGやTIFFのような一般的なフォーマットに変換したり、ホワイトバランス、彩度、コントラストなどを再調整することができます。
- 本機で撮影したRAW画像は、1ピクセルに対して14ビットの分解能を持っています。
- [RAW記録方式] で、RAWデータの圧縮方式を変更できます。

ご注意

- パソコンでの加工を予定していない場合は、JPEG形式またはHEIF形式で記録することをおすすめします。
- HEIF形式の静止画を再生するには、HEIFに対応した環境が必要です。

関連項目

- [JPEG/HEIF切換](#)
- [画質/画像サイズ設定：JPEG画質/HEIF画質](#)
- [画質/画像サイズ設定：JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ](#)
- [画質/画像サイズ設定：RAW記録方式](#)
- [記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（静止画）](#)
- [パソコン用ソフトウェアの紹介（Imaging Edge Desktop/Catalyst）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

画質/画像サイズ設定 : RAW記録方式



RAW画像の記録方式を選択します。

- ① MENU →  (撮影) → [画質] → [画質/画像サイズ設定] → [RAW記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

非圧縮 :

非圧縮RAW形式で記録する。[非圧縮] を選択すると、[ロスレス圧縮] や [圧縮] よりもファイルサイズが大きくなる。

ロスレス圧縮(L) / ロスレス圧縮(M) / ロスレス圧縮(S) * :

画質劣化がなく ** 圧縮率が高いロスレス圧縮方式で記録する。ファイルサイズは [非圧縮] より小さくなる。

- 画像サイズはL/M/Sがあり、ソニー製アプリケーションでの現像後の画素数はJPEG/HEIFのL/M/Sサイズと同じになります。
- Lサイズはフルサイズでの撮影時のみ選べます。Mサイズ/Sサイズのときは、フルサイズでの撮影時もAPS-Cサイズでの撮影時も同じ画素数で記録されます。

* 本体ソフトウェアVer.1.30以降

** Mサイズ/Sサイズは画像サイズを縮小するため、Lサイズより解像度が低くなります。

圧縮 :

圧縮RAW形式で記録する。ファイルサイズが [非圧縮] に比べておよそ半分になる。

ヒント

- RAW記録方式のアイコンは以下のように表示されます。
 - 非圧縮 : **RAW**
 - ロスレス圧縮 L/M/S :   
 - 圧縮 : **RAW**
- RAW画像のアスペクト比は常に3 : 2になります。RAW画像とJPEGまたはHEIF画像を同時に記録する場合、JPEGまたはHEIF画像は [アスペクト比] の設定で記録されます。

ご注意

- スロット1とスロット2に異なる方式のRAW画像を記録することはできません。[ 記録メディア] を [振り分け] に設定している場合でも、各スロットの [RAW記録方式] は同じ設定になります。

関連項目

- [画質/画像サイズ設定 : ファイル形式 \(静止画\)](#)
- [画質/画像サイズ設定 : JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ](#)
- [記録メディア設定 \(静止画/動画\) : 記録メディア \(静止画\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

画質/画像サイズ設定 : JPEG画質/HEIF画質



JPEG画像またはHEIF画像を記録するときの画質を設定します。

- 1 MENU →  (撮影) → [画質] → [画質/画像サイズ設定] → [JPEG画質] / [HEIF画質] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

エクストラファイン/ファイン/スタンダード/ライト :

[エクストラファイン]、[ファイン]、[スタンダード]、[ライト] の順に圧縮率が高くなるため、データ量が小さくなる。1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

- [ 記録メディア] を [振り分け] に設定しているときは、各スロットごとにどの画質で記録するかを選ぶことができます。

関連項目

- [画質/画像サイズ設定 : ファイル形式 \(静止画\)](#)
- [記録メディア設定 \(静止画/動画\) : 記録メディア \(静止画\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

画質/画像サイズ設定 : JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ



画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも精細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

- 1 MENU →  (撮影) → [画質] → [画質/画像サイズ設定] → [JPEG画像サイズ] / [HEIF画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

【アスペクト比】が3 : 2のとき

設定値	画素数 (横×縦)
L: 50M	8640×5760画素
M: 21M	5616×3744画素
S: 12M	4320×2880画素

【アスペクト比】が4 : 3のとき

設定値	画素数 (横×縦)
L: 44M	7680×5760画素
M: 19M	4992×3744画素
S: 11M	3840×2880画素

【アスペクト比】が16 : 9のとき

設定値	画素数 (横×縦)
L: 42M	8640×4864画素
M: 18M	5616×3160画素
S: 11M	4320×2432画素

【アスペクト比】が1 : 1のとき

設定値	画素数 (横×縦)
-----	-----------

設定値	画素数（横×縦）
L: 33M	5760×5760画素
M: 14M	3744×3744画素
S: 8.3M	2880×2880画素

ヒント

- MサイズまたはSサイズで記録しているときは、画角をフルサイズとAPS-Cサイズで切り換えても同じ画素数で記録できます。

ご注意

- APS-Cサイズでの撮影時はLサイズは選択できません。Lサイズに設定していても、APS-Cサイズで撮影すると一時的にMサイズになります。

関連項目

- [画質/画像サイズ設定：ファイル形式（静止画）](#)
- [アスペクト比](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

アスペクト比



① MENU →  (撮影) → [画質] → [アスペクト比] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

3:2 :

35mm判フィルムと同じ横縦比。

4:3 :

横と縦の比率が4 : 3となる横縦比。

16:9 :

横と縦の比率が16 : 9となる横縦比。

1:1 :

横と縦の比率が1 : 1となる縦横比。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

HLG静止画



HDR映像の規格であるHLG（Hybrid Log-Gamma）相当のガンマ特性を使用して、ダイナミックレンジが広く、BT.2020に対応した広色域な静止画を撮影できます。

〔HLG静止画〕は、HEIF形式でのみ撮影する場合に設定できます。あらかじめ、〔JPEG/HEIF切換〕を〔HEIF(4:2:0)〕または〔HEIF(4:2:2)〕に、〔画質/画像サイズ設定〕の〔 ファイル形式〕を〔HEIF〕に設定してください。

1 MENU→（撮影）→〔画質〕→〔HLG静止画〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

HLG 静止画を撮影する。

切：

通常の静止画を撮影する。

ヒント

- HLG対応のテレビまたはモニターでHLG静止画を再生することで、従来よりも広いレンジの明るさが再現可能になります。
- HDMIケーブル（別売）を使って本機からテレビにHLG静止画を表示させる場合は、MENU→（セットアップ）→〔外部出力〕→〔 HDMI解像度〕を以下のいずれかに設定することをおすすめします。
 - － オート
 - － 2160p
 - － 1080p
 - － 1080i
- 〔ガンマ表示アシスト〕を〔入〕にし、〔ガンマ表示アシスト方式〕を〔オート〕または〔HLG(BT.2020)〕に設定することで、HLG（BT.2020）に対応したモニターで表示したときと近い画質でカメラのモニターに表示できます。

ご注意

- 以下のときは、〔HLG静止画〕が〔切〕に固定されます。
 - － 〔JPEG/HEIF切換〕が〔JPEG〕
 - － 〔画質/画像サイズ設定〕の〔 ファイル形式〕が〔RAW〕または〔RAW+HEIF〕
 - － 静止画撮影時で撮影モードがP/A/S/M以外のとき
 - － 〔カスタム撮影設定登録〕機能で一時的にISO感度が呼び出されているとき
 - － 〔カスタム撮影設定登録〕機能で一時的にドライブモードの〔DROブラケット〕が呼び出されているとき
- 〔HLG静止画〕が〔入〕のときは、以下の機能は使用できません。
 - － 〔Dレンジオブティマイザー〕
 - － 〔 クリエイティブルック〕
 - － ドライブモードの〔DROブラケット〕
 - － 〔 ピクチャープロファイル〕
- 〔HLG静止画〕が〔入〕のときは、設定できるISOの範囲が変わります。

- JPEG/HEIF切換
- HDMI解像度
- ガンマ表示アシスト

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

色空間



色を数値の組み合わせによって表現するための方法、または表現できる色の範囲のことを色空間といいます。画像の用途によって色空間を変更できます。

1 MENU →  (撮影) → [画質] → [色空間] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

sRGB :

デジタルカメラの標準となっている色空間。画像調整を行わずに印刷する場合など、一般的な撮影では[sRGB]を使う。

AdobeRGB :

より広い色再現範囲を持っている色空間。鮮やかな緑色や赤色の多い被写体をプリントする場合に効果がある。撮影した画像のファイル名は、“_” (アンダーバー) で始まる。

ご注意

- [色空間]の設定は、ファイル形式がHEIFのときは無効になります。HEIF形式で撮影する場合、[HLG静止画] が [切] のときは、sRGBの色空間で撮影されます。[HLG静止画] が [入] のときは、BT.2100の色空間 (BT.2020色域) で撮影されます。
- [AdobeRGB] は、カラーマネジメントおよびDCF2.0オプション色空間に対応したアプリケーションソフトやプリンター用です。非対応のソフトやプリンターでは、正しい色での表示、印刷ができないことがあります。
- [AdobeRGB] で撮影した画像は、Adobe RGB非対応機器で表示すると、低彩度になります。

関連項目

- [JPEG/HEIF切換](#)
- [HLG静止画](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

記録方式（動画）



動画を記録するときの記録方式を設定します。

① MENU → （撮影） → [画質] → [記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

記録方式	特徴
XAVC HS 8K	XAVC HS方式で8K動画を撮影します。 XAVC HS方式は圧縮効率の高いHEVCコーデックを使用しており、XAVC S方式と比べると同じデータ容量でより高画質の動画を記録することができます。映像の圧縮にLong GOP圧縮方式を採用しています。
XAVC HS 4K	XAVC HS方式で4K動画を撮影します。 XAVC HS方式は圧縮効率の高いHEVCコーデックを使用しており、XAVC S方式と比べると同じデータ容量でより高画質の動画を記録することができます。映像の圧縮にLong GOP圧縮方式を採用しています。
XAVC S 4K	4K解像度（3840×2160）で記録できます。映像の圧縮にLong GOP圧縮方式を採用しています。
XAVC S HD	HD解像度（1920×1080）で記録できます。映像の圧縮にLong GOP圧縮方式を採用しています。
XAVC S-I 4K	XAVC S-I方式を使った動画を撮影します。 XAVC S-I方式は映像の圧縮にIntra圧縮方式を採用しており、Long GOP圧縮に比べて編集に適しています。
XAVC S-I HD	XAVC S-I方式を使った動画を撮影します。 XAVC S-I方式は映像の圧縮にIntra圧縮方式を採用しており、Long GOP圧縮に比べて編集に適しています。

- Intra/Long GOPは映像圧縮方式です。映像の圧縮を1フレーム毎に行っているのがIntra圧縮で、圧縮を複数フレームにまたがって行うのがLong GOP圧縮です。編集時のレスポンスや自由度はIntra圧縮の方が優れていますが、圧縮効率はLong GOP圧縮の方が優れています。

ご注意

- XAVC HS 4K/XAVC HS 8K動画をパソコンで再生するときは、HEVCコーデックに対応した処理能力の高い機器やソフトウェアが必要です。
- 4K 120p/8K動画撮影時は、[APS-C S35 撮影]は無効になり[切]に固定されます。
- APS-Cフォーマット専用レンズを装着した場合、画面の周辺部が暗くなることがあります。本機で4K 120p/8K動画を撮影する場合は35mmフルサイズ対応レンズのご使用をおすすめします。

- HDMIケーブル（別売）を用いて、本機からソニー製のテレビに8K動画を適切に表示するには、テレビの画質設定を手動で変更する必要があります。撮影時の設定に応じてテレビの画質設定（ガンマやカラーモード）を変更してください。

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

動画設定（動画）



フレームレート、ビットレート、色情報などを設定します。

1 MENU → （撮影） → [画質] → [動画設定] → [記録フレームレート] → 希望の設定を選ぶ。

2 MENU → （撮影） → [画質] → [動画設定] → [記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

設定値の例

200M **4:2:2** **10bit**
(A) (B) (C)

(A) : ビットレート

(B) : カラーサンプリング

(C) : ビット深度

- ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。
- カラーサンプリング（4:2:2、4:2:0）は色情報の記録割合です。この割合が均等であるほど色再現性に優れており、グリーンバックなどを使用した合成時にもきれいに色を抜くことができます。
- ビット深度は輝度情報の階調です。8 bitの場合は256段階、10 bitの場合は1024段階の階調性を持ちます。この数字が大きいくほど、明部から暗部までなめらかな表現が可能です。
- 4:2:2 10bitはパソコンによる編集を前提とした記録設定です。再生環境が限られています。

メニュー項目の詳細

[記録方式] が [XAVC HS 8K] のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
30p	520M 4:2:2 10bit *	7680×4320	Long GOP
30p	400M 4:2:0 10bit	7680×4320	Long GOP
30p	260M 4:2:2 10bit *	7680×4320	Long GOP
30p	200M 4:2:0 10bit	7680×4320	Long GOP
24p	520M 4:2:2 10bit *	7680×4320	Long GOP
24p	400M 4:2:0 10bit	7680×4320	Long GOP
24p	260M 4:2:2 10bit *	7680×4320	Long GOP
24p	200M 4:2:0 10bit	7680×4320	Long GOP

* 本体ソフトウェアVer.1.30以降

【 記録方式】が【XAVC HS 4K】のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	200M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	150M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	100M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	75M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	45M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	50M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	50M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	30M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP
120p	280M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
120p	200M 4:2:0 10bit	3840×2160	Long GOP

【 記録方式】が【XAVC S 4K】のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	200M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
60p	150M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
30p	140M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
30p	100M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
30p	60M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
24p	100M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
24p	60M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP
120p	280M 4:2:2 10bit	3840×2160	Long GOP
120p	200M 4:2:0 8bit	3840×2160	Long GOP

【 記録方式】が【XAVC S HD】のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	50M 4:2:2 10bit	1920×1080	Long GOP
60p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	25M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
30p	50M 4:2:2 10bit	1920×1080	Long GOP
30p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
30p	16M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
24p	50M 4:2:2 10bit	1920×1080	Long GOP
24p	50M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
120p	100M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP
120p	60M 4:2:0 8bit	1920×1080	Long GOP

記録方式が[XAVC S-I 4K] のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	600M 4:2:2 10bit	3840×2160	Intra
30p	300M 4:2:2 10bit	3840×2160	Intra
24p	240M 4:2:2 10bit	3840×2160	Intra

記録方式が[XAVC S-I HD] のとき

記録フレームレート	記録設定	サイズ	映像圧縮方式
60p	222M 4:2:2 10bit	1920×1080	Intra
30p	111M 4:2:2 10bit	1920×1080	Intra
24p	89M 4:2:2 10bit	1920×1080	Intra

ご注意

- 記録フレームレートは整数で表していますが、実際のフレームレートは以下のとおりです。
24p : 23.98 fps、30p : 29.97 fps、60p : 59.94 fps、120p : 119.88 fps

関連項目

- [記録方式（動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

スロー&クイック設定



肉眼では捉えられない一瞬を記録したり（スローモーション撮影）、長時間の現象を短い時間に短縮して記録したり（クイックモーション撮影）します。動きの激しいスポーツシーンや鳥が飛び立つ瞬間、花のつぼみの開花の様子、雲や星空が変化する様子などを記録できます。音声は記録されません。

- 1 モードダイヤルを **S&Q**（スロー&クイックモーション）にする。
- 2 MENU → （撮影） → [撮影モード] → [**S&Q** 露出モード] → スロー&クイックモーションの希望の設定（プログラムオート、絞り優先、シャッタースピード優先、またはマニュアル露出）を選ぶ。
- 3 MENU → （撮影） → [画質] → [**S&Q** スロー&クイック設定] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。
- 4 MOVIE（動画）ボタンを押して、撮影を開始する。
 - 撮影を終了するには、MOVIEボタンをもう一度押す。

メニュー項目の詳細

S&Q 記録フレームレート：

記録する動画のフレームレートを選ぶ。

S&Q フレームレート：

動画撮影時のフレームレートを選ぶ。

S&Q 記録設定：

記録する動画のビットレート、カラーサンプリングおよびビット深度を選ぶ。

- [**S&Q** 記録フレームレート] と [**S&Q** 記録設定] で設定できる値は、[動画設定] の設定値と同じです。
- 記録される動画のフォーマットは、[記録方式] の設定と同じになりますが、スロー&クイックモーション撮影時は [XAVC HS 8K] は選べません。自動的に [XAVC HS 4K] に切り替わります。

再生速度について

[**S&Q** 記録フレームレート] と [**S&Q** フレームレート] の設定によって、再生速度は以下のようになります。

S&Q フレームレート	S&Q 記録フレームレート：24p	S&Q 記録フレームレート：30p	S&Q 記録フレームレート：60p	S&Q 記録フレームレート：120p
240fps	10倍スロー	8倍スロー	4倍スロー	2倍スロー
120fps	5倍スロー	4倍スロー	2倍スロー	通常の再生速度
60fps	2.5倍スロー	2倍スロー	通常の再生速度	2倍クイック

S&Q フレームレート	S&Q 記録フレームレート : 24p	S&Q 記録フレームレート : 30p	S&Q 記録フレームレート : 60p	S&Q 記録フレームレート : 120p
30fps	1.25倍スロー	通常の再生速度	2倍クイック	4倍クイック
15fps	1.6倍クイック	2倍クイック	4倍クイック	8倍クイック
8fps	3倍クイック	3.75倍クイック	7.5倍クイック	15倍クイック
4fps	6倍クイック	7.5倍クイック	15倍クイック	30倍クイック
2fps	12倍クイック	15倍クイック	30倍クイック	60倍クイック
1fps	24倍クイック	30倍クイック	60倍クイック	120倍クイック

- [ 記録方式] が以下のときは、[240fps] を選べません。
 - XAVC HS 4K
 - XAVC S 4K
 - XAVC S-I 4K

ヒント

- 記録可能時間の目安は、「[動画の記録可能時間](#)」をご覧ください。

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影では、実際の撮影時間と、動画として記録される時間が異なります。モニター上部に表示される記録可能時間は、メモリーカードの残り撮影時間ではなく、動画としての残り記録時間を表します。
- スローモーション撮影ではシャッター速度が速くなるため、十分な露出が得られない場合があります。その場合は、絞り値を小さく設定するか、ISO感度を高く設定してください。
- スロー&クイックモーション撮影時は以下の機能は使用できません。
 - [Time Code Run]
 - [Time Code出力]

関連項目

- [スロー&クイックモーション : 露出モード](#)
- [動画の記録可能時間](#)
- [使用できるメモリーカード](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

プロキシ設定



動画撮影時およびスロー＆クイックモーション撮影時に、低ビットレートのプロキシ動画を同時に記録することができます。

プロキシ動画はファイルサイズが小さいため、スマートフォンへの転送やWebサイトへのアップロードに適しています。

① MENU → (撮影) → [画質] → [**Px** プロキシ設定] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Px プロキシ記録：

プロキシ動画を同時に記録するかどうか選ぶ。（[入] / [切]）

Px プロキシ記録方式：

記録するプロキシ動画の記録方式を選ぶ。（[XAVC HS HD] / [XAVC S HD]）

Px プロキシ記録設定：

記録するプロキシ動画のビットレート、カラーサンプリングおよびビット深度を選ぶ。（[16M 4:2:0 10bit] / [9M 4:2:0 10bit] / [6M 4:2:0 8bit]）

選択可能なプロキシ記録設定

Px プロキシ記録方式	記録サイズ	記録フレームレート	Px プロキシ記録設定	圧縮コーデック
XAVC HS HD	1920×1080	最大60p	16Mbps 4:2:0 10bit 9Mbps 4:2:0 10bit	MPEG-H HEVC/H.265
XAVC S HD	1280×720	最大60p	6Mbps 4:2:0 8bit	MPEG-4 AVC/H.264

ヒント

- 再生画面（1枚再生画面または一覧表示画面）には、プロキシ動画は表示されません。プロキシ動画が同時に記録された動画には、**Px**（プロキシ）が表示されます。

ご注意

- プロキシ動画は本機では再生できません。
- 下記の場合はプロキシ記録はできません。
通常動画の場合
 - [記録フレームレート] が [120p] 以上のとき
 スロー＆クイックモーション動画の場合
 - [**S&Q** 記録フレームレート] が [120p] 以上のとき

— [S&Q フレームレート] が [120fps] 以上のとき

- プロキシ動画がある動画を削除/プロテクトすると、オリジナル動画とプロキシ動画の両方が削除/プロテクトされます。オリジナル動画だけ、またはプロキシ動画だけを削除/プロテクトすることはできません。
- 本機では動画の編集はできません。

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

APS-C S35 (Super35mm) 撮影 (静止画/動画)



静止画撮影時はAPS-Cの画角、動画撮影時はSuper35mm相当の画角で記録するかどうかを設定します。〔入〕または〔オート〕に設定することで、APS-Cサイズ専用レンズも本機で使用できます。

1 MENU → (撮影) → [画質] → [APS-C S35 撮影] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

APS-CサイズまたはSuper35mmサイズで記録する。

〔入〕にすると、レンズ記載の焦点距離の約1.5倍相当の画角になります。

オート：

レンズやカメラの設定により、自動的に記録範囲を決定する。

切：

常に35mmフルサイズで撮影する。

ご注意

- APS-C用レンズを装着して、[APS-C S35 撮影] を〔切〕にすると、画像の周辺部が暗くなるなど、撮影がうまくいかないことがあります。
- [APS-C S35 撮影] を〔入〕にすると、APS-Cサイズのイメージセンサーで撮影するときと同じ画角になります。
- 4K 120p、8Kで動画撮影時は、[APS-C S35 撮影] は〔切〕に固定されます。35mmフルサイズ対応レンズのご使用をおすすめします。

関連項目

- [撮影範囲 \(画角\) について](#)

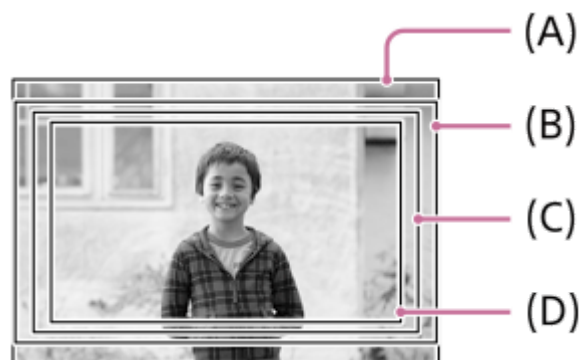
レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

撮影範囲（画角）について

〔 APS-C S35 撮影〕の設定や装着しているレンズによって、撮影範囲（画角）はフルサイズ相当またはAPS-Cサイズ/Super35mm相当に変化します。また、静止画撮影時と動画撮影時でも画角は異なります。

フルサイズ相当の画角



- (A) 静止画撮影時
- (B) 動画撮影時（4K 120p以外）、S&Q撮影時（HD 240fps以外）
- (C) 動画撮影時（4K 120p）
- (D) S&Q撮影時（HD 240fps）

以下のとき、フルサイズ相当の画角で撮影されます。

- 静止画撮影時
 - 〔 APS-C S35 撮影〕が〔オート〕で、フルサイズ対応レンズを装着しているとき
 - 〔 APS-C S35 撮影〕が〔切〕のとき
- 動画撮影時
 - 8K動画撮影時、またはフレームレートが〔120p〕のとき
 - 4K動画撮影時で 〔 APS-C S35 撮影〕が〔切〕のとき
 - HD動画撮影時で 〔 APS-C S35 撮影〕が〔オート〕、フルサイズ対応レンズを装着しているとき
 - HD動画撮影時で 〔 APS-C S35 撮影〕が〔切〕のとき

APS-Cサイズ/Super35mm相当の画角



- (A) 静止画撮影時
- (B) 動画撮影時

以下のとき、APS-Cサイズ/Super35mm相当の画角で撮影されます。レンズ記載の焦点距離の約1.5倍相当の画角になります。

- 静止画撮影時

-  APS-C S35 撮影 が [オート] で、APS-Cフォーマット専用レンズを装着しているとき
-  APS-C S35 撮影 が [入] のとき

- 動画撮影時

- 4K（60p以下）動画撮影時で  APS-C S35 撮影 が [オート] または [入] のとき
- HD動画撮影時で  APS-C S35 撮影 が [オート]、APS-Cフォーマット専用レンズを装着しているとき
- HD動画撮影時で  APS-C S35 撮影 が [入] のとき

ご注意

- フルサイズでの動画撮影時、4K 120pのときはレンズ記載の焦点距離の約1.1倍相当の画角になります。
- フルサイズでのスロー＆クイックモーション撮影時、HD 240fpsのときはレンズ記載の焦点距離の約1.2倍相当の画角になります。

関連項目

- [記録方式（動画）](#)
- [動画設定（動画）](#)
- [APS-C S35（Super35mm）撮影（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

タッチ操作



モニターのタッチ操作を有効にするかどうかを設定します。

1 MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [タッチ操作] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
タッチ操作を有効にする。

入:再生時のみ：
再生時のみタッチ操作を有効にする。

切：
タッチ操作を無効にする。

関連項目

- [撮影時のタッチ機能](#)
- [タッチパネル/タッチパッド](#)
- [タッチ感度](#)
- [タッチパネルの操作](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

タッチ感度



タッチ操作時の感度を設定します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [タッチ感度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

敏感：

標準よりタッチ操作時の反応が良くなる。

標準：

タッチ操作時の感度を標準にする。

ヒント

- モニターのタッチ操作を無効にしたいときは [タッチ操作] を [切] にしてください。

ご注意

- [敏感] に設定していても、使用する手袋によっては正しく反応しないことがあります。

関連項目

- [タッチ操作](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

タッチパネル/タッチパッド



モニター撮影時のタッチ操作をタッチパネル操作と呼び、ファインダー撮影時のタッチ操作をタッチパッド操作と呼びます。タッチパネル操作またはタッチパッド操作の、どちらを有効にするかを設定します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [タッチパネル/タッチパッド] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

両方有効：

モニター撮影時のタッチパネル操作と、ファインダー撮影時のタッチパッド操作を有効にする。

タッチパネルのみ：

モニター撮影時のタッチパネル操作のみを有効にする。

タッチパッドのみ：

ファインダー撮影時のタッチパッド操作のみを有効にする。

関連項目

- [タッチ操作](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

タッチパッド設定



ファインダー撮影時のタッチパッド操作に関する設定を行います。

① MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [タッチパッド設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

縦持ち時の操作：

縦位置でのファインダー撮影時に、タッチパッド操作を有効にするかどうかを設定する。縦位置での撮影時に鼻などがモニターに触れることによる誤操作を防ぐことができる。

位置指定方法：

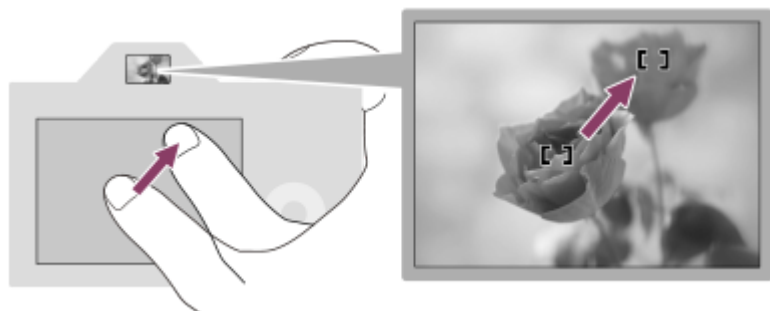
画面でタッチした位置にフォーカス枠を移動する[絶対位置]か、ドラッグの方向と移動量で希望の場所までフォーカス枠を移動する[相対位置]かを設定する。

操作エリア：

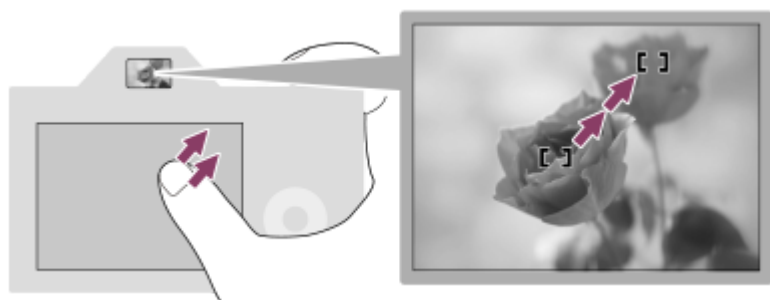
タッチパッド操作で使用するエリアを設定する。操作エリアを制限することで、鼻などがモニターに触れることによる誤操作を防ぐことができる。

位置指定方法について

[絶対位置]に設定すると、フォーカス枠の位置をタッチ操作で直接指定できるため、離れた位置にフォーカス枠をすばやく移動することができます。



[相対位置]に設定すると、広範囲に指を動かすことなく操作しやすい場所でタッチパッド操作ができます。



ヒント

- [位置指定方法] が [絶対位置] のときのタッチパッド操作では、[操作エリア] で設定されているエリアを画面全体と見なします。

関連項目

- [タッチパネル/タッチパッド](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

撮影時のタッチ機能



撮影時に画面をタッチしたときの動作を設定します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [タッチ操作] → [撮影時のタッチ機能] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

タッチフォーカス：

撮影時のタッチ操作で、ピントを合わせる位置を指定する。

タッチトラッキング：

撮影時のタッチ操作で、被写体を選択してトラッキングを開始する。

無効：

撮影時のタッチ操作を無効にする。

ヒント

- 撮影画面の  /  /  (タッチ機能アイコン) をタッチすることでも [撮影時のタッチ機能] の設定を変更できます。

関連項目

- [タッチ操作でフォーカスを合わせる \(タッチフォーカス\)](#)
- [タッチ操作でトラッキングを開始する \(タッチトラッキング\)](#)
- [タッチ操作](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

タッチ操作でフォーカスを合わせる（タッチフォーカス）



ピントを合わせる位置をタッチ操作で指定できます。あらかじめ、MENU→（セットアップ）→［タッチ操作］→［タッチ操作］を［入］に設定してください。

この機能は、 フォーカスエリアが以下の場合に使用できます。

- [ワイド]
- [ゾーン]
- [中央固定]
- [トラッキング:ワイド]
- [トラッキング:ゾーン]
- [トラッキング:中央固定]

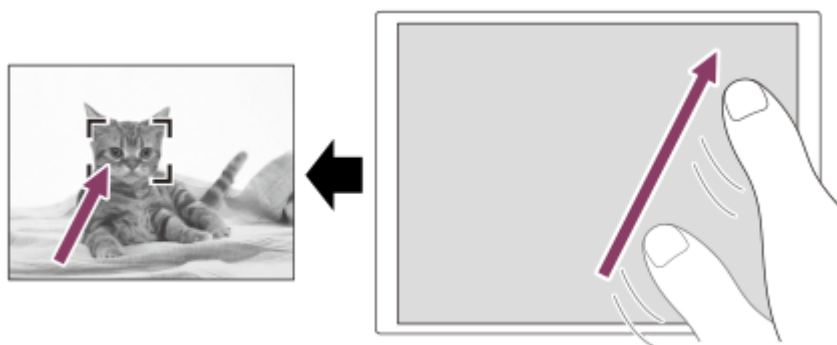
① MENU→（セットアップ）→［タッチ操作］→［撮影時のタッチ機能］→［タッチフォーカス］を選ぶ。

静止画撮影時にピントを合わせる位置を指定する

オートフォーカスでの撮影時に、ピントを合わせる位置をタッチ操作で指定できます。タッチ後にシャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。

1. モニターにタッチする。

- モニター撮影時は、ピントを合わせたい位置をタッチします。
- ファインダー撮影時は、ファインダーをのぞきながらモニターをタッチしてドラッグすると、ピント合わせの位置を移動できます。



- タッチ操作によるピント合わせを解除するには、モニター撮影時は、（タッチフォーカス解除）アイコンをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。ファインダー撮影時は、コントロールホイールの中央を押してください。

2. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。

- 撮影するにはそのままシャッターボタンを押し込んでください。

動画撮影時にピントを合わせる位置を指定する

タッチした被写体にピントを合わせます。

1. 録画開始前もしくは録画中にピントを合わせたい被写体をタッチする。

- フォーカスモードが「コンティニュアスAF」のときは、一時的にマニュアルフォーカスになり、フォーカスリングでピントを調整できます（スポットフォーカス）。ファインダー撮影時は、スポットフォーカスは使用できません。
- スポットフォーカスを解除したい場合は、（タッチフォーカス解除）アイコンをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。
- フォーカスモードが「マニュアルフォーカス」のときは、一時的に「コンティニュアスAF」になります。タッチした場所にピントが合うとマニュアルフォーカスに戻ります。

ヒント

- タッチフォーカス機能のほかに、以下のようなタッチ操作が可能です。
 - － 「スポット」や「拡張スポット」のフォーカス枠をドラッグして移動できます。
 - － マニュアルフォーカスで静止画を撮影しているときは、モニターをダブルタップするとピント拡大の操作が行えます。

ご注意

- 以下のとき、タッチフォーカス機能は使えません。
 - － マニュアルフォーカスで静止画を撮影するとき
 - － デジタルズーム中
 - － LA-EA4装着時

関連項目

- [撮影時のタッチ機能](#)
- [タッチ操作](#)
- [タッチパネル/タッチパッド](#)
- [ピントを合わせるエリアを選ぶ（フォーカスエリア）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

タッチ操作でトラッキングを開始する（タッチトラッキング）



静止画または動画撮影時、トラッキングする被写体をタッチ操作で選択できます。
あらかじめ、MENU→（セットアップ）→［タッチ操作］→［タッチ操作］を［入］に設定してください。

- 1 MENU→（セットアップ）→［タッチ操作］→［撮影時のタッチ機能］→［タッチトラッキング］を選ぶ。
- 2 モニターでトラッキングする被写体をタッチする。
トラッキングが始まる。
 - ファインダー撮影時は、タッチパッド操作でトラッキングする被写体を指定できます。
- 3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
 - 撮影するにはそのままシャッターボタンを押し込んでください。

ヒント

- トラッキングを解除するには、（トラッキング解除）アイコンをタッチするか、またはコントロールホイールの中央を押してください。

ご注意

- 以下のとき、タッチトラッキング機能は使えません。
 - － フォーカスモードが［マニュアルフォーカス］
 - － スマートズーム、超解像ズーム、デジタルズームを使用中

関連項目

- [撮影時のタッチ機能](#)
- [タッチ操作](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

サイレントモード設定（静止画/動画）



シャッター音や電子音を鳴らさずに撮影するサイレントモードに関する設定を行います。サイレントモードにしたときに、カメラから作動音がする他の機能の設定を同時に変更するかどうかも設定できます。

1 MENU → （撮影） → **［シャッター/サイレント］** → **サイレントモード設定** → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

サイレントモード：

シャッター音や電子音を鳴らさずに撮影するかどうかを設定する。（〔入〕 / 〔切〕）

〔入〕に設定すると、〔シャッター方式〕と〔インターバル時シャッター方式〕が〔電子シャッター〕に、〔電子音〕が〔切〕に固定される。

対象機能の設定：

サイレントモードにしたときに、カメラから作動音がする他の機能の設定を同時に変更するかどうかを設定する。

（〔AF時の絞り駆動〕 / 〔電源OFF時のシャッター〕 / 〔オートピクセルマッピング〕）

〔対象にしない〕を選ぶと、サイレントモード時もそれぞれの機能の設定値が保持される。

ご注意

- サイレントモードは、被写体のプライバシーや肖像権に充分ご配慮のうえ、お客様自身の責任においてお使いください。
- 〔サイレントモード〕を〔入〕に設定しても、完全に無音にはなりません。
- 〔サイレントモード〕を〔入〕に設定しても、絞りやフォーカスの駆動音は発生します。
- 〔オートピクセルマッピング〕が〔入〕のときは、電源を切ったときにまれにシャッター音が鳴る場合がありますが、故障ではありません。
- 〔アンチダスト機能〕の〔電源OFF時のシャッター〕が〔入〕のときは、電源を切ったときにシャッター音が鳴ります。
- 被写体の動きやカメラ本体の動きによって画像に歪みが起こることがあります。
- 瞬間的な光（他のカメラのフラッシュ発光など）や蛍光灯などのちらつきのある照明下で撮影した場合、帯状の明暗が撮影される場合があります。
- 〔サイレントモード〕を〔入〕にしている場合、〔個人顔登録〕で顔を登録するときはシャッター音が鳴ります。
- 〔サイレントモード〕が〔入〕の場合、以下の機能は使用できません。
 - ー 長秒時ノイズ低減
 - ー バルブ撮影

関連項目

- [シャッター方式](#)
- [インターバル撮影機能](#)
- [AF時の絞り駆動](#)
- [アンチダスト機能](#)
- [オートピクセルマッピング](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

シャッター方式



メカシャッター方式と電子シャッター方式のどちらで撮影するか設定することができます。

1 MENU → (撮影) → [シャッター/サイレント] → [シャッター方式] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わる。

メカシャッター：

メカシャッター方式のみで撮影する。

電子シャッター：

電子シャッター方式のみで撮影する。

ヒント

- 以下の場合は、[シャッター方式] を [オート] または [電子シャッター] に設定してください。
 - ― 快晴の屋外、ビーチ、雪山など明るい環境下で高速シャッターで撮影するとき
 - ― 連続撮影の撮影速度を上げて撮影したいとき

ご注意

- [シャッター方式] を [電子シャッター] に設定していても、電源オフ時、まれにシャッター音が鳴る場合がありますが、故障ではありません。
- [シャッター方式] を [電子シャッター] にしていても、[個人顔登録] で顔を登録するときはシャッター音が鳴ります。
- [シャッター方式] が [電子シャッター] の場合、以下の機能は使用できません。
 - ― 長秒時ノイズ低減
 - ― バルブ撮影
- 大口径レンズを装着して高速のシャッタースピードで撮影する場合、[メカシャッター] を選ぶと、玉ボケなどにシャッターによる欠けが生じることがあります。
- 他社製レンズ（ミノルタ/コニカミノルタ製レンズを含む）を使用する場合、[メカシャッター] を選ぶと、適正露出にならなかったり、画像の明るさにムラが出たりします。
- [メカシャッター] を選んで高速のシャッタースピードで撮影すると、撮影条件によっては画面の明るさにムラが出る場合があります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

電子シャッターを活用する

電子シャッターを使用することで、メカシャッターでは実現できなかった無音・無振動撮影、超高速シャッター、ブラックアウトフリー撮影*など、さまざまな撮影を行うことができます。

* ブラックアウトフリー撮影では、撮影時に画面がブラックアウトしたり停止したりすることなく、ファインダーやモニターで被写体を確認しながら撮影できます。

シャッター方式とカメラの動作

各設定値の、シャッタースピード、シャッター音、ブラックアウトの有無、フラッシュ発光、フリッカーレス撮影の可否は以下のとおりです。

	シャッター方式		
	 オート	 メカシャッター	 電子シャッター
シャッタースピード	1枚撮影時： BULB ～ 1/32000 連続撮影時： 0.5" ～ 1/32000* ¹	1枚撮影時： BULB ～ 1/8000 連続撮影時： 30 ～ 1/8000	1枚撮影時： 30 ～ 1/32000 連続撮影時： 0.5" ～ 1/32000
シャッター音	1枚撮影時：メカシャッター音 連続撮影時：電子シャッター音* ²	メカシャッター音	電子シャッター音
ブラックアウト	1枚撮影時：あり 連続撮影時：なし* ³ * ⁴	あり	なし* ⁴
フラッシュ発光	できる* ¹	できる	できる
フリッカーレス撮影	できる	できる	できる
高分解シャッター撮影	できる	できる	できる

*¹ フラッシュを取り付けて撮影する場合はメカシャッターでの撮影になり、連続撮影時のシャッタースピード範囲は0.5"～1/8000秒になります。

*² フラッシュを取り付けて撮影する場合はメカシャッターでの撮影になり、シャッター音もメカシャッター音になります。

*³ フラッシュを取り付けて撮影する場合はメカシャッターでの撮影になり、ブラックアウトが発生します。

*⁴ [ 撮影開始表示] を [入] に設定すると、1枚目の撮影時にのみブラックアウトさせることができます。

電子シャッターを活用した撮影の例：シャッター音を消して撮影する

電子シャッターを使って、シャッター音を消して撮影を行うことができます。

1. MENU →  (撮影) → [シャッター/サイレント] → [ サイレントモード設定] → [サイレントモード] → [入] を選ぶ。

電子シャッターを活用した撮影の例：ブラックアウトフリー連続撮影

電子シャッターを使って、画面をブラックアウトすることなく、フォーカスと露出が追従した連続撮影を行うことができます。

1. MENU →  (撮影) → [シャッター/サイレント] → [シャッター方式] → [オート] または [電子シャッター] を選ぶ。

2. モードダイヤルを回して、P（プログラムオート）、A（絞り優先）、S（シャッタースピード優先）またはM（マニュアル露出）を選び、シャッタースピードと絞り値を設定する。（例：シャッタースピード1/250秒、絞り値F2.8）
 - マニュアル露出モードで [ ISO感度] を [ISO AUTO] 以外に設定している場合は、露出は追従しません。
3. ドライブモードダイヤルを回して、（連続撮影：Hi+）、（連続撮影：Hi）、（連続撮影：Mid）、または （連続撮影：Lo）を選ぶ。
4. フォーカスモードダイヤルを回してAF-C（コンティニュアスAF）を選び、撮影する。

ヒント

- ブラックアウトフリー撮影時に、撮影を行うタイミングを画面表示させたい場合は、MENU → （セットアップ）→ [表示オプション] → [ 撮影タイミング表示] で設定できます。
- 本機の機能を最大限に生かすために、UHS-IIカードまたはCFexpressカードの使用をおすすめします。

ご注意

- シャッター音を消すときは、被写体のプライバシーや肖像権に充分ご配慮のうえ、お客様自身の責任において行ってください。
- シャッター音を消しても、完全に無音にはなりません。
- シャッター音を消しても、絞りやフォーカスの駆動音は発生します。
- AF時の絞り駆動に対応したレンズを使うとき、[AF時の絞り駆動] を [フォーカス優先] にしていると、連続撮影時に絞りの駆動音が発生することがあります。
- 電子シャッターでの連続撮影時は、シャッタースピードが遅くなると画面表示の更新が緩やかになります。被写体を追従するために画面表示の更新をなめらかにしたい場合は、シャッタースピードが1/60秒より高速になるように設定してください。または、[ライブビュー表示設定] の [フレームレート低速制限] を [入] に設定してください。ただし、[入] の場合、シャッタースピードによってはブラックアウトが発生します。
- マウントアダプター使用時は電子シャッターの動作が異なります。

関連項目

- [シャッター方式](#)
- [サイレントモード設定（静止画/動画）](#)
- [撮影タイミング表示（静止画）](#)
- [連続撮影](#)
- [撮影開始表示（静止画）](#)
- [フリッカーレス設定](#)
- [ライブビュー表示設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

撮影開始表示（静止画）



ブラックアウトフリー撮影時に、1枚目の撮影時のみ画面に黒画を表示（ブラックアウト）させるかどうかを設定できます。黒画を表示させることで、撮影開始タイミングを視覚的に確認しやすくなります。

1 MENU → （セットアップ）→ [表示オプション] → [ 撮影開始表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

ブラックアウトフリー撮影時に、1枚目の撮影時のみ画面に黒画を表示（ブラックアウト）する。

切：

ブラックアウトフリー撮影時に、1枚目の撮影時も画面に黒画を表示（ブラックアウト）させない。

関連項目

- [電子シャッターを活用する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

撮影タイミング表示（静止画）



画面上に撮影していることをお知らせするマーク（枠など）を表示するかどうか設定します。
シャッター音を鳴らさない設定にしているときなど、画面を見るだけでは撮影タイミングが分かりにくいときにお使いください。

① MENU → （セットアップ）→ [表示オプション] → [ 撮影タイミング表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入: タイプ1:

フォーカス枠の周りに枠（ダークカラー）を表示する。

入: タイプ2:

フォーカス枠の周りに枠（ライトカラー）を表示する。

入: タイプ3:

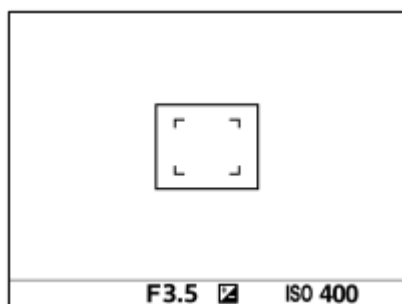
画面の四隅に （ダークカラー）を表示する。

入: タイプ4:

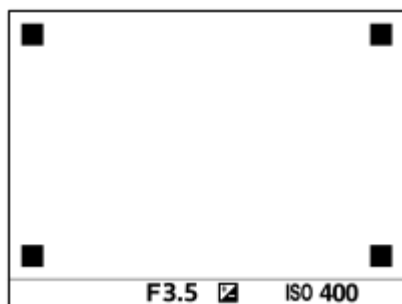
画面の四隅に （ライトカラー）を表示する。

切:

ブラックアウトフリー撮影時に撮影タイミングを表示しない。



[入: タイプ1] / [入: タイプ2]（例: [ フォーカスエリア] が [中央固定] のとき）



[入: タイプ3] / [入: タイプ4]

関連項目

- [電子シャッターを活用する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

レンズなしリリース（静止画/動画）



レンズを取り付けていない状態で、シャッターが切れるかどうかを設定します。

1 MENU → （撮影） → [シャッター/サイレント] → [レンズなしリリース] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

許可：

レンズを取り付けていなくてもシャッターが切れる。本機を天体望遠鏡に取り付ける場合などは、[許可] を選ぶとシャッターが切れる。

禁止：

レンズを取り付けていないとシャッターが切れない。

ご注意

- 天体望遠鏡など、レンズ信号接点を持たないレンズをお使いの場合は、正確な測光が行えません。撮影結果を見て、手動で露出を合わせてください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

カードなしレリーズ



メモリーカードが入っていない状態で、シャッターが切れるかどうかを設定します。

1 MENU →  (撮影) → [シャッター/サイレント] → [カードなしレリーズ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

許可：

メモリーカードが入っていてもシャッターが切れる。

禁止：

メモリーカードが入っていないとシャッターが切れない。

ご注意

- メモリーカードを入れていない状態では、撮影した画像は保存されません。
- お買い上げ時の設定は [許可] になっていますので、実際の撮影のときは [禁止] にしておくことをおすすめします。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フリッカーレス設定



蛍光灯やLED照明などの人工光源のちらつき（フリッカー）の影響を低減するために、フリッカーによる影響が少ないタイミングで撮影したり、通常よりもシャッタースピードを細かく設定することができます。

人工光源下での撮影時に、画像の上下で生じる露出や色合いの差や連続撮影時の露出や色合いのばらつきを低減できます。

① MENU → (撮影) → [シャッター/サイレント] → [フリッカーレス設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

フリッカーレス撮影：

光源の点滅周期が100Hzか120Hzの場合にフリッカーを検知してフリッカーによる影響を低減して静止画を撮影する。シャッターボタンを半押しすることでフリッカーが検知される。（[入] / [切]）

[入] に設定したときは、シャッターボタンを半押しして **Flicker**（フリッカーアイコン）が表示されたことを確認してから撮影してください。

高分解シャッター：

フリッカーの周波数に合わせてシャッタースピードを細かく調整することで、帯状の明暗が記録されてしまうことを低減する。（[入] / [切]）

静止画、動画ともに、シャッタースピードをマニュアルで調整する露出モードのときのみ設定できます。

高分解シャッター設定：

[高分解シャッター] が [入] のときのシャッタースピードを設定する。

モニターを確認しながら、フリッカーの影響が低減するシャッタースピードを選んでください。ただし、シャッタースピードが速いほど撮影前のモニター表示と撮影される画像の見え方に差が生じやすくなります。必ず撮影された画像でフリッカーの影響が低減していることを確認してください。

ヒント

- [フリッカーレス撮影] が [入] のとき、同一シーンを異なるシャッター速度で撮影したときに撮影画像の色合いが異なることがあります。その場合には、撮影モードを [シャッタースピード優先] または [マニュアル露出] にし、シャッタースピードを一定にして撮影することをおすすめします。
- [フリッカーレス撮影] が [入] のとき、AF-ON（AFオン）ボタンを押すことでフリッカーを検知することができます。
- [フリッカーレス撮影] が [入] のとき、マニュアルフォーカス時も、シャッターボタンを半押しまたはAF-ON（AFオン）ボタンを押すことでフリッカーを検知することができます。
- [カスタムキー設定] で希望のキーに [フリッカーレス撮影切換] または [高分解シャッター切換] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびに [フリッカーレス撮影] または [高分解シャッター] の入/切を切り替えることができます。
- [高分解シャッター] が [入] のときは、シャッタースピードの分母が小数の形式で表示されます（高分解シャッタースピード）。
例) 1/250秒のシャッタースピードの場合、250.6と表示されます。（数値は実際と異なる場合があります。）
- [高分解シャッター設定] の画面では、後ダイヤルまたはコントロールホイールで高分解シャッタースピードを細かく設定できます。
例) 250.6→253.3→256.0→258.8のように設定できます。*
前ダイヤルでは、高分解シャッタースピードを整数倍の値に変更できます。
例) 125.3（2倍）←250.6→501.3（1/2倍）*
* 数値は実際と異なる場合があります。
- [高分解シャッター] が [入] のとき、撮影待機画面では高分解シャッタースピードを細かく設定できます。撮影待機画面でも高分解シャッタースピードを整数倍の値に変更したい場合は、カスタムキーまたはマイダイヤルに [シャッタースピード

(ステップ)] を割り当ててください。

- [ 高分解シャッター] を [入] から [切] に変更すると、高分解シャッタースピードは通常のシャッタースピードのうち最も近い値に切り替わります。

ご注意

- [フリッカーレス撮影] を [入] に設定すると、ライブビュー画像の画質が低下することがあります。
- [フリッカーレス撮影] を [入] に設定すると、レリーズタイムラグがわずかに長くなることがあります。また、連続撮影速度が遅くなったり、連続撮影間隔にばらつきが生じたりすることがあります。
- [フリッカーレス撮影] を [入] にしていても、背景が暗いときなど、光源や被写体によってはフリッカーを検知できないことがあります。また、フリッカーを検知しても、光源や撮影条件によってはフリッカーの影響を低減できないことがあります。事前に試し撮りすることをおすすめします。
- 以下の場合、[フリッカーレス撮影] は使えません。
 - バルブ撮影中
 - 動画撮影時
- [フリッカーレス撮影] を [入] にした場合と [切] にした場合で、撮影画像の色合いが異なることがあります。
- [フリッカーレス撮影] を [入] に設定すると、連続撮影中のライブビュー画像のちらつき（フリッカー）を軽減できないことがあります。
- [ 高分解シャッター] を [入] に設定すると、レリーズタイムラグが長くなることがあります。
- [ 高分解シャッター] を [入] にしていても、光源の周波数によっては、最適なシャッタースピードに設定できずフリッカーの影響を消せない場合があります。その場合は以下をお試しください。
 - 低速側のシャッタースピードに設定
 - 他のシャッター方式への変更
- シャッターボタンを半押ししたときに、一時的にフリッカーが表示されることがあります。
- 高分解シャッタースピードの設定値は、[カスタム撮影設定登録] に登録できず、デフォルト値が反映されます。
- [ 高分解シャッター] が [入] のときは、フラッシュ同調速度がより低速側に制限されることがあります。

関連項目

- [\[フリッカーレス撮影\] と \[高分解シャッター\] の違い](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)
- [一時的にダイヤルの機能を変更する \(マイダイヤル設定\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

【フリッカーレス撮影】と【高分解シャッター】の違い

本機には、蛍光灯やLED照明などの人工光源のちらつき（フリッカー）の影響を低減させる機能が2種類あります。それぞれの機能の特徴や対応している撮影条件は、以下の通りです。

特徴および撮影条件	フリッカーレス撮影	 高分解シャッター
特徴	フリッカーによる影響が少ないタイミングを、カメラが自動で検知して撮影します。	モニターで確認しながら、フリッカーによる影響が少ないシャッタースピードに手動で合わせて撮影します。
静止画/動画	静止画のみ	静止画および動画
シャッター方式	電子シャッターおよびメカシャッター	電子シャッターおよびメカシャッター ^{*1}
露出モード	P（プログラムオート）/A（絞り優先）/S（シャッタースピード優先）/M（マニュアル露出）	S（シャッタースピード優先）/M（マニュアル露出）/【フレキシブル露出モード】でシャッタースピードがマニュアル
対応しているフリッカーの種類	100Hz/120Hzのフリッカー（蛍光灯など）のみ ^{*2}	100Hz/120Hzのフリッカー（蛍光灯など）および100Hz/120Hzより周波数の高いフリッカー（LEDなど）

^{*1} シャッタースピードが速いほど撮影前のモニター表示と撮影される画像の見え方に差が生じやすくなります。必ず撮影された画像でフリッカーの影響が低減していることを確認してください。

^{*2} 【フリッカーレス撮影】を【入】にしても、100Hz/120Hz以外の周波数のフリッカーをカメラが検知することはできません。

ヒント

- 100Hz/120Hzのフリッカーと高周波フリッカーが混在する撮影環境でも【フリッカーレス撮影】と【 高分解シャッター】を併用してフリッカーによる影響を低減できます。この場合は、【フリッカーレス撮影】と【 高分解シャッター】を【入】にしてから、【 高分解シャッター設定】でシャッタースピードを調整して撮影してください。

関連項目

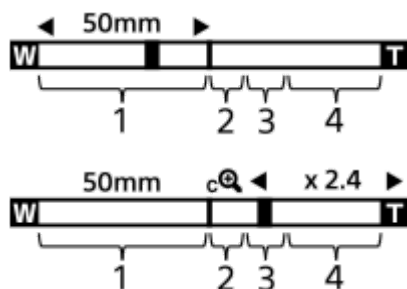
- [フリッカーレス設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

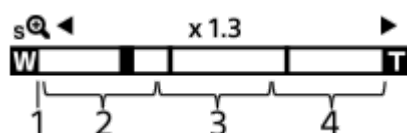
本機で使用できるズームの種類

本機では、いくつかのズームを組み合わせることで、高倍率のズームができます。ズームの種類によってモニターに表示されるアイコンが変わります。

電動ズームレンズの場合：



電動ズームレンズ以外の場合：



1. 光学ズーム範囲

レンズのズーム範囲でズームします。

電動ズームレンズ使用時は、光学範囲のズームバーが表示されます。

電動ズームレンズ以外を使用時は、光学ズーム範囲内ではスライダーは左端に固定され、×1.0と表示されます。〔 ズーム範囲〕を〔光学ズームのみ〕に設定した場合、スライダーは表示されません。

2. スマートズーム範囲 ()

画像を部分的に切り出して、画質を劣化させずに拡大する。（〔JPEG画像サイズ〕 / 〔HEIF画像サイズ〕がM、Sのときのみ。）

3. 超解像ズーム範囲 ()

画質劣化の少ない画像処理により拡大する。〔 ズーム範囲〕を〔超解像ズーム〕または〔デジタルズーム〕にすると使用できます。

4. デジタルズーム範囲 ()

画像処理により拡大する。〔 ズーム範囲〕を〔デジタルズーム〕にすると使用できます。

ヒント

- お買い上げ時の設定では、〔 ズーム範囲〕は〔光学ズームのみ〕に設定されています。
- お買い上げ時の設定では、〔JPEG画像サイズ〕 / 〔HEIF画像サイズ〕は〔L〕に設定されています。スマートズームを使用した場合は、〔JPEG画像サイズ〕 / 〔HEIF画像サイズ〕をMまたはSに変更してください。
- 電動ズームレンズ装着時は、光学ズームの倍率を超えてズームすると、そのままの操作で超解像ズームやデジタルズームへと移行することができます。

ご注意

- 以下の場合、スマートズーム、超解像ズーム、デジタルズームは使えません。
 - － 〔 ファイル形式〕が〔RAW〕または〔RAW+JPEG〕 / 〔RAW+HEIF〕

- [ 記録方式] が [XAVC HS 8K]
 - [記録フレームレート] が [120p]
 - [ フレームレート] が [240fps] または [120fps] でスロー&クイックモーション撮影時
- 動画撮影中は、スマートズームは使用できません。
 - 光学ズーム以外のズーム使用時は、[ フォーカスエリア] の設定は無効になり、フォーカス枠は点線で表示されます。中央付近を優先したAF動作になります。
 - スマートズーム、超解像ズーム、デジタルズーム使用時は、[ 測光モード] は [マルチ] になります。
 - スマートズーム、超解像ズーム、デジタルズームを使用中は、下記の機能は使用できません。
 -  AF時の顔/瞳優先
 -  マルチ測光時顔優先
 - トラッキング機能
 - 動画撮影中に光学ズーム以外のズームをする場合、[ カスタムキー設定] で希望のキーに [ズーム] を設定してください。

関連項目

- [超解像ズーム/デジタルズーム（ズーム）](#)
- [ズーム範囲（静止画/動画）](#)
- [ズーム倍率について](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

超解像ズーム/デジタルズーム（ズーム）



光学ズーム以外のズームを使って、ズームレンズによる光学ズームの倍率以上に拡大できます。

1 MENU→（撮影）→ [ズーム] → [ズーム範囲] で [超解像ズーム] または [デジタルズーム] を選ぶ。

2 MENU→（撮影）→ [ズーム] → [ズーム] → 希望の数値を選ぶ。

終了するときは、コントロールホイールの中央を押す。

- MENU→（セットアップ）→ [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で希望のキーに [ズーム] の機能を設定することもできます。
- MENU→（セットアップ）→ [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で希望のキーに [ズーム操作(T側)]、[ズーム操作(W側)] を割り当てると、そのキーを押すだけでズームイン、ズームアウトができます。

ヒント

- 電動ズームレンズ装着時は、ズームレバーまたはズームリングで拡大することができます。光学ズームの倍率を超えると、そのままの操作で光学ズーム以外のズームに移行します。
- 電動ズームレンズ装着時に、MENUから [ズーム] を選んでズームする場合でも、レンズの望遠端までは光学ズームを使用します。

ご注意

- 電動ズームレンズ装着時に、MENUから [ズーム] を選んでズームする場合は、ステップズーム操作はできません。

関連項目

- [ズーム範囲（静止画/動画）](#)
- [本機で利用できるズームの種類](#)
- [ズーム倍率について](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ズーム範囲（静止画/動画）



本機で行うズーム範囲を設定できます。

① MENU → （撮影） → [ズーム] → [ズーム範囲] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

光学ズームのみ：

ズーム範囲を光学ズームの範囲内に制限します。[JPEG画像サイズ] / [HEIF画像サイズ] がMまたはSの場合のみ、スマートズーム範囲も使用できます。

超解像ズーム：

超解像ズーム範囲まで使用する場合はこの設定を選びます。光学ズーム範囲を超えても、画像劣化の少ない画像処理を用いて拡大します。

デジタルズーム：

超解像ズーム倍率を超えた場合に、画質は劣化するが、最大倍率が大きいズームを行えます。

ご注意

- 画質が劣化しない範囲でのみズームしたい場合は、[光学ズームのみ] を設定してください。

関連項目

- [本機で利用できるズームの種類](#)
- [ズーム倍率について](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ズームスピード（静止画/動画）



カスタムキーに「ズーム操作(T側)」/「ズーム操作(W側)」機能を割り当てているとき、カスタムキーでのズームスピードを設定します。撮影スタンバイ時と動画記録中で別々に設定できます。

- 1 MENU → （撮影） → 「ズーム」 → [ズームスピード] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

固定スピード **STBY** :

撮影スタンバイ時のズームスピードを設定する。（1(遅い)～8(速い)）

固定スピード **REC** :

動画記録中のズームスピードを設定する。（1(遅い)～8(速い)）

ヒント

- 「固定スピード **STBY**」を速く、「固定スピード **REC**」を遅く設定すると、撮影待機時はすばやく画角を変更でき、動画記録中はゆっくりと画角を変化させることができます。
- [ズームスピード] の設定は、MENU → （撮影） → 「ズーム」 → [ズーム] でズーム操作を行う場合にも適用されます。

ご注意

- レンズのズームリングや電動ズームレンズのズームレバーによるズームスピードは変わりません。
- ズームスピードを速くすると、ズームの動作音が記録される場合があります。

関連項目

- [超解像ズーム/デジタルズーム（ズーム）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ズームスピード（リモコン）（静止画/動画）



リモコン（別売）やスマートフォンによるリモート撮影機能を使ってズーム操作を行うときのズームスピードを設定します。撮影スタンバイ時と動画記録中で別々に設定できます。

- 1 MENU → （撮影） → [ズーム] → [ズームスピード] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スピードタイプ：

ズームスピードを固定するかどうかを設定する。（[可変] / [固定]）

固定スピード **STBY**：

[スピードタイプ] が [固定] のときの撮影スタンバイ時のズームスピードを設定する。（1(遅い)～8(速い)）

固定スピード **REC**：

[スピードタイプ] が [固定] のときの動画記録中のズームスピードを設定する。（1(遅い)～8(速い)）

ヒント

- [スピードタイプ] を [可変] に設定すると、リモコンのズームレバーを押し込むことでズームスピードが速くなります（一部のリモコンは可変ズームに対応していません）。
- [スピードタイプ] を [固定] にして、[固定スピード **STBY**] を速く、[固定スピード **REC**] を遅く設定すると、撮影スタンバイ時はすばやく画角を変更でき、動画記録中はゆっくりと画角を変化させることができます。

ご注意

- ズームスピードを速くすると、ズームの動作音が記録される場合があります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ズーム倍率について

画像サイズによって、レンズのズーム倍率に組み合わせられる倍率は変わります。

【アスペクト比】が【3:2】の場合 フルサイズ

JPEG画像サイズ/ HEIF画像サイズ	光学ズームのみ（スマートズーム）	超解像ズーム	デジタルズーム
L: 50M	-	約2倍	約4倍
M: 21M	約1.5倍	約3.1倍	約6.2倍
S: 12M	約2倍	約4倍	約8倍

APS-C

JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ	光学ズームのみ（スマートズーム）	超解像ズーム	デジタルズーム
M: 21M	-	約2倍	約4倍
S: 12M	約1.3倍	約2.6倍	約5.2倍

関連項目

- [超解像ズーム/デジタルズーム（ズーム）](#)
- [本機で利用できるズームの種類](#)
- [ズーム範囲（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ズームリング操作方向



ズームリングの回転方向に対して、W/Tの割り当てを設定します。電動ズームレンズで本機能に対応したレンズのみ使用できます。

1 MENU →  (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [ズームリング操作方向] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

左(W)/右(T) :

左回転にW側（ズームアウト）、右回転にT側（ズームイン）を割り当てます。

右(W)/左(T) :

左回転にT側（ズームイン）、右回転にW側（ズームアウト）を割り当てます。

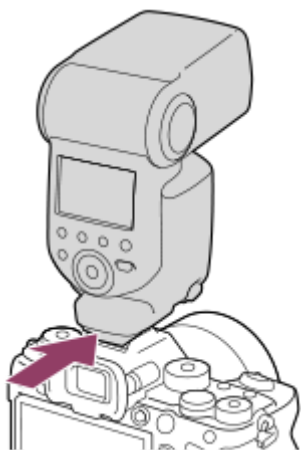
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フラッシュ（別売）を使う

暗い場所での撮影や逆光での撮影では、フラッシュを使うと被写体を明るく写せます。また、手ブレを抑えるのにも役立ちます。

フラッシュの使いかたについて詳しくは、フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

1 フラッシュ（別売）を取り付ける。



2 フラッシュの電源を入れ、フラッシュの充電が完了したら、撮影する。

- ⚡ (フラッシュ充電アイコン) 点滅：フラッシュ充電中
- ⚡ (フラッシュ充電アイコン) 点灯：フラッシュの充電が完了
- 設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

ご注意

- フラッシュ光がレンズでさえぎられて、写真下部に影ができることがあります。レンズフードを取りはずしてください。
- 動画撮影時はフラッシュは使用できません。（LEDライトを内蔵しているフラッシュ（別売）をお使いの場合、LEDライトは使用できます。）
- フラッシュなどのアクセサリをマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。
- マルチインターフェースシューに、250V以上の電圧がかかる市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。故障の原因になります。
- シンクロ端子は極性が逆のタイプでもご使用になれます。シンクロ電圧が400V以下のフラッシュをご使用ください。
- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合は被写体から離れて撮影するか、ズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。
- レンズによっては、周辺の光量が落ちて撮影されることがあります。
- 外部フラッシュを使用して撮影する場合、シャッタースピードが1/4000秒より速く設定されていると、画像にしま状の明暗が現れる場合があります。マニュアル発光に設定して、1/2以上の発光量で撮影することをおすすめします。
- 対応アクセサリについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

関連項目

- [フラッシュモード](#)
- [ワイヤレスフラッシュ](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フラッシュモード



フラッシュの発光方法を設定できます。

① MENU →  (露出/色) → [フラッシュ] → [フラッシュモード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

発光禁止 :

フラッシュを発光させない。

AUTO 自動発光 :

光量不足や逆光と判断したとき発光する。

強制発光 :

必ず発光する。

SLOW スローシンクロ :

必ず発光する。スローシンクロでシャッタースピードを遅くして撮ると、被写体だけでなく、背景も明るく撮れる。

REAR 後幕シンクロ :

露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車や歩いている人など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

ご注意

- 初期値は撮影モードによって変わります。
- 撮影モードによっては選べない [フラッシュモード] があります。

関連項目

- [フラッシュ \(別売\) を使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

調光補正



−3.0EVから+3.0EVの範囲で、フラッシュ発光量を調整できます。調光補正を行うと、フラッシュの発光量のみが変化します。露出補正を行うと、シャッタースピードと絞り値とともにフラッシュの発光量も変化します。

1 MENU →  (露出/色) → **【フラッシュ】** → **【調光補正】** → **希望の設定を選ぶ。**

- +側にすると発光量が増え、−側にすると発光量が減ります。

ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、調光補正はできません。
 - － [おまかせオート]
- 被写体がフラッシュ光の最大到達距離（調光距離）より遠くにあるときは、オーバー側（+側）の効果がでないことがあります。また近接撮影では、アンダー側（−側）の効果がでないことがあります。
- レンズにNDフィルターを装着しているときや、フラッシュにディフューザー、カラーフィルターを装着しているとき、適正露出が得られずに画像が暗くなることがあります。その場合は、[調光補正]をお好みの量に設定してください。

関連項目

- [フラッシュ（別売）を使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

露出補正の影響



露出補正値をフラッシュの調光にも反映するか、定常光だけに反映するかを設定します。

① MENU →  (露出/色) → [フラッシュ] → [露出補正の影響] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

定常光+フラッシュ：

露出補正値を定常光とフラッシュの調光に反映する。

定常光のみ：

露出補正値を定常光制御にのみ反映する。

関連項目

- [調光補正](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ワイヤレスフラッシュ



ワイヤレスフラッシュ撮影には、本機に取り付けたフラッシュの光を信号光として利用する光通信式ワイヤレスフラッシュ撮影と、無線通信を利用する電波式ワイヤレスフラッシュ撮影の2通りの方法があります。電波式ワイヤレスフラッシュ撮影を行うには、対応フラッシュか、電波式ワイヤレスコマンダー（別売）を使用してください。それぞれの詳しい設定方法は、フラッシュまたは電波式ワイヤレスコマンダーの取扱説明書をご覧ください。

- 1 MENU → (露出/色) → [フラッシュ] → [ワイヤレスフラッシュ] → [入] を選ぶ。
- 2 シューキャップをはずし、フラッシュまたは電波式ワイヤレスコマンダーを取り付ける。
 - 光通信式ワイヤレスフラッシュ撮影を行う場合は、本機に取り付けたフラッシュをコントローラーに設定してください。
本機にフラッシュを取り付けて電波式ワイヤレスフラッシュ撮影を行う場合は、取り付けけたフラッシュをコマンダーに設定してください。
- 3 ワイヤレス設定した他のフラッシュまたは電波式ワイヤレスレシーバー（別売）に取り付けたフラッシュを本機から離して設置する。
 - あらかじめ [カスタムキー設定] で好みのキーに [ワイヤレステスト発光] を割り当てておくと、カスタムキーを押すことでテスト発光ができます。

メニュー項目の詳細

切：

ワイヤレスフラッシュ機能を使用しない。

入：

ワイヤレスフラッシュ機能を使用して、本機から離れた場所にある外部フラッシュを発光させる。

ご注意

- 光通信式ワイヤレスフラッシュで撮影している別のカメラの信号光を、本機で設定したワイヤレスフラッシュが受信してフラッシュが発光してしまう場合は、フラッシュのチャンネルを変更してください。チャンネルの変更については、フラッシュの取扱説明書をご覧ください。
- ワイヤレスフラッシュ撮影に対応しているフラッシュについては、専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

関連項目

- [外部フラッシュ設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フラッシュ同調速優先



撮影モードがM（マニュアル露出）/S（シャッタースピード優先）でメカシャッターでの撮影時、フラッシュ同調速度を優先し、上限速度を拡張するかどうかを設定します。

- 1 MENU → （露出/色） → 【フラッシュ】 → 【フラッシュ同調速優先】 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

外部フラッシュの装着やカメラの設定により、カメラが自動でフラッシュ同調速度の範囲を拡張する。フラッシュ同調速度は、フルサイズでの撮影時は1/400秒、APS-Cでの撮影時は1/500秒。

入：

フラッシュの同調速度の範囲を拡張する。フラッシュ同調速度は、フルサイズでの撮影時は1/400秒、APS-Cでの撮影時は1/500秒。

切：

フラッシュの同調速度の範囲を拡張しない。フラッシュ同調速度は、フルサイズでの撮影時は1/320秒、APS-Cでの撮影時は1/400秒。

シャッター方式が電子シャッターのときのフラッシュ同調速度について

電子シャッター使用時のフラッシュ同調速度は、フルサイズでの撮影時は1/200秒、APS-Cでの撮影時は1/250秒です。電子シャッターでの撮影時は、フラッシュ同調速度の範囲は拡張されません。

ヒント

- シャッタースピードが、拡張されたフラッシュ同調速度に設定されている場合は、シャッタースピードに （フラッシュ）アイコンが表示されます。

ご注意

- 【オート】のときは、外部フラッシュをマルチインターフェースシューに取り付けているときのみ同調速度が速くなります。フラッシュを （シンクロ）ターミナルに取り付けて撮影する場合は、【入】に設定してください。
- フラッシュ同調速度の範囲を拡張しているときは、連続撮影の速度が低下することや、シャッター音が大きくなることがあります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

赤目軽減発光



フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

1 MENU →  (露出/色) → [フラッシュ] → [赤目軽減発光] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
赤目軽減発光する。

切：
赤目軽減発光しない。

ご注意

- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

FELロック



通常のフラッシュ撮影では被写体が最適露出になるようにフラッシュの発光量が自動的に調整されますが、あらかじめフラッシュの発光量を決めておくことができます。

FEL : Flash Exposure Level (フラッシュ露出レベル) の略

① MENU→ (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] →希望のボタン→ [再押しFELロック] を登録する。

② FELロックしたい被写体を中央にして、ピントを合わせる。



③ [再押しFELロック] を登録したボタンを押して、発光量を固定する。

- フラッシュがプリ発光する。
- (FELロックマーク) が点灯する。

④ 撮りたい構図にして撮影する。



- FELロックを解除する場合は、もう一度 [再押しFELロック] を登録したボタンを押す。

ヒント

- [押し間FELロック] を設定すると、ボタンを押している間だけ保持できます。また、[押し間FELロック/AEL]、[再押しFELロック/AEL] に設定すると、以下のときはAEをロックして撮影できます。
 - － [フラッシュモード] が [発光禁止] または [自動発光] のとき
 - － フラッシュが発光できないとき
 - － 外部フラッシュのマニュアル発光設定時

- FELロック対応フラッシュは、専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

ご注意

- フラッシュが装着されていないと設定できません。
- FELロックに対応していないフラッシュを装着した場合は、エラー表示が出ます。
- AEとFELを両方固定している場合は、* (AEロック/FELロック) アイコンが点灯します。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

外部フラッシュ設定



カメラの画面とコントロールホイールを使って、カメラに取り付けたフラッシュ（別売）の設定ができます。フラッシュのソフトウェアは最新版にアップデートしてお使いください。フラッシュの機能について詳しくは、フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

- 1 フラッシュ（別売）をカメラのマルチインターフェースシューに取り付け、カメラとフラッシュの電源を入れる。
- 2 MENU → （露出/色）→ [フラッシュ] → [外部フラッシュ設定] → 希望の設定項目を選ぶ。
- 3 カメラのコントロールホイールを使って設定する。

メニュー項目の詳細

外部フラッシュ発光設定：

発光モードや光量レベルなど、発光に関する設定をする。

外部フラッシュカスタム設定：

その他のフラッシュ設定、ワイヤレス設定、フラッシュ本体の設定をする。

ヒント

- [ カスタムキー設定] で希望のキーに [外部フラッシュ発光設定] を割り当てておくと、キーを押すだけで [外部フラッシュ発光設定] の画面を呼び出すことができます。
- [外部フラッシュ設定] 使用中も、フラッシュを操作して設定を変更することもできます。
- カメラに取り付けた電波式ワイヤレスコマンダー（別売）の設定をすることもできます。

ご注意

- [外部フラッシュ設定] では、本機のマルチインターフェースシューに取り付けたソニー製フラッシュ（別売）または電波式ワイヤレスコマンダー（別売）のみ設定することができます。
- [外部フラッシュ設定] は、フラッシュをカメラに直接取り付けたときのみ使用できます。ケーブルを使ったオフカメラでのフラッシュ撮影時には使用できません。
- [外部フラッシュ設定] で設定できる機能は、本機に取り付けたフラッシュの機能の一部になります。[外部フラッシュ設定] では、他のフラッシュとのペアリング、フラッシュの設定リセット、フラッシュの初期化などは実行できません。
- 以下のときは [外部フラッシュ設定] を使用することはできません。
 - － フラッシュを本機に装着していないとき
 - － [外部フラッシュ設定] に非対応のフラッシュを装着しているとき
 - － モードダイヤルが （動画）または **S&Q**（スロー&クイックモーション）のときや動画撮影中

また、フラッシュの状態によっては [外部フラッシュ設定] を使用できない場合があります。

- 本機能に対応しているフラッシュおよび電波式ワイヤレスコマンダーについては、専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.net/dics/1/>

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

シンクロターミナルコード付きフラッシュを使う

- 1  (シンクロ) ターミナルのカバーを開け、コードを差し込む。

ヒント

- 暗くて構図を確認しにくい場合は、[ライブビュー表示設定] の [ライブビュー表示] を [設定効果反映Off] に設定することで、フラッシュ撮影時にも構図を確認しやすくなります。
- フラッシュのシンクロ端子の極性が逆のタイプでもご使用になれます。

ご注意

- 電子シャッターでの撮影時は、 (シンクロ) ターミナルを使用したフラッシュ撮影はできません。
- 露出モードはマニュアル露出モード (ISO AUTO以外を推奨) にして、シャッタースピードはフラッシュ同調速度かフラッシュ側の推奨する値のどちらか遅い方の値、またはそれより低速側に設定してください。フラッシュ同調速度は [フラッシュ同調速優先] の設定により変わります。
- シンクロ電圧が400V以下のフラッシュをご使用ください。
- シンクロコードを  (シンクロ) ターミナルに接続するときは、コードと接続したフラッシュの電源をオフにしてください。オンにしていると、コードを接続した瞬間にフラッシュが発光することがあります。
- フラッシュの発光量はフラッシュ側の設定によります。カメラ側で調整はできません。
- オートホワイトバランスはおすすめできません。より正確なホワイトバランスを得るために、カスタムホワイトバランスをお使いください。
-  (シンクロ) ターミナルに接続中は、フラッシュ表示が出ません。

関連項目

- [本体側面](#)
- [ライブビュー表示設定](#)
- [フラッシュ同調速優先](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ビデオライトモード



LEDライトHVL-LBPC（別売）の点灯方式を設定します。

1 MENU → （セットアップ） → [セットアップオプション] → [ビデオライトモード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

電源連動：

本機の電源ON/OFFに連動してビデオライトが点灯/消灯する。

録画連動：

本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。

録画連動+STBY：

本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。

オート：

暗いときに自動でビデオライトが点灯する。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

手ブレ補正（静止画）



手ブレ補正機能を使うかどうかを設定します。

① MENU → （撮影） → [手ブレ補正] → [手ブレ補正] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

手ブレ補正を行う。

切：

手ブレ補正を行わない。

ヒント

- 三脚などを使う場合には、手ブレ補正機能が誤動作するおそれがあるため、手ブレ補正機能をオフにしてください。
- [カスタムキー設定] で希望のキーに [手ブレ補正切換] を割り当てると、割り当てたキーを押す たびに手ブレ補正の入/切を切り替えることができます。
- 暗い場所での撮影では、（手ブレ）アイコンが点滅表示されることがあります。ISO感度を上げたり絞りを開けるなどして、シャッタースピードを上げて撮影することをおすすめします。

関連項目

- [手ブレ補正（動画）](#)
- [手ブレ補正調整（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

手ブレ補正（動画）



動画撮影時の手ブレ補正の設定をします。

1 MENU → （撮影） → **手ブレ補正** → ** 手ブレ補正** → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

アクティブ：

強い手ブレ補正効果を得る。

スタンダード：

比較的安定した状態で、手ブレ補正を行い撮影する。

切：

手ブレ補正を行わない。

ご注意

- 三脚などを使う場合には、手ブレ補正機能が誤動作するおそれがあるため、手ブレ補正機能をオフにしてください。
- ** 手ブレ補正** の設定によって、画角が変わります。** 手ブレ補正** を **アクティブ** にすると、画角が狭くなります。焦点距離が200mm以上の場合は、**スタンダード** に設定することをおすすめします。
- 以下の場合は、**アクティブ** は選べません。
 - － ** 記録方式** が **XAVC HS 8K** のとき
 - － 通常動画の場合： **記録フレームレート** が **120p** 以上のとき
 - スロー&クイックモーション動画の場合： ** フレームレート** が **120fps** 以上のとき

関連項目

- [手ブレ補正（静止画）](#)
- [手ブレ補正調整（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

手ブレ補正調整（静止画/動画）



装着しているレンズによって、最適な手ブレ補正を使って撮影できます。

① MENU → （撮影） → 【手ブレ補正】 → [手ブレ補正調整] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

レンズから取得した情報をもとに自動で手ブレ補正する。

マニュアル：

[焦点距離] で設定した焦点距離で手ブレ補正する。（8mm ～ 1000mm）

ご注意

- ON/OFF（電源）スイッチを「ON」にした直後やカメラを構えた直後、シャッターボタンを半押しせずに一気に押し込んだときは、手ブレ補正の効果が得られにくいことがあります。
- レンズから焦点距離などの情報が取得できないときは、手ブレ補正が正しく動作しません。 [手ブレ補正調整] を [マニュアル] にして、装着しているレンズに合わせて [焦点距離] を設定してください。 その場合、（手ブレ）アイコンの横に、設定している手ブレ補正焦点距離の値が表示されます。
- レンズSEL16F28（別売）にコンバーターレンズを装着している場合などには、 [手ブレ補正調整] を [マニュアル] にして、焦点距離を設定してください。
- 手ブレ補正スイッチ付きレンズを装着している場合、レンズ側のスイッチ操作でのみ変更が可能となるため、本機では設定を切り換えることができません。

関連項目

- [手ブレ補正焦点距離（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

手ブレ補正焦点距離（静止画/動画）



〔 手ブレ補正調整〕が〔マニュアル〕のとき、ボディ内蔵手ブレ補正で使う焦点距離情報を設定します。

① MENU → （撮影） → 〔手ブレ補正〕 →   焦点距離 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

8mm ~ 1000mm :

設定した焦点距離で手ブレ補正する。

撮影時のレンズ焦点距離を設定してください。



関連項目

- [手ブレ補正調整（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

レンズ補正（静止画/動画）



レンズに起因する、画面周辺が暗くなる現象や画面の歪みを補正したり、画面周辺部の色のずれを軽減します。

自動補正対応レンズは、専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

① MENU → （撮影） → [画質] → [ レンズ補正] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

周辺光量補正：

画面周辺が暗くなるのを自動で補正するかどうかを設定する。（[オート] / [切]）

倍率色収差補正：

画面周辺部の色のずれを自動で軽減するかどうかを設定する。（[オート] / [切]）

歪曲収差補正：

画面の歪みを自動で補正するかどうかを設定する。（[オート] / [切]）

ご注意

- 自動補正対応レンズでのみ使用できます。
- レンズによっては、[周辺光量補正] でも周辺光量が補正しきれない場合があります。
- 装着するレンズによっては、[歪曲収差補正] は [オート] 固定となり [切] を選べません。
- 動画撮影時は [ 手ブレ補正] を [アクティブ] に設定すると、[歪曲収差補正] は [オート] 固定になります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

長秒時ノイズ低減



長時間露光時に目立つ粒状ノイズを軽減するため、シャッタースピードが1秒または1秒より遅いときにノイズ軽減処理を行います。

1 MENU →  (撮影) → [画質] → [長秒時ノイズ低減] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
シャッターを開けていた時間と同時間のノイズ軽減処理をする。処理中はメッセージが表示され、撮影できない。画質を優先するときに選ぶ。

切：
ノイズ軽減処理をしない。撮影タイミングを優先するときに選ぶ。

ご注意

- [シャッター方式] を [電子シャッター] に設定しているときは、[長秒時ノイズ低減] を使用できません。
- 以下の場合、[長秒時ノイズ低減] を [入] にしても、ノイズリダクションは働きません。
 - － ドライブモードが [連続撮影] または [連続ブラケット]
- 撮影モードが以下の場合は、[長秒時ノイズ低減] を [切] にできません。
 - － [おまかせオート]

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

高感度ノイズ低減



ISO感度を高感度に設定して撮影した場合のノイズ軽減処理を設定します。

1 MENU →  (撮影) → [画質] → [高感度ノイズ低減] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準：

高感度ノイズリダクションの処理を標準的に行う。

弱：

高感度ノイズリダクションの処理を弱めに行う。

切：

高感度ノイズリダクションの処理を行わない。

ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、[高感度ノイズ低減] は [標準] に固定されます。
 - [おまかせオート]
- [ ファイル形式] が [RAW] のときは設定できません。
- [ ファイル形式] が [RAW+JPEG] / [RAW+HEIF] のとき、RAW画像には [高感度ノイズ低減] は働きません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

オートレビュー（静止画）



撮影直後に、撮影した画像を確認することができます。オートレビューの表示時間を設定します。

- ① MENU → （セットアップ） → [表示オプション] → [ オートレビュー] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

10秒/5秒/2秒：

設定した秒数だけ表示する。オートレビュー中に拡大操作をすると、撮影した画像を拡大再生して確認することができる。

切：

オートレビューしない。

ご注意

- 画像処理をする機能を使用している場合、画像処理をする前の画像を一時的に表示してから、画像処理が適用された画像を表示することがあります。
- オートレビューは、DISP（画面表示切換）で設定したモードで表示されます。

関連項目

- [再生画像を拡大する（拡大）](#)

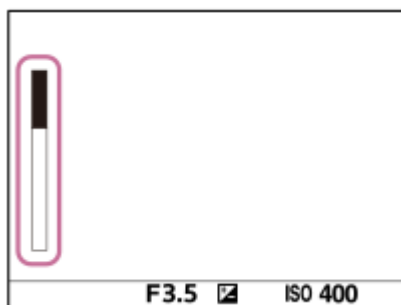
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

撮影残量表示（静止画）



静止画撮影時に、速度が低下せずに連続して撮影できる枚数の目安を表示するかどうかを設定します。

- 1 MENU → （セットアップ）→ [表示オプション] → [ 撮影残量表示] → 希望の設定を選ぶ。



メニュー項目の詳細

常に表示する:

静止画撮影時は常に表示する。

撮影中のみ表示:

撮影中は常に撮影残量を表示する。シャッターボタンを半押しすると撮影残量を表示する。

表示しない:

表示しない。

ヒント

- カメラ内部のバッファ用メモリーが一杯になると、「SLOW」と表示され、連続撮影速度が低下します。

関連項目

- [連続撮影](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

グリッドライン表示（静止画/動画）



構図合わせのための補助線であるグリッドラインを撮影画面に表示するかどうか設定します。

① MENU → （撮影） → [撮影画面表示] → [ グリッドライン表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
グリッドラインを表示する。

切：
グリッドラインを表示しない。

ヒント

- [ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] で希望のキーに [グリッドライン表示切換] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびにグリッドラインの表示/非表示を切り替えることができます。

関連項目

- [グリッドラインの種類（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

グリッドラインの種類（静止画/動画）



構図合わせのための補助線であるグリッドラインの、表示の種類を設定します。

① MENU → （撮影） → 【撮影画面表示】 → [ グリッドラインの種類] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

3分割：

3分割の線の近くに主要な被写体を配置すると、バランスのよい構図になる。

方眼：

方眼線により構図の傾きが確認しやすく、風景写真や接写、複写などの構図決定に適している。

対角+方眼：

対角線上に被写体を配置することで、躍動感や力強さなどを表現できる。

ヒント

- [ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] で希望のキーに [ グリッドラインの種類] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびに表示するグリッドラインの種類を切り替えることができます。

関連項目

- [グリッドライン表示（静止画/動画）](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ライブビュー表示設定



モニターの表示に、露出補正やホワイトバランス、[ クリエイティブルック]などの設定値を反映させるかどうかを設定します。

1 MENU →  (撮影) → [撮影画面表示] → [ライブビュー表示設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ライブビュー表示：

モニターの表示にすべての撮影設定を反映させ、撮影結果に近い状態でライブビュー表示をするか、設定を反映させずにライブビュー表示をするかを設定する。（[設定効果反映On] / [設定効果反映Off]）

[設定効果反映Off] を選ぶと、エフェクトをかけて撮影する場合などにも、見やすい状態でライブビューが表示され、構図確認が容易になる。

露出の効果反映：

[ライブビュー表示] が [設定効果反映On] のときに、フラッシュ発光による露出を反映して自動補正したライブビューを表示させるかどうかを設定する。（[露出設定+フラッシュ] / [露出設定のみ]）

ポートレート撮影でフラッシュを使用するとき、環境光を基準として露出をマニュアル設定する場合は [露出設定のみ] を選ぶ。

フレームレート低速制限：

ライブビュー表示のフレームレートが低速になることを制限するかどうかを設定する。（[入] / [切]）

[入] を選ぶと、暗い場所での撮影時でもフレームレートが低速にならないが、ライブビュー表示にノイズが発生したり、表示が暗くなることがある。また、シャッタースピードによっては連続撮影時にブラックアウトする。

フラッシュ撮影の効果反映：

フラッシュ撮影時に、フラッシュ発光の効果をライブビュー表示に反映するかどうかを設定する。（[フラッシュ効果反映On] / [フラッシュ効果反映Off]）

ヒント

- スタジオフラッシュなど他社製フラッシュを使用時には、設定されたシャッタースピードによってライブビューが暗くなる場合があります。ライブビュー表示を [設定効果反映Off] に設定することで、ライブビューが明るく表示され、構図確認が容易になります。
- [設定効果反映Off] を選ぶと、[マニュアル露出] 時のライブビュー画像も常に適正な明るさで表示されます。
- [設定効果反映Off] が選ばれているとき、ライブビュー画面上には **VIEW** (VIEW) アイコンが表示されます。

ご注意

- [露出の効果反映] の効果を得られるのは、ソニー製のフラッシュ装着時のみです。
- 撮影モードが下記のときは、[ライブビュー表示] を [設定効果反映Off] に設定できません。
 - [おまかせオート]
 - [動画]
 - [スロー&クイックモーション]
- [設定効果反映Off] 設定時は、表示されるライブビューと撮影した画像の明るさなどが一致しません。
- [ライブビュー表示] を [設定効果反映Off] に設定していても、電子シャッターでの撮影時は設定が反映された画像が表示されます。

- [フラッシュ撮影の効果反映] は、[シャッター方式] が [電子シャッター] のときのみ設定が反映されます。

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

絞りレビュー



「絞りレビュー」の機能を割り当てたキーを押している間、設定した絞り値まで絞り込まれ、撮影前にぼけ具合を確認できます。

- 1 MENU →  (セッティング) → 「操作カスタマイズ」 →  カスタムキー設定 → 希望のキーに「絞りレビュー」の機能を設定する。
- 2 静止画撮影時に「絞りレビュー」の機能を割り当てたキーを押して、画像を確認する。

ヒント

- プレビュー中に絞りを変更できますが、絞りを開放側に変更した場合は、フォーカスがずれる可能性がありますので、再度フォーカスを合わせ直すことをおすすめします。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)
- [撮影結果レビュー](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

撮影結果プレビュー



〔撮影結果プレビュー〕の機能を割り当てたキーを押している間、設定したDRO、シャッタースピード、絞り値、感度が反映され、撮影前に撮影結果を確認できます。

- 1 MENU →  (セットアップ) → 〔操作カスタマイズ〕 →  カスタムキー設定 → 希望のキーに〔撮影結果プレビュー〕の機能を設定する。
- 2 静止画撮影時に〔撮影結果プレビュー〕の機能を割り当てたキーを押して、画像を確認する。

ヒント

- 〔撮影結果プレビュー〕では、DROの結果とシャッタースピードの値と絞りの値と感度がプレビューに反映されますが、撮影設定によっては、プレビューに反映できない場合もあります。その場合でも、撮影する画像には設定が反映されます。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)
- [絞りプレビュー](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ブライトモニタリング



周囲が暗い状況下での撮影で、構図合わせができるようにします。夜空などの暗い場所でも、露光時間を延ばすことにより、ファインダー/モニターで構図の確認ができます。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [ カスタムキー設定] → 希望のキーに [ブライトモニタリング] の機能を設定する。
- 2 静止画撮影モードで [ブライトモニタリング] の機能を割り当てたキーを押してから、撮影する。
 - 撮影後も [ブライトモニタリング] による明るさは継続します。
 - 画面の明るさを通常に戻すときは、[ブライトモニタリング] の機能を割り当てたキーをもう一度押します。

ご注意

- [ブライトモニタリング] 実行中は、[ライブビュー表示] は自動的に [設定効果反映Off] となり、ライブビュー表示には露出補正などの設定値は反映されません。暗い場所でのみのご使用をおすすめします。
- 以下のとき、[ブライトモニタリング] は自動的に解除されます。
 - － 本機の電源を切ったとき
 - － 撮影モードを、P/A/S/MからP/A/S/M以外に変更したとき
 - － マニュアルフォーカス以外に設定したとき
 - － [MF時自動ピント拡大] を実行したとき
 - － [ピント拡大] を実行したとき
- [ブライトモニタリング] 実行中は、暗い場所でシャッタースピードが通常よりも低速になることがあります。また、測光される明るさの範囲が拡大するため、露出が変化することがあります。

関連項目

- [ライブビュー表示設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

記録中の強調表示



動画を記録中に、モニター全体に赤い枠を表示します。カメラのモニターを斜めから見る場合や遠くから見る場合でも、撮影スタンバイ中か記録中かを確認しやすくなります。

1 MENU →  (撮影) → [撮影画面表示] → [記録中の強調表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

記録中であることを示す赤い枠を表示する。

切：

記録中であることを示す枠を表示しない。

ヒント

- 本機能により表示される枠は、HDMI接続した外部モニターにも出力できます。[HDMI情報表示] を [あり] に設定してください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

マーカー表示



動画撮影時に、マーカーをモニターまたはファインダーに表示するかどうかや、表示するマーカーの種類を設定します。

1 MENU →  (撮影) → [マーカー表示] → メニュー項目を選び、希望の設定にする。

メニュー項目の詳細

マーカー表示：

マーカーを表示するかどうかを設定する。（[入] / [切]）

センターマーカー：

撮影画面の中心にセンターマーカーを表示するかどうかを設定する。（[切] / [入]）

アスペクトマーカー：

アスペクトマーカー表示の設定をする。（[切] / [4:3] / [13:9] / [14:9] / [15:9] / [1.66:1] / [1.85:1] / [2.35:1]）

セーフティゾーン：

セーフティゾーン表示の設定をする。一般的な家庭用テレビで受像できる範囲の目安になる。（[切] / [80%] / [90%]）

ガイドフレーム：

ガイドフレームを表示するかどうかを設定する。被写体が水平/垂直になっているかを確認できる。（[切] / [入]）

ヒント

- 複数のマーカーを同時に表示できます。
- [ガイドフレーム] の交点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

ご注意

- マーカー表示は、モードダイヤルが （動画）のとき、**S&Q**（スロー&クイックモーション）のとき、または動画記録中に表示されます。
- [ピント拡大] 中は、マーカーを表示できません。
- マーカー表示は、モニターまたはファインダーのみに表示されます。（外部に出力することはできません。）

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ガンマ表示アシスト



S-Logを適用した動画は、広いダイナミックレンジを活用するために、撮影後の編集を前提としています。また、HLGを適用した画像は、HDR対応モニターで表示することを前提としています。このため、撮影時の画像は低コントラストとなりモニタリングがしにくくなりますが、[ガンマ表示アシスト]機能を使うことで、通常のガンマと同等のコントラストを再現することができます。また再生時にも、[ガンマ表示アシスト]を適用した動画をファインダーやモニターで見ることができます。

- 1 MENU → (セットアップ) → [表示オプション] → [ガンマ表示アシスト] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

ガンマ表示アシスト機能を使用する。

切：

ガンマ表示アシスト機能を使用しない。

ヒント

- [カスタムキー設定]、[カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で希望のキーに [ガンマ表示アシスト 切換] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびにガンマ表示アシストの入/切を切り替えることができます。

ご注意

- 本機に接続されたテレビやモニターでは、[ガンマ表示アシスト] は適用されません。

関連項目

- [ピクチャープロファイル \(静止画/動画\)](#)
- [ガンマ表示アシスト方式](#)
- [HLG静止画](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ガンマ表示アシスト方式



〔ガンマ表示アシスト〕の変換方式を設定します。

- ① MENU → (セッティング) → [表示オプション] → [ガンマ表示アシスト方式] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Assist
AUTO オート :

- [ピクチャープロファイル] で設定されたガンマやカラーモードによって、以下のように変換して表示する。
 - ガンマが [S-Log2] の場合 : [S-Log2→709(800%)]
 - ガンマが [S-Log3] の場合 : [S-Log3→709(800%)]
 - ガンマが [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] でカラーモードが [BT.2020] の場合 : [HLG(BT.2020)]
 - ガンマが [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] でカラーモードが [709] の場合 : [HLG(709)]
- [HLG静止画] を [入] にしてHLG静止画を撮影する場合は、[HLG(BT.2020)] に変換して表示する。
- 動画撮影時、HDMI接続した他機にRAW動画を出力しているときは、[S-Log3→709(800%)] に変換して表示する。

Assist
S-Log2 S-Log2→709(800%) :

S-Log2をITU709 (800%) 相当に変換して表示する。

Assist
S-Log3 S-Log3→709(800%) :

S-Log3をITU709 (800%) 相当に変換して表示する。

Assist
HLG 2020 HLG(BT.2020) :

[HLG(BT.2020)] に対応したモニターで表示したときと近い画質となるように、カメラのモニターやファインダーの画質を調整して表示する。

Assist
HLG 709 HLG(709) :

[HLG(709)] に対応したモニターで表示したときと近い画質となるように、カメラのモニターやファインダーの画質を調整して表示する。

ヒント

- [カスタムキー設定] または [カスタムキー設定] で希望のキーに [ガンマ表示アシスト方式] を割り当てると、割り当てたキーを押すたびにガンマ表示アシスト方式の設定を切り替えることができます。

ご注意

- [ガンマ表示アシスト方式] を [オート] にして画像を再生する場合は、以下のように変換して表示します。
 - [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] ガンマで撮影された動画を再生する場合 : カラーモードによって [HLG(BT.2020)] または [HLG(709)] に変換して表示する。
 - [HLG静止画] を [入] にして撮影したHLG静止画を再生する場合 : [HLG(BT.2020)] に変換して表示する。
 - HDMI接続した他機にRAW動画を出力しているときに動画を再生する場合 : [S-Log3→709(800%)] に変換して表示する。

上記以外の場合は [ピクチャープロファイル] で設定しているガンマとカラーモードの設定値によって画像を変換して表示します。

関連項目

- [ガンマ表示アシスト](#)
- [ピクチャープロファイル（静止画/動画）](#)
- [HDMI出力設定（動画）](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

音声記録



動画撮影時に音声を記録するかどうかを設定します。撮影中のレンズやカメラの動作音などが記録されるのを防ぎたい場合は「切」を選びます。

1 MENU →  (撮影) → [音声記録] → [音声記録] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
撮影時に音声を記録する。

切：
撮影時に音声を記録しない。

関連項目

- [録音レベル](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

録音レベル



レベルメーターを見ながら録音レベルを調整できます。

1 MENU →  (撮影) → [音声記録] → [録音レベル] を選ぶ。

2 コントロールホイールの左/右で希望のレベルを選ぶ。

メニュー項目の詳細

+側：
録音レベルが上がる。

-側：
録音レベルが下がる。

ヒント

- 大きな音の動画を録画する場合は、[録音レベル] を低めに設定すると臨場感のある音声記録できます。小さな音の動画を録画する場合は、[録音レベル] を高めに設定することで聞きやすい音声で記録できます。
- 録音レベルを初期値に戻すには、 (削除) ボタンを押してください。

ご注意

- [録音レベル] の設定値にかかわらず、リミッターは常に作動しています。
- [録音レベル] は撮影モードが動画のときのみ選べます。
- スロー&クイックモーション撮影時は[録音レベル] は選べません。
- [録音レベル] の調整は、内蔵マイクと  (マイク) 端子入力に対して有効です。
- [録音レベル] の設定は、[音声メモ] の録音時には反映されません。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

音声出力タイミング



音声モニタリング時のエコー対策やHDMI出力時の映像と音声のずれ対策の設定ができます。

1 MENU →  (撮影) → [音声記録] → [音声出力タイミング] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ライブ :

音声を遅延なしで出力する。音声モニタリング時、音のずれが気になるときに選択する。

リップシンク :

音声と映像を同期させて出力する。映像と音声のずれによる違和感を防ぐ。

ご注意

- 外部マイクを使用する場合は、わずかに遅延が生じる場合があります。詳しくは外部マイクの取扱説明書をご確認ください。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

風音低減



内蔵マイクからの入力音声の低域音をカットして、風音を低減できます。

1 MENU →  (撮影) → [音声記録] → [風音低減] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

風音低減する。

切：

風音低減しない。

ご注意

- 風が強く吹いていない場所で [入] にすると、風以外の音も小さく記録される場合があります。
- 別売のマイク使用時は、[入] にしていても風音低減は行われません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

シューの音声設定



カメラのマルチインターフェースシューに装着した、デジタルオーディオインターフェース対応のマイクロホン（別売）などから伝送されるデジタル音声の設定をします。サンプリング周波数、量子化ビット数、チャンネル数を設定できます。

① MENU → （撮影） → [音声記録] → [**ni** シューの音声設定] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

48khz/24bit 4ch :

音声入力のサンプリング周波数を48kHz、量子化ビット数を24bit、チャンネル数を4chに設定する。

48khz/24bit 2ch :

音声入力のサンプリング周波数を48kHz、量子化ビット数を24bit、チャンネル数を2chに設定する。

48khz/16bit 2ch :

音声入力のサンプリング周波数を48kHz、量子化ビット数を16bit、チャンネル数を2chに設定する。

ヒント

- 4チャンネル音声収録時は、モニターの音声レベル表示が4チャンネル表示になります。

ご注意

- 本機の （マイク）端子に外部マイク（別売）を接続しているときは、（マイク）端子に取り付けた外部マイクで録音されます。[**ni** シューの音声設定] は設定できません。
- 取り付けているマイクがアナログ伝送に設定されている場合は、[**ni** シューの音声設定] は設定できません。
- 4チャンネル音声収録に非対応のマイクを取り付けている場合は、[**48khz/24bit 4ch**]（48khz/24bit 4ch）は選択できません。
- 24ビット音声収録に非対応のマイクを取り付けている場合は、[**48khz/16bit 2ch**]（48khz/16bit 2ch）に固定されます。
- 動画の記録中に以下の操作を行った場合は、音声を正しく記録できません。
 - － マイクの取り付け/取りはずす
 - － マイク側のデジタル伝送/アナログ伝送を切り換える

関連項目

- [4ch音声のモニタリング（動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

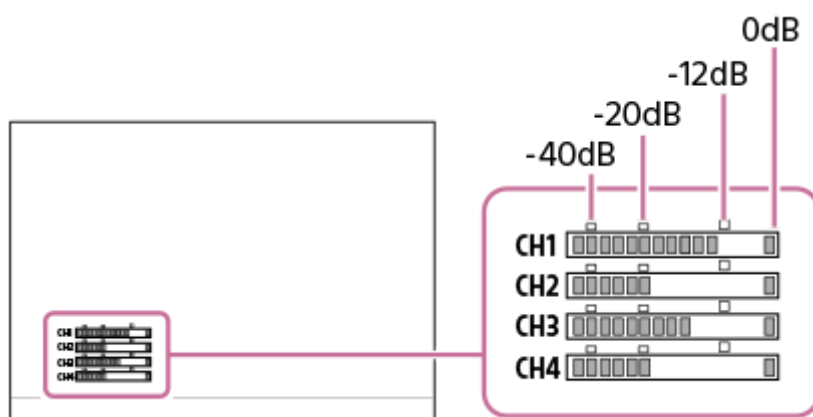
音声レベル表示



音声レベルを画面に表示するかどうかを設定します。

1 MENU → (撮影) → [音声記録] → [音声レベル表示] → 希望の設定を選ぶ。

[入] の場合：



メニュー項目の詳細

入：
音声レベルを表示する。

切：
音声レベルを表示しない。

ご注意

- 以下の場合は音声レベルが表示されません。
 - [音声記録] が [切] のとき
 - 画面表示が [情報表示 なし] になっているとき
 - スロー&クイックモーション撮影時
- 動画撮影モードにすると、撮影スタンバイ中も音声レベルが表示されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

TC/UB



映像に付随するデータとしてタイムコード（TC）とユーザービット（UB）を記録できます。

- 1 MENU→（撮影）→ [TC/UB] →メニュー項目を選び、希望の設定にする。

メニュー項目の詳細

Time Code Preset :

タイムコードを設定する。

User Bit Preset :

ユーザービットを設定する。

Time Code Format :

タイムコードの記録方式を選ぶ。

Time Code Run :

タイムコードの歩進方法を選ぶ。

Time Code Make :

タイムコードを記録メディアに記録する方法を選ぶ。

User Bit Time Rec :

時刻をユーザービットコードとして記録する/しないを選ぶ。

タイムコードを設定するには（Time Code Preset）

1. MENU→（撮影）→ [TC/UB] → [Time Code Preset] を選ぶ。
2. コントロールホイールを回して最初の2桁の数値を選ぶ。
 - タイムコードは以下の範囲で設定できます。
[60p] 選択時 : 00:00:00.00 ~ 23:59:59.29
*24p設定時は末尾2桁を00 ~ 23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。
3. 手順2と同様に、他の桁の数値を選び、コントロールホイールの中央を押す。

タイムコードをリセットするには

1. MENU→（撮影）→ [TC/UB] → [Time Code Preset] を選ぶ。
2. （削除）ボタンを押し、タイムコードをリセット（00:00:00.00）する。

ユーザービットを設定するには（User Bit Preset）

1. MENU→（撮影）→ [TC/UB] → [User Bit Preset] を選ぶ。
2. コントロールホイールを回して最初の2桁の数値を選ぶ。
3. 手順2と同様に、他の桁の数値を選び、コントロールホイールの中央を押す。

ユーザービットをリセットするには

1. MENU→（撮影）→ [TC/UB] → [User Bit Preset] を選ぶ。
2. （削除）ボタンを押し、ユーザービットをリセット（00 00 00 00）する。

タイムコードの記録方式を選ぶには (Time Code Format)

1. MENU→ (撮影) → [TC/UB] → [Time Code Format] を選ぶ。

DF :

タイムコードをドロップフレーム*方式で記録する。

NDF :

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

* タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

- 4K/24p、1080/24pで記録するときは、[-] に固定されます。

タイムコードの歩進を選ぶには (Time Code Run)

1. MENU→ (撮影) → [TC/UB] → [Time Code Run] を選ぶ。

Rec Run :

記録中のみタイムコードが歩進する。最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

Free Run :

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

- [Rec Run] モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - 記録方式を切り換えたとき
 - 記録メディアを取りはずしたとき

タイムコードを記録メディアに記録する方法を選ぶには (Time Code Make)

1. MENU→ (撮影) → [TC/UB] → [Time Code Make] を選ぶ。

Preset :

新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する。

Regenerate :

記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。[Time Code Run] の設定に関係なく、タイムコードは[Rec Run] モードで歩進します。

タイムコードは、 記録メディア設定 の  記録メディア で設定されているスロットのメモリーカードから読み込まれます。 記録メディア が [同時記録] のときは、スロット1のメモリーカードから読み込まれます。

関連項目

- [TC/UB表示設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

TC/UB表示設定



動画の記録時間カウンター、タイムコード（TC）、ユーザービット（UB）の表示の設定をします。

1 MENU → （セットアップ） → [表示オプション] → [TC/UB表示設定] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

カウンター：

動画記録時間のカウンターを表示する。

TC：

タイムコードを表示する。

U-Bit：

ユーザービットを表示する。

関連項目

- [TC/UB](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

この章の目次

この章（「カメラをカスタマイズする」）で説明している機能の一覧です。各項目名から、それぞれの機能を説明するページに移動できます。

本機のカスタマイズ機能について

よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）

一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定）

撮影設定の登録と呼び出し

- [撮影設定登録](#)
- [撮影設定呼び出し](#)
- [登録/呼出メディア](#)
- [カスタム撮影設定登録](#)

よく使う機能をファンクションメニューに登録する

- [Fnメニュー設定](#)

よく使う機能をマイメニュータブに登録する

- [項目の追加](#)
- [項目の並べ替え](#)
- [項目の削除](#)
- [ページの削除](#)
- [全て削除](#)
- [マイメニューから表示](#)

静止画と動画の撮影設定を個別に行う

- [静止画/動画独立設定](#)

リング/ダイヤルの機能をカスタマイズする

- [Mモード時のAv/Tv](#)
- [Av/Tvの回転方向](#)
- [ファンクションリング\(レンズ\)](#)
- [操作部のロック](#)

シャッターボタンで動画を撮影する

- [シャッターボタンでREC（動画）](#)

モニター/ファインダーの表示を設定する

- [ファインダー/モニター選択](#)
- [DISP\(画面表示\)設定（背面モニター/ファインダー）](#)

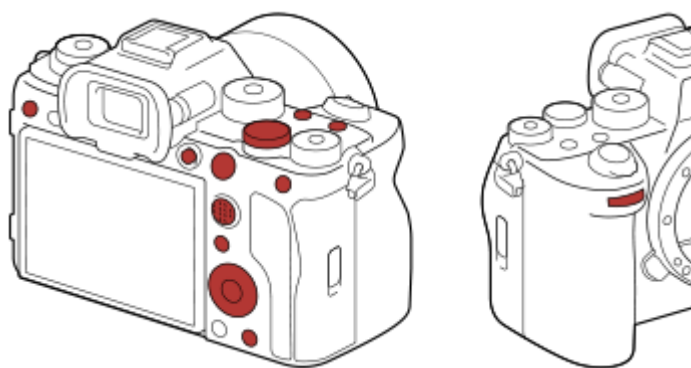
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

本機のカスタマイズ機能について

本機には、カスタムキーや撮影設定の登録などさまざまなカスタマイズ機能があります。お好みの設定を組み合わせ、お使いのカメラを操作しやすいようにカスタマイズすることができます。
設定方法や使いかたについて詳しくは、各機能のページをご覧ください。

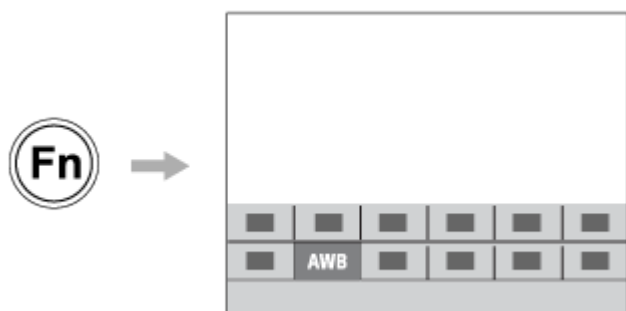
よく使う機能をボタンに割り当てる（ カスタムキー設定 / カスタムキー設定 / カスタムキー設定）

カスタムボタン（C1～C4）をはじめとする各ボタンの機能を、お好みに合わせて変更することができます。
ボタンを押すだけで機能をすばやく呼び出せるので、特によく使う機能を操作しやすいボタンに割り当てることをおすすめします。



よく使う機能をFnボタンに登録する（ファンクションメニュー）

撮影時によく使う機能をファンクションメニューに登録しておくと、Fn（ファンクション）ボタンを押すだけで画面に表示させることができます。ファンクションメニューでは、使いたい機能をアイコンから選んで呼び出します。



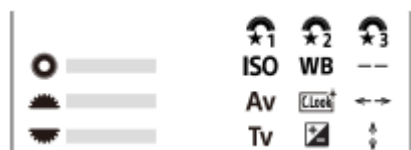
よく使う機能をメニュー画面にまとめる（☆ マイメニュー）

撮影やネットワークなどの各メニュー画面から、よく使う項目だけを「マイメニュー」画面にまとめておくと、使いたい機能にすばやくアクセスできて便利です。



ダイヤルに異なる機能を割り当て、切り換えながら操作する（ マイダイヤル設定）

前/後ダイヤルとホイールにそれぞれ機能を割り当てて、その組み合わせを3つ（マイダイヤル1～3）までカメラに登録できます。



例：前/後ダイヤルあり機種種のマイダイヤル設定画面

撮影シーンに応じて撮影設定をすばやく切り換える（ 撮影設定登録）

撮影したいシーンに適した撮影設定*をカメラ本体やメモリーカードに登録しておき、撮影時にモードダイヤルなどから簡単に呼び出すことができます。

* カスタムキー設定は保存できません。

カスタマイズした本機の設定をまとめてメモリーカードに保存する（設定の保存/読込）

本機の設定*は、〔設定の保存/読込〕機能を使ってまとめてメモリーカードに保存することができます。バックアップを取りたいときや、同じ型名の他のカメラに設定をコピーしたいときなどにお使いください。

* 一部保存できない設定があります。

関連項目

- よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）
- Fn（ファンクション）ボタンを使う
- 項目の追加
- 一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定）
- 撮影設定登録
- 設定の保存/読込

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

よく使う機能をボタンに割り当てる (カスタムキー設定)

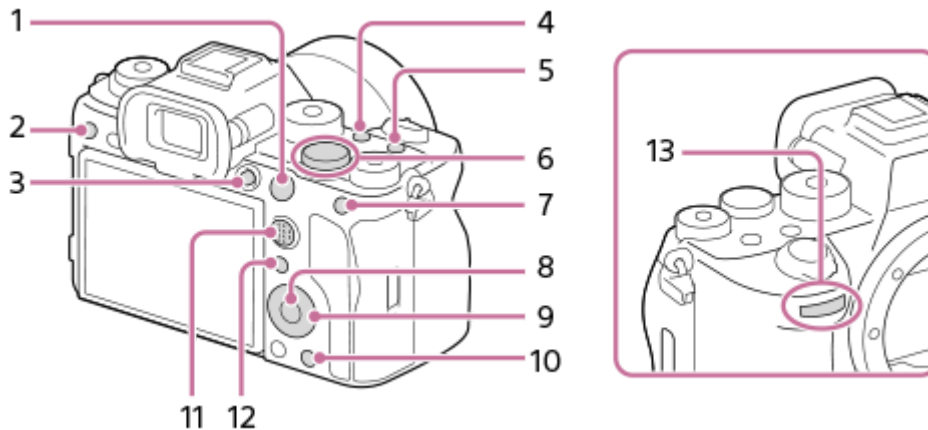


カスタムキー機能を使って、よく使う機能を自分が操作しやすいボタンに割り当てると便利です。MENUから機能を選択する手順が省略できるため、すばやく機能呼び出すことができます。

カスタムキーには、静止画撮影時の機能、動画撮影時の機能、再生時の機能をそれぞれ別々に割り当てることができます。

- ボタンによって割り当てられる機能が異なります。

以下のボタンに希望の機能を割り当てられます。



1. AF-ONボタン
2. カスタムボタン3
3. MOVIEボタン
4. カスタムボタン2
5. カスタムボタン1
6. 後ダイヤル
7. AELボタン
8. 中央ボタン
9. コントロールホイール / 左ボタン/右ボタン/下ボタン
10. カスタムボタン4
11. マルチセレクターの中央ボタン
12. Fn/ ボタン
13. 前ダイヤル

ここでは、AELボタンに「瞳AF」機能を割り当てる手順を説明します。

1 MENU → (セッティング) → [操作カスタマイズ] → [カスタムキー設定] を選ぶ。

- 動画撮影時に呼び出したい機能を設定する場合は「 カスタムキー設定」を、再生時に呼び出したい機能を設定する場合は「 カスタムキー設定」を選びます。

2 コントロールホイールの上/下で「背面1」画面へ移動し、「AELボタン」を選んで中央を押す。

3 コントロールホイールの上/下/左/右で「瞳AF」を選んで中央を押す。

- 撮影時にAELボタンを押すと、瞳が検出された場合は「瞳AF」が働き、瞳にピントが合います。AELボタンを押したままの状態での撮影をしてください。

ヒント

- レンズのフォーカスホールドボタンにも撮影時の機能を割り当てることができます。ただし、お使いのレンズによってはフォーカスホールドボタンがない場合があります。

関連項目

- [一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定）](#)
- [Fnメニュー設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

一時的にダイヤルの機能を変更する（マイダイヤル設定）



前/後ダイヤルとコントロールホイールにそれぞれお好みの機能を割り当てて、その組み合わせを「マイダイヤル」として3つまで登録できます。登録した「マイダイヤル」は、あらかじめ設定したカスタムキーを押すことで、すばやく呼び出したり切り換えたりすることができます。

マイダイヤルに機能を登録する

前/後ダイヤルとコントロールホイールに割り当てる機能を、[マイダイヤル1]～[マイダイヤル3]として登録します。

1. MENU→（セットアップ）→[ダイヤルカスタマイズ]→[マイダイヤル設定]を選ぶ。
2. （マイダイヤル1）に割り当てるダイヤルまたはホイールを選び、コントロールホイールの中央を押す。
3. コントロールホイールの上/下/左/右で割り当てたい機能を選び、中央を押す。
 - 機能を割り当てたくないダイヤルまたはホイールは、「--」（未設定）のままにしてください。
4. 手順2、3を繰り返して、（マイダイヤル1）のダイヤルまたはホイールの機能をすべて選択したら、[OK]を選ぶ。（マイダイヤル1）の設定が登録される。
 - （マイダイヤル2）、（マイダイヤル3）も登録する場合は、上記と同様の手順で登録してください。

マイダイヤルを呼び出すキーを設定する

登録した「マイダイヤル」を呼び出すためのカスタムキーを設定します。

1. MENU→（セットアップ）→[操作カスタマイズ]→[カスタムキー設定]または[カスタムキー設定]→マイダイヤルを呼び出すキーとして使用したいキーを選ぶ。
2. 呼び出したいマイダイヤルの番号やマイダイヤルの切り換え方式を選ぶ。

メニュー項目の詳細

押す間マイダイヤル1 / 押す間マイダイヤル2 / 押す間マイダイヤル3 :

キーを押している間、[マイダイヤル設定]で登録した機能がダイヤル/ホイールに割り当てられる。

マイダイヤル1→2→3 :

キーを押すたびに、「通常の機能→マイダイヤル1の機能→マイダイヤル2の機能→マイダイヤル3の機能→通常の機能」と変更される。

再押しマイダイヤル1 / 再押しマイダイヤル2 / 再押しマイダイヤル3 :

キーを押し続けなくても[マイダイヤル設定]で登録した機能が維持される。再度キーを押すと、通常の機能に戻ります。

マイダイヤルを切り換えて撮影する

撮影時にカスタムキーでマイダイヤルを呼び出し、前/後ダイヤルやコントロールホイールを回して撮影設定を変えながら撮影を行うことができます。

ここでは、「マイダイヤル」に以下の表の機能が登録され、C1（カスタム1）ボタンに「マイダイヤル1→2→3」が設定されている場合で説明します。

操作部	マイダイヤル1	マイダイヤル2	マイダイヤル3
コントロールホイール	 ISO感度	 ホワイトバランス	未設定
前ダイヤル	絞り	 クリエイティブルック	AF枠移動↔：標準
後ダイヤル	シャッタースピード	 露出補正	AF枠移動↑↓：標準

1. C1（カスタム1）ボタンを押す。

「マイダイヤル1」に登録した機能がコントロールホイールと前/後ダイヤルに割り当てられる。

- 画面下部に「マイダイヤル1」に登録した機能のアイコンが表示されます。



2. コントロールホイールを回してISO値を、前ダイヤルで絞り値を、後ダイヤルでシャッタースピードを設定する。

3. もう一度C1ボタンを押す。

「マイダイヤル2」に登録した機能がコントロールホイールと前/後ダイヤルに割り当てられる。

4. コントロールホイールを回して「 ホワイトバランス」を、前ダイヤルで「 クリエイティブルック」を、後ダイヤルで「 露出補正」を設定する。

5. もう一度C1ボタンを押して、同様に「マイダイヤル3」に登録された機能の設定値を変更する。

6. シャッターボタンを押して撮影する。

ご注意

- すべてのダイヤル/ホイールが「未設定」に設定されているマイダイヤルは、カスタムキーを押しても呼び出されません。「マイダイヤル1→2→3」でもスキップされます。
- 「操作部のロック」機能でダイヤル/ホイールがロックされていても、マイダイヤルを呼び出した場合はダイヤル/ホイールのロックが一時的に解除されます。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

撮影設定登録



よく使うモードやカメラの設定を、本機に3つまで、メモリーカードには4つ（M1～M4）まで登録でき、モードダイヤルで簡単に呼び出せます。

- 1 本機を登録したい設定にする。
- 2 MENU → （撮影） → [撮影モード] → [**MR** 撮影設定登録] → 登録先の番号を選ぶ。
- 3 コントロールホイールの中央で決定する。

登録できる項目

- 撮影に関するさまざまな機能を登録できます。実際の登録可能な項目は、本機のメニューで確認してください。
- 絞り（F値）
- シャッタースピード

登録した内容を変更するには

希望する設定に変更し、同じ番号に再登録してください。

ご注意

- M1～M4はカメラにメモリーカードが挿入されている場合のみ選択できます。
- メモリーカードに登録する場合、[**MR** 登録/呼出メディア] で選択されているメモリーカードスロットのメモリーカードに登録されます。
- プログラムシフトは登録できません。
- 一部の機能については、本機のダイヤルの位置と実際に撮影に使われる設定が一致しくなります。本機のモニター情報をもとに撮影してください。

関連項目

- [撮影設定呼び出し](#)
- [登録/呼出メディア](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

撮影設定呼び出し



〔**MR** 撮影設定登録〕で登録したお好みの撮影設定を呼び出して撮影を行うことができます。

- 1 モードダイヤルを1、2、3（**MR** 撮影設定呼び出し）にする。
- 2 コントロールホイールの中央を押して決定する。
 - MENU → （撮影）→ [撮影モード] → [**MR** 撮影設定呼び出し] で呼び出すこともできます。

ヒント

- メモリーカードに登録された設定を呼び出すには、モードダイヤルを1、2、3（**MR** 撮影設定呼び出し）にして、コントロールホイールの左/右で好みの番号を選択してください。
- メモリーカードに登録された設定を呼び出す場合、〔**MR** 登録/呼出メディア〕で選択されているメモリーカードスロットのメモリーカードから呼び出されます。MENU→（撮影）→ [撮影モード] → [**MR** 登録/呼出メディア] でスロットを確認できます。
- 他の同型名の機種でメモリーカードに登録された設定を、本機で呼び出すこともできます。

ご注意

- 撮影に関する設定を行ったあとで〔**MR** 撮影設定呼び出し〕を行うと、呼び出された〔**MR** 撮影設定登録〕の値が優先され、最初に行った設定が無効になる場合があります。モニターで設定値を確認してから撮影してください。
- 記録先スロットが切り換わる場合、モードダイヤルを1/2/3に設定しても、メモリーカードへの書き込みが完了するまでは撮影設定は変更されません。

関連項目

- [撮影設定登録](#)
- [登録/呼出メディア](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

登録/呼出メディア



M1～M4の設定の登録や呼び出しを行うメモリーカードのスロットを選びます。

1 MENU →  (撮影) → [撮影モード] → [**MR** 登録/呼出メディア] → 希望のスロットを選ぶ。

メニュー項目の詳細

スロット 1:

スロット1のメディアを選択する。

スロット 2:

スロット2のメディアを選択する。

関連項目

- [撮影設定登録](#)
- [撮影設定呼び出し](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

カスタム撮影設定登録



撮影時の設定（露出、フォーカス設定、ドライブモードなど）をあらかじめカスタムキーに登録しておき、キーを押している間だけ一時的に呼び出して使うことができます。カスタムキーを押すだけで瞬時に設定を切り換えられ、キーを離すと元の設定値に戻るため、状況が変化しやすいスポーツシーンなどの撮影に便利です。

- 1 MENU → （撮影） → 【撮影モード】 → 【カスタム撮影設定登録】 → 【押す間カスタム設定呼出1】 ～ 【押す間カスタム設定呼出3】 から登録先の番号を選ぶ。
選択した番号の設定画面が表示される。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右で 【押す間カスタム設定呼出1】 ～ 【押す間カスタム設定呼出3】 で呼び出したい機能のチェックボックスを選び、中央を押す。
機能のチェックボックスに （チェック）マークがつく。
 - 解除したい場合は、もう一度中央を押します。
- 3 コントロールホイールの上/下/左/右で設定したい機能を選び、中央を押して各機能を希望の設定にする。
 - 【現在の設定を取り込む】を選ぶと、現在のカメラの設定を、指定した【押す間カスタム設定呼出1】～【押す間カスタム設定呼出3】の番号に取り込むことができます。
- 4 【登録】を選ぶ。

登録できる項目

- 撮影に関するさまざまな機能を登録できます。実際の登録可能な項目は、本機のメニューで確認してください。
- 露出
- フォーカス設定
- ドライブモード（セルフタイマー以外）

登録した設定を呼び出すには

1. MENU → （セットアップ） → 【操作カスタマイズ】 → [カスタムキー設定] → 希望のキーを選び、【押す間カスタム設定呼出1】～【押す間カスタム設定呼出3】の番号を選ぶ。
2. 撮影画面で【押す間カスタム設定呼出1】～【押す間カスタム設定呼出3】の機能を割り当てたボタンを押しながら、シャッターボタンを押して撮影する。
カスタムキーを押している間、登録した撮影設定が呼び出される。

ヒント

- [カスタムキー設定] でカスタムキーに【押す間カスタム設定呼出1】～【押す間カスタム設定呼出3】を割り当てたあと、【カスタム撮影設定登録】の設定を変更することもできます。

ご注意

- 【押す間カスタム設定呼出1】～【押す間カスタム設定呼出3】は、撮影モードがP/A/S/Mのときのみ有効です。

- 「押す間カスタム設定呼出1」 ～ 「押す間カスタム設定呼出3」の実行時に装着しているレンズやカメラの状態によっては、登録した設定にならない場合があります。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Fnメニュー設定



ファンクションメニューとは、撮影時にFn（ファンクション）ボタンを押すと画面下部に表示される12個の機能メニューです。

静止画撮影時の機能と動画撮影時の機能を12個ずつ別々に登録することができます。

ここでは、静止画用ファンクションメニューの〔ドライブモード〕を〔グリッドライン表示〕に変更する手順を説明します。

- 動画用ファンクションメニューを変更する場合は、手順2で動画用のファンクションメニューから変更する項目を選んでください。

- 1 MENU→（セットアップ）→〔操作カスタマイズ〕→〔Fnメニュー設定〕を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下/右/左で静止画用の12個のファンクションメニューのうちの （ドライブモード）を選び、中央を押す。
- 3 コントロールホイールの左/右で〔 グリッドライン表示〕が表示される画面へ移動し、〔 グリッドライン表示〕を選んで中央を押す。
 - ファンクションメニューで （ドライブモード）が設定されていた場所に、（グリッドライン表示）が表示されるようになります。

関連項目

- [Fn（ファンクション）ボタンを使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

項目の追加



MENUの☆（マイメニュー）に、お好みのメニュー項目を登録することができます。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → 【マイメニュー設定】 → 【項目の追加】を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右で、☆（マイメニュー）に追加したい項目を選ぶ。
- 3 コントロールホイールの上/下/左/右で、追加する位置を選ぶ。

ヒント

- ☆（マイメニュー）には最大42個の項目を追加することができます。

ご注意

- ☆（マイメニュー）には、以下の項目は追加できません。
＝ MENU → （再生）内のすべての項目

関連項目

- [項目の並べ替え](#)
- [項目の削除](#)
- [MENUボタンを使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

項目の並べ替え



MENUの☆（マイメニュー）に登録したメニュー項目を並べ替えます。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [項目の並べ替え] を選ぶ。
 - 2 コントロールホイールの上/下/左/右で、並べ替えたい項目を選ぶ。
 - 3 コントロールホイールの上/下/左/右で、並べ替え先を選ぶ。
-

関連項目

- [項目の追加](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

項目の削除



MENUの☆（マイメニュー）に登録したメニュー項目を削除します。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [項目の削除] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右で削除したい項目を選び、コントロールホイールの中央を押して削除する。

ヒント

- ページ内のすべての項目を一括で削除するには、MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [ページの削除] を選びます。
- MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [全て削除] を選ぶと、登録したすべてのマイメニュー設定が削除されます。

関連項目

- [ページの削除](#)
- [全て削除](#)
- [項目の追加](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ページの削除



MENUの☆（マイメニュー）に登録したメニュー項目を、ページごと一括で削除します。

- 1 MENU → ☆（マイメニュー） → 【マイメニュー設定】 → 【ページの削除】を選ぶ。
 - 2 コントロールホイールの左/右で削除したいページを選び、コントロールホイールの中央を押して削除する。
-

関連項目

- [全て削除](#)
- [項目の追加](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

全て削除



MENUの☆（マイメニュー）に登録したメニュー項目をすべて削除します。

① MENU → ☆（マイメニュー） → [マイメニュー設定] → [全て削除] を選ぶ。

② [OK] を選ぶ。

関連項目

- [ページの削除](#)
- [項目の追加](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

マイメニューから表示



MENUボタンを押したときに、マイメニューから表示するように設定できます。

- 1 MENU → ☆ (マイメニュー) → [マイメニュー設定] → [マイメニューから表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

MENUボタンを押すと、マイメニューから表示される。

切：

MENUボタンを押すと、前回表示していたメニューが表示される。

関連項目

- [項目の追加](#)
- [MENUボタンを使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

静止画/動画独立設定



静止画撮影と動画撮影で設定値を共通にするか、別々にするかを項目ごとに選べます。

1 MENU → (セットアップ) → [操作カスタマイズ] → [静止画/動画独立設定] を選ぶ。

操作ガイド画面が表示される。[OK] を選ぶと、設定画面が表示される。

2 静止画撮影と動画撮影で別々に設定したい項目にチェックマークを入れて、[OK] を選ぶ。

- 静止画撮影と動画撮影で別々に設定できるのは、以下の項目です。

- 絞り
- シャッタースピード
- ISO感度
- 露出補正
- 測光モード
- ホワイトバランス
- ピクチャープロファイル

ヒント

- [静止画/動画独立設定] で共通から独立の状態に切り換えると、現在の設定値が静止画撮影と動画撮影にそれぞれ反映されます。ただし、カスタムホワイトバランスの設定は静止画撮影にのみ反映されます。
- [静止画/動画独立設定] で独立から共通の状態に切り換えると、その項目の設定値が一度初期値に戻ります。ただし、絞り値とシャッタースピード、カスタムホワイトバランスの設定は、静止画撮影の設定値が反映されます。

ご注意

- [露出補正] にチェックマークを入れていても、露出補正ダイヤルで露出補正值を変更すると、静止画撮影と動画撮影の露出補正值が同時に変更されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Mモード時のAv/Tv



撮影モードがM（マニュアル露出）のときの前後のダイヤルの機能を入れ換えることができます。この機能は、前/後ダイヤルに「絞り/シャッタースピード」の機能が割り当てられているときに設定できます。

- 1 MENU → （セットアップ） → [ダイヤルカスタマイズ] → [Mモード時のAv/Tv] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

 Tv  Av :

前ダイヤルでシャッタースピード、後ダイヤルで絞り値が変わる。

 Av  Tv :

前ダイヤルで絞り値、後ダイヤルでシャッタースピードが変わる。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Av/Tvの回転方向



前ダイヤル、後ダイヤル、またはコントロールホイールで絞り値やシャッタースピードを変更するときの、回転方向を設定します。

1 MENU →  (セットアップ) → [ダイヤルカスタマイズ] → [Av/Tvの回転方向] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

通常：

前ダイヤル、後ダイヤル、またはコントロールホイールの回転方向を変更しない。

反転：

前ダイヤル、後ダイヤル、またはコントロールホイールの回転方向を反対にする。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ファンクションリング(レンズ)



レンズのファンクションリングに、電動フォーカス（パワーフォーカス）機能を割り当てるか、フルサイズとAPS-C/Super35 mmの画角を切り換える機能を割り当てるかを設定できます（対応レンズのみ）。

詳しくは、レンズの取扱説明書をご覧ください。対応レンズは、専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

- 1 MENU → （セットアップ） → [ダイヤルカスタマイズ] → [ファンクションリング(レンズ)] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

パワーフォーカス：

ファンクションリングを右に動かすと無限遠側にフォーカス位置が移動し、左に動かすと近距離側にフォーカス位置が移動する。

APS-C S35 / フルサイズ：

ファンクションリングを動かすと、フルサイズとAPS-C/Super 35mmの画角が切り換わる。

- ファンクションリングを左右どちらに動かしても画角が切り換わります。

関連項目

- [APS-C S35（Super35mm）撮影（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

操作部のロック



Fn（ファンクション）ボタンを長押しして、マルチセレクターやダイヤル、ホイールをロックするかどうかを設定します。

- 1 MENU → （セットアップ） → [ダイヤルカスタマイズ] → [操作部のロック] → 希望の設定を選ぶ。
 - 操作部をロックするには、「ロックしました」と画面に表示されるまでFn（ファンクション）ボタンを長押しします。

メニュー項目の詳細

切：

長押ししてもロックがかからない。

マルチセレクターのみ：

マルチセレクターにロックがかかる。

ダイヤル+ホイール：

前ダイヤル/後ダイヤル、コントロールホイールにロックがかかる。

全て：

マルチセレクター、前ダイヤル/後ダイヤル、コントロールホイールすべてにロックがかかる。

ヒント

- 再度、Fn（ファンクション）ボタンを長押しすると、ロックを解除できます。

ご注意

- [フォーカスエリア登録機能] を [入] に設定すると、[操作部のロック] は [切] に固定されます。

関連項目

- [フォーカスエリア登録機能](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

シャッターボタンでREC（動画）



MOVIE（動画）ボタンの代わりに、より大きく押しやすいシャッターボタンを使って、動画撮影の開始/停止を行うことができます。

- 1 MENU → （セットアップ） → [操作カスタマイズ] → [ シャッターボタンでREC] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

する:

撮影モードが[動画]または[スロー&クイックモーション]のとき、シャッターボタンでも動画撮影を行うことができる。

しない:

シャッターボタンで動画撮影を行わない。

ヒント

- [ シャッターボタンでREC] を[する]に設定すると、[RECコントロール]で外部録画再生機器に動画の録画を開始/停止するときも、シャッターボタンで操作できるようになります。

ご注意

- [ シャッターボタンでREC] が[する]になっている場合、動画撮影中にシャッターボタンを半押ししてもピント合わせはできません。

関連項目

- [動画を撮影する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ファインダー/モニター選択



ファインダーとモニターの表示切り換え方法を設定します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [ファインダー/モニター] → [ファインダー/モニター選択] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート:

ファインダーをのぞくと、アイセンサーが働き、自動的にファインダー画面に切り替わる。

ファインダー(マニュアル):

モニターは消灯し、ファインダーのみに画像を表示する。

モニター(マニュアル):

ファインダーは消灯し、常にモニターのみに画像を表示する。

ヒント

- ファインダー/モニター表示切り換え機能をお好みのキーに割り当てることができます。
[ カスタムキー設定]、[ カスタムキー設定] または [ カスタムキー設定] → 希望のキーに [ファインダー/モニター切換] を設定してください。
- ファインダー表示またはモニター表示を固定したい場合は、[ファインダー/モニター選択] を [ファインダー(マニュアル)] または [モニター(マニュアル)] に設定してください。
DISPボタンを使ってモニター表示を [モニター消灯] にすると、撮影時にファインダーから目を離してもモニターが点灯しなくなります。あらかじめ、[DISP(画面表示)設定] → [背面モニター] で、[モニター消灯] にチェックマークを入れてください。

ご注意

- モニターの開閉や角度の状態によっては、[ファインダー/モニター選択] が [オート] に設定されていてもアイセンサーは接眼を検知しません。画像はモニターに表示されます。
- 太陽などの強い光源下では、アイセンサーが接眼を検知できず、[ファインダー/モニター選択] が [オート] に設定されていてもファインダー表示に切り替わらないことがあります。そのような場合はアイセンサーに光があたらないようにしてください。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる \(カスタムキー設定\)](#)
- [DISP\(画面表示\)設定 \(背面モニター/ファインダー\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

DISP(画面表示)設定（背面モニター/ファインダー）



撮影時に、DISP（画面表示切換）で選択できる画面表示モードを設定します。

- 1 MENU → （セットアップ） → 【操作カスタマイズ】 → 【DISP(画面表示)設定】 → 【背面モニター】または【ファインダー】 → 希望の設定を選び、【実行】を選んで決定する。

✓（チェック）がついている項目が選択できるモードになる。

メニュー項目の詳細

全情報表示：

撮影情報を表示する。

情報表示 なし：

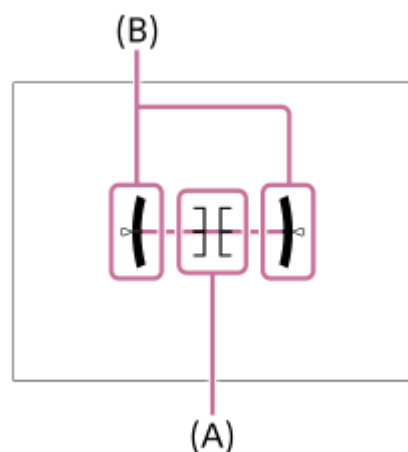
撮影情報を表示しない。

ヒストグラム：

画像の明暗をグラフ（ヒストグラム）で表示する。

水準器：

カメラの前後方向（A）、水平方向（B）の傾きを指標で示す。水平、平衡状態のときは、表示が緑色になる。



ファインダー撮影用*：

モニターには被写体を表示せず、撮影情報のみを表示する。ファインダー撮影用の表示設定。

モニター消灯*：

撮影時は常にモニターが消灯するが、再生時やMENU操作時はモニターを使用できる。ファインダー撮影用の表示設定。

* 【背面モニター】の設定時のみ選択できる画面表示モードです。

ご注意

- カメラを前または後に大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなります。
- 水準器で傾きがほぼ補正された状態でも±1°程度の誤差が生じることがあります。

関連項目

- [DISP（画面表示切換）ボタンを使う](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

この章の目次

この章（「再生する」）で説明している機能の一覧です。各項目名から、それぞれの機能を説明するページに移動できます。

画像を見る

- [再生するメモリーカードを選ぶ（再生メディア選択）](#)
- [静止画を再生する](#)
- [再生画像を拡大する（拡大）](#)
- [拡大の初期倍率](#)
- [拡大の初期位置](#)
- [記録画像を自動的に回転させる（記録画像の回転表示）](#)
- [動画を再生する](#)
- [音量設定](#)
- [4ch音声のモニタリング（動画）](#)
- [スライドショーで再生する（スライドショー）](#)
- [インターバル連続再生](#)
- [インターバル再生速度](#)

画像の表示方法を変える

- [一覧表示で再生する（一覧表示）](#)
- [静止画と動画を切り換える（ビューモード）](#)
- [グループ表示](#)
- [フォーカス枠表示（再生）](#)

画像間をジャンプ移動する方法を設定する

- [画像送りダイヤル選択](#)
- [画像送り方法](#)

撮影した静止画を保護する（プロテクト）

画像に情報を追加する

- [レーティング](#)
- [レーティング カスタムキー設定](#)
- [画像に音声ファイルを添付する（音声メモ）](#)
- [音声メモ再生音量](#)
- [画像を回転する（回転）](#)

トリミング

動画から静止画を切り出す

- [動画から静止画作成](#)
- [JPEG/HEIF切替（動画から静止画作成）](#)

メモリーカード間で画像をコピーする（コピー）

画像を削除する

- 不要な画像を選んで削除する（削除）
- 2度押しで削除
- 削除確認画面

テレビと接続して画像を見る

- HDMIケーブルを使ってテレビで見る

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

再生するメモリーカードを選ぶ（再生メディア選択）

メモリーカードが入っているスロットを選択してください。

- 1 MENU → （再生） → [再生対象] → [再生メディア選択] → 希望のスロットを選ぶ。

メニュー項目の詳細

スロット 1：

スロット1のメディアを選択する。

スロット 2：

スロット2のメディアを選択する。

ご注意

- [ビューモード] で [日付ビュー] を選んでいる場合でも、[再生メディア選択] で選択しているメディアからのみ再生します。

関連項目

- [静止画と動画を切り換える（ビューモード）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

静止画を再生する

撮影した静止画を再生します。

- 1 MENU →  (再生) → [再生対象] → [再生メディア選択] で再生するメモリーカードのスロットを選ぶ。
- 2  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 3 コントロールホイールで画像を選ぶ。
 - 連続撮影した画像やインターバル撮影で撮影した画像は、1つのグループとして表示されています。グループ内の画像を再生する場合は、コントロールホイールの中央を押してください。

ヒント

- 本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。管理ファイルに未登録の画像は正しく表示されないことがあります。他機で撮影した画像を見るときは、MENU →  (撮影) → [メディア] → [ 管理ファイル修復] で管理ファイルに画像を登録してください。
- 連続撮影後に画像をすぐに再生すると、モニターにデータ書き込み中/書き込み残り枚数を示すアイコンが表示されることがあります。書き込み中は、一部の機能を使用できません。
- [ フォーカス枠表示] が [入] の場合、再生画像上に撮影時のフォーカス枠が表示されます。撮影時にピントが合ったフォーカス枠は緑色で表示されます。撮影時に複数のフォーカス枠が表示されていても、再生時はカメラがピントを合わせようとした1点のみ表示されます。

関連項目

- [再生するメモリーカードを選ぶ \(再生メディア選択\)](#)
- [管理ファイル修復 \(静止画/動画\)](#)
- [グループ表示](#)
- [フォーカス枠表示 \(再生\)](#)
- [再生画像を拡大する \(拡大\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

再生画像を拡大する（拡大）

再生した画像を拡大します。写真のピントの具合を確認したいときなどに使います。

1 拡大したい画像を表示して、（拡大）ボタンを押す。

- コントロールホイールを回して倍率を調整してください。前/後ダイヤルを回すと、同じ拡大倍率のまま、前後の画像に切り換えられます。
- 画像は、撮影時にピントを合わせた位置を中心に拡大されます。ピントの位置情報が得られない場合、画像の中心が拡大されます。

2 コントロールホイールの上/下/左/右で表示する場所を移動する。

3 MENUボタンまたはコントロールホイールの中央を押して、拡大再生を終了する。

ヒント

- メニューから拡大再生を行うこともできます。
- MENU → （再生） → [拡大] → [ 拡大の初期倍率] または [ 拡大の初期位置] で、拡大初期倍率や拡大初期位置を変更できます。
- モニターのタッチ操作で画像を拡大することもできます。拡大位置を移動するにはモニターをドラッグします。あらかじめ、[タッチ操作] を [入] に設定してください。

ご注意

- 動画は拡大できません。

関連項目

- [拡大の初期倍率](#)
- [拡大の初期位置](#)
- [タッチ操作](#)
- [タッチパネルの操作](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

拡大の初期倍率

画像を再生し拡大表示するときの、拡大の初期倍率を選びます。

1 MENU →  (再生) → [拡大] → [ 拡大の初期倍率] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準の倍率：

標準の倍率で拡大する。

前回の倍率：

前回の倍率で拡大する。前回の倍率は、拡大表示画面を終了しても保持される。

関連項目

- [再生画像を拡大する（拡大）](#)
- [拡大の初期位置](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

拡大の初期位置

画像を再生し拡大表示するときの、拡大の初期位置を選びます。

1 MENU →  (再生) → [拡大] → [ 拡大の初期位置] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ピント位置：

撮影時にピントを合わせた位置から拡大する。

画面中央：

画面の中央から拡大する。

関連項目

- [再生画像を拡大する \(拡大\)](#)
- [拡大の初期倍率](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

記録画像を自動的に回転させる（記録画像の回転表示）

画像を再生するときの向きを設定できます。

1 MENU → （再生） → [再生オプション] → [記録画像の回転表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

カメラを回転させると、カメラが縦横を判断し、その向きに合わせて再生している画像を表示する。

マニュアル：

縦位置で撮影した画像を縦向きに表示する。また回転機能で表示する向きを設定した場合はその向きに表示する。

切：

記録画像を常に横向きに表示する。

ご注意

- 動画の再生時は、縦位置で撮影した動画も横向きで再生されます。

関連項目

- [画像を回転する（回転）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

動画を再生する

撮影した動画を再生します。

- 1 MENU →  (再生) → [再生対象] → [再生メディア選択] で再生するメモリーカードのスロットを選ぶ。
- 2  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 3 コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央を押して再生する。

動画再生中にできること

コントロールホイールの下を押すと、スロー再生、音量調整などの操作を行えます。

-  : 再生
-  : 一時停止
-  : 早送り
-  : 早戻し
-  : スロー再生
-  : スロー逆再生
-  : 次の動画
-  : 前の動画
-  : コマ送り
-  : コマ戻し
-  : 動画から静止画作成
-  : 音量設定
-  : 操作パネルを閉じる

ヒント

- スロー再生、スロー逆再生、コマ送り、コマ戻しは、一時停止中に選ぶことができます。
- 本機以外で撮影された動画ファイルは再生できない場合があります。

ご注意

- 縦位置で動画を撮影しても、本機のモニターやファインダーでは横向きで再生されます。

関連項目

- [再生するメモリーカードを選ぶ \(再生メディア選択\)](#)
- [静止画と動画を切り換える \(ビューモード\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

音量設定

動画再生時の音量を設定します。

① MENU →  (セットアップ) → [サウンドオプション] → [音量設定] → 希望の設定を選ぶ。

再生中に音量を変えるには

動画再生中に、コントロールホイールの下を押して、操作パネルから音量設定できます。実際に音量を聞きながら調整できます。

ご注意

- 音声メモの再生音量は、MENU →  (再生) → [音声メモ再生音量] で変更してください。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

4ch音声のモニタリング（動画）

動画の音声を4チャンネルで記録する場合や、4チャンネルで記録された動画を再生する場合に、カメラの （ヘッドホン）端子に接続した機器でモニタリングする音声を設定します。

- 1 MENU → （セットアップ） → [サウンドオプション] → [ 4ch音声のモニタリング] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

CH1/CH2 :

L側（左）にチャンネル1の音声、R側（右）にチャンネル2の音声を出力する。

CH3/CH4 :

L側（左）にチャンネル3の音声、R側（右）にチャンネル4の音声を出力する。

CH1+3/CH2+4 :

L側（左）にチャンネル1とチャンネル3のミックス音声、R側（右）にチャンネル2 とチャンネル4のミックス音声を出力する。

CH1/CH1 :

L側（左）とR側（右）にチャンネル1の音声を出力する。

CH2/CH2 :

L側（左）とR側（右）にチャンネル2の音声を出力する。

ご注意

- 動画の記録中は、カメラのマルチインターフェースシューに4チャンネル音声収録に対応したアクセサリーを取り付けている場合に、 [ 4ch音声のモニタリング] の設定が有効になります。
- カメラの （ヘッドホン）端子に接続した機器に音声を4チャンネルで出力することはできません。
- カメラのスピーカーで音声を再生する場合のチャンネルも、 [ 4ch音声のモニタリング] の設定によって変わります。

関連項目

- [シューの音声設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

スライドショーで再生する（スライドショー）

画像を自動的に連続再生します。

- 1 MENU → （再生） → [鑑賞] → [スライドショー] → 希望の設定を選ぶ。
- 2 [実行] を選ぶ。

メニュー項目の詳細

リピート：

繰り返し再生する（[入]）か、すべての画像を再生したら停止する（[切]）か選ぶ。

間隔設定：

画像が切り替わる間隔を、[1秒] / [3秒] / [5秒] / [10秒] / [30秒] から選ぶ。

途中で終了するには

MENUボタンを押して終了します。一時停止はできません。

ヒント

- スライドショー再生中に、コントロールホイールの左/右で、画像を戻す/送ることができます。
- [スライドショー] が実行できるのは、[ビューモード] が [日付ビュー] と [フォルダービュー（静止画）] のときのみです。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

インターバル連続再生

インターバル撮影で撮影した画像を連続再生します。

- 1 MENU →  (再生) → [鑑賞] → [ インターバル連続再生] を選ぶ。
- 2 再生したい画像グループを選んで、コントロールホイールの中央を押す。

ヒント

- 再生画面で、グループ内の画像を表示して下ボタンを押すことでも連続再生できます。
- 再生中は、下ボタンで再生/一時停止できます。
- 再生中に前/後ダイヤルまたはコントロールホイールを回すと、再生速度を変更できます。MENU →  (再生) → [鑑賞] → [ インターバル再生速度] でも再生速度を変更できます。
- 連続撮影した画像も連続再生できます。

関連項目

- [インターバル撮影機能](#)
- [インターバル再生速度](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

インターバル再生速度

〔 インターバル連続再生〕で静止画を連続再生するときの速度を設定します。

1 MENU →  (再生) → [鑑賞] →  インターバル再生速度 → 希望の設定を選ぶ。

ヒント

- 再生速度は、〔 インターバル連続再生〕中に前/後ダイヤルまたはコントロールホイールを回すことでも変更できます。

関連項目

- [インターバル連続再生](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

一覧表示で再生する（一覧表示）

再生時、複数の画像を同時に表示できます。

- 1 画像を再生中に、（一覧表示）ボタンを押す。
- 2 コントロールホイールの上/下/左/右を押したり、コントロールホイールを回したりして、画像を選ぶ。

表示する枚数を変更する場合

MENU→（再生）→〔再生オプション〕→〔一覧表示〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

9枚/25枚

1枚再生画面に戻すには

表示したい画像を選んでいる状態で、コントロールホイールの中央を押す。

希望の画像をすばやく表示するには

コントロールホイールで左側のバーを選び、コントロールホイールの上/下でページを送ることができます。バーを選んでいる状態で、中央を押すと、カレンダー画面、またはフォルダー選択画面が表示されます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます。

関連項目

- [静止画と動画を切り換える（ビューモード）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

静止画と動画を切り換える（ビューモード）

再生する画像の表示方法（ビューモード）を設定します。

1 MENU → （再生） → [再生対象] → [ビューモード] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

日付ビュー：

日付ごとに表示する。

フォルダービュー（静止画）：

静止画のみを表示する。

動画ビュー：

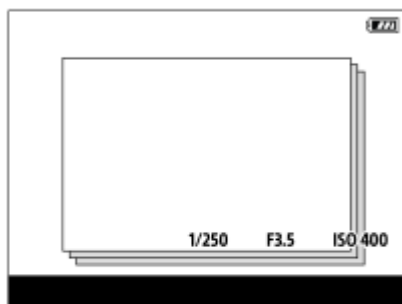
動画のみを日付ごとに表示する。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

グループ表示

連続撮影した画像やインターバル撮影で撮影した画像をグループ化して表示するかどうかを設定します。

1 MENU →  (再生) → [再生オプション] → [グループ表示] → 希望の設定を選ぶ。



メニュー項目の詳細

入：
画像をグループ化して表示する。グループ内の画像を再生するには、グループを選んでコントロールホイールの中央を押してください。

切：
画像をグループ化して表示しない。

ヒント

- 以下の画像がグループ表示されます。
 - － [ドライブモード] が [連続撮影] で撮影された画像（連続撮影でシャッターボタンを押し続けて撮影されたひと続きの画像が、ひとつのグループになります。）
 - － [インターバル撮影機能] で撮影された画像（1回のインターバル撮影で撮影された画像が、ひとつのグループになります。）
- 一覧表示画面では、グループには  (グループ表示) アイコンが表示されます。

ご注意

- 画像をグループ化して表示できるのは、[ビューモード] を [日付ビュー] にしているときのみです。[日付ビュー] 以外の場合は、[グループ表示] を [入] に設定しても、画像はグループ化して表示できません。
- グループを削除すると、グループ内のすべての画像が削除されます。グループ内の画像に添付された音声メモも削除されます。

関連項目

- [連続撮影](#)
- [インターバル撮影機能](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フォーカス枠表示（再生）

静止画を再生するときに、ピントが合ったエリアにフォーカス枠を表示するかどうかを設定します。

① MENU → （再生） → [再生オプション] → [ フォーカス枠表示] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切：

再生時にフォーカス枠を表示しない。

入：

再生時にフォーカス枠を緑色で表示する。

ヒント

- 撮影時に複数のフォーカス枠が表示されていても、再生時はカメラが実際にピントを合わせたフォーカス枠が1つ表示されます。
- 撮影時に被写体の顔にフォーカス枠が表示されていても、瞳が検出されている場合は再生時に瞳にフォーカス枠が表示されます。

ご注意

- 以下の画像にはフォーカス枠は表示されません。
 - － マニュアルフォーカスで撮影された静止画
 - － 動画
 - － [動画から静止画作成] で作成された静止画
- フォーカス枠は1枚再生画面でのみ表示されます。一覧表示画面や画像の拡大中は表示されません。
- オートレビュー時はフォーカス枠は表示されません。
- オートフォーカス後に構図を変えて撮影した場合、フォーカス枠は被写体からずれて表示されます。
- フォーカス枠が表示されていても、ピントが合っていない場合があります。
- [フォーカスエリア自動消灯] や [AF-Cエリア表示] で撮影時にフォーカス枠を表示させない設定にしている場合、 [ フォーカス枠表示] が [入] の場合は、再生時はフォーカス枠が表示されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

画像送りダイヤル選択

再生時に画像間をジャンプ移動できます。たくさんの画像の中から目的の画像を探したり、プロテクトした画像やレーティングを設定した画像を探す場合に便利です。前後どちらかのダイヤルに割り当てて使います。

① MENU →  (再生) → [再生オプション] → [画像送りダイヤル選択] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

前ダイヤル：

前ダイヤルで画像間をジャンプ移動する。

後ダイヤル：

後ダイヤルで画像間をジャンプ移動する。

関連項目

- [画像送り方法](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

画像送り方法

ダイヤル操作で再生画像をジャンプ移動するときの、画像送りの方法を設定します。

1 MENU →  (再生) → [再生オプション] → [画像送り方法] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

1枚ずつ：

1枚ずつ画像を送る。

10枚ずつ：

10枚ずつ画像を送る。

100枚ずつ：

100枚ずつ画像を送る。

プロテクトのみ：

画像送りの対象をプロテクトされている画像のみに設定する。

レーティングのみ：

画像送りの対象をレーティングされたすべての画像に設定する。

レーティング(★)のみ～レーティング(☆☆)のみ：

画像送りの対象をレーティング(★～☆☆)が設定されている画像のみに設定する。

レーティングなしのみ：

画像送りの対象をレーティングが設定されていない画像のみに設定する。

ご注意

- [画像送り方法] を [1枚ずつ]、[10枚ずつ]、[100枚ずつ] に設定しているときは、グループは1枚として数えられます。
- [画像送り方法] を [1枚ずつ]、[10枚ずつ]、[100枚ずつ] 以外に設定した場合は、[ビューモード] が [日付ビュー] のときのみジャンプ移動できます。[ビューモード] が [日付ビュー] 以外に設定されているときは、[画像送りダイヤル選択] で設定したダイヤルを使っても1枚ずつ移動します。
- [画像送り方法] を [1枚ずつ]、[10枚ずつ]、[100枚ずつ] 以外に設定しているとき、ジャンプ移動では動画は常に飛ばされます。

関連項目

- [レーティング](#)
- [撮影した静止画を保護する（プロテクト）](#)
- [画像送りダイヤル選択](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

撮影した静止画を保護する（プロテクト）

撮影した画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。プロテクトされた画像には （プロテクト）マークが表示されます。

① MENU→（再生）→[セクション/メモ]→[プロテクト]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

画像選択：

画像を何枚か選んでプロテクトする。

- （1）画像を選び、コントロールホイールの中央を押す。チェックボックスに （チェック）マークが付く。解除したいときはもう一度中央を押して （チェック）マークを消す。
- （2）ほかの画像もプロテクトするときは、手順1を繰り返す。
- （3）MENU→[確認]を選ぶ。

このフォルダーの全画像：

選択しているフォルダー内すべての画像をまとめてプロテクトする。

このフォルダーを全て解除：

選択しているフォルダー内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

この日付の全画像：

選択している日付内すべての画像をまとめてプロテクトする。

この日付を全て解除：

選択している日付内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

このグループの全画像：

選択しているグループ内すべての画像をまとめてプロテクトする。

このグループ画像全て解除：

選択しているグループ内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

ヒント

- MENU→（セットアップ）→[操作カスタマイズ]→[ カスタムキー設定]で希望のキーに[プロテクト]を割り当てておくと、キーを押すだけで表示中の画像のプロテクト/プロテクト解除ができます。お買い上げ時の設定では、C3ボタンに[プロテクト]が割り当てられています。
- [画像選択]でグループを選ぶと、グループ内のすべての画像がプロテクトされます。グループ内の任意の画像を選んでプロテクトしたい場合は、グループ内の画像を表示させた状態で[画像選択]を実行してください。

ご注意

- [ビューモード]の設定や選択しているコンテンツによって、選べる項目が異なります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

レーティング

撮影した静止画に星マークの数（★～☆☆）でレーティング（ランク分け）を設定すると、画像を探しやすくなります。

- 1 MENU→（再生）→ [セクション/メモ] → [レーティング] を選ぶ。
レーティング画像選択画面が表示される。
- 2 コントロールホイールの左/右でレーティングを設定したい画像を表示させ、中央を押す。
- 3 コントロールホイールの左/右で ★（レーティング）のランクを選び、中央を押す。
- 4 MENUボタンを押して、レーティング設定画面を終了する。

ヒント

- カスタムキーを使って、画像の再生時にレーティングを設定することもできます。あらかじめ、[ カスタムキー設定] で希望のキーに [レーティング] を割り当てておき、レーティングを設定したい画像の再生中にキーを押してください。キーを押すたびに ★（レーティング）のランクが切り替わります。
- [画像送り方法] でレーティングを指定することで、目的の画像をすばやく見つけられるようになります。

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)
- [レーティング カスタムキー設定](#)
- [画像送り方法](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

レーティング カスタムキー設定

〔 カスタムキー設定〕で〔レーティング〕を割り当てたキーを使って、画像をレーティング（ランク分け）するときに選ぶ星マーク（★）の数を設定します。

- 1 MENU→（再生）→〔セクション/メモ〕→〔レーティング カスタムキー設定〕を選ぶ。
- 2 有効にしたい★（レーティング）のランクに✓（チェック）マークを付ける。
✓（チェック）マークを付けた値が、カスタムキーを使用して〔レーティング〕を設定するときを選択できるようになる。

関連項目

- [レーティング](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

画像に音声ファイルを添付する（音声メモ）

撮影状況や画像の説明などを録音して、画像に音声メモとして添付できます。

音声メモは、本機で再生したり画像と一緒にパソコンに転送してパソコンで再生することができます。

- 1 MENU → （再生） → [セクション/メモ] → [音声メモ] を選ぶ。

画像選択画面が表示される。

- 2 音声メモを添付したい静止画を選択する。

- 3 コントロールホイールの中央を押しながら音声を録音する。

静止画と同じファイル名の音声メモ（.WAV）が、静止画と同じフォルダーに保存されます。

- コントロールホイールの中央を押し続けている間、録音し続けます。ボタンから手を離すと、録音を停止します。

音声メモを再生するには

1. MENU → （再生） → [セクション/メモ] → [音声メモ] を選ぶ。
2. 音声メモを再生したい静止画を選択する。
 - 音声メモがある静止画には （音声メモアイコン）が表示されます。
3. コントロールホイールの中央を押す。

音声メモを削除するには

1. MENU → （再生） → [セクション/メモ] → [音声メモ] を選ぶ。
2. 音声メモを削除したい静止画を選択する。
3. コントロールホイールの下ボタンを押し、[OK] を選ぶ。

ヒント

- [ カスタムキー設定] でカスタムキーに [押す間音声メモ] を割り当てると、キーを押している間音声メモを録音します。[再押し音声メモ] を割り当てると、そのキーを押したタイミングから音声メモ録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。再生時は、割り当てたキーを押すと音声メモの再生が始まり、もう一度押すと再生を停止します。
- 静止画がプロテクトされていても、音声メモの録音はできます。

ご注意

- 動画に音声メモを添付することはできません。
- 音声メモは一つの静止画につき1ファイルまで、最大60秒録音できます。
- すでに音声メモが添付されている静止画に音声メモを追加したり上書きしたりすることはできません。音声メモを一度削除してから、再度音声メモを録音してください。
- 録音時のマイクレベルは変更できません。
- 音声メモの録音には、内蔵マイクが使われます。外部の音声入力機器は使えません。

関連項目

- [音声メモ再生音量](#)
- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

音声メモ再生音量

音声メモの再生音量を調節します。

- 1 MENU →  (再生) → [セクション/メモ] → [音声メモ再生音量] を選ぶ。
- 2 コントロールホイールの左/右ボタンを押して、音量を調節する。

ヒント

- 音声メモの再生中にコントロールホイールの下ボタンを押しても、音量調節画面を表示できます。

関連項目

- [画像に音声ファイルを添付する \(音声メモ\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

画像を回転する（回転）

撮影した画像を回転します。

① 回転したい画像を表示して、MENU→（再生）→〔編集〕→〔回転〕を選ぶ。

② コントロールホイールの中央を押す。

画像が左に回転します。中央を押すたびに、回転が繰り返されます。

回転した画像は、本機の電源を切った後も回転した状態のまま保持されます。

ご注意

- 動画を縦向きに回転しても、本機のモニターやファインダーでは横向きで再生されます。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見ると、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

トリミング

撮影した画像をトリミングします。

- 1 MENU →  (再生) → [編集] → [トリミング] を選ぶ。

画像選択画面が表示される。

- 2 トリミングする静止画を選んで、コントロールホイールの中央を押す。

- 3 トリミング枠の大きさや位置を調整する。

- 後ダイヤルでトリミング枠のアスペクト比を変更します。縦位置/横位置も変更できます。
- 前ダイヤルまたはコントロールホイールでトリミング枠の大きさを変更します。
- コントロールホイールの上/下/左/右でトリミング枠の位置を移動します。
- Fnボタンを押すと、トリミング後の画像をプレビューできます。

- 4 コントロールホイールの中央を押す。

トリミングされた画像が保存される。

ヒント

- トリミング後の画像は別の画像として新たに保存されます。トリミング前の画像はそのまま残ります。
- トリミング後の画像のファイル形式や画質設定は、トリミング前の画像と同じになります。
- トリミングで保存された画像には、再生画面に  (トリミング) アイコンが表示されます。

ご注意

- RAW画像や動画はトリミングできません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

動画から静止画作成

動画から希望のシーンを切り出して、静止画として保存します。はじめに動画で撮影し、動画再生中に一時停止して、静止画では撮影できない決定的な瞬間を切り出して静止画として保存します。

- 1 静止画を切り出したい動画を表示する。
- 2 MENU →  (再生) → [編集] → [動画から静止画作成] を選ぶ。
- 3 動画を再生し、一時停止する。
- 4 スロー再生、スロー逆再生、コマ送り、コマ戻しを使って、希望のシーンで停止する。
- 5  (動画から静止画作成) を押して、希望のシーンを静止画として切り出す。
静止画として保存される。

ヒント

- [ JPEG/HEIF切換] で、保存する静止画の記録方式をJPEGにするかHEIFにするかを選択することができます。

関連項目

- [動画を撮影する](#)
- [動画を再生する](#)
- [JPEG/HEIF切換 \(動画から静止画作成\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

JPEG/HEIF切換（動画から静止画作成）

「動画から静止画作成」で切り出す静止画のファイル形式（JPEG/HEIF）を切り換えます。JPEG形式は互換性に優れ、さまざまな環境で閲覧や編集を行えます。HEIF形式は圧縮効率に優れ、高画質のまま小さいファイル容量で記録できます。お使いのパソコンやソフトウェアによっては、HEIFファイルの表示や編集ができない場合があります。また、HEIF形式の静止画を再生するには、HEIFに対応した環境が必要です。カメラとテレビをHDMI接続することで、高画質な静止画をお楽しみいただけます。

1 MENU → （再生） → [編集] → [ JPEG/HEIF切換] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

JPEG：

静止画をJPEG形式で現像し記録する。互換性を優先した設定。

HEIF(4:2:0)：

静止画をHEIF（4:2:0）形式で現像し記録する。画質と圧縮効率を優先した設定。

HEIF(4:2:2)：

静止画をHEIF（4:2:2）形式で現像し記録する。画質を優先した設定。

ご注意

- 本機で撮影したHEIF画像のファイルは、HEIF形式に対応していない他のカメラでは表示されません。誤ってメモリーカードのフォーマットやファイルの削除を行わないようにご注意ください。

関連項目

- [動画から静止画作成](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

メモリーカード間で画像をコピーする（コピー）

〔再生メディア選択〕で選ばれているメモリーカードから、もう一方のスロットに入っているメモリーカードに画像をコピーできます。

1 MENU→（再生）→〔編集〕→〔コピー〕を選ぶ。

再生中の日付またはフォルダー内のすべてのコンテンツが、もう一方のスロットのメディアへコピーされます。

ヒント

- MENU→（再生）→〔再生対象〕→〔ビューモード〕で、表示する画像の種類を選ぶことができます。

ご注意

- グループ表示された画像をコピーすると、コピー先ではグループ表示ができなくなります。
- プロテクトした画像をコピーすると、コピー先ではプロテクトが解除されます。
- 画像が多いとコピーに時間がかかる場合があります。十分に充電したバッテリーをお使いください。
- 動画をコピーする場合は、コピー先のメモリーカードが動画の記録方式に対応していないとコピーできません。コピーできない場合、カメラの画面にメッセージが表示されます。

関連項目

- [再生するメモリーカードを選ぶ（再生メディア選択）](#)
- [静止画と動画を切り換える（ビューモード）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

不要な画像を選んで削除する（削除）

不要な画像を選んで削除できます。一度削除した画像は元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

1 MENU → （再生） → [削除] → [削除] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

この画像以外の全画像：

グループ内の、選択している画像をのぞくすべての画像をまとめて削除する。

このグループの全画像：

選択しているグループ内すべての画像をまとめて削除する。

画像選択：

画像を何枚か選んで削除する。

（1）削除したい画像を選び、コントロールホイールの中央を押す。チェックボックスに （チェック）マークが付く。解除したいときはもう一度中央を押して （チェック）マークを消す。

（2）ほかの画像も削除するときは、手順（1）を繰り返す。

（3）MENU → [確認] を選ぶ。

このフォルダーの全画像：

選択しているフォルダー内すべての画像をまとめて削除する。

この日付の全画像：

選択している日付内すべての画像をまとめて削除する。

ヒント

- プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータを消去するには [フォーマット] を行ってください。
- 希望のフォルダーまたは日付を表示するには、再生時に下記の手順で希望のフォルダーまたは日付を選びます。
（一覧表示）ボタン → コントロールホイールで左側のバーを選ぶ → コントロールホイールの上/下で希望のフォルダーまたは日付を選ぶ。
- [画像選択] でグループを選ぶと、グループ内のすべての画像が削除されます。グループ内の任意の画像を選んで削除したい場合は、グループ内の画像を表示させた状態で [画像選択] を実行してください。

ご注意

- プロテクトされている画像は削除できません。
- [ビューモード] の設定や選択しているコンテンツによって、選べる項目が異なります。

関連項目

- [グループ表示](#)
- [削除ボタンを使う](#)
- [フォーマット](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

2度押しで削除

画像を再生中に （削除）ボタンを2度続けて押すことで画像を削除できるようにするかどうかを設定します。

1 MENU → （再生） → [削除] → [ 2度押しで削除] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

有効：

画像を再生中に （削除）ボタンを2度押すと画像を削除できる。

無効：

画像を再生中に （削除）ボタンを2度押しても画像は削除されない。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

削除確認画面

削除の確認画面で、[削除] と [キャンセル] のどちらが選択された状態にするかを設定します。

1 MENU →  (再生) → [削除] → [削除確認画面] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

「削除」が先：

[削除] が選択された状態にする。

「キャンセル」が先：

[キャンセル] が選択された状態にする。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

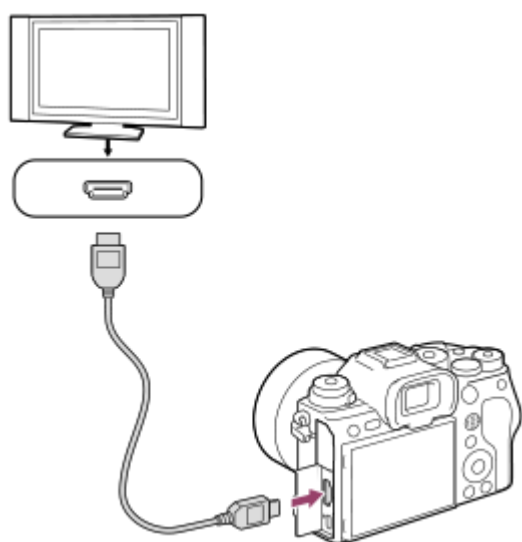
HDMIケーブルを使ってテレビで見る

本機の画像をテレビで見るには、HDMIケーブル（別売）とHDMI端子のあるテレビが必要です。詳しくは、対応テレビの取扱説明書をご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切る。

2 本機のHDMI端子とテレビのHDMI端子をHDMIケーブル（別売）で接続する。

本機側はHDMIタイプA端子、テレビ側はテレビの端子に合ったタイプのHDMIケーブルをお使いください。



3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする。

4 本機の電源を入れる。

撮影した画像がテレビに表示されます。

5 コントロールホイールの左/右で画像を選ぶ。

- 再生画面では本機のモニターは点灯しません。
- 再生画面になっていないときは、（再生）ボタンを押してください。

ブラビアリンク

ブラビアリンク（リンクメニュー対応）のテレビをご利用の場合、HDMIケーブル（別売）で接続すると、テレビに付属のリモコンで再生操作ができます。

1. 上記の手順で本機とテレビを接続し、MENU→（セットアップ）→ [外部出力] → [HDMI機器制御] → [入] を選ぶ。
2. テレビのリモコンのリンクメニューボタンを押し、好みのモードを選ぶ。
 - HDMIケーブルで本機とテレビを接続する場合、操作できる項目が制限されます。

- 2008年以降に発売されたブラビアリンク対応テレビで使用できます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 他社のテレビとHDMI接続する際、テレビのリモコン操作でカメラが不要な動きをする場合は、MENU→（セットアップ）→ [外部出力] → [HDMI機器制御] を [切] にしてください。

ヒント

- 本機はブラビア プレミアムフォトに対応しています。ブラビア プレミアムフォトに対応したソニー製テレビにHDMIケーブル（別売）またはUSBケーブルで接続すると、写真を今までになかった感動の高画質で快適にお楽しみいただけます。
- ブラビア プレミアムフォトとは、写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。

ご注意

- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- [Time Code出力] が [入] のときに、テレビや録画機器に正常に映像が出力されない場合があります。その場合は、[Time Code出力] を [切] にしてください。
- テレビに正しく画面が表示されない場合は、MENU→（セットアップ）→ [外部出力] → [ HDMI解像度] を接続するテレビに合わせて、[4320p/2160p]、[2160p]、[1080p] または [1080i] にしてください。
- HDMIケーブル（別売）を用いて、本機からソニー製のテレビに8K動画を適切に表示するには、テレビの画質設定を手動で変更する必要があります。撮影時の設定に応じてテレビの画質設定（ガンマやカラーモード）を変更してください。
- HDMI出力中に8K動画/4K動画/ハイビジョン画質（HD）を切り換えたり、異なるフレームレートやカラーモードの動画に切り換えたりすると、一時的に画面が暗くなることがありますが、故障ではありません。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

フォーマット

メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

① MENU→（撮影）→ [メディア] → [フォーマット] → 希望のメモリーカードスロットを選ぶ。

② [実行] を選ぶ。（クイックフォーマット）

- （削除）ボタンを押すと、フルフォーマットを行うメッセージが表示されます。[実行] を押すと、フルフォーマットが始まります。

クイックフォーマットとフルフォーマットの違い

フルフォーマットは、カードへの記録/読み出し速度が遅くなったと感じるときや、データを完全に消去するときなどに実行してください。

フルフォーマットは、メモリーカードの全領域を初期化するため、クイックフォーマットよりも時間がかかります。

ヒント

- 撮影画面でMENUボタン、（削除）ボタンの順に、2つのボタンを2秒程度同時に押し続けても、メモリーカードをフォーマットする画面を表示できます。
- フルフォーマット実行中に、途中でキャンセルすることができます。フルフォーマットを途中でキャンセルしても、データの消去は完了しています。そのままメモリーカードを使用できます。

ご注意

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報（M1～M4）も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。
- フォーマット中はアクセスランプが点灯します。点灯中はメモリーカードを抜かないでください。
- メモリーカードのフォーマットは、本機で行ってください。パソコンでメモリーカードのフォーマットを行うと、フォーマットの形式によってはメモリーカードが使えなくなることがあります。
- メモリーカードによっては、フォーマットに数分かかる場合があります。
- バッテリー残量が1%未満のときは、フォーマットできません。

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)
- [メモリーカードについてのご注意](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（静止画）

静止画を記録するメモリーカードのスロットを選びます。お買い上げ時は〔スロット 1〕に設定されています。設定を変えずに1枚だけ使用する場合は、スロット1を使用してください。

① MENU→（撮影）→〔メディア〕→〔 記録メディア設定〕→〔 記録メディア〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スロット 1：

静止画をスロット1のメモリーカードに記録する。

スロット 2：

静止画をスロット2のメモリーカードに記録する。

同時記録：

静止画をスロット1とスロット2のメモリーカードに同時に記録する。

振り分け：

ファイル形式や画像サイズの異なる静止画をそれぞれのスロットに振り分けて記録する。

静止画のファイル形式や画像サイズをスロットごとに設定してください。

関連項目

- [記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（動画）](#)
- [記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア自動切換](#)
- [再生するメモリーカードを選ぶ（再生メディア選択）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（動画）

動画を記録するメモリーカードのスロットを選びます。お買い上げ時は「スロット 1」に設定されています。設定を変えずに1枚だけ使用する場合は、スロット1を使用してください。

① MENU → （撮影） → [メディア] → [ 記録メディア設定] → [ 記録メディア] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スロット 1：

動画をスロット1のメモリーカードに記録する。

スロット 2：

動画をスロット2のメモリーカードに記録する。

同時記録：

動画をスロット1とスロット2のメモリーカードに同時に記録する。

関連項目

- [記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア（静止画）](#)
- [記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア自動切換](#)
- [再生するメモリーカードを選ぶ（再生メディア選択）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

記録メディア設定（静止画/動画）：記録メディア自動切換

記録中のメモリーカードの容量がいっぱいになったときやメモリーカードを入れ忘れたときに、もう一方のメモリーカードに画像を記録することができます。

- 1 MENU → （撮影） → [メディア] → [ 記録メディア設定] → [記録メディア自動切換] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
記録中のメモリーカードの容量がいっぱいになったときやメモリーカードを入れ忘れたときに、自動的にもう一方のメモリーカードに画像を記録する。

切：
[記録メディア自動切換] を行わない。

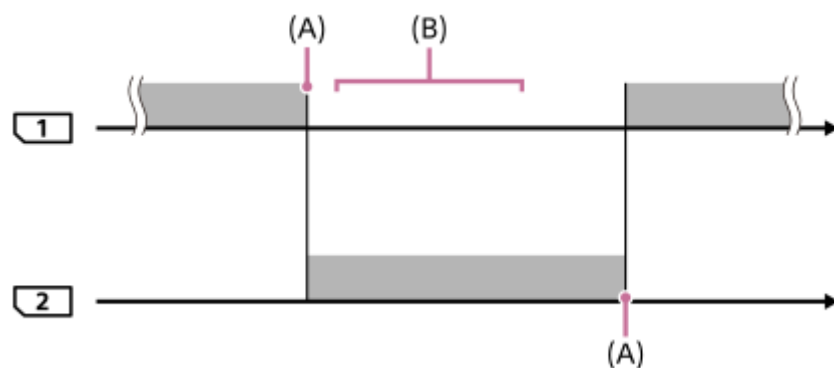
記録されるスロットの切り換わりかた

ひとつのメモリーカードに静止画と動画を記録しているとき：

記録中のメモリーカードに書き込みができない場合、[ 記録メディア] と [ 記録メディア] の設定が自動で切り換わり、もう一方のメモリーカードに書き込まれます。

切り換わったあとのメモリーカードがいっぱいになると、再びもう一方のスロットに切り換わります。

例：[ 記録メディア設定] で [ 記録メディア] と [ 記録メディア] を [スロット 1] に設定している場合



 : 画像が記録される

(A) : 書き込みができなくなる（容量不足など）

(B) : この間に記録可能なメモリーカードに交換する

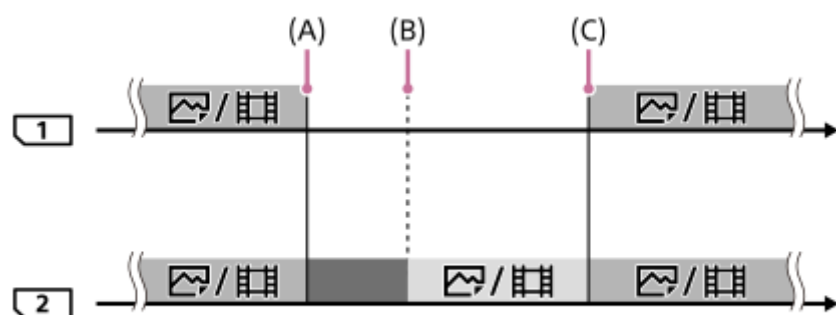
2つのメモリーカードに画像を同時記録しているとき：

- [ 記録メディア設定] の [ 記録メディア] または [ 記録メディア] を [同時記録] にしている場合

どちらか一方のメモリーカードがいっぱいになると、同時記録している画像の書き込みが停止しますが、いっぱいになったメモリーカードを抜くと、もう一方のメモリーカードに画像が記録されるようになります。

いっぱいになったメモリーカードを記録可能なメモリーカードに交換すると、元の設定どおりの同時記録が再開します。

例：[📷 記録メディア] と [💻 記録メディア] をともに [同時記録] にしている場合



■ : 同時記録可能

■ : 書き込み不可

■ : 同時記録不可

(A) : 書き込みができなくなる (容量不足など)

(B) : メモリーカードを取り出す

(C) : 記録可能なメモリーカードに交換する

- 動画撮影中は、記録中の撮影を終了するまでは、もう一方のメモリーカードに記録され続けます。

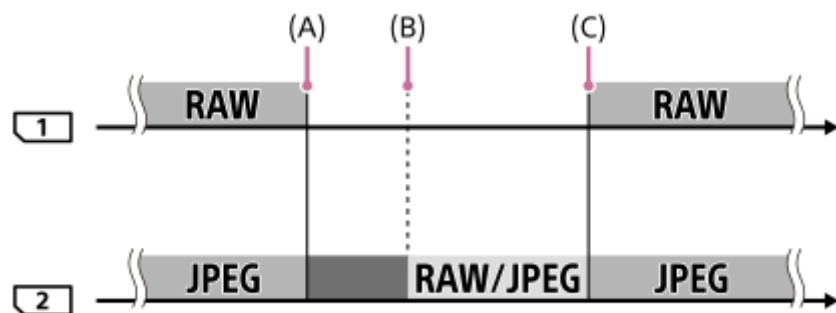
2つのメモリーカードにRAW画像とJPEGまたはHEIF画像を振り分け記録しているとき：

- [📷 記録メディア設定] の [📷 記録メディア] が [振り分け] のとき

どちらか一方のメモリーカードがいっぱいになると、画像の書き込みが停止しますが、いっぱいになったメモリーカードを抜くと、もう一方のメモリーカードにすべての画像が記録されるようになります。

いっぱいになったメモリーカードを記録可能なメモリーカードに交換すると、元の設定どおりの振り分け記録が再開します。

例：スロット1の [📷 ファイル形式] が [RAW]、スロット2の [📷 ファイル形式] が [JPEG] の場合



■ : 振り分け記録可能

■ : 静止画書き込み不可 (動画は記録できます)

■ : 振り分け記録不可

(A) : 書き込みができなくなる (容量不足など)

(B) : メモリーカードを取り出す

(C) : 記録可能なメモリーカードに交換する

- 動画撮影中は、記録中のメモリーカードがいっぱいになると、そのままもう一方のメモリーカードに記録され続けます。

- モニターのメモリーカードアイコンに矢印が表示されている方のスロットに画像が記録されます。〔記録メディア自動切換〕で記録先のスロットが切り換わったときは、元のスロットのメモリーカードを記録可能なメモリーカードに交換してください。
- ひとつのメモリーカードに静止画と動画を記録しているときは、スロットが切り換わると [ 記録メディア] と [ 記録メディア] の設定も自動で切り換わります。切り換わる前のスロットに記録したいときは、 [ 記録メディア] / [ 記録メディア] で希望のスロットを選び直してください。
- [ 記録メディア] と [ 記録メディア] の設定のとおり記録したい場合は、〔記録メディア自動切換〕を〔切〕に設定してください。

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)
- [動画の記録可能時間](#)
- [記録メディア設定（静止画/動画）](#)： [記録メディア（静止画）](#)
- [記録メディア設定（静止画/動画）](#)： [記録メディア（動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

記録フォルダー選択

〔ファイル/フォルダー設定〕の〔フォルダー形式〕が〔標準形式〕に設定されていて、フォルダーが2つ以上存在する場合、撮影した画像を保存するフォルダー（記録フォルダー）を選べます。

1 MENU → （撮影） → 〔ファイル〕 → 〔記録フォルダー選択〕 → 希望のフォルダーを選ぶ。

ご注意

- 〔ファイル/フォルダー設定〕の〔フォルダー形式〕が〔日付形式〕に設定されているときは、記録フォルダーの選択はできません。
- 2つのスロットに画像を記録するように設定されているときは、両方のメモリーカードの共通フォルダーしか選べないことがあります。共通フォルダーがない場合は、〔フォルダー新規作成〕で作成できます。

関連項目

- [ファイル/フォルダー設定](#)
- [フォルダー新規作成](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

フォルダー新規作成

メモリーカードの中に、静止画を記録するための新しいフォルダーを作成します。既存番号+1のフォルダーが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダーに記録されます。

1つのフォルダー番号に記録できる画像は最大4000枚です。容量を超えると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。

1 MENU→ (撮影) → [ファイル] → [フォルダー新規作成] を選ぶ。

ヒント

- フォルダー名末尾の5文字を設定できます。

ご注意

- 他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。
- 2つのスロットに画像を記録するように設定されているときは、両方のスロットに入っているメモリーカードの既存番号+1のフォルダーが両方のメモリーカードに作成されます。
- 2つのスロットに画像を記録するように設定して撮影すると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。
- [ファイル/フォルダー設定] の [フォルダー形式] を [日付形式] に設定しているときは、フォルダー名を変更することができません。

関連項目

- [ファイル/フォルダー設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

管理ファイル修復（静止画/動画）

パソコンでファイル进行操作したなどの原因で、画像を管理しているファイルに何らかの異常が発生すると、メモリーカード内の画像が再生できなくなります。そのような場合に管理ファイルの修復を行います。[ 管理ファイル修復]を実行しても、記録された画像は削除されません。

- 1 MENU → （撮影） → [メディア] → [ 管理ファイル修復] → 希望のメモリーカードスロット → [実行] を選ぶ。

ご注意

- 電池容量が極端に少ない場合は管理ファイル修復は実行できません。十分に充電したバッテリーをお使いください。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

メディア残量表示（静止画/動画）

メモリーカードに記録できる静止画の枚数と動画の時間を表示します。

① MENU → （撮影） → [メディア] → [ メディア残量表示] → 希望のカードスロットを選ぶ。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ファイル/フォルダー設定

撮影する静止画のフォルダーやファイル名に関する設定をします。

1 MENU →  (撮影) → **【ファイル】** → **【ファイル/フォルダー設定】** → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ファイル番号：

静止画のファイル番号の付けかたを設定する。

〔連番〕：フォルダーごとにファイル番号をリセットしない。

〔リセット〕：フォルダーごとにファイル番号をリセットする。

ファイル番号強制リセット：

静止画のファイル番号をリセットし、新しいフォルダーを作成する。

ファイル名設定：

ファイル名の先頭3文字を設定する。

フォルダー形式：

フォルダー名の付けかたを設定する。

〔標準形式〕：フォルダー名が、フォルダー番号+任意の5文字になる。例：100MSDCF

〔日付形式〕：フォルダー名が、フォルダー番号+年月日（西暦下1桁月日4桁）になる。

例：10010405（100フォルダー、2021年4月5日）

ヒント

- 〔ファイル番号〕と〔ファイル名設定〕の設定は、スロット1/スロット2の両方に適用されます。
- 〔ファイル番号〕を〔連番〕に設定していると、〔 記録メディア設定〕→〔 記録メディア〕の設定をスロット1/スロット2で入れ替えても、スロット間をまたいで連続したファイル番号が割り振られます。
- 〔フォルダー形式〕が〔標準形式〕のときのフォルダー名末尾の5文字は、〔フォルダー新規作成〕で設定できます。
- 〔ファイル番号強制リセット〕でも、フォルダー名末尾の5文字を設定できます。

ご注意

- 〔ファイル名設定〕で入力できるのは、大文字のアルファベット、数字、アンダーバーのみです。ただし、1文字目にアンダーバーは使用できません。
- 〔ファイル名設定〕で設定したファイル名3文字は、設定後に撮影した画像にのみ適用されます。

関連項目

- [フォルダー新規作成](#)
- [ファイル設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ファイル設定

撮影する動画のファイル名に関する設定をします。

① MENU →  (撮影) → [ファイル] → [ファイル設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ファイル番号：

動画のファイル番号の付けかたを設定する。

〔連番〕：メモリーカードを入れ替えても、ファイル番号がリセットされない。

〔リセット〕：メモリーカードを入れ替えると、ファイル番号がリセットされる。

連番カウンターリセット：

〔ファイル番号〕が〔連番〕のときに使用される、カメラ内に保持された連番カウンターをリセットする。

ファイル名形式：

動画のファイル名形式を設定する。

〔標準〕：ファイル名が、C+ファイル番号になる。例：C0001

〔タイトル〕：ファイル名が、タイトル+ファイル番号になる。

〔日付+タイトル〕：ファイル名が、日付+タイトル+ファイル番号になる。

〔タイトル+日付〕：ファイル名が、タイトル+日付+ファイル番号になる。

タイトル名設定：

〔ファイル名形式〕が〔タイトル〕、〔日付+タイトル〕、〔タイトル+日付〕のときのタイトルを設定する。

ヒント

- 〔ファイル番号〕と〔ファイル名形式〕の設定は、スロット1/スロット2の両方に適用されます。
- 〔ファイル番号〕を〔連番〕に設定していると、 記録メディア設定 →  記録メディア の設定をスロット1/スロット2で入れ替えても、スロット間をまたいで連続したファイル番号が割り振られます。

ご注意

- 〔タイトル名設定〕で入力できるのは、アルファベット、数字、記号です。37文字まで入力できます。
- 〔タイトル名設定〕で設定したタイトルは、設定後に記録した動画のみに適用されます。
- 動画のフォルダー形式は変更できません。
- SDHCメモリーカードを使用している場合は、〔ファイル名形式〕は〔標準〕に固定されます。
- 〔ファイル名形式〕を以下に設定して記録したメモリーカードを本機以外に挿入すると、正常に動作しないことがあります。
 - － 〔タイトル〕
 - － 〔日付+タイトル〕
 - － 〔タイトル+日付〕
- ファイル削除などにより未使用になったファイル番号があると、ファイル番号が9999になったあとに動画を記録した場合に、未使用の番号が付けられることがあります。

関連項目

- [ファイル/フォルダー設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

IPTC情報

静止画撮影時にIPTC情報*を書き込むことができます。あらかじめ、IPTC情報をIPTC Metadata Preset (<https://www.sony.net/ipdc/help/>) で作成・編集し、メモリーカードに書き出ししておいてください。

* IPTC情報とは、IPTC (International Press Telecommunications Council) によって策定された、デジタル画像に含まれるメタデータの標準規格です。

① MENU →  (撮影) → [ファイル] → [IPTC情報] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

IPTC情報の書き込み：

IPTC情報を静止画に書き込むかどうかを設定する。（[入] / [切]）

- [入] を選ぶと、撮影画面に **IPTC** (IPTC) が表示されます。

IPTC情報の登録：

メモリーカード内のIPTC情報を本機に登録する。IPTC情報を呼び出したいメモリーカードを[スロット 1]、[スロット 2] から選択する。

ヒント

- 再生時、IPTC情報が書き込まれた画像は画面に **IPTC** (IPTC) が表示されます。
- IPTC Metadata Presetの使いかたについて詳しくは、以下のサポートページをご覧ください。
<https://www.sony.net/ipdc/help/>

ご注意

- IPTC情報の登録を実行するたびに、すでに本機に登録されていた情報は上書きされます。
- 本機でIPTC情報の内容の確認、編集を行うことはできません。
- 本機に登録したIPTC情報を削除するには、初期化を行ってください。
- カメラを貸したり、譲渡したりするときは、初期化をおこない、IPTC情報を削除してください。

関連項目

- [設定リセット](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

著作権情報

静止画を撮影したとき、ファイルに著作権情報を書き込むことができます。

- 1 MENU →  (撮影) → [ファイル] → [著作権情報] → 希望の設定項目を選ぶ。
- 2 [撮影者名設定] または [著作権者名設定] を選ぶと画面にキーボードが表示されるので、希望の名前を入力する。
[撮影者名設定]、[著作権者名設定] に入力できるのは、アルファベット、数字、記号のみです。最大46文字入力できます。

メニュー項目の詳細

著作権情報書き込み：

静止画に著作権情報を書き込むかどうかを設定する。（[入] / [切]）

- [入] を選ぶと、撮影画面に © (Copyright) が表示されます。

撮影者名設定：

撮影者名を設定する。

著作権者名設定：

著作権者名を設定する。

著作権情報表示：

現在設定されている著作権情報を表示する。

ご注意

- 再生時、著作権情報が書き込まれた画像は、画面に © (Copyright) アイコンが表示されます。
- [著作権情報] の不正使用を未然に防ぐため、カメラを貸したり譲渡するときは、[撮影者名設定] と [著作権者名設定] 欄は必ず空欄にしてください。
- [著作権情報] の使用によってトラブルや損害が生じても、弊社では一切の責任を負いかねます。

関連項目

- [キーボード画面を使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

シリアル番号書き込み

静止画撮影時にカメラのシリアル番号をExif情報に書き込むことができます。

1 MENU →  (撮影) → [ファイル] → [シリアル番号書き込み] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

カメラのシリアル番号を画像のExif情報に書き込む。

切：

カメラのシリアル番号を画像のExif情報に書き込まない。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

スマートフォン接続

カメラとスマートフォンを接続するかどうかを設定します。

1 MENU →  (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [スマートフォン接続] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

カメラとスマートフォンを接続できる状態にする。

切：

カメラとスマートフォンを接続しない。

関連項目

- [NFCでワンタッチ接続する](#)
- [QRコードを使って接続する](#)
- [SSIDとパスワードを使って接続する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

接続（スマートフォン接続情報）

カメラとスマートフォンを接続するためのQRコードやSSIDを表示します。

- 1 MENU→（ネットワーク）→ [スマートフォン接続機能] → [ 接続] を選ぶ。

QRコードやSSIDが表示される。

- （削除）ボタンを押すと、QRコードとパスワードの表示を切り換えることができます。

関連項目

- [スマートフォン接続](#)
- [QRコードを使って接続する](#)
- [SSIDとパスワードを使って接続する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

常時接続（スマートフォン）

一度接続したスマートフォンを常に接続しておくかどうかを設定します。

① MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン接続機能]→[ 常時接続]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

一度スマートフォンと接続すると、カメラを操作することなくスマートフォンと接続される。

切：

スマートフォン接続を使いたいときに、スマートフォンとの接続を手動で行う。

ご注意

- [ 常時接続] を [入] にすると、[切] のときよりも電力の消費が大きくなります。

関連項目

- [スマートフォン接続](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Bluetoothリモコン

Bluetoothリモコン（別売）を使ってカメラを操作できます。本機対応のBluetoothリモコンについては専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

あらかじめ、MENU→（ネットワーク）→[Bluetooth]→[Bluetooth機能]を[入]に設定してください。Bluetoothリモコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- ① カメラで、MENU→（ネットワーク）→[転送/リモート]→[Bluetoothリモコン]→[入]を選ぶ。
 - カメラとペアリングしているBluetooth機器が1台もない場合は、ここで手順2のペアリング画面が表示されません。
- ② カメラで、MENU→（ネットワーク）→[Bluetooth]→[ペアリング]を選び、ペアリング画面を表示させる。
- ③ Bluetoothリモコン側でペアリング操作を行う。
 - 詳しい操作方法は、Bluetoothリモコンの取扱説明書をご覧ください。
- ④ カメラに表示されたBluetooth接続の確認画面で[確認]を選ぶ。
 - ペアリングが完了し、Bluetoothリモコンでカメラを操作できます。2回目以降は[Bluetoothリモコン]を[入]にするだけでカメラとBluetoothリモコンを接続できるようになります。

メニュー項目の詳細

入：

Bluetoothリモコンの操作を受け付ける。

切：

Bluetoothリモコンの操作を受け付けない。

ヒント

- Bluetoothリモコンは、Bluetoothリモコンからカメラを操作している間のみBluetooth接続されます。

ご注意

- カメラを初期化するとペアリング情報も削除されます。Bluetoothリモコンを使用する場合は、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、カメラとBluetoothリモコンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- [Bluetoothリモコン]が[入]の場合は、以下の機能を使用できません。
 - － スマートフォンとの位置情報連動機能
 - － 赤外線リモコン
 - － パワーセーブ機能
- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - － カメラが他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。

- カメラの [機内モード] が [切] になっていることを確認する。
- カメラの [ネットワーク設定リセット] を実行する。

関連項目

- [Bluetooth設定](#)
- [ネットワーク設定リセット](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

アクセスポイント簡単登録

Wi-Fi Protected Setup (WPS)ボタンがあるアクセスポイントの場合は、簡単にアクセスポイントを登録できます。お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの取扱説明書をご参照いただくか、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。

1 MENU →  (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [アクセスポイント簡単登録] を選ぶ。

2 登録したいアクセスポイントのWPSボタンを押す。

- アクセスポイントがAOSSとWi-Fi Protected Setup (WPS)の両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。

ご注意

- [アクセスポイント簡単登録] は、お使いのアクセスポイントのセキュリティがWPAもしくはWPA2に設定されていて、Wi-Fi Protected Setup (WPS)プッシュボタン方式に対応している必要があります。セキュリティがWEPに設定されている場合やWi-Fi Protected Setup (WPS)プッシュボタン方式に未対応の場合は、[アクセスポイント手動登録]を行ってください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかったり通信可能な距離が短くなることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。

関連項目

- [アクセスポイント手動登録](#)

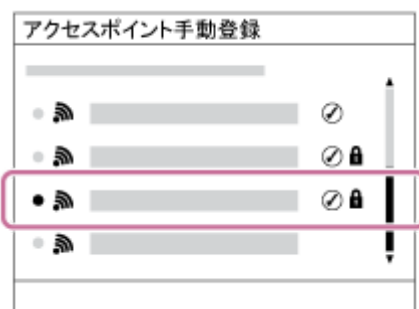
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

アクセスポイント手動登録

手動でアクセスポイントを登録できます。お手持ちのアクセスポイントのSSIDとセキュリティ方式、パスワードをあらかじめご確認ください。機器によってはあらかじめパスワードが設定されている場合があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。

① MENU →  (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [アクセスポイント手動登録] を選ぶ。

② 登録したいアクセスポイントを選ぶ。

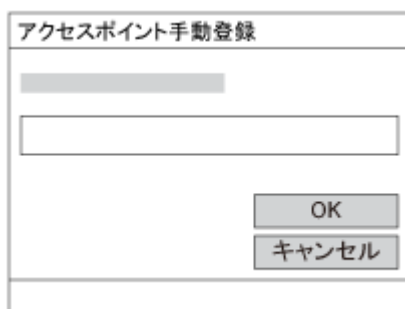


登録したいアクセスポイントが表示される場合：アクセスポイント名を選ぶ。

登録したいアクセスポイントが表示されない場合：[手動設定] を選び、アクセスポイントを設定する。

- [手動設定] を選択した場合は、アクセスポイントのSSID名を入力→セキュリティ方式を選択する。

③ パスワードを入力して、[OK] を選ぶ。



-  (鍵マーク) がないアクセスポイントは、パスワード入力が必要です。

④ [OK] を選ぶ。

その他の設定項目

アクセスポイントの状態や設定方法によっては、設定を決める項目が増えることがあります。

WPS PIN方式：

接続機器側に入力するPINコードを表示する。

優先接続：

[入] または [切] を選ぶ。

IPアドレス設定：

〔オート〕または〔マニュアル〕を選ぶ。

IPアドレス：

手動で入力する場合は、固定アドレスを入力する。

サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/プライマリーDNSサーバー / セカンダリーDNSサーバー：

〔IPアドレス設定〕を〔マニュアル〕とした場合、ネットワークの環境に合わせて入力する。

ご注意

- 登録したアクセスポイントに今後も優先的に接続したい場合は、〔優先接続〕を〔入〕に設定してください。

関連項目

- [アクセスポイント簡単登録](#)
- [キーボード画面を使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Wi-Fi周波数帯

Wi-Fi通信の周波数を設定します。[5GHz] は [2.4GHz] に比べて通信速度が速く安定した通信ができます。[Wi-Fi周波数帯] の設定は、スマートフォン転送、リモート撮影、またはWi-Fiダイレクト接続によるPCリモート機能に対して有効です。

1 MENU →  (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [Wi-Fi周波数帯] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

2.4GHz/5GHz

ご注意

- 同じSSID/暗号方式で2.4 GHzと5 GHzのアクセスポイントがある場合、電波強度の強い方のアクセスポイントのみが表示されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Wi-Fi情報表示

本機のWi-FiのMACアドレスやIPアドレスなどの情報が表示されます。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [Wi-Fi情報表示] を選ぶ。

ヒント

- MACアドレス以外の情報は、以下のときに表示されます。
 - [FTP転送機能] の [FTP機能] が [入] で、Wi-Fi接続が確立されているとき
 - [PCリモート機能] の [PCリモート] が [入]、[PCリモート接続方式] が [Wi-Fi アクセスポイント] で、Wi-Fi接続が確立されているとき

MACアドレスのQRコードを表示させるには

- 本機のMACアドレスをスマートフォンに取り込むことができます。以下のいずれかの方法で本機の画面にQRコードを表示させて、スマートフォン用アプリケーションTransfer & Tagging add-onでQRコードを読み取ってください。
 - 本機の電源を切った状態で、 (再生) ボタンを押しながら電源を入れる。
 - [Wi-Fi情報表示] 画面にして  (削除) ボタンを押す。

Transfer & Tagging add-onを使ってQRコードを読み取る方法について詳しくは、以下のサポートページをご覧ください。

<https://support.d-imaging.sony.co.jp/app/transfer/l/macaddress/index.php>

Transfer & Tagging add-onの提供は、一部の国や地域のみとなります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

SSID・PWリセット

本機はスマートフォンとの接続やPCとのWi-Fiダイレクト接続を行う際の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、接続情報をリセットしてください。

1 MENU→  (ネットワーク) → [Wi-Fi] → [SSID・PWリセット] → [確認] を選ぶ。

ご注意

- 接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。
- 接続情報のリセット後に再度本機とパソコンをWi-Fiダイレクト接続する場合は、パソコンの再設定が必要です。

関連項目

- [パソコンからカメラを操作する \(PCリモート機能\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

Bluetooth設定

カメラとスマートフォンまたはBluetoothリモコンをBluetooth接続するための設定をします。
位置情報連動機能のためにペアリングする場合は、「[位置情報](#)」をご覧ください。
Bluetoothリモコンを使うためにペアリングする場合は、「[Bluetoothリモコン](#)」をご覧ください。

1 MENU→ (ネットワーク) → [Bluetooth] →メニュー項目を選び、希望の設定にする。

メニュー項目の詳細

Bluetooth機能：

カメラのBluetooth機能を有効にするかどうかを設定する。（[入] / [切]）

ペアリング：

カメラとスマートフォンまたはBluetoothリモコンをペアリングする画面になる。

機器アドレス表示：

カメラのBDアドレスを表示する。

関連項目

- [位置情報](#)
- [Bluetoothリモコン](#)
- [電源OFF中の接続](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

有線LAN

有線LAN接続の設定をします。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [有線LAN] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

LAN IPアドレス設定：

有線LANのIPアドレス設定を自動で行うか、手動で行うかを設定する。（[オート] / [マニュアル]）

有線LAN情報表示：

本機の有線LANのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示する。

IPアドレス：

手動で入力する場合は、固定アドレスを入力する。

サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/プライマリーDNSサーバー /セカンダリーDNSサーバー：

[**LAN** IPアドレス設定] を [マニュアル] とした場合、ネットワークの環境に合わせて入力する。

ヒント

MACアドレスのQRコードを表示させるには

- 本機のMACアドレスをスマートフォンに取り込むことができます。以下のいずれかの方法で本機の画面にQRコードを表示させて、スマートフォン用アプリケーションTransfer & Tagging add-onでQRコードを読み取ってください。
 - 本機の電源を切った状態で、（再生）ボタンを押しながら電源を入れる。
 - [有線LAN情報表示] 画面にして （削除）ボタンを押す。

Transfer & Tagging add-onを使ってQRコードを読み取る方法については、以下のサポートページをご覧ください。

<https://support.d-imaging.sony.co.jp/app/transfer/l/macaddress/index.php>

Transfer & Tagging add-onの提供は、一部の国や地域のみとなります。

関連項目

- [キーボード画面を使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

機内モード

飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fiなど無線に関する機能の設定を一時的にすべて無効にできます。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [ネットワークオプション] → [機内モード] → 希望の設定を選ぶ。
設定を [入] にすると、モニターに飛行機マークが表示されます。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

機器名称変更

Wi-Fi DirectなどのWi-Fi接続時、[PCリモート] での接続時、Bluetooth接続時の機器名称を変更します。

- 1 MENU→ (ネットワーク) → [ネットワークオプション] → [機器名称変更] を選ぶ。
- 2 入力ボックスを選択して、機器名称を入力→ [OK] を選ぶ。

関連項目

- [アクセスポイント簡単登録](#)
- [アクセスポイント手動登録](#)
- [パソコンからカメラを操作する \(PCリモート機能\)](#)
- [キーボード画面を使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ルート証明書の読み込み

サーバーを検証するために必要なルート証明書をメモリーカードから読み込みます。FTP転送で暗号化通信するときに使用します。

詳しくは、FTPヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/di/ftp_2040/h_zz/

① MENU →  (ネットワーク) → [ネットワークオプション] → [ルート証明書の読み込み] を選ぶ。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

セキュリティ(IPsec)

有線LAN接続やWi-Fi接続時に、カメラとパソコン間の通信を暗号化します。

- 1 MENU →  (ネットワーク) → [ネットワークオプション] → [セキュリティ(IPsec)] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

IPsec :

[セキュリティ(IPsec)] 機能を使うかどうかを設定する。([入] / [切])

接続先のIPアドレス :

[セキュリティ(IPsec)] 機能で接続する機器のIPアドレスを設定する。

共有キー :

[セキュリティ(IPsec)] 機能で使用する共有キーを設定する。

ご注意

- [共有キー] には、英数字/記号で8文字以上20文字以下の文字列を設定してください。
- IPsec通信をするためには、接続先の機器がIPsecに対応している必要があります。
接続先の機器によっては通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。
- 本機のIPsecはトランスポートモードのみで、IKEv2を使用します。
使用しているアルゴリズムは、AES with 128-bit keys in CBC mode/Diffie-Hellman 3072-bit modp group/PRF-HMAC-SHA-256/HMAC-SHA-384-192です。
認証の有効期間は24時間です。
- 正しく設定した接続先の機器とのみ暗号通信が行われます。それ以外の機器との通信は暗号化されません。
- 詳しいIPsec設定は、お使いの機器のネットワーク管理者へお問い合わせください。

関連項目

- [キーボード画面を使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ネットワーク設定リセット

ネットワークに関する設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- 1 **MENU** →  (ネットワーク) → [ネットワークオプション] → [ネットワーク設定リセット] → [実行] を選ぶ。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

FTP転送機能

FTPサーバーを使った画像転送の設定やFTP転送を実行します。FTPサーバーに関する基本的な知識が必要です。
詳しくは、FTPヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/di/ftp_2040/h_zz/

① MENU →  (ネットワーク) → [転送/リモート] → [FTP転送機能] → 希望の設定を選ぶ。

関連項目

- [ルート証明書の読み込み](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

モニター明るさ

モニターの明るさを調整します。

1 MENU →  (セットアップ) → [ファインダー/モニター] → [モニター明るさ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

マニュアル :

−2 〜 +2 の範囲で明るさを選ぶ。

屋外晴天 :

屋外の使用に適した明るさに設定する。

ご注意

- 室内で [屋外晴天] にすると明るすぎるため、室内での使用時は [マニュアル] に設定してください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ファインダー明るさ

ファインダーを使用しているとき、周囲の明るさに合わせて、ファインダーの明るさを調整します。

1 MENU →  (セットアップ) → [ファインダー/モニター] → [ファインダー明るさ] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

自動調整する。

マニュアル：

-2～+2の範囲で明るさを選ぶ。

ご注意

- カメラの温度が高くなると、ファインダーが暗くなることがあります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ファインダー色温度

ファインダーの色温度を調整します。

① MENU →  (セットアップ) → [ファインダー/モニター] → [ファインダー色温度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

-2～+2 :

－側にすると暖色になり、＋側にすると寒色になる。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

ファインダー倍率

ファインダーの表示倍率を設定します。〔縮小〕を選ぶと視野角が狭くなるため、メガネをかけている場合などでも全体の構図を確認しやすくなります。

① MENU →  (セッティング) → [ファインダー/モニター] → [ファインダー倍率] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準：

標準のファインダー倍率に設定する。

縮小：

ファインダー倍率を小さくする。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ファインダーフレームレート（静止画）

静止画撮影時のファインダーのフレームレートを変更することで、被写体の動きをよりなめらかに表示することができます。動きの速い被写体を撮影するときに便利です。

1 MENU → （セットアップ） → [ファインダー/モニター] → [ ファインダーフレームレート] → 希望の設定を選ぶ。

- [ カスタムキー設定] で希望のキーにこの機能を割り当てることもできます。

メニュー項目の詳細

標準：

被写体を通常のフレームレートでファインダーに表示する。

高速：

被写体の動きをよりなめらかにファインダーに表示する。

より高速：

被写体の動きを [高速] よりもなめらかにファインダーに表示する。

ご注意

- [ ファインダーフレームレート] を [より高速] に設定すると、ファインダーの解像度が低くなり表示倍率が小さくなります。
- [ ファインダーフレームレート] を [高速] または [より高速] に設定すると、[表示画質] が [標準] に固定されます。
- [ ファインダーフレームレート] を [高速] や [より高速] に設定していても、撮影環境の温度や撮影状況によって、フレームレートが制限されることがあります
- 以下のときは、フレームレートが制限されます。
 - －再生時
 - －HDMI接続時
 - －カメラ内部の温度が高くなっているとき
 - －[シャッター方式] が [電子シャッター] または [オート] で、連続撮影を行っているとき

関連項目

- [よく使う機能をボタンに割り当てる（カスタムキー設定）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

モニター自動OFF（静止画）

静止画撮影時、自動でモニターを消灯するかどうかを設定します。

① MENU → （セットアップ） → [電源オプション] → [モニター自動OFF] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

しない：

モニターを消灯しない。

2秒/5秒/10秒：

何も操作しない状態から指定した秒数後にモニターを消灯する。
シャッターボタン半押しなどの操作をすれば、撮影を再開できます。

ご注意

- 長時間使わないときは、電源を「OFF」にしてください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

パワーセーブ開始時間

操作していないときにパワーセーブ（省電力）モードになるまでの時間を設定してバッテリーの消耗を防ぎます。シャッターボタン半押しなどの操作をすれば、撮影を再開できます。

① MENU →  (セットアップ) → [電源オプション] → [パワーセーブ開始時間] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切/30分/5分/2分/1分/10秒

ご注意

- 長時間使わないときは、電源を「OFF」にしてください。
- 以下のときなどはパワーセーブ機能は働きません。
 - － USB給電時
 - － スライドショー中
 - － FTP転送中
 - － 動画撮影時
 - － パソコンやテレビと接続しているとき
 - － [赤外線リモコン] が [入] のとき
 - － [Bluetoothリモコン] が [入] のとき

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

自動電源OFF温度

撮影時に本機の電源が自動で切れる温度を設定します。[高]に設定すると、本機の温度が高くなっても撮影することができます。

① MENU→ (セットアップ) → [電源オプション] → [自動電源OFF温度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準：

本機の電源が切れる温度を標準に設定する。

高：

本機の電源が切れる温度を標準より高めに設定する。

[自動電源OFF温度] が [高] のときのご注意

- 手持ちで撮影せずに三脚などをご使用ください。
- 手持ちで長時間ご使用になると低温やけどの原因となる可能性があります。

[自動電源OFF温度] が [高] のときの連続動画撮影時間

しばらく電源を切った状態から出荷時設定で撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

環境温度：25℃

連続動画撮影時間（HD）：約120分

連続動画撮影時間（4K）：約30分

連続動画撮影時間（8K）：約30分

環境温度：40℃

連続動画撮影時間（HD）：約90分

連続動画撮影時間（4K）：約10分

連続動画撮影時間（8K）：約20分

HD：XAVC S HD（60p 50M 4:2:0 8bit、Wi-Fi非接続時、CFexpress Type A メモリーカード使用時）

4K：XAVC S 4K（60p 150M 4:2:0 8bit、Wi-Fi非接続時、CFexpress Type A メモリーカード使用時）

8K：XAVC HS 8K（30p 200M 4:2:0 10bit、Wi-Fi非接続時、CFexpress Type A メモリーカード使用時）

ご注意

- [自動電源OFF温度] を [高] に設定しても、環境やカメラの温度によっては撮影可能時間が変わらないことがあります。

関連項目

- [動画の記録可能時間](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

表示画質

表示画質を変えることができます。

1 MENU →  (セットアップ) → [ファインダー/モニター] → [表示画質] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

高画質：

高画質で表示する。

標準：

標準の画質で表示する。

ご注意

- [高画質] に設定すると、[標準] に設定した場合よりもバッテリーの消費が多くなります。
- カメラの温度が高くなると、[標準] に固定されることがあります。
- [ ファインダーフレームレート] を [高速] または [より高速] に設定すると、[表示画質] が [標準] に固定されます。
- [表示画質] の設定値として「-」が表示されているときは設定値の確認や変更ができません。 [ ファインダーフレームレート] を [標準] に設定することで、[表示画質] の設定を変更できるようになります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

USB接続

接続するパソコンやUSB機器に合わせてUSB接続の方法を設定します。

あらかじめ、MENU →  (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [スマートフォン接続] を [切] に設定してください。

また、MENU →  (ネットワーク) → [転送/リモート] → [PCリモート機能] → [PCリモート接続方式] を [USB] に設定している場合は、[PCリモート機能] の [PCリモート] を [切] に設定してください。

1 MENU →  (セットアップ) → [USB] → [USB接続] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

接続するパソコンやその他USB機器に応じて、マスのストレージとMTPを自動で切り換える。

マスのストレージ：

本機とパソコン、その他USB機器と接続するときに使う。

MTP：

本機とパソコン、その他USB機器をMTP接続する。

- スロット1内のメモリーカードが対象になります。

ご注意

- [USB接続] を [オート] に設定しているときは、接続に時間がかかる場合があります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

USB LUN設定

USB接続の機能を制限して互換性を高めます。

1 MENU →  (セットアップ) → [USB] → [USB LUN設定] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

マルチ：

通常は [マルチ] のまま使う。

シングル：

どうしても接続できない場合のみ、 [シングル] にする。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

USB給電

本機とパソコン、またはUSB機器をUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定します。

① MENU→ (セットアップ) → [USB] → [USB給電] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

USB ケーブルでパソコンなどと接続したときに給電する。

切：

USBケーブルでパソコンなどと接続したときに給電しない。

USB給電時にできること

USB給電時に行える操作と行えない操作は、以下の通りです。
行える操作は○で、行えない操作は×で表しています。

操作	行える/行えない
撮影	○
再生	○
Wi-Fi/NFC/Bluetooth接続	○
バッテリーの充電	×
バッテリーを入れずにカメラの電源を入れる	×

ご注意

- USB給電を行うには、バッテリーをカメラに挿入してください。
- 本機は、マルチ/マイクロUSB端子からはUSB給電できません。USB Type-C端子をお使いください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

HDMI解像度

カメラをテレビやモニターなどとHDMIケーブル（別売）で接続する場合に、静止画撮影時または再生時にHDMI端子から出力する解像度を選びます。

1 MENU → （セットアップ） → 【外部出力】 → [ HDMI解像度] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

接続するテレビや出力機器の解像度をカメラが自動認識し、出力する解像度を決定する。

4320p/2160p：

4320p/2160pで出力する。

2160p：

2160pで出力する。

1080p：

HD画質（1080p）で出力する。

1080i：

HD画質（1080i）で出力する。

ご注意

- 【オート】で正しく画面が表示されない場合は、接続するテレビに合わせて、【1080i】、【1080p】、【2160p】または【4320p/2160p】を選んでください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

HDMI出力設定（動画）

動画撮影時にHDMI接続した外部録画再生機器などへ出力する映像と音声について設定します。
4K/8K動画やRAW動画の出力には、プレミアムハイスピードHDMIケーブル（別売）をご使用ください。

① MENU → （セットアップ） → 【外部出力】 → [ HDMI出力設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

HDMI出力時のメディア記録：

HDMI出力時に、カメラのメモリーカードに動画を記録をするかどうかを設定する。

〔入〕：カメラのメモリーカードに動画が記録され、HDMI接続した機器にも同時に出力される。出力される映像の色深度は、[ 動画設定] の〔記録設定〕に従う。

〔切(HDMIのみ)〕：カメラのメモリーカードには動画は記録されず、映像はHDMI接続した機器にのみ出力される。

出力解像度：

〔HDMI出力時のメディア記録〕が〔入〕で、〔RAW出力〕が〔切〕のときに、HDMI接続した他機に出力する映像の解像度を設定する。（〔オート〕 / 〔4320p/2160p〕 / 〔2160p〕 / 〔1080p〕 / 〔1080i〕）

4K出力設定(HDMIのみ)：

〔HDMI出力時のメディア記録〕が〔切(HDMIのみ)〕で、〔RAW出力〕が〔切〕のときに、HDMI接続した他機に出力する4K動画のフレームレートと色深度を設定する。（〔60p 10bit〕 / 〔30p 10bit〕 / 〔24p 10bit〕）

RAW出力：

HDMI接続したRAW対応機器にRAW動画を出力するかどうかを設定する。（〔入〕 / 〔切〕）

RAW出力設定：

HDMI接続したRAW対応機器にRAW動画を出力するときのフレームレートを設定する。（〔60p〕 / 〔30p〕 / 〔24p〕）

RAW出力時の色域設定：

HDMI接続したRAW対応機器にRAW動画を出力するときの色域を設定する。（〔S-Gamut3.Cine/S-log3〕 / 〔S-Gamut3/S-log3〕）

Time Code出力：

HDMI接続した他機にタイムコード、ユーザービットを出力するかどうかを設定する。（〔入〕 / 〔切〕）

タイムコード情報は、画面に出す映像としてではなくデジタルデータとして伝送され、接続先の機器がそのデータを参照することでタイムデータを知ることができる。

RECコントロール：

外部録画再生機器と接続時に、カメラの操作で外部録画再生機器の録画開始/停止を行うかどうかを設定する。（〔入〕 / 〔切〕）

4ch音声の出力：

音声を4チャンネルで収録する場合に、HDMI接続した他機に出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

〔CH1/CH2〕：L側（左）にチャンネル1の音声、R側（右）にチャンネル2の音声を出力する。

〔CH3/CH4〕：L側（左）にチャンネル3の音声、R側（右）にチャンネル4の音声を出力する。

ヒント

- 〔RECコントロール〕が〔入〕のときは、外部録画再生機器へ記録指示を出せる状態のときに  STBY（STBY）が、外部録画再生機器へ記録指示を出している状態のときに  REC（REC）が表示されます。
- 音声が4チャンネルで記録された動画をカメラのHDMI端子に接続した機器で再生する場合も、〔4ch音声の出力〕の設定で音声が出力されます。

ご注意

- RAW動画をカメラのメモリーカードに記録することはできません。

- [出力解像度] を [4320p/2160p] に設定しているときは、テレビへ8K出力が可能です。出力形式は4:2:0 8bitのみとなります。
- スロー&クイックモーション撮影時は、[HDMI出力時のメディア記録] は [入]、[RAW出力] は [切] に固定されます。4K動画をメモリーカードに記録せずHDMI接続した機器のみに出力すること、およびRAW動画の出力はできません。
- [HDMI出力時のメディア記録] が [切(HDMIのみ)] のとき、またはRAW動画を出力中は、[HDMI情報表示] は一時的に [なし] になります。
- [HDMI出力時のメディア記録] が [切(HDMIのみ)] のときは、外部録画再生機器に記録中はカメラのカウンター（動画の撮影実時間）は進みません。
- [RECコントロール] は、[RECコントロール] 機能に対応している外部録画再生機器で使用できます。
- [Time Code出力] が [切] のときは、[RECコントロール] は設定できません。
-  (REC) が表示されている場合でも、外部録画再生機器側の設定・状態により、外部録画再生機器が正しく動作しない場合がありますので、事前に動作確認をしてご使用ください。
- [Time Code出力] が [入] のときに、テレビや録画機器に正常に映像が出力されない場合があります。その場合は、[Time Code出力] を [切] にしてご使用ください。
- HDMI接続した他機に音声を4チャンネルで出力することはできません。
- RAW出力中はガンマがS-Log3に固定されます。
[ガンマ表示アシスト] を [入] に、[ガンマ表示アシスト方式] を [オート] または [S-Log3→709(800%)] に設定すると、通常のガンマと同等のコントラストを再現することができます。
- RAW動画を出力中は、 手ブレ補正 の [アクティブ] は使用できません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

HDMI情報表示

カメラをテレビやモニターなどとHDMIケーブル（別売）で接続したとき、画像情報をテレビなどに表示するかどうかを切り換えます。

① MENU → （セットアップ） → **【外部出力】** → **【HDMI情報表示】** → **希望の設定を選ぶ。**

メニュー項目の詳細

あり：

テレビに画像情報が表示される。

テレビにはカメラ映像および画像情報が表示されるが、本体のモニターには何も表示されない。

なし：

テレビに画像情報が表示されない。

テレビにはカメラ映像のみ表示され、本体のモニターにはカメラ映像および画像情報が表示される。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

HDMI機器制御

HDMIケーブル（別売）を使ってブラビアリンク対応テレビをつないだ場合に、テレビのリモコンをテレビに向けて、本機を操作できます。

- 1 MENU → （セットアップ） → [外部出力] → [HDMI機器制御] → 希望の設定を選ぶ。
- 2 ブラビアリンクに対応したテレビと本機を接続する。
テレビの入力が自動で切り替わり、本機の画像が表示される。
- 3 リモコンの「リンクメニュー」ボタンを押す。
- 4 リモコンのボタンで操作する。

メニュー項目の詳細

入：

テレビのリモコンで操作する。

切：

テレビのリモコンで操作しない。

ご注意

- HDMIケーブルで本機とテレビを接続する場合、操作できる項目が制限されます。
- 2008年以降に発売された「ブラビアリンク（リンクメニュー対応）」に対応したテレビで使用できます。また、リンクメニュー操作はお使いのテレビによって異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 他社のテレビとHDMI接続する場合、テレビのリモコン操作で本機が不要な動きをする場合は、[HDMI機器制御] を [切] にしてください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

エリア/日時設定

カメラを使用するエリア、サマータイムの有無、日付表示形式、日時を設定します。

エリア/日時設定画面は、初めて電源を入れたときや、内蔵バックアップ電池が消耗したときに自動で開きます。2回目以降に設定するとき、このメニューをお使いください。

1 MENU →  (セットアップ) → [エリア/日時] → [エリア/日時設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

エリア設定：

カメラを使用するエリアを設定する。

サマータイム：

サマータイムの [入] / [切] を選ぶ。日本国内で使用するときは、[切] を選ぶ。

日時：

日時を設定する。

表示形式：

日付表示順を選ぶ。

ヒント

- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時刻より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機でサマータイムを [入] にすると、時計が1時間進みます。
- 内蔵バックアップ電池を充電するには、カメラに充電されたバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。
- バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

関連項目

- [日付と時刻を設定する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

電子音

本機の電子音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU →  (セットアップ) → [サウンドオプション] → [電子音] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入:全て:

シャッターボタンを半押ししてピントが合ったときなどに操作音が鳴る。

入:シャッター音以外:

シャッターボタンを半押ししてピントが合ったときなどに操作音が鳴る。電子シャッター音は鳴らない。

入:シャッター音のみ:

電子シャッター音のみ鳴る。シャッターボタンを半押ししてピントが合ったときなどの操作音は鳴らない。

切:

操作音は鳴らない。

ヒント

- [サイレントモード] を [入] にすると、[電子音] は [切] に固定されます。

ご注意

- フォーカスモードが [コンティニュアスAF] の場合は、ピントが合ったときに電子音は鳴りません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

赤外線リモコン

赤外線リモコン（別売）を使ってカメラを操作できます。本機対応の赤外線リモコンについては専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

赤外線リモコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 MENU →  (セッティング) → [セッティングオプション] → [赤外線リモコン] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

赤外線リモコンの操作を受け付ける。

切：

赤外線リモコンの操作を受け付けない。

ご注意

- レンズやフードが赤外線リモコン受光部をさえぎり、受光を妨げることがあります。受光部をさえぎらない位置から操作してください。
- [赤外線リモコン] が [入] になっているときは、パワーセーブ機能が働きません。赤外線リモコン使用後は [切] にしてください。
- [Bluetoothリモコン] が [入] になっているときは、赤外線リモコンは使用できません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

アンチダスト機能

イメージセンサーにゴミやほこりがついたときにイメージセンサーをクリーニングします。また、ゴミやほこりがイメージセンサーに付着しにくくなるように、カメラの電源を切ったときにシャッターを閉じるかどうかを設定できます。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [セットアップオプション] → [アンチダスト機能] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

センサークリーニング：

イメージセンサーが短時間振動して、ゴミをふり落とす。必要に応じて、市販のプロワーなどでイメージセンサーを清掃できる。

電源OFF時のシャッター：

カメラの電源を切ったときにシャッターを閉じるかどうかを設定する。（[入] / [切]）

- [入] を選ぶと、カメラの電源が入っている状態でON/OFF（電源）スイッチを「OFF」にしたときに、シャッターが閉じます。なお、「OFF」にしてからシャッターが閉じるまで時間がかかることがあります。
また、ON/OFF（電源）スイッチを「ON」または「OFF」にする際にシャッター音がします。

ヒント

- ご自身でイメージセンサーをクリーニングするときは、[センサークリーニング] を実行するか、[電源OFF時のシャッター] を [切] に設定してください。

ご注意

- [電源OFF時のシャッター] を [入] にしているときは、レンズキャップを取り付けて保管してください。太陽光などの強い光源がカメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。レンズキャップを取り付けないと、画角から光源をわずかに外しても発煙や火災の原因となることがあります。
- 閉じているシャッターを指などで触ったり、プロアーによる清掃を行ったりしないでください。シャッターが破損する原因となることがあります。
- 水滴がシャッターに付着する可能性がある場合は、[電源OFF時のシャッター] を [切] に設定してください。[入] にしていると、水滴の付着により故障の原因となることがあります。
- バッテリー残量が （残量が3個）以上であることを確認して [センサークリーニング] を実行してください。
- [電源OFF時のシャッター] を [入] にしていても、パワーセーブ（省電力）モードやバッテリーの消耗により電源が切れた場合はシャッターは閉じません。その場合は、再度電源を入れてからON/OFF（電源）スイッチを「OFF」にすると、シャッターを閉じることができます。

関連項目

- [イメージセンサーをクリーニングする（センサークリーニング）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

オートピクセルマッピング

イメージセンサーの最適化（ピクセルマッピング）を自動で行うかどうかを設定します。通常は [入] に設定してください。

- ① MENU → （セットアップ） → [セットアップオプション] → [オートピクセルマッピング] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

定期的に、カメラの電源を切ったときにピクセルマッピングを自動で行う。
その際、シャッター音がします。

切：

ピクセルマッピングを自動で行わない。

ヒント

- [オートピクセルマッピング] を [切] に設定している場合は、定期的に [ピクセルマッピング] を行ってください。3日に1度程度の頻度で行うことをおすすめします。

ご注意

- [ピクセルマッピング] が定期的に行われないと、記録される画像に輝点が発生する可能性があります。

関連項目

- [ピクセルマッピング](#)
- [サイレントモード設定（静止画/動画）](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ピクセルマッピング

イメージセンサーの最適化（ピクセルマッピング）を手動で行います。［オートピクセルマッピング］を［切］に設定している場合は、下記の手順で定期的に［ピクセルマッピング］を行ってください。3日に1度程度の頻度で行うことをおすすめします。

1 MENU→（セットアップ）→［セットアップオプション］→［ピクセルマッピング］を選ぶ。

2 確認画面で［OK］を選ぶ。

ピクセルマッピングが実行される。

- ピクセルマッピング実行中はカメラを操作できません。
- ピクセルマッピングが終了すると、カメラが再起動します。

ヒント

- カメラのモニター上で、記録された画像に輝点が確認される場合は、すぐに［ピクセルマッピング］を行ってください。

ご注意

- バッテリー残量が少ないときはピクセルマッピングを実行できません。

関連項目

- [オートピクセルマッピング](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

バージョン表示

お手持ちのカメラのバージョンを表示します。本機のファームウェアのアップデートがリリースされたときなどに確認します。

ファームウェアアップデートに対応したレンズを装着すると、レンズのバージョンも表示されます。

ファームウェアアップデートに対応したマウントアダプターを装着すると、レンズの項目にマウントアダプターのバージョンも表示されます。

1 MENU →  (セットアップ) → [セットアップオプション] → [バージョン表示] を選ぶ。

ご注意

- バッテリー残量が  (残量が3個) 以上でないと、アップデートは行えません。十分に充電したバッテリーをお使いください。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

認証マーク表示

本機が対応している認証表示の一部を確認できます。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [セットアップオプション] → [認証マーク表示] を選ぶ。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

設定の保存/読込

本機の設定をメモリーカードに保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。同じ型名のほかのカメラの設定を読み込むこともできます。

① MENU →  (セットアップ) → [設定初期化/保存] → [設定の保存/読込] → 希望の項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

読み込み：

メモリーカードから設定ファイルを読み込んで本機に反映する。

保存：

現在の本機の設定をメモリーカードに保存する。

削除：

メモリーカードに保存された設定ファイルを削除する。

保存できない設定項目

以下の設定項目の設定値は、[設定の保存/読込]では保存することができません。（以下のリストには[ピント拡大]など設定値のないものは記載していません。）

(撮影)

IPTC情報

著作権情報

(露出/色)

外部フラッシュ設定

 ホワイトバランス：カスタム 1/カスタム 2/カスタム 3

AF_{MF} (フォーカス)

個人顔登録

(ネットワーク)

FTP転送機能 *

アクセスポイント簡単登録

アクセスポイント手動登録

Wi-Fi周波数帯

LAN IPアドレス設定

機器名称変更

ルート証明書の読み込み

セキュリティ(IPsec)

* [FTP転送機能] の設定項目の保存・読み込みは、MENU →  (ネットワーク) → [転送/リモート] → [FTP転送機能] → [FTP設定の保存/読込]で行うことができます。詳しくは、FTPヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/di/ftp_2040/h_zz/

(セットアップ)

エリア/日時設定

ご注意

- ひとつのメモリーカードに10個まで設定を保存できます。設定ファイルが10個保存されている場合は〔新規保存〕を行えません。〔削除〕で既存の設定ファイルを削除するか、既存の設定ファイルに上書きで保存してください。
- スロット1のメモリーカードが保存/読み込みの対象になります。保存先や読み込み先のスロットを変更することはできません。
- 型名が異なるカメラの設定を読み込むことはできません。
- 〔**MR** 撮影設定登録〕で登録した設定は本機能で保存できますが、モードダイヤルが1/2/3（**MR** 撮影設定呼び出し）になっていると設定できません。モードダイヤルを1/2/3以外の位置にしてから、操作してください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。 [設定リセット] を実行しても、画像は削除されません。

1 MENU →  (セットアップ) → [設定初期化/保存] → [設定リセット] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

撮影設定リセット：

主な撮影モードの設定のみを初期値に戻す。静止画撮影と動画撮影の両方の設定値が初期化される。

初期化：

カメラのすべての設定を初期化する。

ご注意

- 設定リセット中はバッテリーを抜かないでください。
- [ ピクチャープロファイル] で設定した値は、[撮影設定リセット]、[初期化] のいずれを行った場合もリセットされません。
- [静止画/動画独立設定] の [ピクチャープロファイル] のチェックマークは、[撮影設定リセット]、[初期化] のいずれを行った場合もリセットされません。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

スマートフォンでできること (Imaging Edge Mobile)

スマートフォン用アプリケーションImaging Edge Mobileを使って、スマートフォンからカメラを操作して画像を撮影したり、カメラで撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。

Imaging Edge Mobileは、お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

Imaging Edge Mobileの詳細は、Imaging Edge Mobileのサポートページ (<https://www.sony.net/iem/>) をご覧ください。

ご注意

- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

QRコードを使って接続する

QRコードを使ってカメラとスマートフォンを接続します。Androidスマートフォン、iPhone、iPadのいずれの場合も同じ操作で接続できます。

カメラとスマートフォンを接続するには、Imaging Edge Mobileが必要です。Imaging Edge Mobileはお使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

詳細は、Imaging Edge Mobileのサポートページ (<https://www.sony.net/iem/>) をご覧ください。

① カメラで、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [スマートフォン接続] → [入] を選ぶ。

② カメラで、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [ 接続] を選び、QRコードの画面を表示させる。



③ スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動して、[新しいカメラと接続する] を選ぶ。

④ スマートフォンの[カメラのQRコードで接続する]画面で、カメラに表示されているQRコードを読み取る。
QRコードが読み取られると、スマートフォンの画面に[カメラと接続しますか?]と表示される。

⑤ スマートフォンの画面で[OK]を選ぶ。

スマートフォンがカメラに接続される。

ヒント

- QRコードを読み込むと、本機のSSID (DIRECT-xxxx) とパスワードがスマートフォンに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にImaging Edge Mobileのカメラリストからカメラを選ぶだけで、カメラとスマートフォンを接続できるようになります。
([スマートフォン接続] を [入] にしておく必要があります。)

ご注意

- Bluetooth通信とWi-Fi (2.4 GHz) 通信は同じ周波数帯を使用するため、電波干渉が発生する場合があります。Wi-Fi接続が不安定な場合、スマートフォンのBluetooth機能を切ることによって改善される場合があります。ただし、この場合は位置情報連動機能は使えなくなります。
- NFCやQRコードを使ってもスマートフォンとカメラを接続できない場合は、SSIDとパスワードを使って接続してください。

関連項目

- [スマートフォンでできること（Imaging Edge Mobile）](#)
- [スマートフォンをリモコンとして使う](#)
- [カメラで選んで転送（スマートフォン転送）](#)
- [スマートフォン接続](#)
- [接続（スマートフォン接続情報）](#)
- [SSIDとパスワードを使って接続する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

SSIDとパスワードを使って接続する

NFCやQRコードを使ってカメラとスマートフォンを接続できないときに、SSIDとパスワードを使って接続します。Androidスマートフォン、iPhone、iPadのいずれの場合も同じ操作で接続できます。

カメラとスマートフォンを接続するには、Imaging Edge Mobileが必要です。Imaging Edge Mobileはお使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

詳細は、Imaging Edge Mobileのサポートページ (<https://www.sony.net/iem/>) をご覧ください。

- 1 カメラで、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [スマートフォン接続] → [入] を選ぶ。
- 2 カメラで、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [ 接続] を選び、QRコードの画面を表示させる。
- 3 カメラの  (削除) ボタンを押して、SSIDとパスワードの画面に切り換える。



- 4 スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動して、[新しいカメラと接続する] → [カメラのSSID/パスワードで接続する] を選ぶ。
- 5 カメラに表示されているパスワードを入力する。
スマートフォンがカメラに接続される。

ご注意

- Bluetooth通信とWi-Fi (2.4 GHz) 通信は同じ周波数帯を使用するため、電波干渉が発生する場合があります。Wi-Fi接続が不安定な場合、スマートフォンのBluetooth機能を切ることによって改善される場合があります。ただし、この場合は位置情報連動機能は使えなくなります。

関連項目

- [スマートフォンでできること \(Imaging Edge Mobile\)](#)
- [スマートフォンをリモコンとして使う](#)
- [カメラで選んで転送 \(スマートフォン転送\)](#)

- [スマートフォン接続](#)
- [接続（スマートフォン接続情報）](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

NFCでワンタッチ接続する

NFC機能搭載のスマートフォンとカメラをワンタッチで接続します。

カメラとスマートフォンを接続するには、Imaging Edge Mobileが必要です。Imaging Edge Mobileはお使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

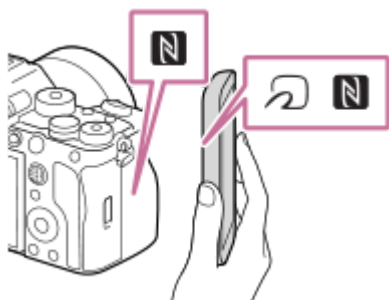
詳細は、Imaging Edge Mobileのサポートページ (<https://www.sony.net/iem/>) をご覧ください。

1 スマートフォンのNFC機能を有効にする。

- iPhoneをお使いの場合は、Imaging Edge Mobileを起動し、[新しいカメラと接続する] から [カメラとワンタッチ接続する (NFC)] を選んでください。

2 カメラで、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [スマートフォン接続] → [入] を選ぶ。

3 カメラの (Nマーク) とスマートフォンをタッチし続ける (1秒～2秒)。



スマートフォンがカメラに接続される。

-  (おサイフケータイ) マークがついているスマートフォンの一部はNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

NFCとは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。

- NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

ご注意

- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動し、カメラの  (Nマーク) の上でゆっくり動かす。
 - カメラやスマートフォンにケースを装着している場合は、ケースをはずす。
 - スマートフォンのNFC機能が有効になっていることを確認する。
- Bluetooth通信とWi-Fi (2.4 GHz) 通信は同じ周波数帯を使用するため、電波干渉が発生する場合があります。Wi-Fi接続が不安定な場合、スマートフォンのBluetooth機能を切ることで改善される場合があります。ただし、この場合は位置情報連動機能は使えなくなります。

- [機内モード] が [入] のときは接続できません。[機内モード] を [切] にしてください。

関連項目

- [スマートフォンでできること \(Imaging Edge Mobile\)](#)
- [スマートフォンをリモコンとして使う](#)
- [カメラで選んで転送 \(スマートフォン転送\)](#)
- [スマートフォン接続](#)
- [QRコードを使って接続する](#)
- [SSIDとパスワードを使って接続する](#)
- [機内モード](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

スマートフォンをリモコンとして使う

Imaging Edge Mobileを使うと、カメラの撮影範囲をスマートフォンの画面で確認しながら画像を撮影できます。このページの最後に記載している「関連項目」を参照して、カメラとスマートフォンを接続してください。スマートフォンから操作できる機能の詳細は、Imaging Edge Mobileのサポートページ (<https://www.sony.net/iem/>) をご覧ください。

関連項目

- [QRコードを使って接続する](#)
- [SSIDとパスワードを使って接続する](#)
- [NFCでワンタッチ接続する](#)
- [リモート撮影設定 \(スマートフォン\)](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

リモート撮影設定（スマートフォン）

スマートフォンを使ったリモート撮影時に保存される画像について設定します。

- 1 MENU → （ネットワーク） → [スマートフォン接続機能] → [ リモート撮影設定] → 希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

静止画の保存先：

リモート撮影中にカメラ本体側にも静止画を保存するかどうか設定する。（[スマートフォンのみ] / [スマートフォン+カメラ本体] / [カメラ本体のみ]）

保存画像のサイズ：

[静止画の保存先] が [スマートフォン+カメラ本体] のときに、スマートフォンにオリジナルサイズのJPEG/HEIF画像を転送するか、2M相当のJPEG/HEIF画像を転送するかを設定する。（[オリジナル] / [2M]）

RAW+J時の保存画像：

[静止画の保存先] が [スマートフォン+カメラ本体] のときに、スマートフォンに転送する画像ファイルを設定する。（[RAW+JPEG] / [JPEGのみ] / [RAWのみ]）

RAW+H時の保存画像：

[静止画の保存先] が [スマートフォン+カメラ本体] のときに、スマートフォンに転送する画像ファイルを設定する。（[RAW+HEIF] / [HEIFのみ] / [RAWのみ]）

保存するJPEGサイズ/ 保存するHEIFサイズ：

[静止画の保存先] が [スマートフォン+カメラ本体] のときに、スマートフォンに保存する画像のサイズを設定する。（[大きいサイズ] / [小さいサイズ]）

ご注意

- 記録できないメモリーカードをカメラに挿入しているときは、[カメラ本体のみ] または [スマートフォン+カメラ本体] を選んでも静止画を撮影できません。
- [静止画の保存先] で [カメラ本体のみ] または [スマートフォン+カメラ本体] 選択時、カメラにメモリーカードが挿入されていない場合は、[カードなしリリース] が [許可] になっていてもシャッターは切れません。
- カメラ側で静止画を再生している間は、スマートフォンによるリモート撮影はできません。
- [ RAW+J時の保存画像] と [ RAW+H時の保存画像] は、[画質/画像サイズ設定] の [ ファイル形式] の設定がそれぞれ [RAW+JPEG]、[RAW+HEIF] のときのみ設定できます。

関連項目

- [スマートフォンをリモコンとして使う](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

カメラで選んで転送（スマートフォン転送）

カメラで画像を選択してスマートフォンに転送できます。
ここではカメラで表示中の画像を転送する手順を説明します。

- 1 MENU→（ネットワーク）→ [スマートフォン接続機能] → [ カメラで選んで転送] → [転送画像サイズ]、[RAW+J/H転送対象]、[ Px 転送対象] で希望の設定を選ぶ。

- 2 再生画面で転送したい画像を表示させる。

- 3 MENU→（ネットワーク）→ [スマートフォン接続機能] → [ カメラで選んで転送] → [ 転送] → [この画像] を選ぶ。

カメラの画面にQRコードが表示される。



- （スマートフォン転送）ボタンを押しても、[ 転送] の画面を表示できます。

- 4 スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動して、[新しいカメラと接続する] を選ぶ。

- 5 スマートフォンの [カメラのQRコードで接続する] 画面で、カメラに表示されているQRコードを読み取る。
QRコードが読み取られると、スマートフォンの画面に [カメラと接続しますか?] と表示される。

- 6 スマートフォンの画面で [OK] を選ぶ。

カメラとスマートフォンが接続され、画像がスマートフォンに転送される。

- [ 転送] で [この画像] 以外を選ぶと、複数の画像をまとめて転送することもできます。

メニュー項目の詳細

転送：

転送対象を選択して、スマートフォンに画像を転送する。（ [この画像] / [このグループの全画像] / [この日付の全画像] / [この日付の全画像()] / [この日付の全画像()] / [画像選択] ）

- カメラで選択しているビューモードによって、表示される選択肢が変わることがあります。
- [画像選択] の場合は、コントロールホイールの中央を押して画像を選択後、MENU→[実行] を選ぶ。

転送画像サイズ：

スマートフォンにオリジナルサイズのJPEG/HEIF画像を転送するか、2M相当のJPEG/HEIF画像を転送するかを設定する。（[オリジナル] / [2M]）

RAW+J/H転送対象：

〔画質/画像サイズ設定〕の〔ファイル形式〕が〔RAW+JPEG〕または〔RAW+HEIF〕で撮影された画像のときに、スマートフォンに転送する画像ファイルを設定する。（〔JPEGとHEIF〕 / 〔RAW〕 / 〔RAW+JとRAW+H〕）

Px 転送対象：

動画を転送するときに、低ビットレートのプロキシー動画と高ビットレートのオリジナル動画のどちらを転送するかを設定する。（〔プロキシーのみ〕 / 〔オリジナルのみ〕 / 〔プロキシー+オリジナル〕）

ヒント

- QRコード以外の接続方法については、このページの最後に記載している「関連項目」を参照してください。

ご注意

- スマートフォンによっては、動画を滑らかに再生できなかったり音声が出ないなど、正しく再生できない場合があります。
- 静止画/動画/スローモーション動画/クイックモーション動画の形式によっては、スマートフォンで再生できないことがあります。
- 本機は画像転送のための接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、MENU→（ネットワーク）→〔Wi-Fi〕→〔SSID・PWリセット〕で接続情報をリセットしてください。リセット後は、スマートフォンの再設定が必要です。
- 〔機内モード〕が〔入〕のときは接続できません。〔機内モード〕を〔切〕にしてください。

関連項目

- [QRコードを使って接続する](#)
- [SSIDとパスワードを使って接続する](#)
- [NFCでワンタッチ接続する](#)
- [機内モード](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

電源OFF中の接続

カメラの電源OFF中に、スマートフォンからのBluetooth接続を受け付けるかどうかを設定します。〔入〕にしておくと、メモリーカード内の画像を閲覧したり、カメラから画像を転送したりできます。

① MENU →  (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [電源OFF中の接続] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

カメラの電源OFF中に、スマートフォンからのBluetooth接続を受け付ける。

電源OFF中にも少しずつバッテリーを消耗します。機能を使わない時は〔切〕にしてください。

切：

カメラの電源OFF中に、スマートフォンからのBluetooth接続を受け付けない。

画像を閲覧/転送するには

【事前準備】

1. カメラで、MENU →  (ネットワーク) → [Bluetooth] → [Bluetooth機能] を〔入〕にする。
2. MENU →  (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [電源OFF中の接続] を〔入〕にする。
3. MENU →  (ネットワーク) → [Bluetooth] → [ペアリング] を選び、ペアリング画面を表示させる。
4. スマートフォンでImaging Edge Mobileを立ち上げ、「カメラのリモート電源ON/OFF」画面から接続するカメラを選んでペアリングする。

【操作】

1. カメラの電源をOFFにする。
2. Imaging Edge Mobileで〔カメラのリモート電源ON/OFF〕を選ぶ。
3. [リモート電源ON/OFF] 画面でカメラを選んで電源をONにする。
 - 電源がONになると、電源マークが緑色になります。
4. 機能選択画面で〔カメラ内画像の取り込み〕 ボタンを選ぶ。
 - カメラのメモリーカードに保存されている画像を閲覧/転送できる状態になります。

ご注意

- 一定時間スマートフォンを操作しないと、Bluetooth接続は解除されます。再度スマートフォンで〔カメラのリモート電源ON/OFF〕を選んでください。
- カメラの電源を入るとカメラは撮影画面になり、スマートフォンとの接続が終了します。

関連項目

- [スマートフォンでできること \(Imaging Edge Mobile\)](#)
- [カメラで選んで転送 \(スマートフォン転送\)](#)
- [Bluetooth設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

位置情報

Imaging Edge Mobileを使って、Bluetooth通信で接続しているスマートフォンから位置情報を取得して、画像撮影時に位置情報を記録します。

事前準備

カメラの位置情報連動機能を使用するためには、Imaging Edge Mobileが必要です。
Imaging Edge Mobileのトップ画面に「位置情報連動」が表示されていない場合は、下記の事前準備が必要となります。

1. お使いのスマートフォンにImaging Edge Mobileをインストールする。
 - Imaging Edge Mobileは、お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
2. カメラの「 接続」を使って、あらかじめカメラとスマートフォンを接続する。
 - カメラとスマートフォンを接続すると、Imaging Edge Mobileのトップ画面に「位置情報連動」が表示されるようになります。

実際の操作

 : スマートフォンでの操作

 : カメラでの操作

1.  : スマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
 - このとき、スマートフォンの設定画面ではBluetooth機能のペアリング操作を行わないでください。手順2～7で、カメラとImaging Edge Mobileを使ってペアリング操作を行います。
 - 手順1でペアリングを行ってしまった場合は、スマートフォンの設定画面でペアリングを一度解除し、カメラとImaging Edge Mobileを使ってペアリング操作を行ってください（手順2～7）。
2.  : カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth] → [Bluetooth機能] → [入] を選ぶ。
3.  : カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [Bluetooth] → [ペアリング] を選ぶ。
4.  : スマートフォンでImaging Edge Mobileを起動して、「位置情報連動」をタップする。
 - 「位置情報連動」が表示されていない場合は、事前準備を参照してください。
5.  : Imaging Edge Mobileの「位置情報連動」の設定画面で「位置情報連動」を有効にする。
6.  : Imaging Edge Mobileの「位置情報連動」の設定画面で指示に従って操作し、一覧からカメラを選ぶ。
7.  : カメラの画面にメッセージが表示されるので、「確認」を選択する。
 - カメラとImaging Edge Mobileのペアリングが完了します。
8.  : カメラで、MENU→（ネットワーク）→ [位置情報] → [位置情報連動] を [入] にする。

- カメラに （位置情報取得アイコン）が表示され、スマートフォンがGPSなどで取得した位置情報が撮影時に記録されます。

メニュー項目の詳細

位置情報連動：

スマートフォンと連動して位置情報を取得するかどうかを設定する。

自動時刻補正：

スマートフォンと連動した情報を使って、カメラの日時設定を自動で補正するかどうかを設定する。

自動エリア補正：

スマートフォンと連動した情報を使って、カメラのエリア設定を自動で補正するかどうかを設定する。

位置情報取得時のアイコンについて

（位置情報取得）：位置情報を取得できています。

（位置情報取得無効）：位置情報を取得できません。

（Bluetooth接続中）：スマートフォンとBluetooth接続されています。

（Bluetooth未接続）：スマートフォンとBluetooth接続されていません。

ヒント

- スマートフォンの画面がOFFの場合でも、Imaging Edge Mobileが起動していれば位置情報連動します。ただし、カメラの電源がしばらく切れていた場合、電源を入れても位置情報がすぐには連動しないことがあります。このようなときは、スマートフォンでImaging Edge Mobileの画面を表示させるとすぐに位置情報が連動します。
- スマートフォンの再起動後などImaging Edge Mobileが動作していない場合は、Imaging Edge Mobileを起動すると位置情報連動が再開します。
- 位置情報連動機能が正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - スマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
 - カメラが他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
 - カメラの【機内モード】が【切】になっていることを確認する。
 - Imaging Edge Mobileに登録されているカメラのペアリング情報を削除する。
 - スマートフォンのBluetooth設定に登録されているカメラのペアリング情報を削除する。
 - カメラの【ネットワーク設定リセット】を実行する。
- さらに詳しい説明は、以下のサポートページをご覧ください。
<https://www.sony.net/iem/btg/>

ご注意

- カメラを初期化するとペアリング情報も削除されます。再度ペアリングするには、スマートフォンのBluetooth設定に登録されているカメラのペアリング情報とImaging Edge Mobileに登録されているカメラのペアリング情報を削除してから、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth接続が切断されたときなど位置情報が取得できない場合、位置情報が記録されないことがあります。
- カメラはBluetooth機器を15台までペアリングできますが、同時に位置情報連動できるスマートフォンは1台のみです。ほかのスマートフォンと位置情報連動をする場合は、連動中のスマートフォンのImaging Edge Mobileの【位置情報連動】をオフにしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、カメラとスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- カメラとスマートフォンのペアリングは、必ずImaging Edge Mobileの【位置情報連動】メニューから行ってください。
- 位置情報連動機能を使用する場合は、【Bluetoothリモコン】を【切】にしてください。
- 使用する環境によっては、Bluetooth機能とWi-Fi機能の通信距離が異なることがあります。

対応するスマートフォン

最新の情報はサポートページでご確認ください。

<https://www.sony.net/iem/>

- お使いのスマートフォンが対応しているBluetooth規格のバージョンは、スマートフォンの製品サイトでご確認ください。

関連項目

- [スマートフォンでできること \(Imaging Edge Mobile\)](#)
- [Bluetooth設定](#)
- [Bluetoothリモコン](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

パソコンの推奨環境

ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認ください。

<https://www.sony.net/pcenv/>

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

カメラとパソコンを接続する

- 1 十分に充電したバッテリーをカメラに入れる。
- 2 カメラとパソコンの電源を入れる。
- 3  (セットアップ) → [USB] → [USB接続] を [マスメストレージ] に設定する。
- 4 カメラのUSB Type-C端子とパソコンをUSBケーブルで接続する。
 - 初回接続時のみ、パソコンがカメラを認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。
 - [USB給電] が [入] になっているとき、パソコンとカメラをUSBケーブルでつなぐとパソコンから給電が始まります。(初期設定は [入] です。)
 - USBケーブルは、付属のケーブルまたはUSB規格に準拠したケーブルをお使いください。
 - SuperSpeed USB 10Gbps (USB 3.2) に対応したパソコンと付属のUSBケーブルをお使いいただくことで、より高速な通信を行うことができます。

ご注意

- カメラをUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。カメラが正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンからカメラを取りはずしてから行ってください。

関連項目

- [本体側面](#)
- [USB接続](#)
- [USB LUN設定](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

パソコンからカメラを取りはずす

パソコンからカメラを取りはずすときは、あらかじめパソコン側で以下の手順を行ってください。

1 タスクトレイの  (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す) をクリックする。

2 表示されたメッセージをクリックする。

上記の手順が完了したら、以下の操作が可能です。

- USBケーブルを抜く。
- メモリーカードを取り出す。
- カメラの電源を切る。

ご注意

- Mac使用時は、あらかじめメモリーカード、またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。
- お使いのパソコンによっては、切断アイコンが出ない場合があります。その場合は前記の手順を行わずに切断できます。
- アクセスランプが点灯しているときは、USBケーブルを抜かないでください。データが壊れることがあります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

パソコン用ソフトウェアの紹介 (Imaging Edge Desktop/Catalyst)

Imaging Edge Desktop

Imaging Edge Desktopは、パソコンからカメラを操作するリモート撮影や、カメラで撮影したRAW画像の調整・現像などの機能を含む、ソフトウェアシリーズです。

詳しい使いかたは、Imaging Edge Desktopのサポートページをご覧ください。

<https://www.sony.net/disoft/help/>

Imaging Edge Desktopをパソコンにインストールするには

以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

<https://www.sony.net/disoft/d/>

Catalyst Browse (無償) /Catalyst Prepare (有償)

クリッププレビューのためのソフトウェアです。Catalyst Browseを使って撮影したXAVC S、XAVC HSクリップのプレビューやメタデータの確認や編集、メタデータを使った手振れ補正*、カラー補正、ローカルハードディスクへのコピー、さまざまな形式へのトランスコードなどが可能です。

Catalyst Prepareは、Catalyst Browseの機能に加えて、ビンによるクリップ管理やストーリーボードを使った簡単なタイムライン編集などを行うことができます。

* 手振れ補正機能を利用するための条件は、サポートページをご確認ください。

Catalyst Browse/Catalyst Prepareをパソコンにインストールするには

以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

<https://www.sony.net/disoft/>

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

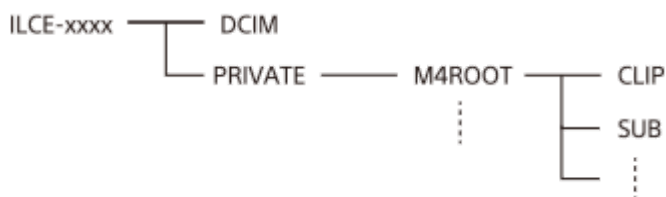
パソコンに画像を取り込む

USBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続したり、カメラのメモリーカードをパソコンに入れることで、撮影した画像をパソコンに取り込むことができます。

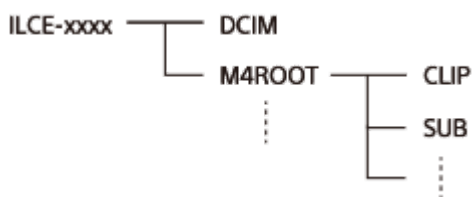
パソコンの画面で取り込みたい画像の入ったフォルダーを開いて、画像ファイルをパソコン内にコピーしてください。

例：マストストレージでUSB接続している場合のフォルダー構造

- SDカード



- CFexpress Type Aメモリーカード



DCIM: 静止画

CLIP: 動画

SUB : プロキシ動画

ご注意

- カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンからカメラの動画ファイルやフォルダーを操作した場合、動画ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。パソコンからカメラのメモリーカード上の動画を削除しないでください。このような操作をした結果に対し、当社は責任を負いかねます。
- カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンからカメラの画像の削除などを行うと、管理ファイルに不整合が発生する場合があります。管理ファイルの修復を行ってください。
- MTP接続している場合、フォルダー構造の見え方は上記とは異なります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

パソコンからカメラを操作する (PCリモート機能)

Wi-FiやUSB接続などを使って、パソコンからカメラを操作したり、撮影した画像をパソコンに保存したりできます。あらかじめ、MENU→ (ネットワーク) → [スマートフォン接続機能] → [スマートフォン接続] を [切] に設定してください。

1 MENU→ (ネットワーク) → [転送/リモート] → [PCリモート機能] → 設定したい項目を選択し、希望の設定を選ぶ。

2 カメラとパソコンを接続して、パソコンでImaging Edge Desktop (Remote) を起動する。

Imaging Edge Desktop (Remote) を使ってカメラを操作できるようになる。

- カメラとパソコンの接続方法は、[PCリモート接続方式] の設定によって異なります。

メニュー項目の詳細

PCリモート :

PCリモート機能を使用するかどうかを設定する。 ([入] / [切])

PCリモート接続方式 :

PCリモート時の接続方式を設定する。 ([USB] / [有線LAN] / [Wi-Fi Direct] / [Wi-Fi アクセスポイント])

ペアリングなし接続 :

[PCリモート接続方式] が [有線LAN] または [Wi-Fi アクセスポイント] のとき、カメラとパソコンのペアリングをせずに接続するかどうかを選ぶ。 ([許可] / [禁止])

ペアリング :

[PCリモート接続方式] が [有線LAN] または [Wi-Fi アクセスポイント] のときにカメラとパソコンをペアリングする。

Wi-Fi Direct情報 :

[PCリモート接続方式] が [Wi-Fi Direct] のときにパソコンからカメラに接続するための情報を表示する。

静止画の保存先 :

PCリモート撮影中にカメラ本体側にも静止画を保存するかどうかを設定する。 ([PCのみ] / [PC+カメラ本体] / [カメラ本体のみ])

PC保存画像のサイズ :

[静止画の保存先] が [PC+カメラ本体] のときに、パソコンにオリジナルサイズのJPEG/HEIF画像を転送するか、2M相当のJPEG/HEIF画像を転送するかを設定する。 ([オリジナル] / [2M])

RAW+J時のPC保存画像 :

[静止画の保存先] が [PC+カメラ本体] のときに、パソコンに転送する画像ファイルを設定します。
([RAW+JPEG] / [JPEGのみ] / [RAWのみ])

RAW+H時のPC保存画像 :

[静止画の保存先] が [PC+カメラ本体] のときに、パソコンに転送する画像ファイルを設定します。
([RAW+HEIF] / [HEIFのみ] / [RAWのみ])

PC保存するJPEGサイズ/PC保存するHEIFサイズ :

[静止画の保存先] が [PC+カメラ本体] のときに、パソコンに保存する画像のサイズを設定する。 ([大きいサイズ] / [小さいサイズ])

カメラとパソコンの接続方法

【PCリモート接続方式】が【USB】のとき

カメラのUSB Type-C端子とパソコンをUSBケーブルで接続します。

【PCリモート接続方式】が【有線LAN】のとき

市販のLANケーブルを使ってカメラをパソコンやスイッチングハブに接続します。【ペアリングなし接続】が【禁止】の場合は、カメラとパソコンのペアリングが必要です。

カメラとパソコンまたはスイッチングハブをLANケーブルで接続し、カメラでMENU→（ネットワーク）→【PCリモート機能】→【ペアリング】を選んでから、パソコンのImaging Edge Desktop（Remote）でカメラとのペアリング操作を行います。カメラの画面に表示されるペアリング確認画面で【OK】を選ぶと、ペアリングが完了します。

- カメラを初期化するとペアリング情報も削除されます。

【PCリモート接続方式】が【Wi-Fi Direct】のとき

カメラをアクセスポイントとして、パソコンからカメラに直接Wi-Fiで接続します。

MENU→（ネットワーク）→【転送/リモート】→【PCリモート機能】→【Wi-Fi Direct情報】を選んで、カメラのWi-Fi接続情報（SSIDとパスワード）を表示させます。表示されたWi-Fi接続情報を使って、パソコンからカメラにWi-Fi接続してください。

【PCリモート接続方式】が【Wi-Fi アクセスポイント】のとき

無線アクセスポイントを経由して、カメラとパソコンをWi-Fiで接続します。【ペアリングなし接続】が【禁止】の場合は、カメラとパソコンのペアリングが必要です。

MENU→（ネットワーク）→【Wi-Fi】→【アクセスポイント簡単登録】または【アクセスポイント手動登録】でカメラを無線アクセスポイントに接続します。パソコンも同じ無線アクセスポイントに接続してください。カメラでMENU→（ネットワーク）→【転送/リモート】→【PCリモート機能】→【ペアリング】を選んでから、パソコンのImaging Edge Desktop（Remote）でカメラとのペアリング操作を行います。カメラの画面に表示されるペアリング確認画面で【OK】を選ぶと、ペアリングが完了します。

- カメラを初期化するとペアリング情報も削除されます。

ご注意

- 記録できないメモリーカードをカメラに挿入しているときは、【カメラ本体のみ】または【PC+カメラ本体】を選んでも静止画を撮影できません。
- 【静止画の保存先】で【カメラ本体のみ】または【PC+カメラ本体】選択時、カメラにメモリーカードが挿入されていない場合は、【カードなしリリース】が【許可】になっていてもシャッターは切れません。
- 【RAW+J時のPC保存画像】と【RAW+H時のPC保存画像】は【 ファイル形式】の設定がそれぞれ【RAW+JPEG】、【RAW+HEIF】のときのみ設定できます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

有線LANを使ってリモート撮影する (Remote Camera Tool)

Remote Camera Toolは、有線LANを使ったPCリモート撮影を行うソフトウェアです。LANケーブルを使って本機をパソコンやスイッチングハブに接続することで、パソコンから本機の設定を変更したり撮影したりできます。

1. MENU→ (ネットワーク) → [転送/リモート] → [PCリモート機能] → [PCリモート] → [入] を選ぶ。
2. MENU→ (ネットワーク) → [転送/リモート] → [PCリモート機能] → [PCリモート接続方式] → [有線LAN] を選ぶ。
3. LANケーブルで本機とパソコンを接続する。
4. 有線LANの必要な設定を行う。
5. パソコンでRemote Camera Toolを起動し、リモート撮影を行う。

Remote Camera Toolのインストール方法や使いかたについて、詳しくは以下のURLをご覧ください。

<https://support.d-imaging.sony.co.jp/app/remotecameratool/l/index.php>

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

マルチインターフェースシュー対応のオーディオアクセサリーについて

カメラのマルチインターフェースシューにオーディオアクセサリー（別売）を装着して動画を撮影すると、アナログ音声やデジタル音声マルチインターフェースシューを経由して収録されます。

デジタルオーディオインターフェース対応のオーディオアクセサリーを使えば、デジタル音声信号の伝送により以下のように記録できる音質の幅が広がります。

- 劣化の少ない高音質な音声を記録できる。
- 4チャンネル音声や24ビット音声を記録できる。

お使いのオーディオアクセサリーによって収録できる音声は異なります。詳しくは、オーディオアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- デジタルオーディオインターフェース対応のオーディオアクセサリー使用時の音声設定は、**[ni]** シューの音声設定で行えます。

ご注意

- 24 ビット音声に対応していない機器やソフトウェアで24ビット音声で記録された動画を再生すると、意図せず大きな音が出たり、音が出ないなど、正常に再生されない場合があります。

関連項目

- [シューの音声設定](#)
- [HDMI出力設定（動画）](#)
- [4ch音声のモニタリング（動画）](#)
- [音声出カタイミング](#)
- [音声レベル表示](#)
- [音声記録](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

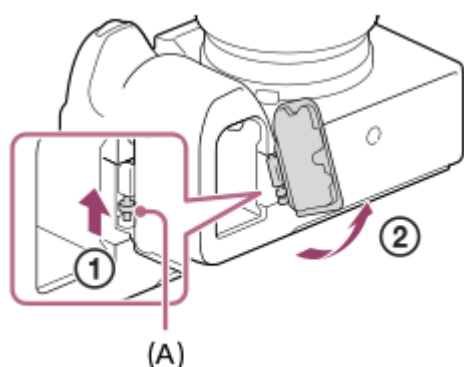
縦位置グリップについて

本機に縦位置グリップ（別売）を取り付けて、縦位置での撮影ができます。縦位置グリップの取り付け時は、バッテリーカバーを取りはずしてください。

縦位置グリップの取扱説明書もあわせてご覧ください。

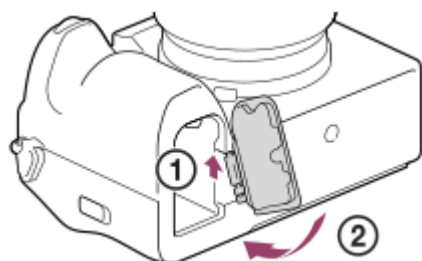
バッテリーカバーを取りはずすには

バッテリーカバー取りはずしレバー（A）を矢印の方向に動かして、バッテリーカバーを取りはずす。



取り付けかた

バッテリーカバーの軸を取り付け部の穴に差し込んでから、バッテリーカバーを押し込むようにしてもう一方の軸を取り付ける。



- 取りはずしたバッテリーカバーは、縦位置グリップに取り付けて保管できます。
- 縦位置グリップ取り付け時は、バッテリー残量が **1**  **2**  のように表示されます。

ご注意

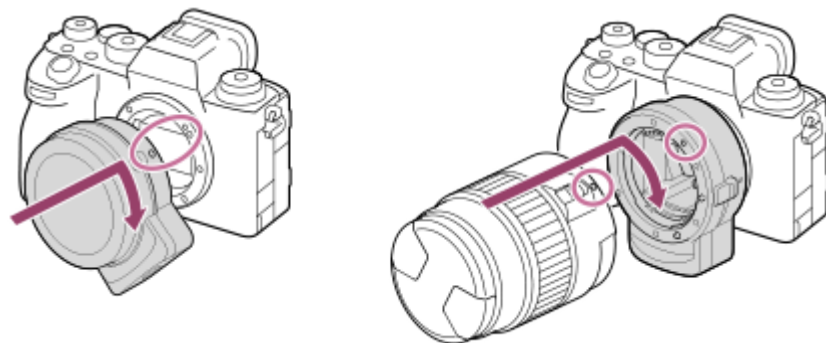
- 縦位置グリップは、マウントアダプターLA-EA4（別売）との同時装着には対応していません。同時に取り付けると、マウントアダプターと縦位置グリップの間が狭くなり、カメラが持ちにくくなります。

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

マウントアダプターについて

マウントアダプター（別売）を使うと、Aマウントレンズ（別売）も本機に取り付けられます。
詳しくはマウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。



ご注意

- お使いいただけないレンズや、オートフォーカスできないレンズもあります。レンズの互換性は、「α」専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/ichigan/>
- Aマウントレンズ使用時はAF補助光は発光しません。
- 動画記録中はカメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。
MENU →  (撮影) → [音声記録] → [音声記録] → [切] で音声を記録しないように設定できます。
- お使いのレンズや被写体によっては、ピント合わせに時間がかかったりピントが合いにくい場合があります。

関連項目

- [マウントアダプターLA-EA3/LA-EA5について](#)
- [マウントアダプターLA-EA4について](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

マウントアダプターLA-EA3/LA-EA5について

マウントアダプターLA-EA3（別売）/LA-EA5（別売）を使うと、以下の機能が使用できます。

フルサイズ撮影：

可能（フルサイズ対応レンズ装着時）

オートフォーカス：

LA-EA3：SAM、SSMレンズでのみオートフォーカスが可能

LA-EA5：Aマウント用AFレンズでオートフォーカスが可能*（SAM、SSM以外のレンズは、LA-EA5のAFカプラーによりオートフォーカスが駆動します。）

* 一部ミノルタ/コニカミノルタ製のレンズやテレコンバーターでオートフォーカスが使えない機種があります。

AF方式：

位相差AF

フォーカス切換：

レンズ側のAF/MF切り換えスイッチ

フォーカスモード：

シングルAF/コンティニュアスAF/ダイレクトマニュアルフォーカス（DMF）/マニュアルフォーカス

- マウントアダプター使用時、動画モードでは絞りやフォーカスはマニュアル調節となります。

選択可能なフォーカスエリア：

〔ワイド〕 / 〔ゾーン〕 / 〔中央固定〕 / 〔スポット〕 / 〔拡張スポット〕 / 〔トラッキング〕

手ブレ補正：

ボディ内

連続撮影時のオートフォーカスについて

連続撮影の設定や〔シャッター方式〕の設定にかかわらずフォーカスは被写体に追従しますが、一部、以下のような動きになります。

- 以下のときに、絞り値をF22より大きく設定すると、フォーカスは1枚目の撮影時に固定されます。
 - － 〔シャッター方式〕が〔メカシャッター〕で、連続撮影が〔連続撮影: Hi+〕、〔連続撮影: Hi〕または〔連続撮影: Mid〕のとき
 - － 〔シャッター方式〕が〔電子シャッター〕または〔オート〕のとき
- 〔連続撮影: Hi+〕または〔連続撮影: Hi〕で〔シャッター方式〕が〔オート〕または〔電子シャッター〕のときは、フォーカスモードの設定により、連続撮影速度が以下ようになります。
 - － 〔シングルAF〕 / 〔DMF〕 / 〔マニュアルフォーカス〕：Eマウントレンズ装着時と同じ（フォーカスは1枚目の撮影時に固定される。）
 - － 〔コンティニュアスAF〕：最高10枚/秒

関連項目

- [マウントアダプターについて](#)
- [マウントアダプターLA-EA4について](#)

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

マウントアダプターLA-EA4について

マウントアダプターLA-EA4（別売）を使うと、以下の機能が使用できます。

フルサイズ撮影：

可能（フルサイズ対応レンズ装着時）

オートフォーカス：

不可

- マニュアルフォーカスのみに対応しています。

手ブレ補正：

ボディ内

ご注意

- マウントアダプターLA-EA4（別売）は、縦位置グリップ（別売）との同時装着には対応していません。同時に取り付けると、マウントアダプターと縦位置グリップの間が狭くなり、カメラが持ちにくくなります。

関連項目

- [マウントアダプターについて](#)
- [マウントアダプターLA-EA3/LA-EA5について](#)

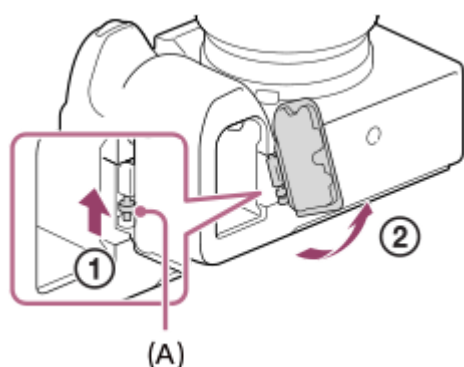
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

マルチバッテリーアダプターキットについて

マルチバッテリーアダプターキット（別売）を使用することで、長時間撮影が可能になります。マルチバッテリーアダプターキットを使用するときは、バッテリーカバーを取りはずしてください。
マルチバッテリーアダプターキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。

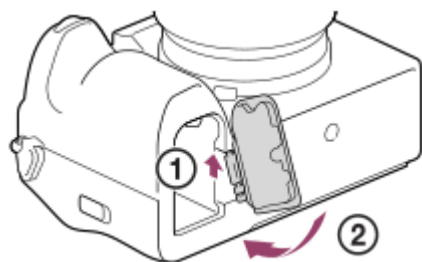
バッテリーカバーを取りはずすには

バッテリーカバー取りはずしレバー（A）を矢印の方向に動かして、バッテリーカバーを取りはずす。



取り付けかた

バッテリーカバーの軸を取り付け部の穴に差し込んでから、バッテリーカバーを押し込むようにしてもう一方の軸を取り付ける。



ご注意

- マルチバッテリーアダプターキットの接続プレート为本機に挿入しているときは、本機のバッテリーロックレバーが動かないようご注意ください。バッテリーロックレバーを動かすと、接続プレートが本機から取り出されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

バッテリーの使用時間と撮影可能枚数

静止画撮影時の撮影枚数

モニターモード時	約530枚
ファインダーモード時	約430枚

実動画撮影時の使用時間

モニターモード時	約95分
ファインダーモード時	約90分

連続動画撮影時の使用時間

モニターモード時	約150分
ファインダーモード時	約145分

- 使用時間や撮影枚数は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間や枚数は減少する場合があります。
- 使用時間や撮影可能枚数は、お買い上げ時の設定で、以下の条件にて撮影した場合です。
 - 温度が25℃
 - 当社製のCFexpress Type Aメモリーカード（別売）使用時
 - FE 28-70mm F3.5-5.6 OSSレンズ（別売）使用時
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値はCIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 動画画質：XAVC S HD 60p 50M 4:2:0 8bit
 - 実動画撮影：撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。
 - 連続動画撮影：撮影開始と終了以外の操作はしない。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

静止画の記録可能枚数

メモリーカードを入れて電源を入れると、画面に撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。

ご注意

- 撮影可能枚数が「0」でオレンジ色に点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください。
- 「NO CARD」がオレンジ色で点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。
- （警告）アイコン、（故障）アイコンが表示されたときはメモリーカードに異常があります。他のメモリーカードをお使いください。

1枚のメモリーカードで撮影できる枚数

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。
以下の条件で撮影した場合の数値です。

- 当社製メモリーカード使用時
- 画像サイズが [L: 50M]、[アスペクト比] が [3:2] のとき ^{*1}

撮影状況および使用するメモリーカードによって記録可能枚数は異なります。

JPEG画質/HEIF画質/  ファイル形式	SDカード		CFexpress Type Aメモリーカード	
	64GB	128GB	80GB	160GB
JPEG ライト	6800枚	13600枚	7900枚	15600枚
JPEG スタANDARD	4700枚	9400枚	5400枚	10800枚
JPEG ファイン	3200枚	6400枚	3700枚	7400枚
JPEG エクストラファイン	1700枚	3400枚	1900枚	4000枚
HEIF ライト	9100枚	18200枚	10600枚	21200枚
HEIF スタANDARD	6800枚	13600枚	7900枚	15600枚
HEIF ファイン	5100枚	10200枚	5900枚	11800枚
HEIF エクストラファイン	3400枚	6900枚	4000枚	8000枚
RAW+JPEG（圧縮RAW） ^{*2}	700枚	1400枚	800枚	1700枚
RAW+HEIF（圧縮RAW） ^{*2}	800枚	1600枚	900枚	1800枚
RAW（圧縮RAW）	900枚	1900枚	1100枚	2200枚
RAW+JPEG（ロスレス圧縮RAW: L） ^{*2}	600枚	1300枚	700枚	1500枚
RAW+HEIF（ロスレス圧縮RAW: L） ^{*2}	700枚	1400枚	800枚	1600枚

JPEG画質/HEIF画質/  ファイル形式	SDカード		CFexpress Type Aメモリーカード	
	64GB	128GB	80GB	160GB
RAW（ロスレス圧縮RAW: L）	800枚	1600枚	900枚	1900枚
RAW+JPEG（非圧縮RAW）*2	400枚	800枚	500枚	1000枚
RAW+HEIF（非圧縮RAW）*2	400枚	900枚	500枚	1000枚
RAW（非圧縮RAW）	500枚	1000枚	600枚	1200枚

*1 「アスペクト比」を「3:2」以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます（RAW設定時は除く）。

*2 「RAW+JPEG」時のJPEG画質：「ファイン」
「RAW+HEIF」時のHEIF画質：「ファイン」

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときでも、「9999」と表示されます。

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

動画の記録可能時間

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。記録時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

記録方式	記録フレームレート	記録設定	SDカード		CFexpress Type Aメモリーカード	
			64GB	128GB	80GB	160GB
XAVC HS 8K	30p/24p	520M*	10分	25分	15分	30分
		400M	15分	35分	20分	40分
		260M*	25分	55分	30分	1時間
		200M	35分	70分	40分	1時間25分
XAVC HS 4K	60p	200M	35分	70分	40分	1時間25分
		150M	45分	1時間35分	55分	1時間50分
		100M	1時間10分	2時間20分	1時間20分	2時間50分
		75M	1時間30分	3時間	1時間40分	3時間40分
		45M	2時間20分	4時間50分	2時間40分	5時間40分
XAVC S 4K	60p	200M	35分	1時間10分	40分	1時間25分
		150M	45分	1時間35分	55分	1時間50分
XAVC S HD	60p	50M	2時間10分	4時間30分	2時間30分	5時間10分
		25M	3時間50分	7時間50分	4時間30分	9時間10分
XAVC S-I 4K	60p	600M	10分	25分	10分	25分
XAVC S-I HD	60p	222M	30分	1時間5分	35分	1時間15分

* 本体ソフトウェアVer.1.30以降

[**Px** プロキシ記録] を [切] にして使用したときの数値です。

- 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。
- 連続動画撮影時間は、動画の記録方式や記録設定、使用するメモリーカード、温度環境やWi-Fi接続状況、動画撮影前の使用状況、バッテリーの充電状態により変動します。
一度の動画撮影で可能な連続撮影時間は、最大で約13時間です。（商品仕様による制限）

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit-Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

動画の連続撮影についてのご注意

- 高精細な動画撮影や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。
- しばらく電源を切った状態から出荷時設定で撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

【自動電源OFF温度】が【高】のとき

 記録方式	XAVC S HD	XAVC S 4K	XAVC HS 8K
環境温度： 25℃	約120分	約30分	約30分
環境温度： 40℃	約90分	約10分	約20分

【自動電源OFF温度】が【標準】のとき

 記録方式	XAVC S HD	XAVC S 4K	XAVC HS 8K
環境温度： 25℃	約30分	約10分	約10分
環境温度： 40℃	約20分	約10分	約10分

XAVC S HD：60p 50M 4:2:0 8bit、Wi-Fi非接続時、CFexpress Type A メモリーカード使用時
XAVC S 4K：60p 150M 4:2:0 8bit、Wi-Fi非接続時、CFexpress Type A メモリーカード使用時
XAVC HS 8K：30p 200M 4:2:0 10bit、Wi-Fi非接続時、CFexpress Type A メモリーカード使用時

- 連続動画撮影時間は温度環境や動画の記録方式・記録設定、Wi-Fiの接続環境、動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、連続動画撮影時間は短くなります。
- （温度上昇警告）が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
 - － できるだけ直射日光を避ける
 - － 使用しないときはこまめに電源を切る

関連項目

- [使用できるメモリーカード](#)
- [バッテリーの使用時間と撮影可能枚数](#)

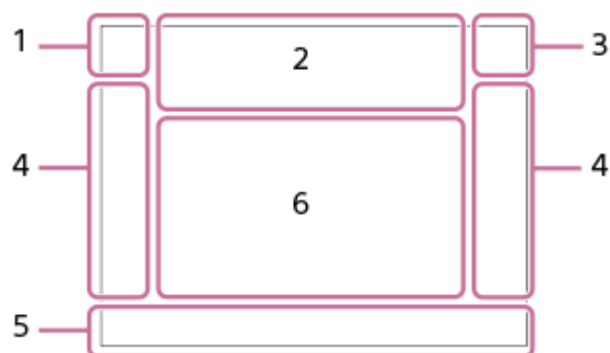
レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

モニターに表示されるアイコン一覧

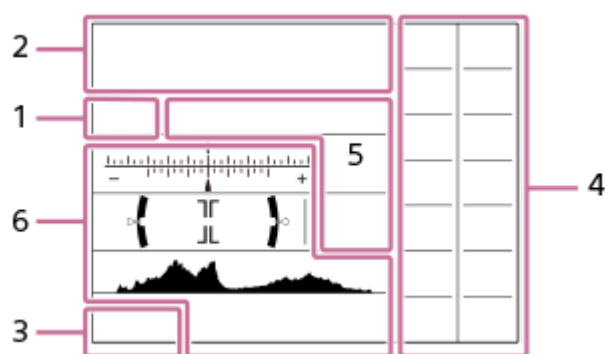
表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。
上段は、画面に表示されるアイコン、下段は、アイコンの意味を表します。

撮影画面のアイコン

毛二夕一撮影用



ファインダー撮影用



1. 撮影モード/シーン認識マーク

撮影モード

1 2 3 M 1 M 2 M 3 M 4

登録番号

シーン認識マーク

2. カメラの設定

1 2 1 2 NO CARD

メモリーカード

100/1h30m

撮影可能枚数/記録可能時間

||||3

データ書き込み中/書き込み残り枚数

50M / 44M / 42M / 33M / 21M / 19M / 18M / 14M / 12M / 11M / 8.3M

静止画の画像サイズ

RAW RAW RAW RAW RAW

RAW記録（圧縮/ロスレス圧縮（L/M/S）/非圧縮）

J-X.FINE J-FINE J-STD J-LIGHT H-X.FINE H-FINE H-STD H-LIGHT

JPEG画質/HEIF画質

4:2:2

HEIFカラーサンプリング

XAVC HS 8K XAVC HS 4K XAVC S 4K XAVC S HD XAVC S-I 4K XAVC S-I HD

動画の記録方式

120p 60p 30p 24p

動画のフレームレート

600 520 400 300 280 260 240 222 200 150 140 111 100 89
75 60 50 45 30 25 16

動画の記録設定

100px 60px 50px 25px 16px

プロキシー記録

4:2:2 10bit/4:2:0 10bit/4:2:0 8bit

動画のカラーサンプリング、ビット深度

240fps 120fps 60fps 30fps 15fps 8fps 4fps 2fps 1fps

スロー/クイックモーション撮影時のフレームレート



フラッシュ充電表示

VIEW

設定効果反映Off

VIEW

露出の効果反映（露出のみ反映時）

ON

AF補助光

Flicker

フリッカー（ちらつき）検知

N

NFC有効

OFF ON

手ブレ補正オフ/オン、手ブレ警告

8mm 8mm

手ブレ補正焦点距離/手ブレ警告

s c D

光学ズームのみ / 超解像ズーム/デジタルズーム

PC

PCリモート



ブライトモニタリング



サイレントモード



リモコン

FTP FTP

FTP機能/転送状態

Wi-Fi Wi-Fi

Wi-Fi接続中/未接続

LAN LAN

LAN接続中/未接続



動画音声記録オフ



風音低減オン



著作権情報書き込み [入]



IPTC情報書き込み [入]

Assist S-Log2 Assist S-Log3 Assist HLG 709 Assist HLG 2020

ガンマ表示アシスト方式



撮影時のタッチ機能（タッチフォーカス/タッチトラッキング/OFF）



フォーカス解除



トラッキング解除

スポットフォーカス

スポットフォーカス中



Bluetooth接続中/未接続



スマートフォン接続中/未接続



位置情報取得中/位置情報取得無効



機内モード



温度上昇警告



管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告

3. バッテリー



バッテリー容量

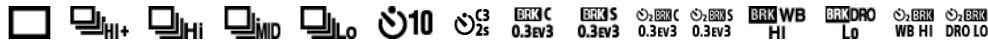


バッテリー残量警告



USB給電中

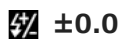
4. 撮影設定



ドライブモード



フラッシュモード/ワイヤレスフラッシュ/赤目軽減



調光補正



フォーカスモード



フォーカスエリア



測光モード



ホワイトバランス（オート、プリセット、水中オート、カスタム、色温度、カラーフィルター）



Dレンジオプティマイザー

クリエイティブルック

AF時の顔/瞳優先

PP1 - **PP11**

ピクチャープロファイル

シャッター方式

記録メディア

ファインダーフレームレート

3:2 **4:3** **16:9** **1:1**

静止画のアスペクト比

5. フォーカス表示/露出設定

●

フォーカス

1/250

シャッタースピード

1/400

フラッシュ同調速優先

F3.5

絞り値

露出補正/メータードマニユアル

ISO400

ISO AUTO

ISO 400

ISO感度

AEロック/FELロック/AWBロック

APS-C S35 撮影

6. ガイド表示/その他

● **トラッキング解除**

トラッキング用ガイド表示

● **フォーカス解除**

フォーカス解除用ガイド表示

コントロールホイールの機能

マイダイヤル用ガイド表示

ブラケットインジケータ

スポット測光サークル

ヒストグラム

水準器

STBY REC

動画の録画スタンバイ/録画中

1:00:12

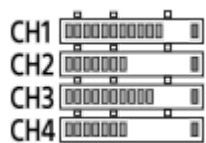
動画の撮影実時間（時：分：秒）

48khz/16bit 2ch

48khz/24bit 2ch

48khz/24bit 4ch

音声フォーマット



音声レベル



RECコントロール



4K/RAW外部出力

00:00:00.00

タイムコード（時：分：秒.フレーム）

00 00 00 00

ユーザービット

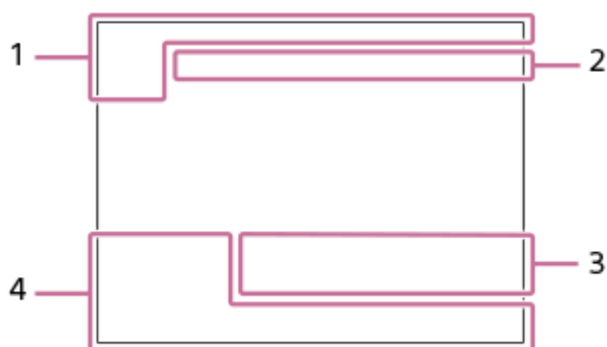


2/4

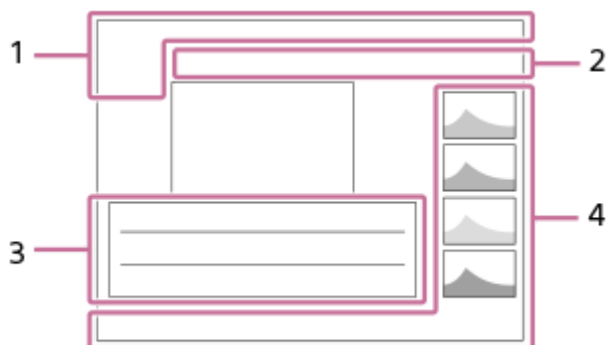
ピクセルシフトマルチ撮影

再生画面のアイコン

1枚再生画面



ヒストグラム画面



1. 基本情報



再生メディア

IPTC

IPTC情報



レーティング



プロテクト

3/7

画像番号/ビューモード内画像枚数



NFC有効



バッテリー容量



グループ表示



トリミング画像



プロキシ動画あり



000000 2/4

ピクセルシフトマルチ撮影



音声メモあり



FTP転送状態

2. カメラの設定

「撮影画面のアイコン」をご覧ください。

3. 撮影時の設定

35mm

レンズ焦点距離

HLG

HDR記録 (Hybrid Log-Gamma)



著作権情報あり

その他のアイコンについては、「撮影画面のアイコン」をご覧ください。

4. 画像の情報



緯度・経度情報

2021-1-1 10:37:00PM

撮影日時



100-0003

フォルダー番号-ファイル番号

C0003

動画のファイル名



ヒストグラム (輝度/R/G/B)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

初期値一覧

各メニュー項目のお買い上げ時の初期値は下記の表のとおりです。

画面に表示されるメニューの内容はモードダイヤルの位置によって異なります。詳しくは「[MENU一覧から機能を探す](#)」でご確認ください。

設定を初期値に戻すには

MENU→ (セットアップ) → [設定初期化/保存] → [設定リセット] → [撮影設定リセット] か [初期化] のどちらか希望の設定を選択→ [実行] を選ぶ。

[撮影設定リセット] でリセットされる項目は限られます。下記の表をご覧ください。[初期化] を選ぶとカメラのすべての設定を初期化します。

(撮影)

MENU項目	初期値	[撮影設定リセット] でリセット
JPEG/HEIF切換	JPEG	✓
画質/画像サイズ設定 ( ファイル形式)	JPEG/HEIF	✓
画質/画像サイズ設定 (RAW記録方式)	圧縮	✓
画質/画像サイズ設定 (JPEG画質/HEIF画質)	ファイン	✓
画質/画像サイズ設定 (JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ) ([アスペクト比] が [3:2] のとき)	L: 50M	✓
画質/画像サイズ設定 (JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ) ([アスペクト比] が [4:3] のとき)	L: 44M	✓
画質/画像サイズ設定 (JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ) ([アスペクト比] が [16:9] のとき)	L: 42M	✓
画質/画像サイズ設定 (JPEG画像サイズ/HEIF画像サイズ) ([アスペクト比] が [1:1] のとき)	L: 33M	✓
アスペクト比	3:2	✓
 記録方式	XAVC S HD	✓
 動画設定 (記録フレームレート) ([ 記録方式] が [XAVC HS 8K] のとき)	30p	✓
 動画設定 (記録フレームレート) ([ 記録方式] が [XAVC HS 4K] のとき)	60p	✓
 動画設定 (記録フレームレート) ([ 記録方式] が [XAVC S 4K] のとき)	60p	✓
 動画設定 (記録フレームレート) ([ 記録方式] が [XAVC S HD] のとき)	60p	✓
 動画設定 (記録フレームレート) ([ 記録方式] が [XAVC S-I 4K] のとき)	60p	✓

MENU項目	初期値	【撮影設定リセット】でリセット
 動画設定（記録フレームレート）（  記録方式）が[XAVC S-I HD]のとき）	60p	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC HS 8K]で、【記録フレームレート】が[30p]のとき）	200M 4:2:0 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC HS 8K]で、【記録フレームレート】が[24p]のとき）	200M 4:2:0 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC HS 4K]で、【記録フレームレート】が[60p]のとき）	45M 4:2:0 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC HS 4K]で、【記録フレームレート】が[24p]のとき）	50M 4:2:0 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC HS 4K]で、【記録フレームレート】が[120p]のとき）	200M 4:2:0 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S 4K]で、【記録フレームレート】が[60p]のとき）	150M 4:2:0 8bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S 4K]で、【記録フレームレート】が[30p]のとき）	60M 4:2:0 8bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S 4K]で、【記録フレームレート】が[24p]のとき）	60M 4:2:0 8bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S 4K]で、【記録フレームレート】が[120p]のとき）	200M 4:2:0 8bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S HD]で、【記録フレームレート】が[60p]のとき）	50M 4:2:0 8bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S HD]で、【記録フレームレート】が[30p]のとき）	50M 4:2:0 8bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S HD]で、【記録フレームレート】が[24p]のとき）	50M 4:2:0 8bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S HD]で、【記録フレームレート】が[120p]のとき）	60M 4:2:0 8bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S-I 4K]で、【記録フレームレート】が[60p]のとき）	600M 4:2:2 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S-I 4K]で、【記録フレームレート】が[30p]のとき）	300M 4:2:2 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S-I 4K]で、【記録フレームレート】が[24p]のとき）	240M 4:2:2 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S-I HD]で、【記録フレームレート】が[60p]のとき）	222M 4:2:2 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S-I HD]で、【記録フレームレート】が[30p]のとき）	111M 4:2:2 10bit	✓
 動画設定（記録設定）（  記録方式）が[XAVC S-I HD]で、【記録フレームレート】が[24p]のとき）	89M 4:2:2 10bit	✓

MENU項目	初期値	【撮影設定リセット】でリセット
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録フレームレート)	60p	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q フレームレート)	120fps	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC HS 4K] で、 [記録フレームレート] が [60p] のとき)	45M 4:2:0 10bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC HS 4K] で、 [記録フレームレート] が [24p] のとき)	50M 4:2:0 10bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC HS 4K] で、 [記録フレームレート] が [120p] のとき)	200M 4:2:0 10bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S 4K] で、 [記録フレームレート] が [60p] のとき)	150M 4:2:0 8bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S 4K] で、 [記録フレームレート] が [30p] のとき)	60M 4:2:0 8bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S 4K] で、 [記録フレームレート] が [24p] のとき)	60M 4:2:0 8bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S 4K] で、 [記録フレームレート] が [120p] のとき)	200M 4:2:0 8bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S HD] で、 [記録フレームレート] が [60p] のとき)	50M 4:2:0 8bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S HD] で、 [記録フレームレート] が [30p] のとき)	50M 4:2:0 8bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S HD] で、 [記録フレームレート] が [24p] のとき)	50M 4:2:0 8bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S HD] で、 [記録フレームレート] が [120p] のとき)	60M 4:2:0 8bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S-I 4K] で、 [記録フレームレート] が [60p] のとき)	600M 4:2:2 10bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S-I 4K] で、 [記録フレームレート] が [30p] のとき)	300M 4:2:2 10bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S-I 4K] で、 [記録フレームレート] が [24p] のとき)	240M 4:2:2 10bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S-I HD] で、 [記録フレームレート] が [60p] のとき)	222M 4:2:2 10bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S-I HD] で、 [記録フレームレート] が [30p] のとき)	111M 4:2:2 10bit	✓
S&Q スロー&クイック設定 (S&Q 記録設定) ([記録方式] が [XAVC S-I HD] で、 [記録フレームレート] が [24p] のとき)	89M 4:2:2 10bit	✓
Px プロキシ設定 (Px プロキシ記録)	切	✓
Px プロキシ設定 (Px プロキシ記録方式)	XAVC S HD	✓

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
 プロキシ設定 ( プロキシ記録設定) ([ プロキシ記録方式] が [XAVC HS HD] のとき)	9M 4:2:0 10bit	✓
 プロキシ設定 ( プロキシ記録設定) ([ プロキシ記録方式] が [XAVC S HD] のとき)	6M 4:2:0 8bit	✓
 APS-C/S35 撮影	オート	—
長秒時ノイズ低減	入	✓
高感度ノイズ低減	標準	✓
HLG静止画	切	✓
色空間	sRGB	✓
 レンズ補正 (周辺光量補正)	オート	—
 レンズ補正 (倍率色収差補正)	オート	—
 レンズ補正 (歪曲収差補正)	切	—
フォーマット	—	—
 記録メディア設定 ( 記録メディア)	スロット 1	—
 記録メディア設定 ( 記録メディア)	スロット 1	—
 記録メディア設定 (記録メディア自動切換)	切	—
 管理ファイル修復* * 〔撮影設定リセット〕や〔初期化〕を選んでも実行されません。	—	—
 メディア残量表示	—	—
ファイル/フォルダー設定 (ファイル番号)	連番	—
ファイル/フォルダー設定 (ファイル番号強制リセット)	—	—
ファイル/フォルダー設定 (ファイル名設定)	DSC	—
ファイル/フォルダー設定 (フォルダー形式)	標準形式	—
記録フォルダー選択	—	—
フォルダー新規作成	—	—
IPTC情報 (IPTC情報の書き込み)	切	—
IPTC情報 (IPTC情報の登録)	—	—
著作権情報 (著作権情報書き込み)	切	—
著作権情報 (撮影者名設定)	—	—
著作権情報 (著作権者名設定)	—	—
著作権情報 (著作権情報表示)	—	—
シリアル番号書き込み	切	—

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
ファイル設定（ファイル番号）	連番	—
ファイル設定（連番カウンターリセット）	—	—
ファイル設定（ファイル名形式）	標準	—
ファイル設定（タイトル名設定）	—	—
露出モード	プログラムオート	✓
 露出モード	プログラムオート	✓
露出制御方式	P/A/S/Mモード	—
 撮影設定呼び出し	—	—
 撮影設定登録	—	—
 登録/呼出メディア	スロット 1	✓
カスタム撮影設定登録	押す間カスタム設定呼出1	—
連続撮影の速度（  Hi(電子シャッター)）	20枚/秒	✓
連続撮影の速度（  Mid(電子シャッター)）	15枚/秒	✓
連続撮影の速度（  Lo(電子シャッター)）	5枚/秒	✓
セルフタイマーの種類	セルフタイマー（1枚）	✓
ブラケット設定（ブラケットの種類）	連続ブラケット	✓
ブラケット設定（ブラケット時のセルフタイマー）	切	✓
ブラケット設定（ブラケット順序）	0→-→+	✓
インターバル撮影機能（インターバル撮影）	切	✓
インターバル撮影機能（撮影開始時間）	1秒	✓
インターバル撮影機能（撮影間隔）	3秒	✓
インターバル撮影機能（撮影回数）	30	✓
インターバル撮影機能（AE追従感度）	中	✓
インターバル撮影機能（インターバル時シャッター方式）	電子シャッター	✓
インターバル撮影機能（撮影間隔優先）	切	✓
ピクセルシフトマルチ撮影	切	✓
 サイレントモード設定（サイレントモード）	切	✓
 サイレントモード設定（〔対象機能の設定〕の〔AF時の絞り駆動〕）	標準	✓

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
サイレントモード設定（〔対象機能の設定〕の〔電源OFF時のシャッター〕）	切	✓
サイレントモード設定（〔対象機能の設定〕の〔オートピクセルマッピング〕）	切	✓
シャッター方式	オート	—
レンズなしレリーズ	許可	—
カードなしレリーズ	許可	—
フリッカーレス設定（フリッカーレス撮影）	切	✓
フリッカーレス設定（ 高分解シャッター）	切	✓
フリッカーレス設定（ 高分解シャッター設定）	—	—
音声記録	入	✓
録音レベル	26	✓
音声出力タイミング	ライブ	✓
風音低減	切	✓
シューの音声設定	48khz/16bit 2ch	✓
音声レベル表示	入	—
Time Code Preset	00:00:00.00	—
User Bit Preset	00 00 00 00	—
Time Code Format	DF	—
Time Code Run	Rec Run	—
Time Code Make	Preset	—
User Bit Time Rec	切	—
手ブレ補正	入	✓
手ブレ補正	スタンダード	✓
手ブレ補正調整	オート	✓
焦点距離（〔 手ブレ補正調整〕が〔マニュアル〕のとき）	8mm	✓
ズーム	—	—
ズーム範囲	光学ズームのみ	—
ズームスピード（固定スピード STBY ）	3	✓
ズームスピード（固定スピード REC ）	3	✓
ズームスピード（ スピードタイプ）	可変	✓
ズームスピード（ 固定スピード STBY ）	3	✓

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
  ズームスピード（  固定スピード REC）	3	✓
 グリッドライン表示	切	—
 グリッドラインの種類	3分割	—
ライブビュー表示設定（ライブビュー表示）	設定効果反映 On	—
ライブビュー表示設定（露出の効果反映）	露出設定+フ ラッシュ	—
ライブビュー表示設定（フレームレート低速制限）	切	✓
ライブビュー表示設定（フラッシュ撮影の効果反映）	フラッシュ効果 反映On	—
記録中の強調表示	切	✓
マーカー表示	切	—
センターマーカー	切	—
アスペクトマーカー	切	—
セーフティゾーン	切	—
ガイドフレーム	切	—

（露出/色）

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
オートスローシャッター	入	✓
 ISO感度	ISO AUTO	✓
 ISO感度範囲限定	—	—
ISO AUTO低速限界	標準	✓
オート/マニュアル切換設定（Avオート/マニュアル切換）	マニュアル	✓
オート/マニュアル切換設定（Tvオート/マニュアル切換）	マニュアル	✓
オート/マニュアル切換設定（ISOオート/マニュアル切換）	マニュアル	✓
 露出補正	±0.0	✓
 露出補正值のリセット	リセット	—
 露出値ステップ幅	0.3段	—
 露出基準調整（  マルチ）	±0	—
 露出基準調整（  中央重点）	±0	—

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
 露出基準調整 ( スポット)	±0	—
 露出基準調整 ( 画面全体平均)	±0	—
 露出基準調整 ( ハイライト重点)	±0	—
 測光モード	マルチ	✓
 マルチ測光時顔優先	入	✓
 スポット測光位置	中央	✓
シャッター半押しAEL	オート	—
フラッシュモード	自動発光	✓
調光補正	±0.0	✓
露出補正の影響	定常光+フラッシュ	—
ワイヤレスフラッシュ	切	✓
フラッシュ同調速優先	オート	✓
赤目軽減発光	切	✓
外部フラッシュ設定 (外部フラッシュ発光設定)	—	✓
外部フラッシュ設定 (外部フラッシュカスタム設定)	—	✓
 ホワイトバランス	オート	✓
 AWB時の優先設定	標準	✓
シャッターAWBロック	切	—
ショックレスWB	1(高速)	✓
 Dレンジオプティマイザー	Dレンジオプティマイザー: オート	✓
 クリエイティブブルック	ST	✓
 ピクチャープロファイル	切	✓
 ゼブラ表示	切	—
 ゼブラレベル	70	—

AF_{MF} (フォーカス)

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
AF-S時の優先設定	バランス重視	—
AF-C時の優先設定	バランス重視	—
AF被写体追従感度	3(標準)	✓
AF補助光	オート	✓

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
AF時の絞り駆動	標準	—
シャッター半押しAF	入	—
プリAF	切	—
AFトランジション速度	5	✓
AF乗り移り感度	5(敏感)	✓
 フォーカスエリア	ワイド	✓
 フォーカスエリア限定	—	✓
縦横フォーカスエリア切換	しない	✓
 フォーカスエリア枠色	ホワイ	—
フォーカスエリア登録機能	切	—
登録フォーカスエリア消去	—	—
フォーカスエリア自動消灯	切	—
トラッキング中エリア枠表示	切	—
AF-Cエリア表示	入	—
位相差AFエリア表示	切	—
 フォーカス位置の循環	循環しない	—
 AF枠の移動量	標準	✓
 AF時の顔/瞳優先	入	✓
 顔/瞳検出対象	人物	✓
 検出対象切換設定	—	—
 右目/左目選択	オート	✓
 顔/瞳枠表示	切	✓
個人顔登録	—	—
 登録顔優先	入	✓
MF時自動ピント拡大	入	—
ピント拡大	—	✓
 ピント拡大時間	無制限	—
 ピント拡大初期倍率	x1.0	—
ピント拡大中のAF	入	—
 ピント拡大初期倍率	x1.0	—
 ピーキング表示	切	—
 ピーキングレベル	中	—

MENU項目	初期値	〔撮影設定リセット〕でリセット
 ピーキング色	ホワイト	—

(再生)

〔再生〕内の項目を初期値に戻すには〔初期化〕を選んでください。〔撮影設定リセット〕を選んでも初期値には戻りません。

MENU項目	初期値
再生メディア選択	—
ビューモード	日付ビュー
 拡大	—
 拡大の初期倍率	標準の倍率
 拡大の初期位置	ピント位置
プロテクト	—
レーティング	—
レーティング カスタムキー設定	—
音声メモ	—
音声メモ再生音量	7
削除	—
 2度押しで削除	無効
削除確認画面	「キャンセル」が先
トリミング	—
回転	—
コピー	—
動画から静止画作成	—
 JPEG/HEIF切換	JPEG
 インターバル連続再生	—
 インターバル再生速度	5
スライドショー (リピート)	切
スライドショー (間隔設定)	3秒
一覧表示	9枚
グループ表示	切
記録画像の回転表示	オート
 フォーカス枠表示	切
画像送りダイヤル選択	 前ダイヤル

MENU項目	初期値
画像送り方法	1枚ずつ

(ネットワーク)

〔ネットワーク〕内の項目を初期値に戻すには〔初期化〕もしくは〔ネットワーク設定リセット〕を選んでください。
〔撮影設定リセット〕を選んででも初期値には戻りません。

MENU項目	初期値
スマートフォン接続	入
☐ 接続	—
 カメラで選んで転送 ( 転送)	—
 カメラで選んで転送 (転送画像サイズ)	2M
 カメラで選んで転送 (RAW+J/H転送対象)	JPEGとHEIF
 カメラで選んで転送 ( 転送対象)	プロキシーのみ
☐ 電源OFF中の接続	切
☐ リモート撮影設定 (静止画の保存先)	スマートフォン+カメラ本体
☐ リモート撮影設定 (☐ 保存画像のサイズ)	2M
☐ リモート撮影設定 (☐ RAW+J時の保存画像)	JPEGのみ
☐ リモート撮影設定 (☐ RAW+H時の保存画像)	HEIFのみ
☐ リモート撮影設定 (☐ 保存するJPEGサイズ)	大きいサイズ
☐ リモート撮影設定 (☐ 保存するHEIFサイズ)	大きいサイズ
☐ 常時接続	切
FTP転送機能 (FTP機能)	切
FTP転送機能 (FTP接続方式)	有線LAN
FTP転送機能 (テザリング接続)	—
FTP転送機能 (テザリング切断)	—
FTP転送機能 (サーバー設定)	サーバー1
FTP転送機能 (FTP設定の保存/読込)	—
FTP転送機能 ([FTP転送] が [対象範囲] のとき)	この日付
FTP転送機能 ([FTP転送] が [静止画/動画] のとき)	全て
FTP転送機能 ([FTP転送] が [対象画像(プロテクト)] のとき)	全て
FTP転送機能 ([FTP転送] が [転送状態] のとき)	全て
FTP転送機能 (転送結果表示)	—
FTP転送機能 ( 撮影時自動転送)	切
FTP転送機能 (RAW+J/H転送対象)	JPEGとHEIF

MENU項目	初期値
FTP転送機能（転送するJPEGサイズ）	大きいサイズ
FTP転送機能（転送するHEIFサイズ）	大きいサイズ
FTP転送機能（ Px 転送対象）	プロキシーのみ
FTP転送機能（FTPパワーセーブ）	切
PCリモート機能（PCリモート）	切
PCリモート機能（PCリモート接続方式）	USB
PCリモート機能（ペアリングなし接続）	禁止
PCリモート機能（ペアリング）	—
PCリモート機能（Wi-Fi Direct情報）	—
PCリモート機能（静止画の保存先）	PCのみ
PCリモート機能（PC保存画像のサイズ）	オリジナル
PCリモート機能（RAW+J時のPC保存画像）	RAW+JPEG
PCリモート機能（RAW+H時のPC保存画像）	RAW+HEIF
PCリモート機能（PC保存するJPEGサイズ）	大きいサイズ
PCリモート機能（PC保存するHEIFサイズ）	大きいサイズ
Bluetoothリモコン	切
位置情報連動	切
自動時刻補正 （位置情報連動が［入］のとき）	入
自動エリア補正 （位置情報連動が［入］のとき）	入
アクセスポイント簡単登録	—
アクセスポイント手動登録	—
Wi-Fi周波数帯	2.4GHz
Wi-Fi情報表示	—
SSID・PWリセット	—
Bluetooth機能	切
ペアリング	—
機器アドレス表示	—
LAN IPアドレス設定	オート
有線LAN情報表示	—
機内モード	切
機器名称変更	—

MENU項目	初期値
ルート証明書の読み込み	—
セキュリティ(IPsec) (IPsec)	切
セキュリティ(IPsec) (接続先のIPアドレス)	—
セキュリティ(IPsec) (共有キー)	—
ネットワーク設定リセット	—

(セッティングアップ)

「セッティングアップ」内の項目を初期値に戻すには「初期化」を選んでください。「撮影設定リセット」を選んで初期値には戻りません。

MENU項目	初期値
エリア/日時設定 (エリア設定)	—
エリア/日時設定 (サマータイム)	切
エリア/日時設定 (日時)	—
エリア/日時設定 (表示形式)	—
設定リセット	—
設定の保存/読込	—
 カスタムキー設定 ( 前ダイヤル)	絞り/シャッタースピード
 カスタムキー設定 ( 後ダイヤル)	絞り/シャッタースピード
 カスタムキー設定 (コントロールホイール)	未設定
 カスタムキー設定 (カスタムボタン1)	 ホワイトバランス
 カスタムキー設定 (カスタムボタン2)	オートフォーカスエリア
 カスタムキー設定 (カスタムボタン3)	シャッター方式
 カスタムキー設定 (カスタムボタン4)	タッチ操作切換
 カスタムキー設定 (マルチセレクトの中央ボタン)	フォーカススタンダード
 カスタムキー設定 (中央ボタン)	未設定
 カスタムキー設定 (左ボタン)	未設定
 カスタムキー設定 (右ボタン)	 ISO感度
 カスタムキー設定 (下ボタン)	未設定
 カスタムキー設定 (AELボタン)	押す間AEL
 カスタムキー設定 (AF-ONボタン)	AFオン
 カスタムキー設定 (MOVIEボタン)	動画撮影
 カスタムキー設定 (フォーカスホールドボタン)	フォーカスホールド
 カスタムキー設定 ( 前ダイヤル)	カスタム()に従う

MENU項目	初期値
 カスタムキー設定 ( 後ダイヤル)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (コントロールホイール)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (カスタムボタン1)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (カスタムボタン2)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (カスタムボタン3)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (カスタムボタン4)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (マルチセレクターの中央ボタン)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (中央ボタン)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (左ボタン)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (右ボタン)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (下ボタン)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (AELボタン)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (AF-ONボタン)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (MOVIEボタン)	動画撮影
 カスタムキー設定 (フォーカスホールドボタン)	カスタム()に従う
 カスタムキー設定 (カスタムボタン1)	カスタム( / )に従う
 カスタムキー設定 (カスタムボタン2)	カスタム( / )に従う
 カスタムキー設定 (カスタムボタン3)	プロテクト
 カスタムキー設定 (MOVIEボタン)	カスタム( / )に従う
 カスタムキー設定 (Fn/  ボタン)	 転送
Fnメニュー設定	—
静止画/動画独立設定	—
DISP(画面表示)設定 (背面モニター)	全情報表示
DISP(画面表示)設定 (ファインダー)	水準器
 シャッターボタンでREC	しない
ズームリング操作方向	左(W)/右(T)
マイダイヤル設定	—
Mモード時のAv/Tv	 Av  Tv
Av/Tvの回転方向	通常
ダイヤル露出補正	切
ファンクションリング(レンズ)	パワーフォーカス
操作部のロック	切

MENU項目	初期値
タッチ操作	入
タッチ感度	標準
タッチパネル/タッチパッド	タッチパネルのみ
タッチパッド設定（縦持ち時の操作）	有効
タッチパッド設定（位置指定方法）	絶対位置
タッチパッド設定（操作エリア）	 右半分
撮影時のタッチ機能	タッチトラッキング
ファインダー/モニター選択	オート
モニター明るさ	±0
ファインダー明るさ	オート
ファインダー色温度	±0
ファインダー倍率	標準
表示画質	標準
 ファインダーフレームレート	高速
TC/UB表示設定	カウンター
ガンマ表示アシスト	切
ガンマ表示アシスト方式	オート
 撮影開始表示	切
 撮影タイミング表示	入: タイプ1
 撮影残量表示	表示しない
 オートレビュー	切
 モニター自動OFF	しない
パワーセーブ開始時間	1分
自動電源OFF温度	標準
音量設定	7
 4ch音声のモニタリング	CH1/CH2
電子音	入: 全て
USB接続	オート
USB LUN設定	マルチ
USB給電	入
 HDMI解像度	オート
 HDMI出力設定（HDMI出力時のメディア記録）	入

MENU項目	初期値
 HDMI出力設定（出力解像度）	オート
 HDMI出力設定（4K出力設定(HDMIのみ)）	60p 10bit
 HDMI出力設定（RAW出力）	切
 HDMI出力設定（RAW出力設定）	60p
 HDMI出力設定（RAW出力時の色域設定）	S-Gamut3.Cine/S-log3
 HDMI出力設定（Time Code出力）	切
 HDMI出力設定（RECコントロール）	切
 HDMI出力設定（4ch音声の出力）	CH1/CH2
HDMI情報表示	あり
HDMI機器制御	入
ビデオライトモード	電源連動
赤外線リモコン	切
アンチダスト機能（センサークリーニング）	—
アンチダスト機能（電源OFF時のシャッター）	切
オートピクセルマッピング	入
ピクセルマッピング	—
バージョン表示	—
認証マーク表示	—

☆（マイメニュー）

〔マイメニュー〕内の項目を初期値に戻すには〔初期化〕または〔全て削除〕を選んでください。〔撮影設定リセット〕を選んでも初期値には戻りません。

MENU項目	初期値
項目の追加	—
項目の並べ替え	—
項目の削除	—
ページの削除	—
全て削除	—
マイメニューから表示	切

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

主な仕様

本体

【形式】

カメラタイプ

レンズ交換式デジタルカメラ

使用レンズ

ソニーEマウントレンズ

【撮像部】

撮像素子

35 mmフルサイズ (35.9 mm×24.0 mm)、CMOSイメージセンサー

カメラ有効画素数

約50 100 000画素

総画素数

約50 500 000画素

【手ブレ補正】

形式

イメージセンサーシフト方式 (内蔵)

【アンチダスト】

システム

帯電防止コートおよび超音波振動によるアンチダスト機能

【オートフォーカス】

検出方式

位相差検出方式/コントラスト検出方式

検出輝度範囲

EV-4 ～ EV+20 (ISO100相当、F2.0)

AF補助光

約0.3 m ～ 3.0 m (FE 28-70mm F3.5-5.6 OSSレンズ使用時)

【ファインダー】

形式

1.6 cm (0.64型) 電子式ビューファインダー

総ドット数

9 437 184ドット

視野率

100%

倍率

約0.90倍 (50 mmレンズ、無限遠、視度 -1 m^{-1} 時)

アイポイント

最終光学面から約25 mm、接眼枠から約21 mm (視度 -1 m^{-1} 時)

視度調整

$-4.0\text{ m}^{-1} \sim +3.0\text{ m}^{-1}$

【モニター】

液晶モニター

7.5 cm (3.0型) TFT駆動、タッチパネル

ドット数

1 440 000ドット

【露出制御】

測光方式

1200分割ライブビュー分析測光

測光範囲

EV-3 ~ EV+20 (ISO100相当、F2.0レンズ使用)

ISO感度 (推奨露光指数)

静止画撮影時: ISO100 ~ ISO32000 (拡張: 下限ISO50、上限ISO102400)、オート (ISO100 ~ ISO12800、上限/下限設定可能)

動画撮影時: ISO100 ~ ISO32000相当、オート (ISO100 ~ ISO12800相当、上限/下限設定可能)

露出補正

$\pm 5.0\text{EV}$ (1/3、1/2EVステップ切り換え可能)

ダイヤル操作時: $\pm 3.0\text{EV}$ (1/3EVステップ)

【シャッター】

形式

電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター

シャッタースピード範囲

静止画撮影時 (電子シャッター): 1/32000秒~30秒 (連続撮影時は0.5"まで)

静止画撮影時 (メカシャッター): 1/8000秒~30秒、バルブ

動画撮影時: 1/8000秒~ 1/4秒 (1/3段ステップ)、AUTO時は1/60秒まで (オートスローシャッター1/30秒まで)

フラッシュ同調速度 (ソニー製フラッシュ装着時)

- [シャッター方式] が [メカシャッター]
[フラッシュ同調速優先] が [入] または [オート] のとき
1/400秒 (フルサイズ)
1/500秒 (APS-Cサイズ)
[フラッシュ同調速優先] が [切] のとき
1/320秒 (フルサイズ)
1/400秒 (APS-Cサイズ)
- [シャッター方式] が [電子シャッター]
1/200秒 (フルサイズ)
1/250秒 (APS-Cサイズ)

【連続撮影】

連続撮影速度

 (連続撮影: Hi+) : 毎秒最高約30枚 /  (連続撮影: Hi) : 毎秒最高約20枚 /  (連続撮影: Mid) : 毎秒最高約15枚 /  (連続撮影: Lo) : 毎秒最高約5枚

- 弊社測定条件による。撮影条件によっては連続撮影の速度が遅くなります。
- [連続撮影: Hi]、[連続撮影: Mid]、[連続撮影: Lo] の速度は設定によって変わります。

【記録方式】

静止画記録方式

JPEG（DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.32、MPF Baseline準拠）、HEIF（MPEG-A MIAF準拠）、RAW（ソニーARW 4.0フォーマット準拠）

動画記録方式（XAVC HS方式）

XAVC Ver2.0：MP4フォーマット準拠

映像：MPEG-H HEVC/H.265

音声：LPCM 2ch（48kHz 16bit）、LPCM 4ch（48kHz 24bit）*1、LPCM 2ch（48kHz 24bit）*1、MPEG-4 AAC-LC 2ch*2

動画記録方式（XAVC S方式）

XAVC Ver2.0：MP4フォーマット準拠

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：LPCM 2ch（48kHz 16bit）、LPCM 4ch（48kHz 24bit）*1、LPCM 2ch（48kHz 24bit）*1、MPEG-4 AAC-LC 2ch*2

*1 マルチインターフェースシューで4ch出力および24bit対応可能なアクセサリを使用時

*2 プロキシ動画

【記録メディア】

CFexpress Type Aメモリーカード、SDカード

【スロット】

SLOT 1/SLOT 2

CFexpress Type Aメモリーカード、SD（UHS-I、UHS-II対応）カード用スロット

2メモリーカード間のオペレーション

【入/出力端子】

USB Type-C端子

USB通信 SuperSpeed USB 10Gbps（USB 3.2）

USB Power Delivery対応

マルチ/マイクロUSB端子*

USB通信 Hi-Speed USB（USB 2.0）

* この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

HDMI端子

HDMIタイプA端子

（マイク）端子

Ø3.5 mmステレオミニジャック

（ヘッドホン）端子

Ø3.5 mmステレオミニジャック

LAN端子

（シンクロ）ターミナル

【電源・その他】

定格

7.2 V 

消費電力

FE 28-70mm F3.5-5.6 OSS使用時

ファインダー使用時：約4.6 W（静止画撮影時）、約6.8 W（動画撮影時）

モニター使用時：約3.7 W（静止画撮影時）、約6.6 W（動画撮影時）

動作温度

0～40℃

保存温度

－20～55℃

外形寸法（幅×高さ×奥行き）（約）

128.9×96.9×80.8 mm

128.9×96.9×69.7 mm（グリップからモニターまで）

質量

約737 g（バッテリー、SDカードを含む）

マイクロホン

ステレオ

スピーカー

モノラル

Exif Print

対応

PRINT Image Matching III

対応

【ワイヤレスLAN】

WW411329（カメラ底面の機銘板参照）

対応規格

IEEE 802.11 a/b/g/n/ac

使用周波数帯

2.4 GHz帯/5 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

接続方式

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）/マニュアル

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

WW111327（カメラ底面の機銘板参照）

対応規格

IEEE 802.11 b/g/n

使用周波数帯

2.4 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

接続方式

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）/マニュアル

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

【NFC】

タグタイプ

NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

【Bluetooth通信】

Bluetooth標準規格Ver. 5.0

使用周波数帯

2.4 GHz帯

バッテリーチャージャー BC-QZ1

定格入力

100-240 V 、50/60 Hz、0.38 A

定格出力

8.4 V 、1.6 A

リチャージャブルバッテリーパック NP-FZ100

定格

7.2 V 

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

商標について

- XAVC Sおよび **XAVC S** はソニー株式会社の登録商標です。
- XAVC HSおよび **XAVC HS** はソニー株式会社の登録商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- CFexpress Type AロゴはCompactFlash Associationの商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle LLCの登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

ライセンスについて

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンス内容 (英文) に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com



GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れに従ってください。

① バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

② 設定リセットをする。

③ 「**α**」専用サポートサイトの最新サポート情報を確認する。

(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)

<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

メモリーカード対応表

使用可能なメモリーカードを確認できます。

SDカード対応表

<https://www.sony.jp/rec-media/sd/compatibility/>

CFexpressカード対応表

https://www.sony.net/dics/cfea_cmpt/

ソフトウェアのサポート情報

<https://www.sony.jp/support/r/disoft/>

④ 相談窓口にお問い合わせる。

関連項目

- [設定リセット](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILCE-1 α1

警告表示

エリア/日付/時刻を設定してください

- エリアと日付、時刻を設定してください。長時間使用していない場合は内蔵の充電式バックアップ電池を充電してください。

電池が少ないので実行できません

- 画像のコピーまたはイメージセンサーのクリーニングを実行しようとしたが、バッテリー残量が少ないので実行できません。バッテリーを充電するか、パソコンなどと接続して給電してください。

このメモリーカードは使えません フォーマットしますか？

- パソコンでフォーマットを行ったため、ファイルシステムが変更されています。[実行]を選んでフォーマットを行ってください。本機で使えるようになりますが、カード内のデータはすべて削除されます。また、フォーマットに多少時間がかかることがあります。それでもメッセージが出る場合は、カードを交換してください。

メモリーカードエラー

- 本機では使えないカードが入っています。
- フォーマットに失敗しています。再度フォーマットを実行してください。

メモリーカードが正しく読めません メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っています。
- メモリーカードが壊れています。
- メモリーカードの端子が汚れています。

メモリーカードが ロックされています

- 書き込み禁止スイッチまたは誤消去防止スイッチのあるメモリーカードを使用し、スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。

メモリーカードが入っていないので シャッターが切れません

- [ 記録メディア] または [ 記録メディア] で選択されたスロットにメモリーカードが入っていません。
- 本機にメモリーカードを入れずにシャッターを切る場合は、[カードなしリリース]を[許可]にしてください。その際、画像は保存されません。

このメモリーカードは 正常に記録・再生できない可能性があります

- 本機では使えないメモリーカードが入っています。

ノイズリダクション実行中

- ノイズリダクションが機能した場合、ノイズ軽減処理を行います。この間は次の撮影はできません。

表示できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像や、パソコンで画像を加工した場合は表示できないことがあります。
- パソコンで画像の削除などを行うと、管理ファイルに不整合が発生する場合があります。管理ファイルの修復を行ってください。

レンズの装着状態を確認してください 非対応レンズの場合は、メニューの「レンズなしリリース」を「許可」に設定してください

- レンズが取り付けられていない、または正しく装着されていません。レンズが付いているのにメッセージが表示される場合は、一度レンズをはずし、再度取り付けてください。また頻繁にメッセージが表示される場合は、レンズとカメラの接点端子に汚れがないかご確認ください。
- 非対応レンズを使用する場合や天体望遠鏡などにカメラを取り付ける場合は、[ レンズなしリリース] を [許可] にしてください。

しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください

- 連続撮影したため、本機の温度が上がっています。本機の電源を切って、本機の温度が下がり再び撮影可能になるのを待ってから撮影してください。

 (温度上昇警告)

- 長時間撮影したため、本機の温度が上がっています。

 (管理ファイルフル警告)

- 本機で日付を管理できる枚数を超えています。

 (管理ファイルエラー警告)

- 本機の管理ファイルへの記録ができません。すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカードを修復してください。

管理ファイルエラー

- 管理ファイルに何らかの異常が発生しています。MENU→ (撮影) → [メディア] から [ 管理ファイル修復] を行ってください。

システムエラー

カメラエラー 電源を入れなおしてください

- バッテリーを一度取り出し、入れ直してください。何度も繰り返す場合は相談窓口にお問い合わせください。

管理ファイルに不整合が見つかりました 修復しますか？

- 管理ファイルが破損しているため、動画の撮影、再生ができません。画面の指示に従い修復してください。

拡大できません

回転できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像は、拡大/回転できないことがあります。

これ以上フォルダー作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダーがメモリーカード内にあります。本機でこれ以上のフォルダーを作成できません。

関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [日付と時刻を設定する](#)
- [フォーマット](#)
- [カードなしリリース](#)

- [レンズなしリリース（静止画/動画）](#)
- [管理ファイル修復（静止画/動画）](#)

5-025-537-05(1) Copyright 2021 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ

ILCE-1 α1

おすすめのページ

- **電子シャッターを活用する**

電子シャッターを使用することで、サイレント撮影、ブラックアウトフリー撮影などが可能です。

- **連続撮影**

連続撮影時の撮影速度や撮影可能枚数はこちらをご覧ください。

- **カスタムキー設定**

よく使う機能をお好みのボタンやダイヤルに割り当てることができます。

- **動画の記録可能時間**

メモリーカードに記録できる動画撮影時間はこちらをご覧ください。

- **ILCE-1 : サポート情報**

カメラ本体の基本情報や対応レンズ/アクセサリーの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。（別ウィンドウで開きます。）